

第1回 第6次碧南市総合計画審議会

日時 令和元年9月17日（火）

午後1時30分から

会場 碧南市役所2階 会議室4・5

- 1 市民憲章唱和（裏面参照）
- 2 市長あいさつ
- 3 委員の任命及び顧問・助言者の紹介
- 4 会長の指名
- 5 会長あいさつ
- 6 第6次碧南市総合計画の諮問
- 7 議題
 - (1) 副会長の指名について
 - (2) 第5次碧南市総合計画の進捗状況について
 - (3) 各アンケート結果について
 - (4) 第6次碧南市総合計画の策定について
- 8 その他
 - (1) 分科会について
 - (2) 次回審議会について（令和2年3月18日（水）予定）

【碧南市民憲章】

衣浦港を門戸として、広く世界に目を開き、あたたかく明るい郷土「碧南」をつくるため、わたくしたちは自治の約束として、この憲章を掲げます。

1. 安心して住める町に

いのちを大切にし、すこやかな毎日をおくります。

1. 活気ある町に

元気で働き、豊かな家庭を築きます。

1. あたたかい心の町に

話し合いの輪をひろげ、なごやかな社会をつくれます。

1. きれいな水と青い空の町に

自然をだいじにし、美しい郷土をつくれます。

1. 清新な文化の町に

若い力を育て、文化と教養のまちをつくれます。

メモ

(参考) 第6次碧南市総合計画審議会名簿

		氏 名	団体・組織名等	役職
1	委 員	鈴木 並生	碧南商工会議所	会頭
2		石川 和昌	碧南市連絡委員幹事会	代表幹事
3		鈴木 泰博	碧南交通安全協会	副会長
4		石川 鋼逸	碧南市消防団	団長
5		河原 厚司	碧南市民生委員児童委員協議会	会長
6		鈴木 たか子	碧南市身体障害者福祉協会	会長
7		禰宜田 知司	碧南市老人クラブ連合会	会長
8		長田 和久	碧南市医師会	副会長
9		水野 博史	碧南歯科医師会	会長
10		奥村 晋平	碧南市薬剤師会	会長
11		齋藤 孝司	碧南市商店街連盟	会長
12		鈴木 康伸	連合愛知三河西地域協議会	代表
13		比嘉 穰治	碧南青年会議所	理事長
14		加藤 浩孝	碧南市農業委員会	会長
15		平松 常一	大浜漁業協同組合	代表理事組合長
16		岩瀬 弘朋	碧南市青少年育成推進員連絡会	会長
17		長田 良次	碧南文化協会	会長
18		榊原 健	碧南市スポーツ協会	会長
19		永坂 幸子	碧南市女性団体連絡協議会	会長
20		原田 利夫	碧南市市民活動センター運営委員会	委員長
21		金原 功	碧南市友好親善協会	会長
22		中根 潮美	子ども子育て会議	会長
23		竹原 幸子	へきなん市民環境会議	会長
24		榊原 由太郎	市民公募	
25		森下 敏弥	市民公募	
26		永井 朋佳	市民公募	
27		杉浦 優子	市民公募	
28		柴田 和子	市民公募	
29		長田 あすみ	市民公募	

第6次碧南市総合計画 顧問・助言者名簿

	氏 名		
	石井 拓	愛知県議会議員	顧問
	岩崎 恭典	四日市大学学長	顧問兼助言者

第5次総合計画成果目標値進捗状況

平成31年3月31日現在で、本年度事業が完了した等の理由により実績が確定したもののみ掲載

「空欄」・・・本年度、事業継続中のため実績が確定していないもの
「－」・・・本年度、事業未実施等により実績がないもの

第 1 章 手と手を取り合う結びあいのまちづくり(市民生活・環境分野)

第 1 節 新たな市民協働のまちづくり

1 市民協働の推進

指 標 名	単位	基 準 値	実 績						目 標 値
			H22年度 H28年度	H23年度 H29年度	H24年度 H30年度	H25年度 R1年度	H26年度 R2年度	H27年度	
市民協働計画策定	－	－	策定	【完了】					策定
									H 22 年度
NPO法人数	団体	1	5	6	7	7	7	9	20
		H 21 年度	9	10	10				R 2 年度
登録ボランティア数	団体・名	96・3,785	68・3,087	82・3,907	103・4,049	121・5,436	158・16,177	180・15,880	150・5,000
		H 21 年度	204・16,703	231・18,547	250・19,065				R 2 年度
まちづくり参加事業所数	事業所	－	－	－	－	－	－	－	7
			－	－	－				R 2 年度
市職員社会貢献活動指針策定	－	－	－	協議中	－	－	策定	【完了】	策定
									H 23 年度
市協議会、委員会などの女性登用率	%	20	25.3	23.6	19.2	20.1	20.3	22.2	35
		H 21 年度	29.5	29.0	25.5				R 2 年度

2 地域コミュニティの活性化

指 標 名	単位	基 準 値	実 績						目 標 値
			H22年度 H28年度	H23年度 H29年度	H24年度 H30年度	H25年度 R1年度	H26年度 R2年度	H27年度	
町内会加入率	%	78.4	79.4	78.7	77.3	79.1	78.4	77.2	81
		H 21 年度	75.5	74.3	72.8				R 2 年度
地域でまちづくりを進める団体数	団体	3	3	4	4	4	4	4	7
		H 21 年度	5	5	4				R 2 年度
多様な主体の連携協力による地域づくりイベントなどの開催回数	回	2	3	3	3	3	1	2	7
		H 21 年度	2	2	3				R 2 年度
友好親善協会(国際ボランティア)登録者数	人	78	97	71	74	50	40	32	110
		H 21 年度	33	37	37				R 2 年度
碧南市友好親善協会の独立(法人化)	－	－	－	－	－	－	－	－	法人化
			－	－	－				R 2 年度

第2節 環境に配慮したまちづくり

1 環境にやさしいまちづくり

指 標 名	単位	基 準 値	実 績						目 標 値
			H22年度 H28年度	H23年度 H29年度	H24年度 H30年度	H25年度 R1年度	H26年度 R2年度	H27年度	
環境学習事業数	年回	3	4	4	4	6	7	6	4
		H20年度	6	6	4				R 2 年度
クリーンピーときれいな街づくり事業参加者数	人	約10,000	7,500	6,500	8,500	9,000	9,000	8,500	約12,000
		H21年度	9,000	9,000	9,500				R 2 年度

2 環境保全と公害の防止

指 標 名	単位	基 準 値	実 績						目 標 値
			H22年度 H28年度	H23年度 H29年度	H24年度 H30年度	H25年度 R1年度	H26年度 R2年度	H27年度	
苦情発生状況・環境調査データベース化	—	—	—	—	—	—	—	—	整備・活用
			—	—	—				H25年度
油ヶ淵COD環境値 (75%値)	mg/ℓ	7.6	7.0	7.6	7.5	7.7	7.5	7.2	5以下
		H20年度	7.4	6.7	—				R 2 年度

3 新たなエネルギー資源の活用

指 標 名	単位	基 準 値	実 績						目 標 値
			H22年度 H28年度	H23年度 H29年度	H24年度 H30年度	H25年度 R1年度	H26年度 R2年度	H27年度	
住宅用太陽光発電施設整備に対する補助の累積件数	件	156	550	784	992	1,201	1,378	1,516	1,000
		H21年度	1,647	1,781	1,906				R 2 年度

第3節 快適な生活を営めるまちづくり

1 優良な住宅の整備と供給

指 標 名	単位	基 準 値	実 績						目 標 値
			H22年度 H28年度	H23年度 H29年度	H24年度 H30年度	H25年度 R1年度	H26年度 R2年度	H27年度	
市営住宅のバリアフリー化率	%	17	17	17	17	17	17	18	35
		H21年度	23	23	29				R 2 年度
長期優良住宅の比率	%	23	24.5	23.6	25.8	31.1	34.7	29.1	50
		H20年度	33.8	39.0	20.2				R 2 年度

2 安定した水道水の供給

指 標 名	単位	基 準 値	実 績						目 標 値
			H22年度 H28年度	H23年度 H29年度	H24年度 H30年度	H25年度 R1年度	H26年度 R2年度	H27年度	
配水管の耐震化率	%	4.3	8.5	10.6	12.2	14.3	15.9	18.1	7.8
		H20年度	20.1	22.0	22.7				R 2 年度
県営水道の承認基本水量	m³	30,300	30,300	29,000	29,000	29,000	29,000	29,000	29,000
		H20年度	29,000	29,000	29,000				R 2 年度

指 標 名	単位	基 準 値	実 績						目 標 値
			H22年度 H28年度	H23年度 H29年度	H24年度 H30年度	H25年度 R1年度	H26年度 R2年度	H27年度	
幹線配水管震災対策事業の整備率	%	19.9	28.5	39.3	48.6	59.3	71.1	79.2	100
		H20年度	90.5	100	100				H30年度

3 水質向上に向けた下水道事業の推進

指 標 名	単位	基 準 値	実 績						目 標 値
			H22年度 H28年度	H23年度 H29年度	H24年度 H30年度	H25年度 R1年度	H26年度 R2年度	H27年度	
公共下水道整備率	%	54.4	59.1	61.9	63.9	65.6	67.6	69.8	77
		H20年度	71.7	74.2	76.2				R 2 年度
公共下水道水洗化率	%	76.9	79.0	77.6	78.5	80.5	81.9	82.2	85
		H20年度	82.4	82.7	84.0				R 2 年度

4 ごみの減量化と3Rの推進

指 標 名	単位	基 準 値	実 績						目 標 値
			H22年度 H28年度	H23年度 H29年度	H24年度 H30年度	H25年度 R1年度	H26年度 R2年度	H27年度	
資源を除く家庭系ごみの 市民一人一日当たりの排出量	g/人・日	619	606.0	612.6	608.0	604.0	591.0	614.0	413
		H20年度	587.0	565.0	572.0				R 2 年度
リサイクル率	%	16.9	19.8	20.4	19.8	19.8	19.8	18.7	31
		H20年度	18.6	18.1	—				R 2 年度

5 環境衛生管理の推進

指 標 名	単位	基 準 値	実 績						目 標 値
			H22年度 H28年度	H23年度 H29年度	H24年度 H30年度	H25年度 R1年度	H26年度 R2年度	H27年度	
合併処理浄化槽整備率	%	42.3	54.3	60.4	59.8	31.2	29.5	29.4	79.2
		H20年度	30.8	34.9	37.5				R 2 年度
衛生センターの改修と供 用開始	—	—	—	—	供用開始	【完了】			供用開始
									H24年度
市営墓園区画数	区画	1,136	1,138	1,138	1,138	1,138	1,138	1,138	1,300
		H20年度	1,138	1,138	1,138				R 2 年度

6 緑豊かなまちづくり

指 標 名	単位	基 準 値	実 績						目 標 値
			H22年度 H28年度	H23年度 H29年度	H24年度 H30年度	H25年度 R1年度	H26年度 R2年度	H27年度	
「公園」の満足度	%	66.7	70.4	66.9	66.9	70.5	72.5	70.9	68
		H21年度	72.9	69.6	71.5				R 2 年度
「緑化」の満足度	%	70.5	73.0	70.6	70.4	73.9	73.8	73.5	70
		H21年度	77.5	74.3	73.3				R 2 年度

指 標 名	単位	基 準 値	実 績						目 標 値
			H22年度 H28年度	H23年度 H29年度	H24年度 H30年度	H25年度 R1年度	H26年度 R2年度	H27年度	
住民参加の緑化活動が行われている公園数	ヶ所	19	33	33	36	37	36	36	現状より増加 R 2 年度
		H19年度	34	32	28				

7 次代につなぐ景色づくり

指 標 名	単位	基 準 値	実 績						目 標 値
			H22年度 H28年度	H23年度 H29年度	H24年度 H30年度	H25年度 R1年度	H26年度 R2年度	H27年度	
景観計画の策定	—	—	協議中	協議中	協議中	協議中	協議中	協議中	策定 H25年度
			協議中	協議中	協議中				
景観、景色の関心度	%	66	53.2	47.1	50.6	49.0	50.5	50.1	80 R 2 年度
		H19年度	49.1	42.8	47.4				
景観重要建造物及び景観重要樹木の指定件数	件	—	—	—	—	—	—	—	20 R 2 年度
			—	—	—				

第 4 節 安全で災害に強いまちづくり

1 防災対策の推進

指 標 名	単位	基 準 値	実 績						目 標 値
			H22年度 H28年度	H23年度 H29年度	H24年度 H30年度	H25年度 R1年度	H26年度 R2年度	H27年度	
市有建物の耐震化率	%	83	94.0	97.0	98.0	98.0	100	【完了】	100 H27年度
		H19年度							
民間住宅耐震化率	%	77	86	86	86	83	83	83	90 H27年度
		H19年度	85	86	87				
道路後退用地取得延長	m	—	165	672	1,108	1,877	2,833	3,725	2,400 R 2 年度
			4,788	5,878	7,375				
自主防災訓練への市民参加率	%	9.4	8.6	8.7	7.2	6.7	6.7	10.0	15 H27年度
		H20年度	10.0	10.8	9.3				

2 消防・救急体制の推進

指 標 名	単位	基 準 値	実 績						目 標 値
			H22年度 H28年度	H23年度 H29年度	H24年度 H30年度	H25年度 R1年度	H26年度 R2年度	H27年度	
消防団員の定員の充足率	%	91.3	92.8	94.0	92.1	92.1	90.6	89.0	100 R 2 年度
		H21年度	89.0	89.7	87.4				

3 防犯体制の強化

指 標 名	単位	基 準 値	実 績						目 標 値
			H22年度 H28年度	H23年度 H29年度	H24年度 H30年度	H25年度 R1年度	H26年度 R2年度	H27年度	
防犯関係講座など参加者数	人	64	77	80	84	88	91	87	100 R 2 年度
		H21年度	73	84	71				

指 標 名	単位	基 準 値	実 績						目 標 値
			H22年度 H28年度	H23年度 H29年度	H24年度 H30年度	H25年度 R1年度	H26年度 R2年度	H27年度	
防犯ボランティア活動参加団体数	団体	27	27	27	27	26	26	25	35
		H21年度	26	26	26				R 2 年度
碧南警察署管内の犯罪 (刑法犯)発生件数	件	1,654	1,486	1,357	1,375	1,326	945	832	1,400
		H21年度	824	767	700				R 2 年度

4 交通安全の推進

指 標 名	単位	基 準 値	実 績						目 標 値
			H22年度 H28年度	H23年度 H29年度	H24年度 H30年度	H25年度 R1年度	H26年度 R2年度	H27年度	
高齢者が関係する交通事故(人身事故)発生件数	件	65	65	59	60	70	66	44	60
		H21年度	55	63	47				R 2 年度
交通事故(人身事故)発生件数	件	342	306	347	341	351	303	251	300
		H21年度	246	296	241				R 2 年度

第 2 章 住み続けたい快適なまちづくり(都市基盤・産業振興分野)

第 1 節 質の高い都市基盤のまちづくり

1 有効な土地利用の誘導と計画的な市街地の整備

指 標 名	単位	基 準 値	実 績						目 標 値
			H22年度 H28年度	H23年度 H29年度	H24年度 H30年度	H25年度 R1年度	H26年度 R2年度	H27年度	
地区計画決定箇所数	ヶ所	—	—	—	—	—	—	—	6
			—	—	—				R 2 年度
密集市街地における広場 公園などの確保数	ヶ所	4	4	4	4	4	4	4	7
		H21年度	6	6	6				R 2 年度
碧南伊勢土地地区画整理 事業整備率	%	—	4.6	5.2	6.8	12.5	29.0	40.8	90
			53.5	74.8	84.1				R 2 年度
緑被率	%	34.4	—	—	—	—	—	—	39
		H19年度	—	44.4	—				R 2 年度

2 国道・県道等幹線道路の整備

指 標 名	単位	基 準 値	実 績						目 標 値
			H22年度 H28年度	H23年度 H29年度	H24年度 H30年度	H25年度 R1年度	H26年度 R2年度	H27年度	
都市計画道路整備完了 率	%	75	77.3	77.6	77.8	77.8	77.8	77.8	81
		H21年度	77.8	78.5	78.5				R 2 年度
矢作川堤防リフレッシュ道 路整備率	%	24	24	33	46	46	67.1	86	100
		H21年度	92.3	92.3	92.3				H30年度

3 市道・一般道等生活道路の整備

指 標 名	単位	基 準 値	実 績						目 標 値
			H22年度 H28年度	H23年度 H29年度	H24年度 H30年度	H25年度 R1年度	H26年度 R2年度	H27年度	
側溝有蓋化率	%	41.5	42.2	46.1	46.4	46.9	47.1	47.2	47.5
		H20年度	48.3	48.7	48.8				R 2 年度
橋梁長寿命化修繕計画 の策定	—	—	点検	策定	【完了】				策定
									H23年度
景観に配慮した道路の整 備延長	m	2,908	3,399	3,399	3,720	3,720	3,720	3,870	3,870
		H21年度	【完了】						R 2 年度

4 河川・下水道雨水整備と治水の推進

指 標 名	単位	基 準 値	実 績						目 標 値
			H22年度 H28年度	H23年度 H29年度	H24年度 H30年度	H25年度 R1年度	H26年度 R2年度	H27年度	
雨水貯留施設の設置戸 数	戸	152	162	177	185	191	192	199	300
		H20年度	204	212	218				R 2 年度

指 標 名	単位	基 準 値	実 績						目 標 値
			H22年度 H28年度	H23年度 H29年度	H24年度 H30年度	H25年度 R1年度	H26年度 R2年度	H27年度	
矢作川河川敷有効利用 施設の整備率	%	—	—	—	—	—	—	—	100
			—	—	—				R 2 年度

7 公共交通機関の利便性の向上

指 標 名	単位	基 準 値	実 績						目 標 値
			H22年度 H28年度	H23年度 H29年度	H24年度 H30年度	H25年度 R1年度	H26年度 R2年度	H27年度	
くるくるバス利用者数	人	152,537	149,474	143,313	143,217	137,316	132,021	137,511	180,000
		H 20 年度	130,373	131,543	132,106				R 2 年度
名鉄三河線利用者数	人	4,220,141	4,080,365	4,131,742	4,218,765	4,379,366	4,345,768	4,485,139	4,500,000
		H 20 年度	4,505,831	4,653,724	4,699,043				R 2 年度
駅前広場整備箇所数	ヶ所	2	2	2	2	2	2	2	3
		H 21 年度	2	2	2				R 2 年度

8 身近な通信・情報化の推進

指 標 名	単位	基 準 値	実 績						目 標 値
			H22年度 H28年度	H23年度 H29年度	H24年度 H30年度	H25年度 R1年度	H26年度 R2年度	H27年度	
ICT技術の恩恵を受けて いると思う市民の割合	%	37.9	32.7	36.2	40.3	40.9	45.0	44.7	49
		H 21 年度	41.7	38.9	44.9				R 2 年度
キャッチの契約世帯数	件	12,587	13,312	14,056	14,984	15,325	15,530	16,197	16,700
		H 20 年度	16,548	16,707	16,985				R 2 年度

第 2 節 バランスのとれた産業振興のまちづくり

1 信頼される農業の推進

指 標 名	単位	基 準 値	実 績						目 標 値
			H22年度 H28年度	H23年度 H29年度	H24年度 H30年度	H25年度 R1年度	H26年度 R2年度	H27年度	
認定農業者数	経営体	173	167	165	166	168	169	173	185
		H 20 年度	170	171	172				R 2 年度
農業活性化センター「あ おいパーク」入場者数	万人	117	108	104	106	103	102	101	127
		H 20 年度	103	103	103				R 2 年度

2 水産業の振興

指 標 名	単位	基 準 値	実 績						目 標 値
			H22年度 H28年度	H23年度 H29年度	H24年度 H30年度	H25年度 R1年度	H26年度 R2年度	H27年度	
海面漁業従事者数	人	231	226	218	197	200	193	185	240
		H 20 年度	182	175	170				R 2 年度
内水面漁業従事者数	人	50	51	51	50	47	47	46	50
		H 21 年度	44	44	44				R 2 年度

3 工業・地場産業の振興

指 標 名	単位	基 準 値	実 績						目 標 値
			H22年度 H28年度	H23年度 H29年度	H24年度 H30年度	H25年度 R1年度	H26年度 R2年度	H27年度	
製造品出荷額等	億円	8,436	7,668	7,974	7,947	7,833	8,276	数値未発表	8,800
		H18年度	8,003	8,430	数値未発表				R 2 年度

4 地域商業の振興

指 標 名	単位	基 準 値	実 績						目 標 値
			H22年度 H28年度	H23年度 H29年度	H24年度 H30年度	H25年度 R1年度	H26年度 R2年度	H27年度	
年間商品販売額	億円	1,156	数値未発表	1,718	数値未発表	数値未発表	1,038	数値未発表	1,200
		H19年度	1,242	数値未発表	数値未発表				R 2 年度

5 魅力ある観光地づくりの展開

指 標 名	単位	基 準 値	実 績						目 標 値
			H22年度 H28年度	H23年度 H29年度	H24年度 H30年度	H25年度 R1年度	H26年度 R2年度	H27年度	
市内への宿泊者数	人	60,621	65,819	73,050	69,722	85,174	103,695	120,043	70,000
		H20年度	117,466	113,112	113,333				R 2 年度
ボランティアガイドの利用 人数	人	200	202	242	234	259	196	392	400
		H20年度	308	192	212				R 2 年度

第 3 章 健やかに育み支えあうまちづくり(医療・保健・福祉分野)

第 1 節 質の高い保健・医療活動を展開するまちづくり

1 健康を守る体制の充実

指 標 名	単位	基 準 値	実 績						目 標 値
			H22年度 H28年度	H23年度 H29年度	H24年度 H30年度	H25年度 R1年度	H26年度 R2年度	H27年度	
がん検診受診者延べ人数	人	28,295	30,762	31,160	29,954	29,144	28,259	29,049	33,000
		H 20 年度	27,526	27,318	27,010				R 2 年度
傾聴ボランティア数	人	—	0	0	0	29	36	32	50
			28	22	26				R 2 年度
介護予防サポーター数	人	30	25	33	34	34	35	36	50
		H 21 年度	33	36	38				R 2 年度

2 質の高い医療の提供

指 標 名	単位	基 準 値	実 績						目 標 値
			H22年度 H28年度	H23年度 H29年度	H24年度 H30年度	H25年度 R1年度	H26年度 R2年度	H27年度	
「保健・医療(健康・病院等)」の満足度	%	62	66.0	65.5	65.3	72.7	70.4	73.1	70
		H 21 年度	73.1	73.9	70.5				R 2 年度
市民病院病床利用率	%	72	80.4	75.1	74.0	72.9	71.7	71.5	86.0以上
		H 20 年度	69.5	69.3	66.7				R 2 年度

3 国民健康保険事業の健全な運営

指 標 名	単位	基 準 値	実 績						目 標 値
			H22年度 H28年度	H23年度 H29年度	H24年度 H30年度	H25年度 R1年度	H26年度 R2年度	H27年度	
国民健康保険税収納率	%	90	91.2	91.7	92.6	93.7	94.7	95.6	92
		H 20 年度	96.4	96.1	96.3				R 2 年度
特定健診受診率	%	41	45.1	46.3	46.1	46.2	46.4	47.3	75
		H 20 年度	48.1	49.2	50.8				R 2 年度

4 高齢者医療保険制度の円滑な推進

指 標 名	単位	基 準 値	実 績						目 標 値
			H22年度 H28年度	H23年度 H29年度	H24年度 H30年度	H25年度 R1年度	H26年度 R2年度	H27年度	
健康診査受診者数	人	3,272	3,753	3,895	3,997	4,061	4,114	4,110	5,000
		H 20 年度	4,096	4,239	4,324				H 24 年度
後期高齢者医療保険料収納率	%	99.52	99.28	99.76	99.83	99.90	99.94	99.85	99.8
		H 20 年度	99.87	99.80	99.83				H 24 年度

5 介護保険制度の適正な運営

指 標 名	単位	基 準 値	実 績						目 標 値
			H22年度 H28年度	H23年度 H29年度	H24年度 H30年度	H25年度 R1年度	H26年度 R2年度	H27年度	
「介護保険制度」の認知度	%	17.7	—	11.3	—	—	14.7	—	8
		H20年度	—	12.0	—				R 2 年度
介護保険料徴収率(普通徴収)	%	92.1	91.5	91.5	92.6	92.6	91.3	94.9	93
		H20年度	94.1	94.0	95.7				R 2 年度
「介護保険サービス利用」の満足度	%	90	—	87.7	—	—	71.4	—	95
		H20年度	—	66.0	—				R 2 年度
地域包括支援センターの設置数	ヶ所	1	2	2	2	2	2	2	3
		H21年度	3	3	3				R 2 年度

第 2 節 思いやりあふれる福祉のまちづくり

1 参加と支えあう地域福祉の推進

指 標 名	単位	基 準 値	実 績						目 標 値
			H22年度 H28年度	H23年度 H29年度	H24年度 H30年度	H25年度 R1年度	H26年度 R2年度	H27年度	
「福祉」の満足度	%	63.3	66.8	63.5	63.2	67.2	66.6	69.8	70
		H21年度	70.4	71.1	66.1				R 2 年度
ボランティア登録団体数	団体	96	68	82	103	121	158	180	150
		H21年度	204	231	250				R 2 年度
災害時要援護者台帳登録者数(平成27年度より制度変更)	人	1,506	1,512	1,535	1,569	1,587	1,646	—	1,626
		H21年度	—	—	—				R 2 年度

2 元気に暮らす高齢者の支援

指 標 名	単位	基 準 値	実 績						目 標 値
			H22年度 H28年度	H23年度 H29年度	H24年度 H30年度	H25年度 R1年度	H26年度 R2年度	H27年度	
まちかどサロン利用件数	件	5,576	6,890	5,687	5,732	5,802	5,476	4,328	6,000
		H20年度	5,912	6,644	5,957				R 2 年度
筋トレルーム60(旧貯筋ルーム)利用者数	人	7,901	10,745	12,874	14,207	14,706	16,692	20,981	10,000
		H20年度	21,544	31,059	29,826				R 2 年度
生活支援ハウス入居者数	人	5	5	6	7	5	5	3	8
		H21年度	2	2	2				R 2 年度
認知症サポーター数	人	140	441	543	1,025	2,165	2,906	3,103	1,340
		H20年度	3,311	4,085	5,046				R 2 年度

3 子育て支援環境の充実

指 標 名	単位	基 準 値	実 績						目 標 値
			H22年度 H28年度	H23年度 H29年度	H24年度 H30年度	H25年度 R1年度	H26年度 R2年度	H27年度	
家庭教育・子育て支援講座受講者数	人	1,751	1,213	1,243	1,173	1,053	772	933	2,000
		H20年度	1,045	1,075	909				R 2 年度
乳幼児健診受診率	%	1歳6か月児92.5	94.3	96.0	95.0	97.0	96.7	97.5	1歳6か月児99以上
		H20年度	97.5	96.3	98.5				R 2 年度
待機児童数	人	0	0	0	0	0	0	0	0
		H21年度	0	0	0				R 2 年度
地域子育て支援センター利用者数	人	4,969	19,016	42,804	40,873	41,856	48,373	47,714	11,000
		H20年度	46,884	39,783	40,418				R 2 年度
放課後児童クラブ利用児童数	人	483	488	467	441	478	471	577	530
		H21年	630	682	747				R 2 年

4 ひとり親家庭支援の充実

指 標 名	単位	基 準 値	実 績						目 標 値
			H22年度 H28年度	H23年度 H29年度	H24年度 H30年度	H25年度 R1年度	H26年度 R2年度	H27年度	
就業相談員への相談件数	件	75	57	75	23	25	32	44	85
		H20年度	60	28	30				R 2 年度
母子自立支援員への相談件数	件	213	184	170	287	274	110	83	235
		H20年度	56	52	21				R 2 年度

5 障害者児福祉の充実

指 標 名	単位	基 準 値	実 績						目 標 値
			H22年度 H28年度	H23年度 H29年度	H24年度 H30年度	H25年度 R1年度	H26年度 R2年度	H27年度	
グループホーム、ケアホーム施設数	施設	1	2	3	3	3	3	3	5
		H21年度	3	3	3				R 2 年度
福祉施設から一般就労への移行者数	人	1	2	3	1	5	8	6	4
		H20年度	8	8	7				R 2 年度

6 低所得者への支援の充実

指 標 名	単位	基 準 値	実 績						目 標 値
			H22年度 H28年度	H23年度 H29年度	H24年度 H30年度	H25年度 R1年度	H26年度 R2年度	H27年度	
稼働年齢者(18歳から64歳)に占める就労収入のある者の割合	%	17	29	15	14	19	24	21	27
		H21年度	23	28	34				R 2 年度
稼働年齢者のいる世帯のうち生活保護受給期間3年未満の割合	%	38	52	64	60	63	67	41	48
		H21年度	38	40	38				R 2 年度

7 勤労者福祉の向上

指 標 名	単位	基 準 値	実 績						目 標 値
			H22年度 H28年度	H23年度 H29年度	H24年度 H30年度	H25年度 R1年度	H26年度 R2年度	H27年度	
企業健康診断実施者数	人	5,857	5,699	5,947	5,811	5,892	5,980	6,262	6,500
		H20年度	6,020	6,127	6,149				R 2 年度
ものづくりセンター自主事業参加者数	人	1,200	1,322	993	1,533	2,198	2,607	2,553	1,500
		H20年度	4,153	2,850	4,364				R 2 年度

8 消費者意識の向上

指 標 名	単位	基 準 値	実 績						目 標 値
			H22年度 H28年度	H23年度 H29年度	H24年度 H30年度	H25年度 R1年度	H26年度 R2年度	H27年度	
消費生活講座受講者数	人	453	171	161	112	61	155	457	1,000
		H20年度	258	34	62				R 2 年度
消費生活相談件数	件	177	139	143	217	194	211	180	200
		H20年度	175	231	278				R 2 年度

9 人権を守る環境づくり

指 標 名	単位	基 準 値	実 績						目 標 値
			H22年度 H28年度	H23年度 H29年度	H24年度 H30年度	H25年度 R1年度	H26年度 R2年度	H27年度	
人権啓発事業への参加者数	人	1,000	262	436	372	1,239	1,224	1,279	1,500
		H20年度	1,254	1,659	2,148				R 2 年度

10 国民年金制度の適正な運用

指 標 名	単位	基 準 値	実 績						目 標 値
			H22年度 H28年度	H23年度 H29年度	H24年度 H30年度	H25年度 R1年度	H26年度 R2年度	H27年度	
国民年金に係る各種届出が適正に処理された割合	%	100	100	100	100	100	100	100	100
		H20年度	100	100	100				R 2 年度

第 4 章 人を育み活かす創造のまちづくり(教育文化分野)

第 1 節 人を育み活かすまちづくり

1 信頼と安心のある幼児教育の推進

指 標 名	単位	基 準 値	実 績						目 標 値
			H22年度 H28年度	H23年度 H29年度	H24年度 H30年度	H25年度 R1年度	H26年度 R2年度	H27年度	
「幼稚園・保育園」の満足度	%	59.8	62.2	59.0	58.3	62.9	64.4	62.7	70
		H 21 年度	59.4	62.9	59.8				R 2 年度
子育て講座参加者数	人	2,106	1,095	1,457	1,845	1,650	1,829	1,531	2,580
		H 20 年度	1,617	1,512	1,392				R 2 年度
施設の適格改築率	%	80	80	80	80	80	100	100	100
		H 21 年度	100	100	100				R 2 年度

2 生きる力を育む義務教育の充実

指 標 名	単位	基 準 値	実 績						目 標 値
			H22年度 H28年度	H23年度 H29年度	H24年度 H30年度	H25年度 R1年度	H26年度 R2年度	H27年度	
「義務教育」の満足度	%	61.5	65.3	60.7	59.8	66.8	66.5	66.0	70
		H 21 年度	66.3	64.7	62.4				R 2 年度
「家庭・地域・学校の連携」の満足度	%	35.1	39.0	37.7	37.0	39.3	35.7	35.9	50
		H 21 年度	37.8	39.7	38.9				R 2 年度
小中学生朝食欠食率	%	小 3.6・中 9.1	—	小2.9・中4.7	小2.6・中5.6	小6.7・中4.8	小6.5・中6.6	小6.0・中3.8	小 0.0・中 3.0以下
		H 20 年度	小4.1・中4.3	小5.5・中9.1	小3.3・中4.8				R 2 年度
学校施設耐震化率	%	88.9	91.8	93.9	95.9	97.9	100.0	100.0	100
		H 21 年度	100.0	100.0	100.0				H 26 年度

3 生涯を通じて学び続ける学習環境の充実

指 標 名	単位	基 準 値	実 績						目 標 値
			H22年度 H28年度	H23年度 H29年度	H24年度 H30年度	H25年度 R1年度	H26年度 R2年度	H27年度	
生涯学習推進計画の改定	—	—	—	策定	【完了】				改定
									H 24 年度
文化教室、講座等の参加率	%	88.8	91.7	89.0	81.0	89.9	93.8	103.0	100
		H 20 年度	79.2	89.1	82.5				R 2 年度
生涯学習施設の利用率	%	42.9	41.4	43.2	43.2	43.6	43.7	42.7	45.3
		H 20 年度	39.5	41.1	42.1				R 2 年度

4 多くの市民が参加するスポーツの振興

指 標 名	単位	基 準 値	実 績						目 標 値
			H22年度 H28年度	H23年度 H29年度	H24年度 H30年度	H25年度 R1年度	H26年度 R2年度	H27年度	
週1回以上スポーツを行っている市民の割合	%	27	31.8	—	—	—	35.8	32.5	50
		H16年度	30.2	31.1	34.4				H27年度
臨海体育館施設利用率	%	77	87.8	79.5	58.7	57.0	57.3	60.0	90
		H20年度	58.3	64.6	62.5				H27年度
スポーツ施設改修整備率	%	25	33	33	37.5	50.0	54.2	54.2	50
		H21年度	54.2	58.3	58.3				H27年度

5 青少年の健全育成環境の充実

指 標 名	単位	基 準 値	実 績						目 標 値
			H22年度 H28年度	H23年度 H29年度	H24年度 H30年度	H25年度 R1年度	H26年度 R2年度	H27年度	
不良行為少年補導件数 (平成28年度から算出方法変更)	件	215	344	404	620	555	500	503	100
		H21年	新基準:89	新基準:120	新基準:142				R2年
中学生ボランティア参加人数	人	1,093	1119	1,279	1,091	1,065	972	1,212	2,000
		H20年度	1,114	1,341	1,119				R2年度
HEXPO STAFF登録人数	人	45	40	40	43	42	37	48	60
		H21年度	42	24	44				R2年度

第2節 地域文化を守りみんなが誇れるまちづくり

1 芸術文化の振興

指 標 名	単位	基 準 値	実 績						目 標 値
			H22年度 H28年度	H23年度 H29年度	H24年度 H30年度	H25年度 R1年度	H26年度 R2年度	H27年度	
【文化会館】 芸術文化関連施設利用率	%	64.3	52.9	53.6	52.8	52.7	52.3	49.5	71.4
		H20年度	50.2	50.3	56.4				R2年度
【文化会館】 「芸術・文化」の満足度	%	59.8	65.6	62.7	63.3	69.0	68.3	68.8	70
		H21年度	70.0	68.2	70.0				R2年度
【文化会館】 文化協会登録者数	人	1,388	1,212	1,219	1,198	1,131	1,100	1,026	1,500
		H20年度	993	960	927				R2年度
【芸術文化ホール】 施設稼働率	%	62	55.7	57.3	57.8	58.1	63.2	66.1	70
		H20年度	71.1	67.0	71.5				R2年度
【芸術文化ホール】 自主文化事業入場率	%	63	65.3	63.4	58.5	57.5	47.7	54.2	75
		H20年度	49.8	71.6	65.6				R2年度
【芸術文化ホール】 芸術文化団体主催事業 開催数	回	5	4	5	7	6	6	6	8
		H20年度	9	7	7				R2年度

指 標 名	単位	基 準 値	実 績						目 標 値
			H22年度 H28年度	H23年度 H29年度	H24年度 H30年度	H25年度 R1年度	H26年度 R2年度	H27年度	
【哲学たいけん村無我苑】 施設稼働率	%	41.4	43.4	46.4	50.3	46.7	45.2	41.7	53.5
		H20年度	44.6	46.9	43.3				R 2 年度
【哲学たいけん村無我苑】 観覧者数	人	12,000	15,188	13,327	14,480	15,139	9,371	9,908	12,600
		H20年度	11,403	9,397	9,666				R 2 年度
【哲学たいけん村無我苑】 教育普及事業参加率	%	84.6	89.5	89.6	95.5	88.9	82.5	89.2	90
		H20年度	85.1	93.2	97.4				R 2 年度
【藤井達吉現代美術館】 市内小中学校美術教諭と の情報交換会開催数	年回	—	1	8	11	43	43	36	3
			43	40	55				R 2 年度
【藤井達吉現代美術館】 観覧者数	人	54,445	49,089	61,025	79,156	79,041	42,210	88,117	57,000
		H20年度	58,585	96,250	60,324				R 2 年度
【藤井達吉現代美術館】 教育普及事業参加者数	人	883	1,726	2,508	2,905	2,407	1,587	2,310	1,500
		H20年度	1,535	2,265	1,973				R 2 年度

2 文化財の保護と活用

指 標 名	単位	基 準 値	実 績						目 標 値
			H22年度 H28年度	H23年度 H29年度	H24年度 H30年度	H25年度 R1年度	H26年度 R2年度	H27年度	
指定文化財件数	件	42	48	48	53	56	56	56	53
		H21年度	56	56	59				R 2 年度
史料集の発刊数	集	70	72	74	76	77	78	80	80
		H21年度	80	81	82				R 2 年度
企画展入場者数	人/回	4,898	9,890	3,048	3,284	10,248	3,515	4,137	7,000
		H21年度	3,162	5,132	3,926				R 2 年度

3 活用される学術資源の充実

指 標 名	単位	基 準 値	実 績						目 標 値
			H22年度 H28年度	H23年度 H29年度	H24年度 H30年度	H25年度 R1年度	H26年度 R2年度	H27年度	
図書館貸出利用者数	人	156,397	153,968	149,909	140,613	135,610	127,161	130,414	160,000
		H20年度	122,204	116,894	115,373				R 2 年度
図書館登録者(市民登録 者)数	人	28,219	30,683	32,052	33,273	34,431	31,965	33,005	30,000
		H20年度	34,031	35,021	36,059				R 2 年度
海浜水族館展示種類数	種	300	340	341	348	327	329	325	300
		H21年度	300	283	273				R 2 年度
海浜水族館・青少年海の 科学館年間入場者数	人	131,371	129,717	131,804	131,565	132,871	130,961	128,909	140,000
		H20年度	131,783	138,256	117,664				R 2 年度

第 5 章 信頼される開かれたまちづくり(行財政分野)

第 1 節 市民協働型行政のまちづくり

1 広報・広聴活動の推進

指 標 名	単位	基 準 値	実 績						目 標 値
			H22年度 H28年度	H23年度 H29年度	H24年度 H30年度	H25年度 R1年度	H26年度 R2年度	H27年度	
市政アンケート回答率	%	57.9	65.9	57.7	59.4	57.2	54.9	58.3	70
		H21年度	53.6	55.3	50.5				R 2 年度
ホームページアクセス件数	件/月	約21,000	24,536	25,319	24,976	26,677	27,151	28,222	約25,000
		H21年度	25,875	16,986	65,230				R 2 年度

2 市民に満足されるサービスの提供

指 標 名	単位	基 準 値	実 績						目 標 値
			H22年度 H28年度	H23年度 H29年度	H24年度 H30年度	H25年度 R1年度	H26年度 R2年度	H27年度	
「市民窓口サービス」の満足度	%	91	86.2	83.3	84.9	86.0	85.3	87.1	97
		H21年度	86.1	84.3	86.5				R 2 年度
公共施設あり方計画策定	—	—	協議中	協議中	協議中	協議中	協議中	協議中	策定
			策定	【完了】					H25年度

3 信頼される行政運営の推進

指 標 名	単位	基 準 値	実 績						目 標 値
			H22年度 H28年度	H23年度 H29年度	H24年度 H30年度	H25年度 R1年度	H26年度 R2年度	H27年度	
総合計画進捗管理システムの構築	—	—	構築	【完了】					構築
									H24年度
第2次行政経営計画の策定	—	—	策定	【完了】					策定
									H23年度
情報システムのオープン化率	%	10	10	60	100	【完了】			50
		H21年度							R 2 年度

4 効果的な広域行政の推進

指 標 名	単位	基 準 値	実 績						目 標 値
			H22年度 H28年度	H23年度 H29年度	H24年度 H30年度	H25年度 R1年度	H26年度 R2年度	H27年度	
広域のごみ処理施設計画の策定	—	—	—	協議中	協議中	策定	【完了】		策定
									H26年度
コミュニティFMの認知度	%	35.3	39.6	40.2	40.2	44.2	47.7	49.7	55
		H21年度	47.8	50.3	50.3				R 2 年度
災害時相互応援協定締結都市数	自治体	1	1	2	3	3	3	3	3
		H21年度	3	3	3				R 2 年度

第 2 節 健全な財政を推進するまちづくり

1 安定的な財政運営の推進

指 標 名	単位	基 準 値	実 績						目 標 値
			H22年度 H28年度	H23年度 H29年度	H24年度 H30年度	H25年度 R1年度	H26年度 R2年度	H27年度	
行政コスト対公共資産比率	%	20.5	21.0	21.7	22.0	21.0	21.8	23.1	15
		H20年度	26.9	27.0	—				R 2 年度
使用料・手数料の見直し	—	—	協議中	協議中	協議中	実施済	実施済	実施済	5年毎の見直し
			実施済	実施済	実施済				H27年度
経常収支比率	%	98	91.6	93.5	96.0	92.0	85.2	84.0	75.0以内
		H21年度	85.0	91.0	86.4				R 2 年度

2 公平・公正な税務の推進

指 標 名	単位	基 準 値	実 績						目 標 値
			H22年度 H28年度	H23年度 H29年度	H24年度 H30年度	H25年度 R1年度	H26年度 R2年度	H27年度	
電子申告率	%	1	12.0	15.1	20.0	26.3	34.0	34.8	75
		H22年	36.2	42.9	50.3				R 2 年
市税収納率	%	96.4	95.3	95.5	96.4	97.3	98.3	98.6	97
		H20年度	99.0	99.1	99.2				R 2 年度
口座振替利用率	%	40.1	37.3	37.1	36.6	35.9	37.0	37.1	50
		H20年度	37.5	37.4	36.9				R 2 年度

第6次碧南市総合計画策定に係る 子育て世代webアンケート

調査結果報告書

平成31年2月

目 次

序 章 調査の概要	1
1. 調査の目的	1
2. 調査方法	1
3. 回収結果	1
4. 本報告書における注意事項	1
第1章 回答者の属性	2
(1) 性別	2
(2) 年齢	3
(3) 未婚	4
(4) 職業	5
(5) 同居している子どもの人数	6
第2章 子育て支援や教育環境について	7
(1) 子育て支援策・教育環境の評価	7
(2) 子育てしやすいまち	16
(3) 子育てしやすいまちと選んだ理由	17
(4) 日本一子育てしやすいまちにするための施策	19
第3章 定住環境について	20
(1) 住宅の所有関係	20
(2) 定住意向	21
(3) 住んでみたい都市	22
(4) 住んでみたい都市を選んだ理由	23
(5) 碧南市の弱点や魅力に欠ける点	24
(6) 碧南市の魅力や訪れた目的	25

序 章 調査の概要

1. 調査の目的

本調査は第6次碧南市総合計画を策定するにあたり、市外へ流出している子育て世代の市内定住を促進するため、本市及び近隣市の子育て環境の評価や課題を比較分析し、定住促進策の検討資料を作成することを目的に実施しました。

2. 調査方法

本調査の概要は以下に示すとおりです。

(1) 調査対象

d ポイントクラブ会員のうち、碧南市及び近隣市在住の25歳以上39歳以下の人を対象
(碧南市、半田市、刈谷市、安城市、西尾市、知立市、高浜市在住者)

(2) 回収結果 : 母数7,133、回答数1,177、回収率16.5%

(3) 調査時期 : 平成30年11月30日～平成31年1月8日

3. 都市別対象者数

都市別の対象者数は、次の通りです。

対象地域	対象者数	割合
碧南市	108	9.18%
刈谷市	233	19.80%
安城市	260	22.09%
西尾市	214	18.18%
知立市	110	9.35%
高浜市	58	4.93%
半田市	194	16.48%
合計	1,177	100%

4. 本報告書における注意事項

- 図中の構成比(%)は、小数点以下第2位を四捨五入して算出しています。そのため構成比をそのまま合計しても、必ずしも合計が100.0%にならない場合があります。
- 表、グラフ等の見出しおよび文章中の選択肢の表現については、趣旨が変わらない程度に簡略化しているものもあります。
- 回答率の母数は、原則としてその質問の回答者数であり、表、グラフ内では「n=〇〇」と表示しています。

第1章 回答者の属性

(1) 性別

◆男性が3割、女性が7割弱を占めています。

○回答者の性別は男性が 388 人 (33.0%)、女性が 789 人 (67.0%) と、女性の割合が高くなっています。

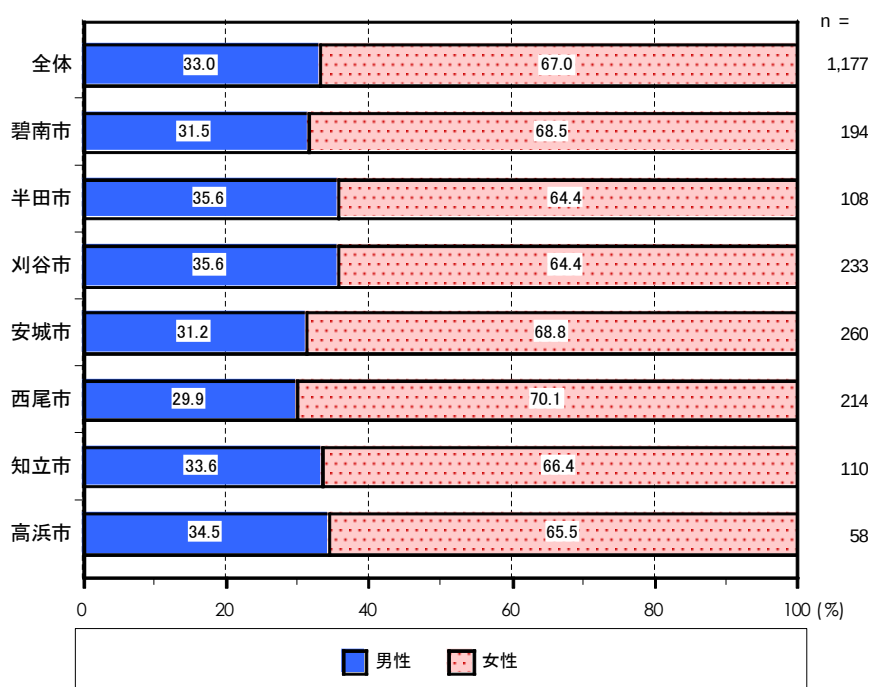


図 1-1 回答者の性別 (居住地別)

(2) 年齢

◆30 歳以上が8割以上を占めています。

○回答者の年齢は「25～29 歳」が 222 人 (18.9%)、「30～34 歳」が 427 人 (36.3%)、「35～39 歳」が 528 人 (44.9%) と、30 歳以上が 8 割以上を占めています。

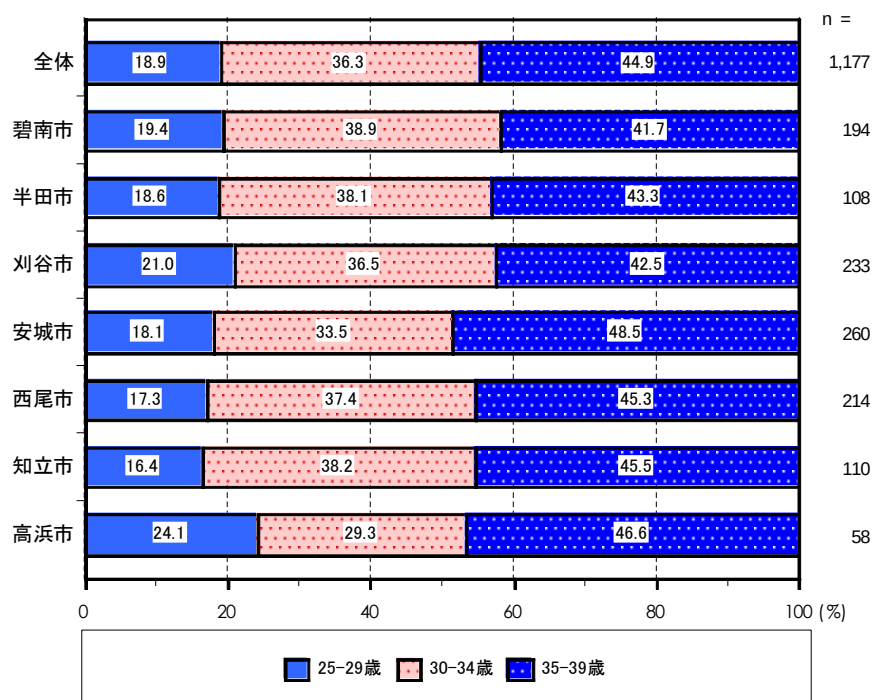


図 1-2 回答者の年齢（居住地別）

(3) 未既婚

◆結婚している人が7割弱を占めています。

○回答者の未既婚の状況について、「結婚している」が802人(68.1%)、「結婚していない」が375人(31.9%)と、結婚している方が7割弱を占めています。

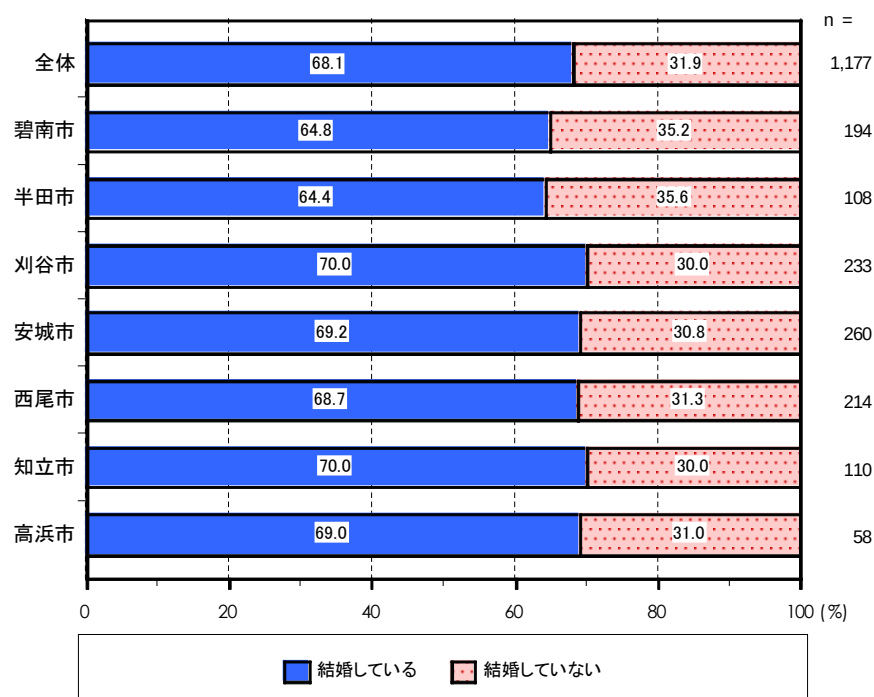


図 1-3 回答者の未既婚 (居住地別)

(4) 職業

◆職業は会社員、専業主婦・専業主夫、パート・アルバイトが多くなっています。

○回答者の職業は、「会社員」が 503 人 (42.7%) で最も多く、次いで「専業主婦・専業主夫」が 274 人 (23.3%)、「パート・アルバイト」が 211 人 (17.9%) となっています。

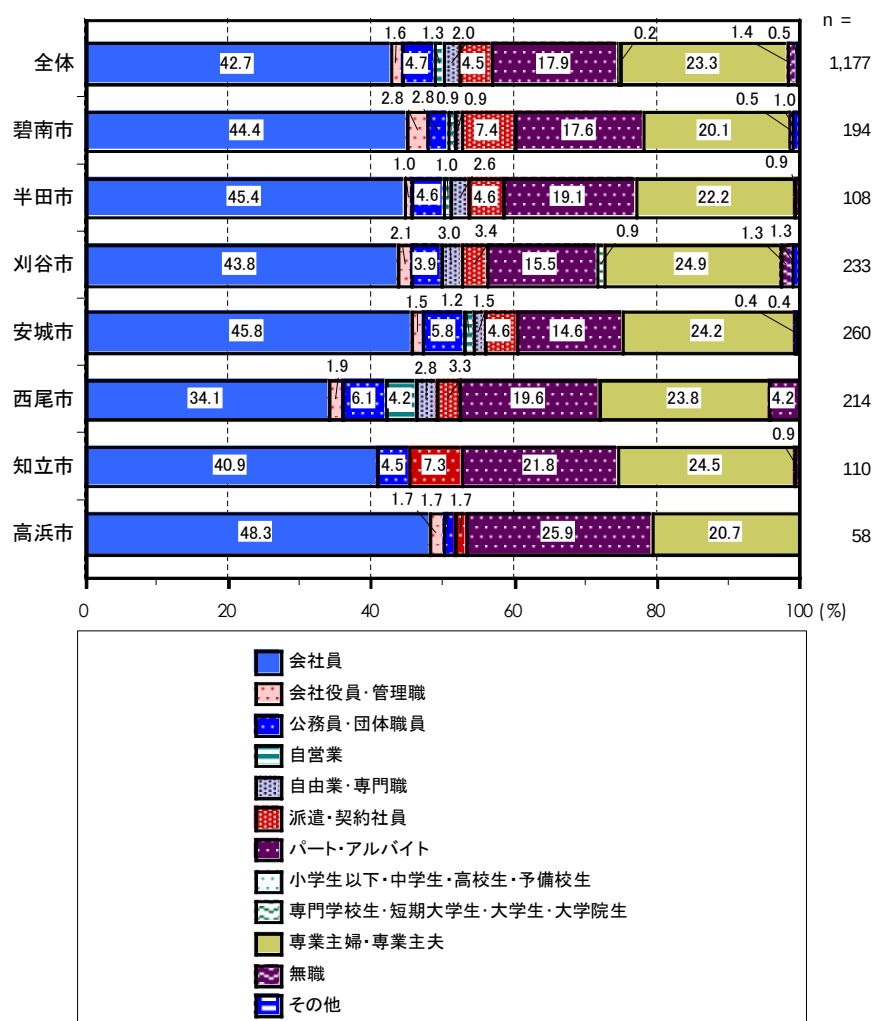


図 1-4 回答者の職業（居住地別）

(5) 同居している子どもの人数

◆同居している子どもの人数は、0人が4割、1人が2割、2人以上が3割弱となっています。

○回答者と同居している子どもの人数は、「0人」が 517 人 (43.9%) で最も多く、次いで「2人」が 283 人 (24.0%)、「1人」が 235 人 (20.0%)、「3人」が 104 人 (8.8%)、「4人以上」が 38 人 (3.2%) となっています。

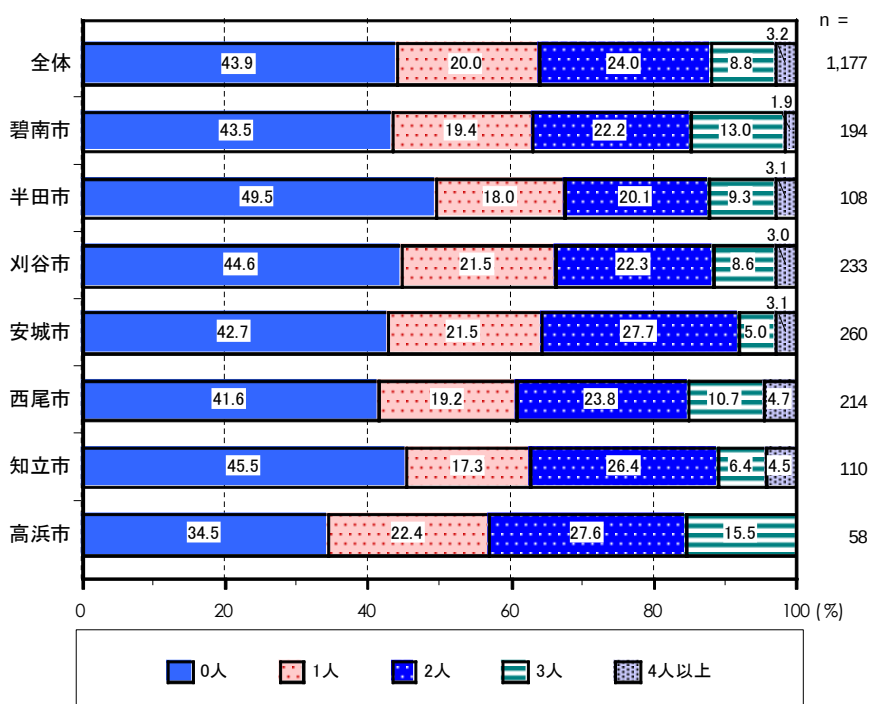


図 1-5 回答者の同居子ども人数（居住地別）

第2章 子育て支援や教育環境について

(1) 子育て・教育環境の評価

問1～8 あなたがお住まいの市の子育て支援策および教育環境は、どの程度充実していると思いますか。

①保育園・幼稚園の受入れ（施設数、定員、低年齢保育）

◆碧南市の保育園・幼稚園の受入について、5割が充実していると考えており、全体や他都市と比べて高くなっています。

○保育園・幼稚園の受入れについて、全体では「大変充実している」が6.5%、「ある程度充実している」が33.6%、「普通」が46.6%、「あまり充実していない」が9.8%、「全く充実していない」が3.7%となっています。

○碧南市民だけで見ると、「大変充実している」が6.5%、「ある程度充実している」が43.5%と、全体と比べて充実している割合が高くなっています。

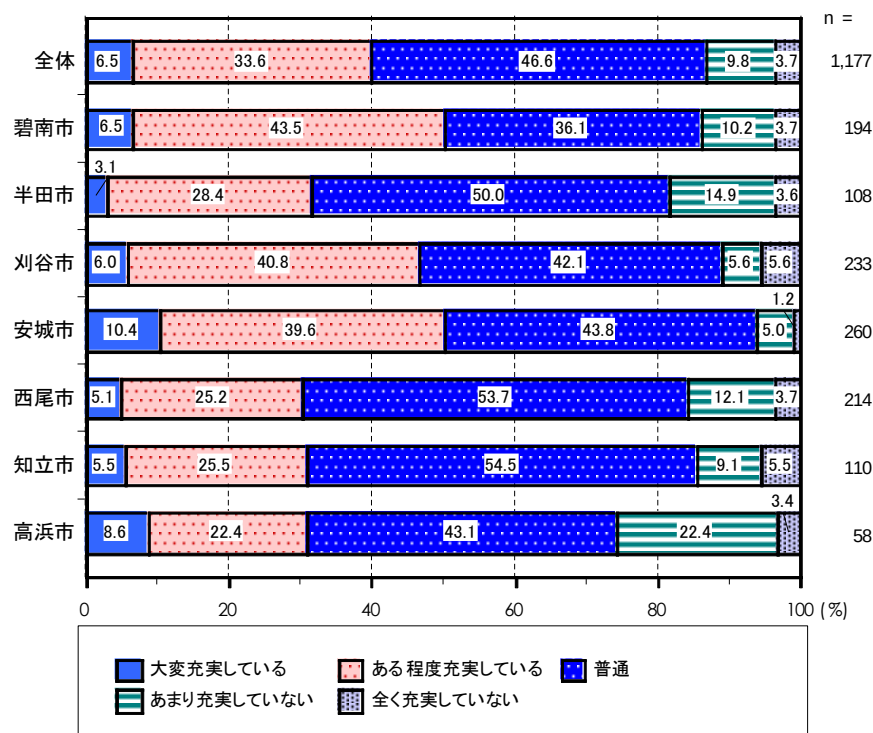


図 2-1 保育園・幼稚園の受入れの評価（居住地別）

②子ども医療費等の費用の軽減・補助

◆碧南市の子ども医療費等の費用の軽減・補助について、5割以上が充実していると考えており、全体と比べて高くなっています。

○子ども医療費等の費用の軽減・補助について、全体では「大変充実している」が14.4%、「ある程度充実している」が32.7%、「普通」が41.4%、「あまり充実していない」が8.2%、「全く充実していない」が3.3%となっています。

○碧南市民だけで見ると、「大変充実している」が14.8%、「ある程度充実している」が40.7%、「普通」が38.0%、「あまり充実していない」が4.6%、「全く充実していない」が1.9%と、全体と比べて充実している割合が高く、安城市に次いで高くなっています。

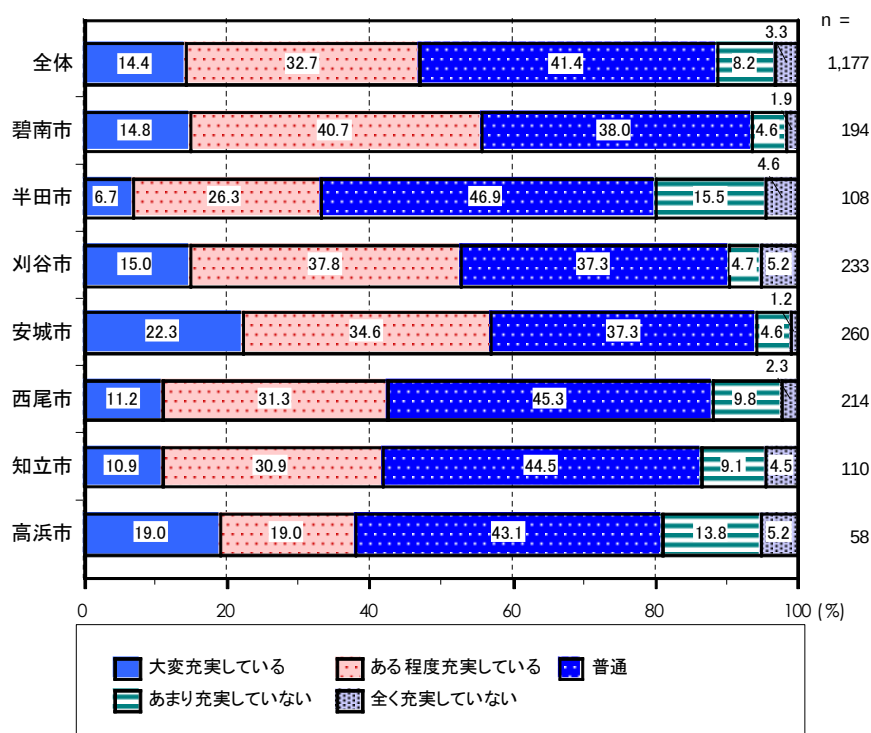


図 2-2 子ども医療費等の費用の軽減・補助の評価（居住地別）

③保育園・幼稚園等の費用の軽減・補助

◆碧南市の保育園・幼稚園等の費用の軽減・補助について、4割弱が充実していると考えており、全体と比べて高くなっています。

○保育園・幼稚園等の費用の軽減・補助について、全体では「大変充実している」が5.4%、「ある程度充実している」が24.4%、「普通」が54.8%、「あまり充実していない」が12.1%、「全く充実していない」が3.4%となっています。

○碧南市民だけで見ると、「大変充実している」が3.7%、「ある程度充実している」が33.3%と、全体と比べて充実している割合が高くなっていますが、安城市に次いで高くなっています。

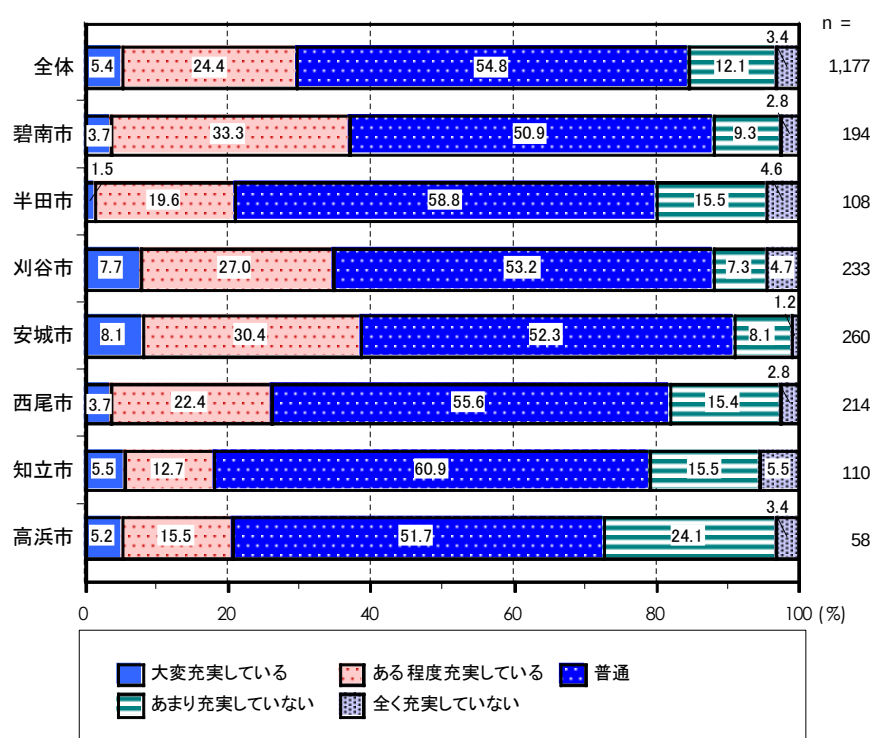


図 2-3 保育園・幼稚園等の費用の軽減・補助の評価（居住地別）

④小・中学校の教育環境

◆碧南市の小・中学校の教育環境について、3割程度が充実していると考えており、全体と比べて高くなっていますが、刈谷市や安城市に比べて低くなっています。

○小・中学校の教育環境について、全体では「大変充実している」が3.4%、「ある程度充実している」が24.8%、「普通」が56.8%、「あまり充実していない」が11.5%、「全く充実していない」が3.5%となっています。

○碧南市民だけで見ると、「大変充実している」が3.7%、「ある程度充実している」が27.8%と、全体と比べて充実している割合が高く、刈谷市、安城市に次いで高くなっています。

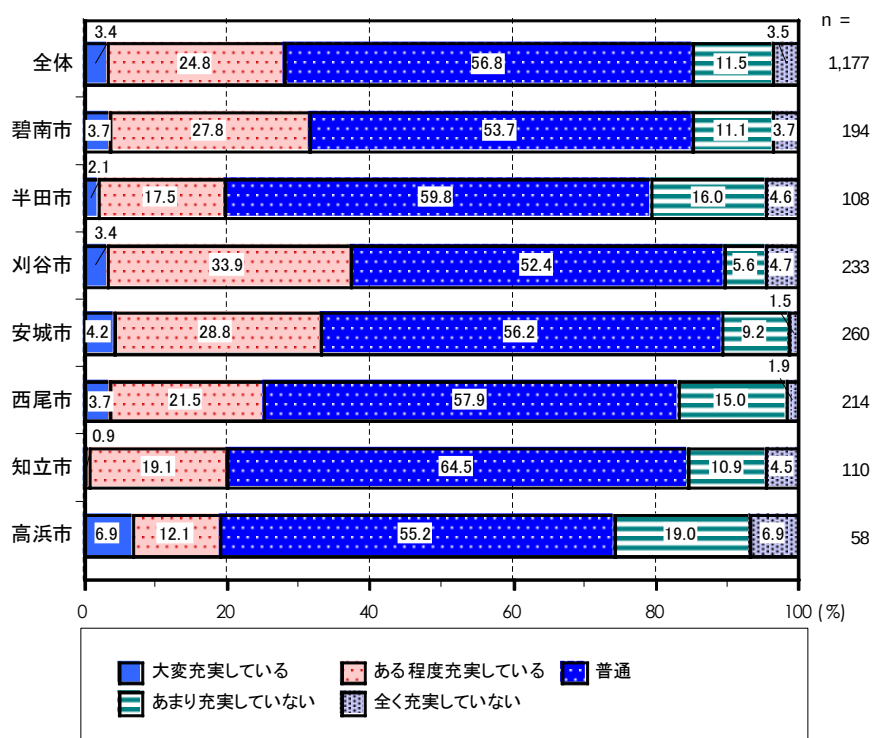


図 2-4 小・中学校の教育環境の評価（居住地別）

⑤子どもの居場所（学童保育、児童館、遊び場、公園など）

◆碧南市の子どもの居場所について、4割強が充実していると考えており、全体と比べて高くなっていますが、刈谷市に比べて低くなっています。

○子どもの居場所について、全体では「大変充実している」が7.1%、「ある程度充実している」が28.5%、「普通」が43.0%、「あまり充実していない」が16.3%、「全く充実していない」が5.0%となっています。

○碧南市民だけで見ると、「大変充実している」が9.3%、「ある程度充実している」が36.1%と、全体と比べて充実している割合が高くなっていますが、刈谷市に次いで高くなっています。

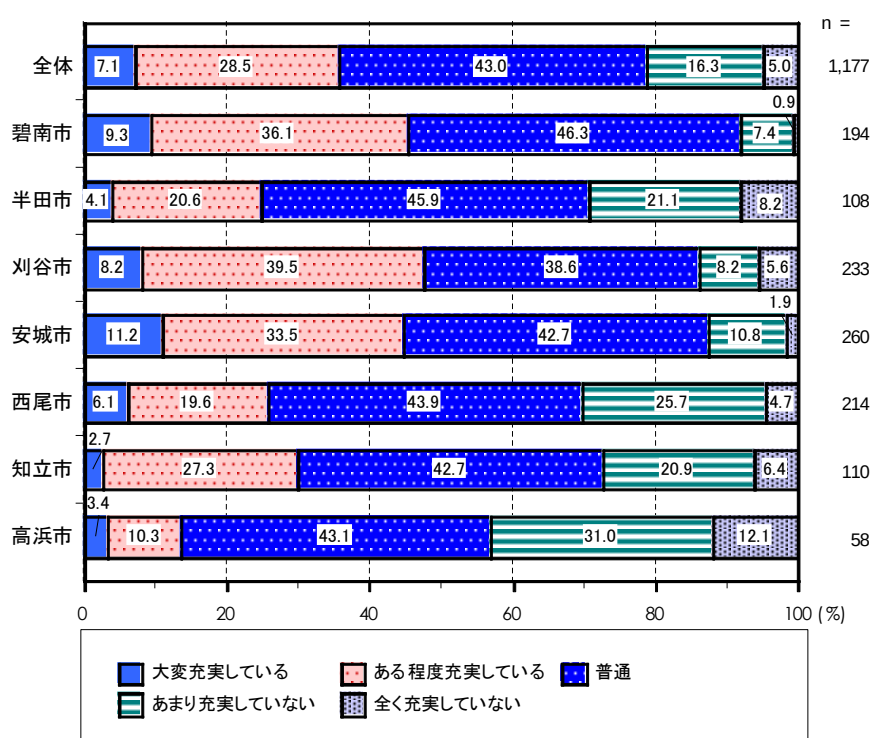


図 2-5 子どもの居場所の評価（居住地別）

⑥子どものスポーツ、文化活動の環境

◆碧南市の子どものスポーツ、文化活動の環境について、3割が充実していると考えており、全体と比べて高くなっていますが、刈谷市に比べて低くなっています。

○子どものスポーツ、文化活動の環境について、全体では「大変充実している」が3.2%、「ある程度充実している」が20.5%、「普通」が57.7%、「あまり充実していない」が14.4%、「全く充実していない」が4.2%となっています。

○碧南市民だけで見ると、「大変充実している」が5.6%、「ある程度充実している」が25.0%と、全体と比べて充実している割合が高く、刈谷市に次いで高くなっています。

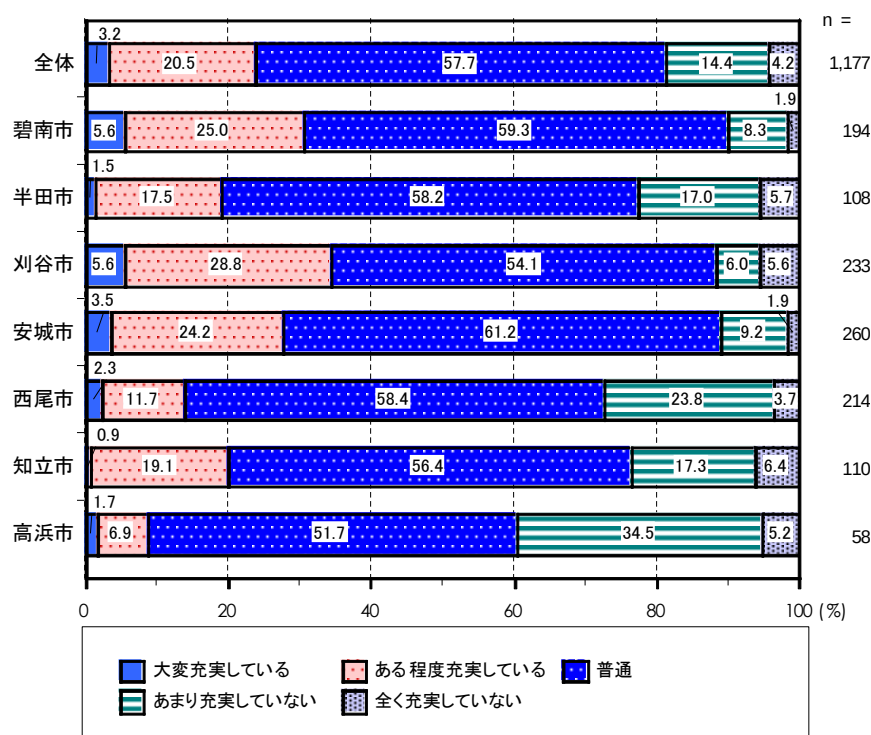


図 2-6 子どものスポーツ、文化活動の環境の評価（居住地別）

⑦子どもの医療体制（小児科・救急病院）

◆碧南市の子どもの医療体制について、4割弱が充実していると考えており、全体と比べて高くなっていますが、安城市や刈谷市に比べて低くなっています。

○子どもの医療体制について、全体では「大変充実している」が6.5%、「ある程度充実している」が30.9%、「普通」が43.8%、「あまり充実していない」が14.4%、「全く充実していない」が4.5%となっています。

○碧南市民だけで見ると、「大変充実している」が2.8%、「ある程度充実している」が37.0%と、全体と比べて「大変充実している」の割合は低くなっていますが、「ある程度充実している」の割合が高くなっています。しかし、安城市や刈谷市よりは低くなっています。

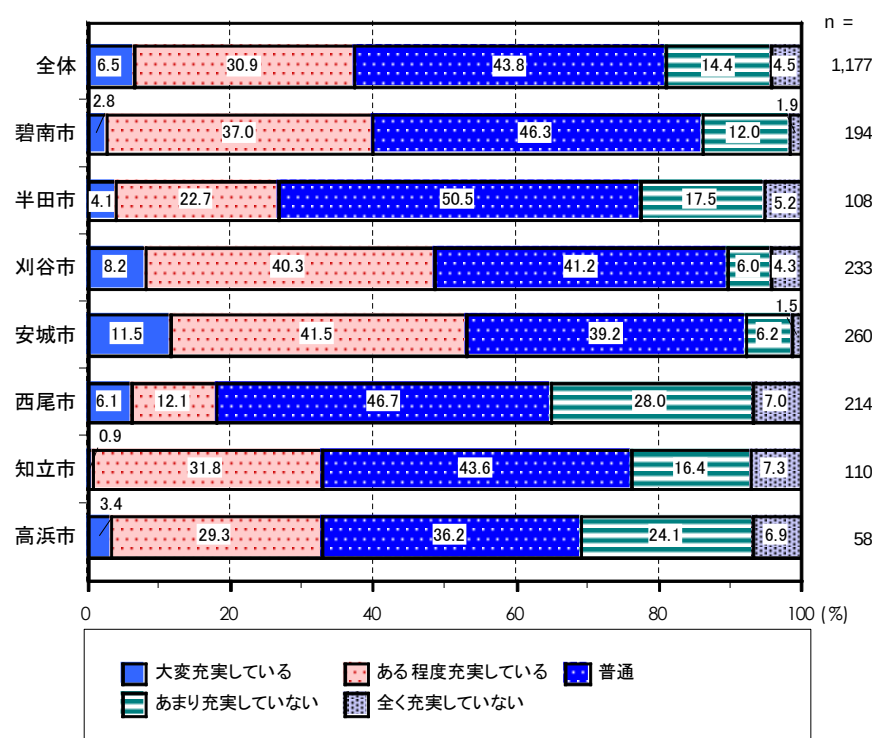


図 2-7 子どもの医療体制の評価（居住地別）

⑧子どもや子育て中の親に対する周囲の理解やサポート

◆碧南市の子どもや子育て中の親に対する周囲の理解やサポートについて、3割弱が充実していると考えており、全体と比べて高くなっていますが、刈谷市に比べて低くなっています。

○子どもや子育て中の親に対する周囲の理解やサポートについて、全体では「大変充実している」が3.5%、「ある程度充実している」が21.2%、「普通」が56.7%、「あまり充実していない」が14.9%、「全く充実していない」が3.8%となっています。

○碧南市民だけで見ると、「大変充実している」が4.6%、「ある程度充実している」が24.1%と、全体と比べて充実している割合が高く、刈谷市に次いで高くなっています。

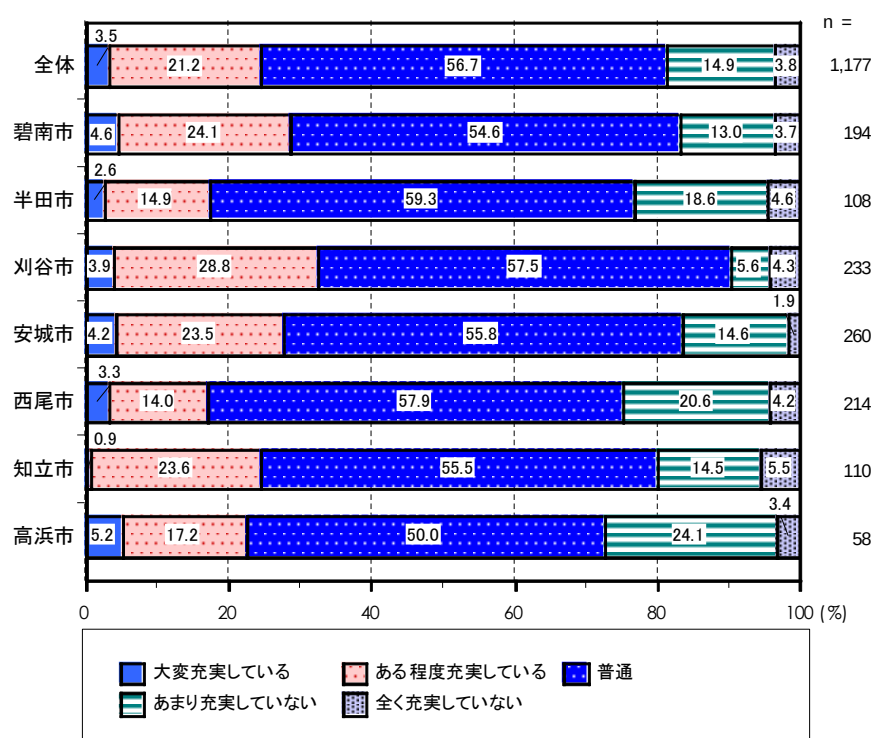


図 2-8 子どもや子育て中の親に対する周囲の理解やサポートの評価（居住地別）

⑨評価のまとめ

◆碧南市の子育て支援策および教育環境については、「子ども医療費等の費用の軽減・補助」、「保育園・幼稚園の受入れ」、「子どもの居場所」が高くなっています。

○碧南市の子育て支援策および教育環境の評価について、「大変充実している」と「ある程度充実している」をあわせた結果を見ると、「子ども医療費等の費用の軽減・補助」が 55.5% で最も割合が高く、次いで「保育園・幼稚園の受入れ」が 50.0%、「子どもの居場所」が 45.4%と高くなっています。

○逆に評価が低い項目は、「子どもや子育て中の親に対する周囲の理解やサポート」が 28.7%、「子どものスポーツ、文化活動の環境」が 30.6%、「小・中学校の教育環境」が 31.5%となっています。

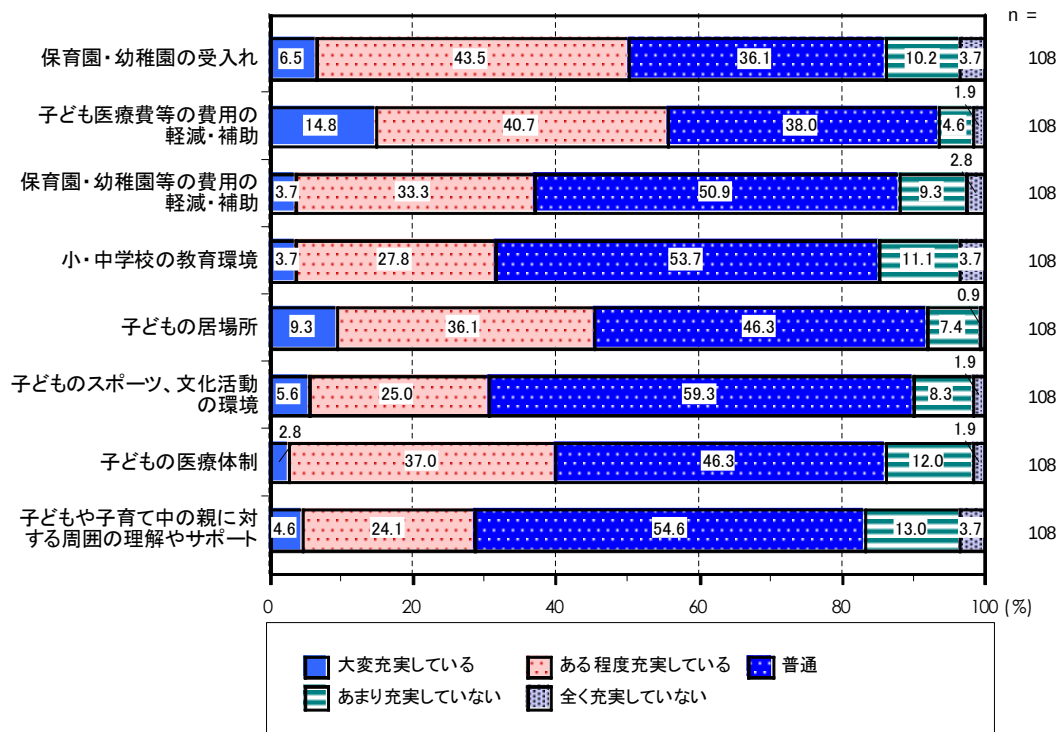


図 2-9 碧南市の子育て支援策および教育環境の評価（碧南市民のみ）

（２）子育てしやすいまち

問９ 次の市の中で、“子育てしやすいまち”という印象の市はどこですか。

◆住んでいる都市を子育てしやすいまちと考えている人の割合が高くなっており、碧南市民の６割弱が碧南市を子育てしやすいまちだと考えています。

○子育てしやすいまちという印象を持つ都市は、全体では「刈谷市」が 36.7%で最も割合が高くなっています。次いで「安城市」が 27.5%、「碧南市」が 13.0%（153 名）となっています。対象者の碧南市の割合（9.18%）よりもやや高く、碧南市を子育てしやすいまちという印象を持っている市外の人やや多くなっています。

○碧南市民だけで見ると、「碧南市」が 56.5%で最も割合が高く、次いで「刈谷市」が 18.5%、「安城市」が 14.8%と続いています。

○なお、西尾市民の 20.6%、高浜市民の 17.2%は、碧南市を子育てしやすいまちと思っています。

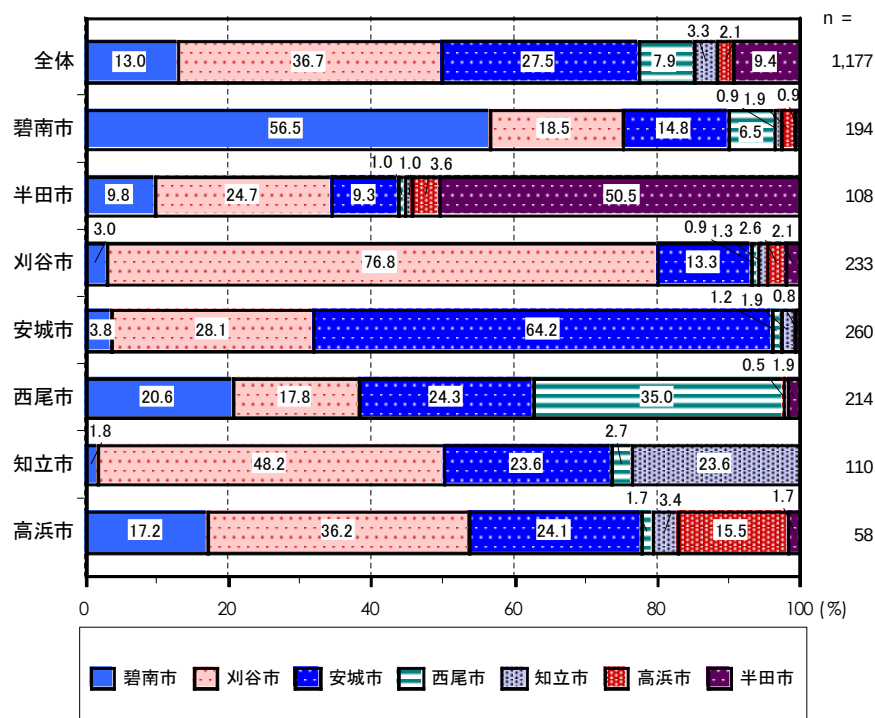


図 2-10 子育てしやすい印象の都市（居住地別）

(3) 子育てしやすいまちと選んだ理由

問 10 あなたが問2で“子育てしやすいまち”という印象にあてはまる市として選んだ理由を教えてください。(3つまで回答)

◆碧南市民は「医療費、保育園・幼稚園の費用等の経済的な支援が充実している」や「子どもの遊び場や公園が充実している」などを子育てしやすいまちとして考えています。

○子育てしやすいまちとして選んだ理由は、全体では「子どもの遊び場や公園が充実している」が30.8%で最も割合が高くなっています。次いで「保育園・幼稚園が充実している」が26.8%、「医療費、保育園・幼稚園の費用等の経済的な支援が充実している」が26.3%、「学童保育、児童館、幼児の遊び場などの子どもの居場所が充実している」が24.0%となっています。

○碧南市民だけで見ると、「医療費、保育園・幼稚園の費用等の経済的な支援が充実している」が33.3%で最も割合が高く、次いで「子どもの遊び場や公園が充実している」が31.5%、「保育園・幼稚園が充実している」が27.8%、「学童保育、児童館、幼児の遊び場などの子どもの居場所が充実している」が23.1%と続いています。

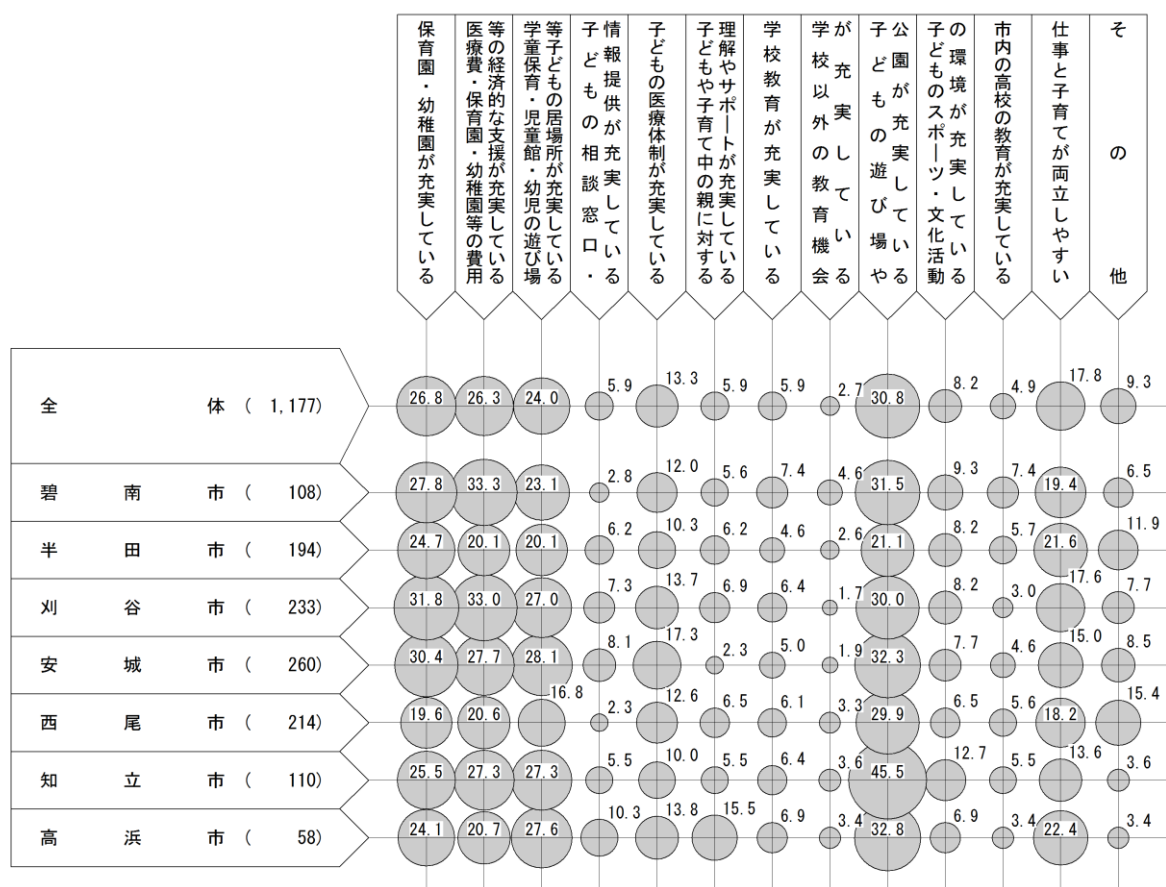


図 2-11 子育てしやすいまちと思った理由（居住地別）

◆碧南市を子育てしやすいと選んだ方は、「医療費、保育園・幼稚園の費用等の経済的な支援が充実している」や「子どもの遊び場や公園が充実している」を理由にしています。

○子育てしやすいまちとして選んだ都市として、碧南市を選んだ方の理由については、「医療費、保育園・幼稚園の費用等の経済的な支援が充実している」が37.9%で最も割合が高くなっています。次いで、「子どもの遊び場や公園が充実している」が34.0%、「保育園・幼稚園が充実している」、「学童保育、児童館、幼児の遊び場などの子どもの居場所が充実している」がともに27.5%となっています。

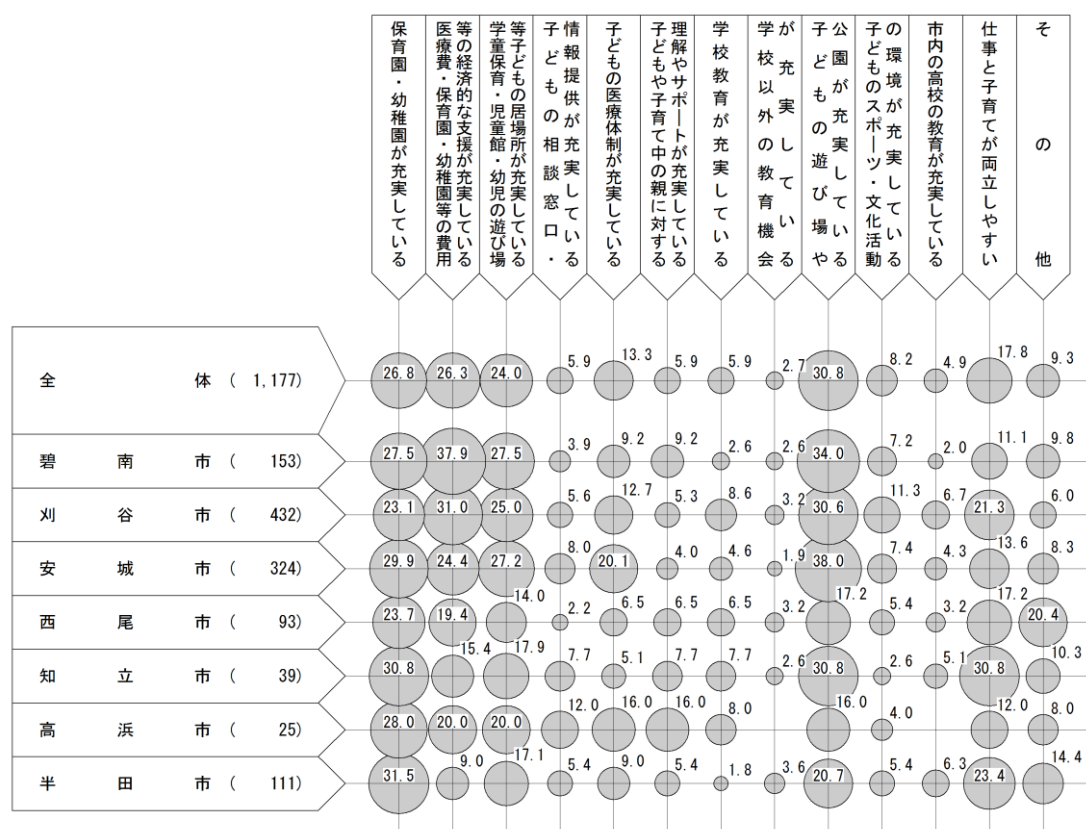


図 2-12 子育てしやすいまちと思った理由（子育てしやすいという印象を持った市別）

（４）日本一子育てしやすいまちにするための施策

問 11 あなたがお住まいの市の市長となって「日本一子育てしやすいまち」をめざすとしたら、どのような施策を充実させる必要があると思いますか。（２つまで回答）

◆碧南市民は「小児医療機関の充実」を約４割の方が望んでいます。また保育園の充実、保育料や給食費の補助の拡充なども求められています。

○日本一子育てしやすいまちにするための施策として、全体では「希望するすべての子どもに対応できるように保育園を充実」が 32.5% で最も割合が高くなっています。次いで「小児医療機関（休日・救急、小児病棟）の充実」が 30.8%、「子どもが遊びたくなる公園や親子で一日遊べる公園の整備」が 25.8% となっています。各項目とも同じ程度の割合となっており、特定の施策よりも総合的な施策の充実が求められていると思われる。

○碧南市民だけで見ると、「小児医療機関（休日・救急、小児病棟）の充実」が 39.8% で最も割合が高く、約４割を占めてします。次いで「希望するすべての子どもに対応できるように保育園を充実」が 35.2%、「保育園の利用料や給食費の補助の拡充」が 26.9% と続いています。

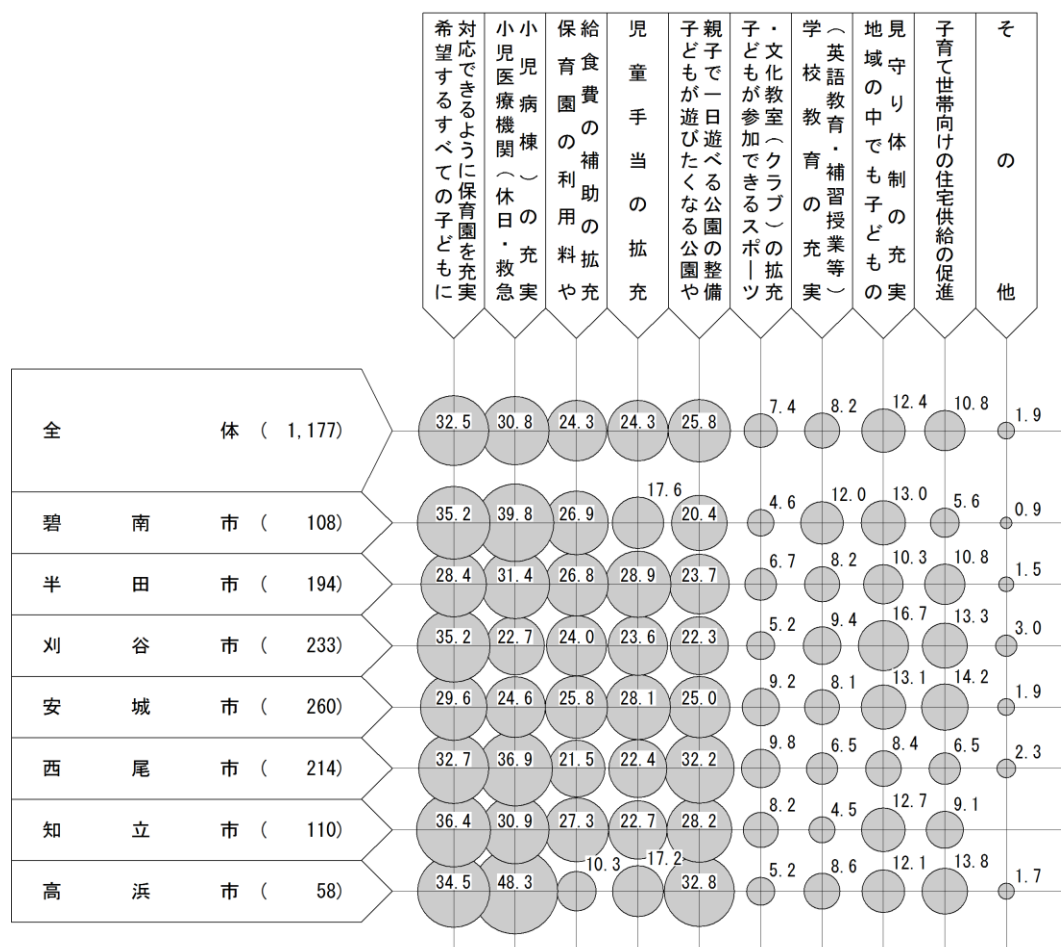


図 2-13 「日本一子育てしやすいまち」にするための施策（居住地別）

第3章 定住環境について

(1) 住宅の所有関係

問 12 あなたが現在のお住まいの住宅の所有関係を教えてください。

◆碧南市民の住宅の所有関係は、他都市と比べても賃貸の割合が高く、逆に自分の持ち家が低い状況になっています。

○住宅の所有関係について、全体では「賃貸」が 37.0% で最も割合が高く、次いで「親など家族が所有」が 31.0%、「自分が所有」が 26.2%、「寮・社宅」が 5.9% となっています。

○碧南市民だけで見ると、「賃貸」が 43.5% で最も割合が高く、他都市と比べても高くなっています。次いで「親など家族が所有」が 31.5%、「自分が所有」が 20.4%、「寮・社宅」が 4.6% となり、持ち家の割合が低くなっています。

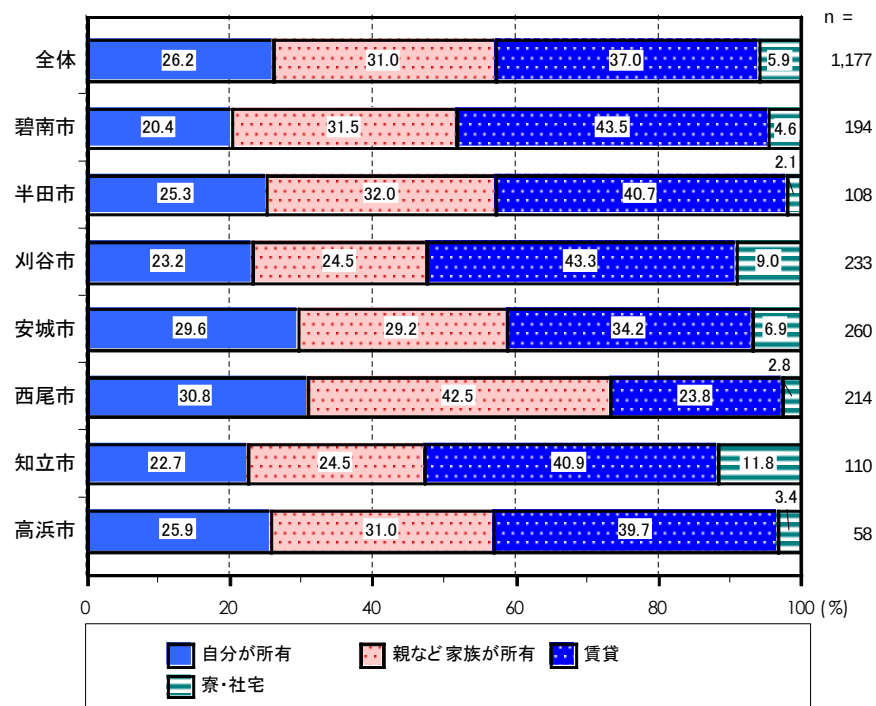


図 3-1 住宅の所有関係（居住地別）

（２）定住意向

問 13 あなたは現在の居住地に今後も住み続けたいと思いますか。

◆碧南市民は今後も住み続けるつもりの方が全体と比べても低く、転居するつもりの方が全体と比べて高くなっています。

○定住意向について、全体では「今後も住み続けるつもりである」が 50.5%で最も割合が高く、半数以上の方が、今後も今の居住地に住み続けたいと考えています。次いで「転居するかもしれない」が 18.7%、「転居するつもりである」が 17.9%となっています。

○碧南市民だけで見ると、「今後も住み続けるつもりである」が 46.3%で最も割合が高くなっていますが、全体や他都市と比べて低くなっています。次いで「転居するつもりである」が 18.5%と全体と比べても高くなっています。

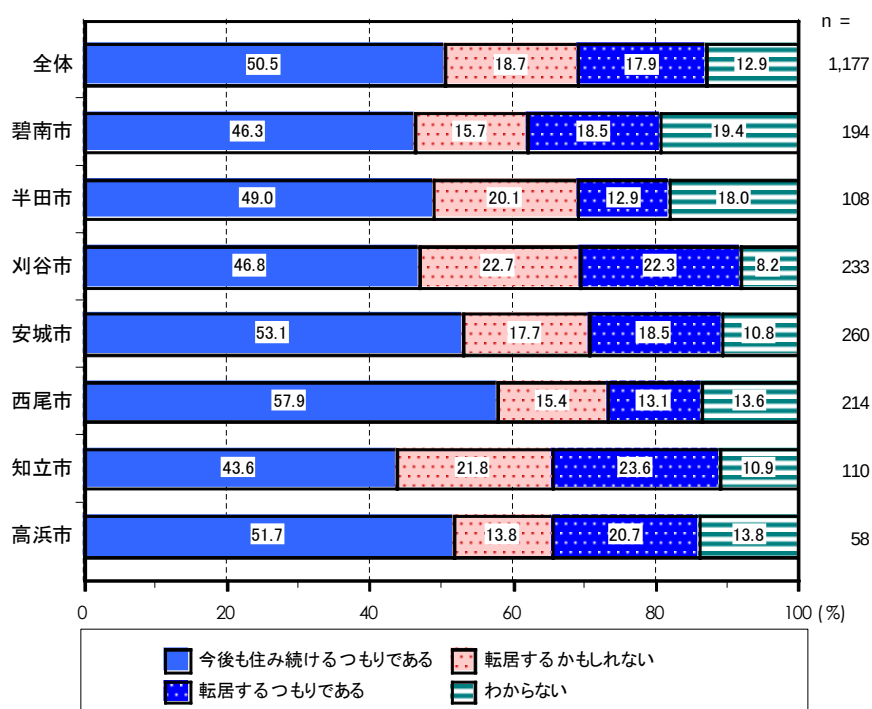


図 3-2 定住意向（居住地別）

(3) 住んでみたい都市

問 14 転居するとした場合、周辺地域で最も住んでみたいと思われる市はどこですか。

◆碧南市民は今後も碧南市に住み続けたい方が多くなっています、刈谷市、名古屋市、安城市の割合も高くなっています。

○住んでみたい都市について、全体では「刈谷市」が 28.0% で最も割合が高くなっています。次いで「名古屋市」が 23.6%、「安城市」が 20.9% となっており、「碧南市」は 8.7% (102 名) と低くなっています。対象者の碧南市の割合 (9.18%) よりもやや高く、市外に住んでみたいという市民の割合がやや多くなっています。

○碧南市民だけで見ると、「碧南市」が 35.2% で最も割合が高く、次いで「刈谷市」が 18.5%、「名古屋市」が 16.7%、「安城市」が 15.7%、「西尾市」が 10.2% となっています。

○なお、西尾市民では「碧南市」を選んだ方が 15.9%、高浜市では 13.8% を占めています。

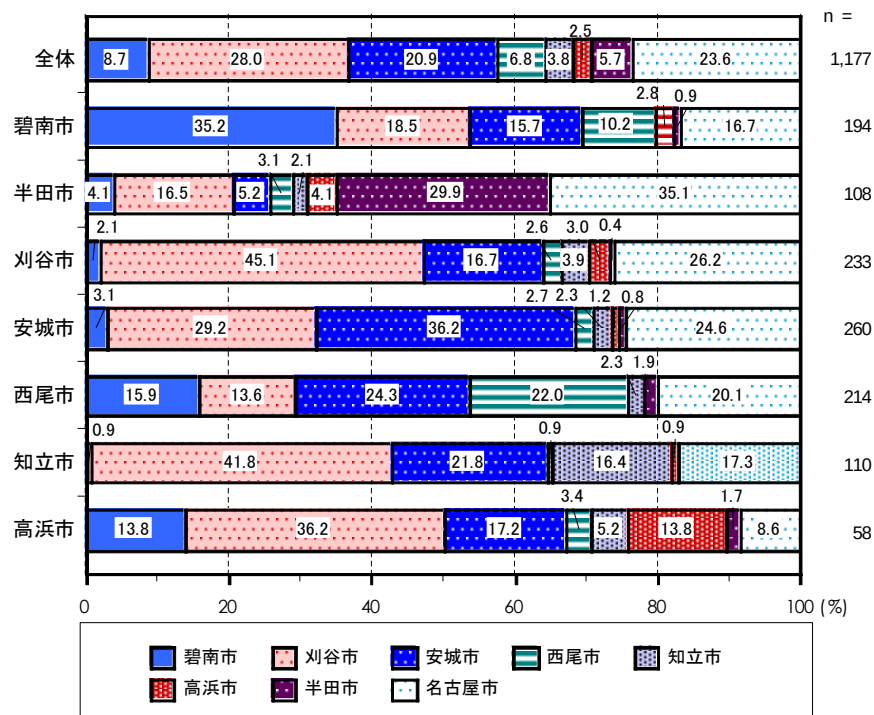


図 3-3 周辺地域で住んでみたい都市（居住地別）

(4) 住んでみたい都市を選んだ理由

問 15 あなたが最も住んでみたい転居先として問7の市を選んだ理由を教えてください。(複数回答)

◆住んでみたい都市として碧南市を選んだ方は、「知人や家族が近くにいるから」、「子育てしやすいまちだから」、「まちのイメージが良いから」を理由にしている割合が高くなっています。

○住んでみたい都市を選んだ理由について、全体では「交通が便利だから」が 56.6%で最も割合が高くなっています。次いで「商業施設が便利だから」が 26.5%、「知人・家族が近くにいるから」が 21.3%、「働く場に近いか」が 20.0%となっています。

○碧南市を選んだ方(102名)で見ると「知人・家族が近くにいるから」が 33.3%で最も割合が高くなっています。次いで「子育てしやすいまちだから」が 25.5%、「まちのイメージが良いから」が 20.6%、「働く場に近いか」が 17.6%、「地域に愛着を感じるから」が 15.7%と続いています。

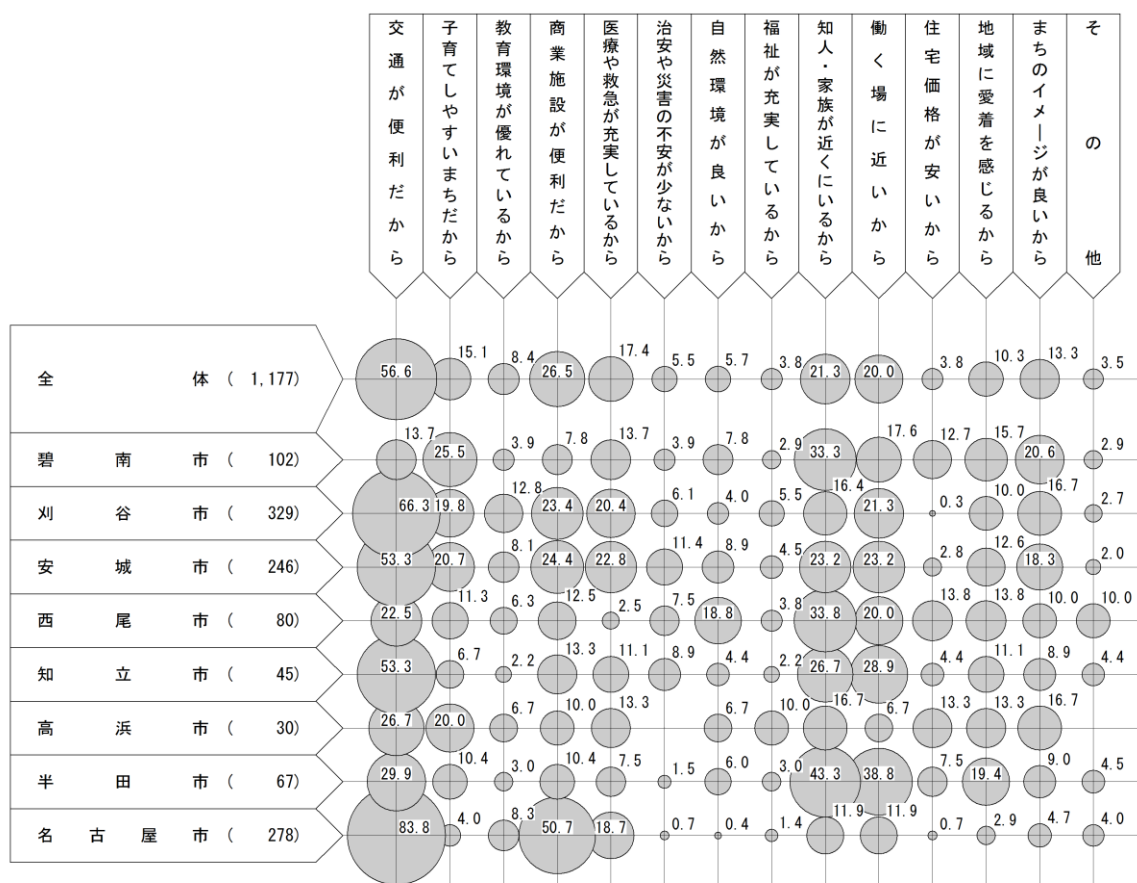


図 3-4 住んでみたい理由 (住んでみたい都市別)

(5) 碧南市の弱点や魅力に欠ける点

問 16 問 14 で「碧南市」を選ばなかった方にお聞きします。「碧南市」の弱点や魅力に欠けると感じる点は何ですか。(複数回答)

◆住んでみたい都市として碧南市を選ばなかった方から見た碧南市の弱点や魅力に欠ける点については、交通や買い物が不便なこと、災害の危険性が高いことをあげています。

○問 7 で住んでみたい都市として碧南市を選ばなかった 1,075 名の方から見た碧南市の弱点や魅力に欠ける点については、「交通が不便」が 57.5%で最も割合が高くなっています。

次いで「買い物が不便」が 26.9%、「災害の危険性が高い」が 24.7%と続いています。

○その中で碧南市民(70 名)を見ると、全体と同様に「交通が不便」が 62.9%で最も割合が高く、次いで「買い物が不便」が 35.7%、「災害の危険性が高い」が 24.3%、「まちなぎわいに欠ける」が 21.4%と続いています。

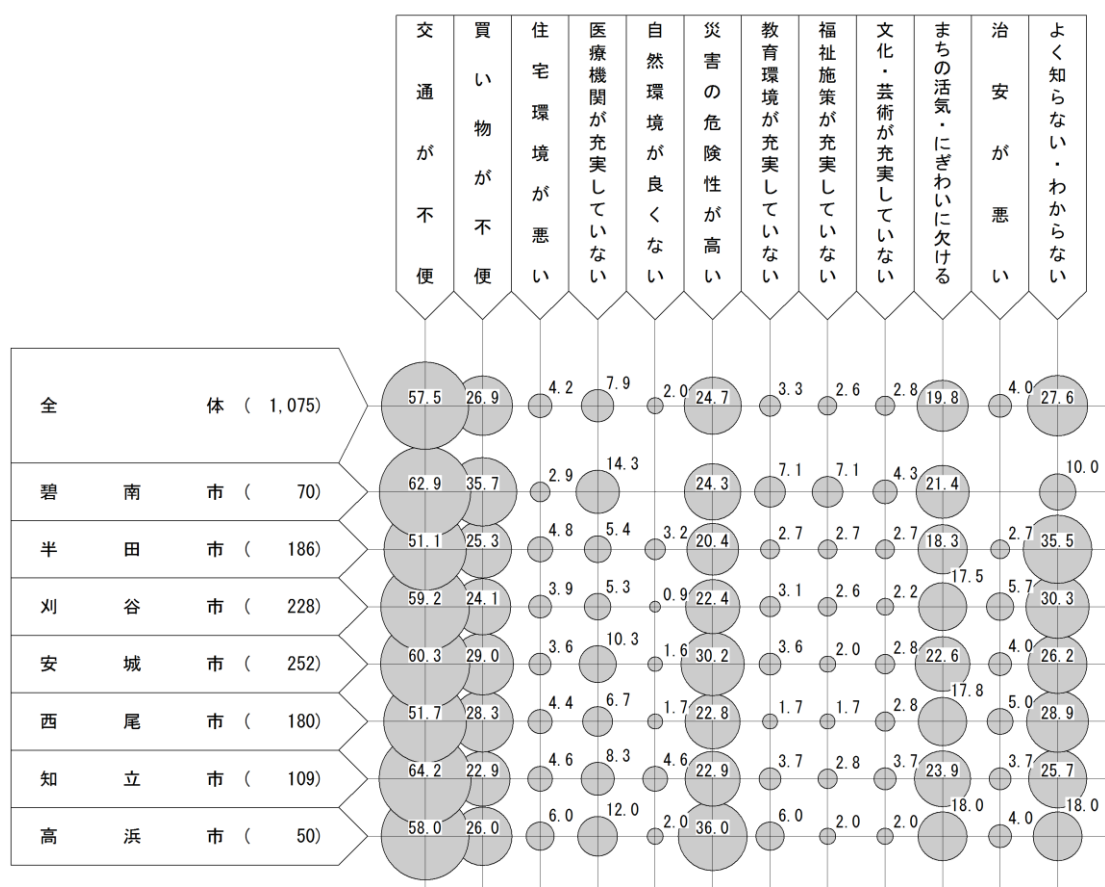


図 3-5 碧南市の弱点や魅力に欠ける点 (居住地別)

（６）碧南市の魅力や訪れた目的

問 17 「碧南市」に住んだことや訪れたことがある方にお聞きます。「碧南市」の魅力や訪れた目的は何ですか。（複数回答）

◆碧南市の魅力や訪れた目的は、よく知らない・わからないを回答した方が４割近くを占めますが、その他、公園・遊園地、仕事、祭り・イベントなどを魅力や訪問目的にしている方が多くなっています。

○碧南市の魅力や訪れた目的については、「よく知らない・わからない」が 39.8%で最も割合が高くなっています。次いで「公園・遊園地」が 28.5%、「祭り・イベント」が 12.8%、「仕事（雇用）」、「飲食店」がそれぞれ 12.7%と続いています。

○碧南市民だけで見ると、「公園・遊園地」が 35.2%で最も割合が高く、次いで「仕事（雇用）」が 31.5%、「祭り・イベント」が 28.7%と続いています。なお、「よく知らない・わからない」が 21.3%を占めています。

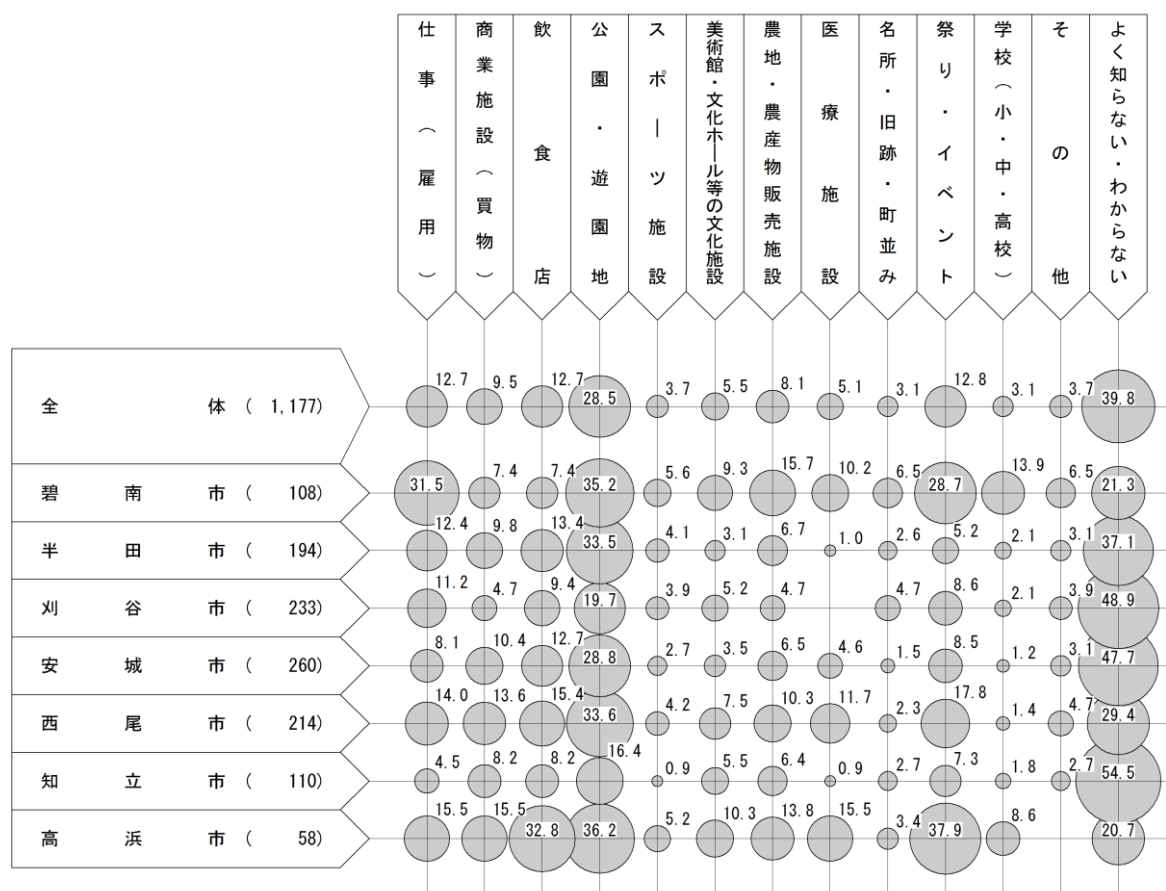


図 3-6 碧南市の魅力や訪れた目的（居住地別）

第 6 次碧南市総合計画策定に係る 高校生アンケート

調査結果報告書

平成 31 年 2 月

目 次

序 章 調査の概要	1
1. 調査の目的	1
2. 調査方法	1
3. 回収結果	1
4. 本報告書における注意事項	1
第1章 回答者の属性	2
(1) 通学している高校	2
(2) 性別	2
(3) 住まい	3
第2章 碧南市のまちについて	4
(1) 碧南市の良さ	4
(2) 碧南市の欠点	5
(3) 碧南市への愛着や親しみ	6
(4) 碧南市への将来の居留意向	7
(5) 碧南市に住みたくない理由	8
(6) 碧南市外で住みたいまちとその理由	9
(7) 住んでいる市町と比べた碧南市の現状（碧南市外居住者対象）	14
(8) 碧南市の施策の満足度と重要度（碧南市内居住者対象）	16
(9) 碧南市への移住・定住施策	19
第3章 碧南市の将来のまちについて	20
(1) 将来の碧南市が目指すまちのイメージ	20
第4章 まちづくりへの関わりについて	21
(1) 地域の行事への参加状況	21
(2) 今後のまちづくり活動への参加意向	22
第5章 就職・職業観について	23
(1) 就職を希望する仕事内容	23
(2) 就職先を選ぶ際に重視すること	24
(3) 碧南市内での就職意向	25
(4) 碧南市内で就職したい理由	26
(5) 碧南市外で就職したい理由	27
(6) 行政による就職支援策	28
第6章 碧南市に対する意見や提案について	29
(1) 碧南市に対する意見や提案	29

序 章 調査の概要

1. 調査の目的

本調査は第6次碧南市総合計画を策定するにあたり、市民対象の「市政アンケート調査」に加えて、高校生を対象に若者の視点から碧南市の現状や課題などに関する意見や要望を把握し、新たな総合計画に役立てることを目的に実施しました。

2. 調査方法

本調査の概要は以下に示すとおりです。

- (1) 調査対象 : 碧南高校及び碧南工業高校に在籍する2年生全員
- (2) 対象者数 : 535人
- (3) 調査方法 : 学校を通じて調査票の配布・回収
- (4) 調査時期 : 平成30年11月

3. 回収結果

アンケートの回収結果は以下に示すとおりです。

配布数	535 票
有効回収数	532 票（白票3票）
有効回収率	99.4%

4. 本報告書における注意事項

- 図中の構成比(%)は、小数点以下第2位を四捨五入して算出しています。そのため構成比をそのまま合計しても、必ずしも合計が100.0%にならない場合があります。
- 表、グラフ等の見出しおよび文章中の選択肢の表現については、趣旨が変わらない程度に簡略化しているものもあります。
- 回答率の母数は、原則としてその質問の回答者数であり、表、グラフ内では「n=〇〇」と表示しています。

第1章 回答者の属性

(1) 通学している高校

問1 あなたの通っている高校を教えてください。

◆碧南高校の生徒が約6割、碧南工業高校の生徒が約4割を占めています。

○回答者の高校は碧南高校が 313 人 (58.8%)、碧南工業高校が 219 人 (41.2%) と、碧南高校の生徒が約6割を占めています。

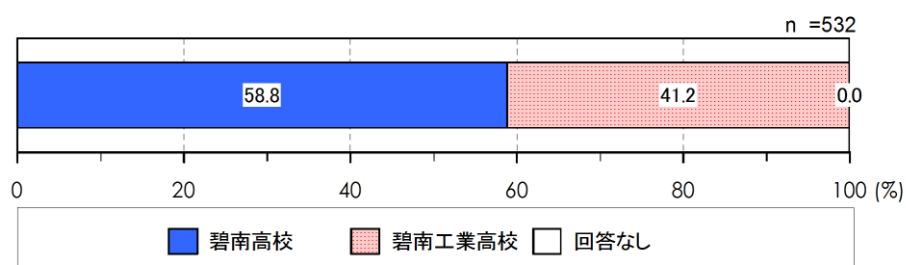


図 1-1 回答者の通っている高校

(2) 性別

問2 あなたの性別を教えてください。

◆男性が約6割%、女性が約4割%と男性の割合が高くなっています。

○回答者の性別は、男性が 297 人 (55.8%)、女性が 232 人 (43.6%) と、男性の割合が高くなっています。

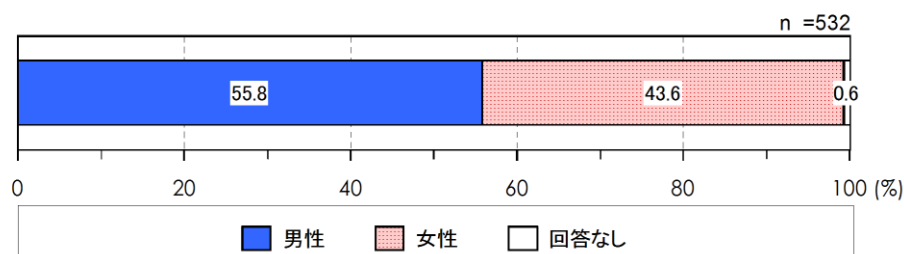


図 1-2 回答者の性別

(3) 住まい

問3 あなたのお住まいを教えてください。

◆碧南市に住んでいる生徒が約4割を占めています。

○回答者の住まいは、碧南市が 39.8%で最も割合が高く、次いで高浜市 (21.8%)、西尾市 (16.7%)、刈谷市 (8.8%) と、近隣市の割合が高くなっています。

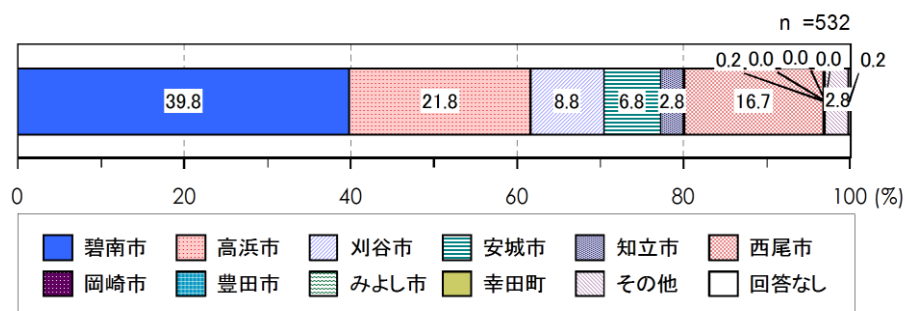


図 1-3 回答者の住まい (市町)

第2章 碧南市のまちについて

(1) 碧南市の良さ

問 4 あなたは、碧南市の良さはどのような所にあると思いますか。あなたのお考えに近いものを3つまで選んで、番号に○印をつけてください。

◆「静かに落ち着いて暮らせる」、「治安が良い」、「自然環境」を碧南市の良さと考えています。

○碧南市の良さは、「静かに落ち着いて暮らせる」が34.2%で最も割合が高くなっています。次いで「治安が良い」が28.0%、「海や川などの自然環境」が22.4%、「働く場所がある」19.0%と続いています。

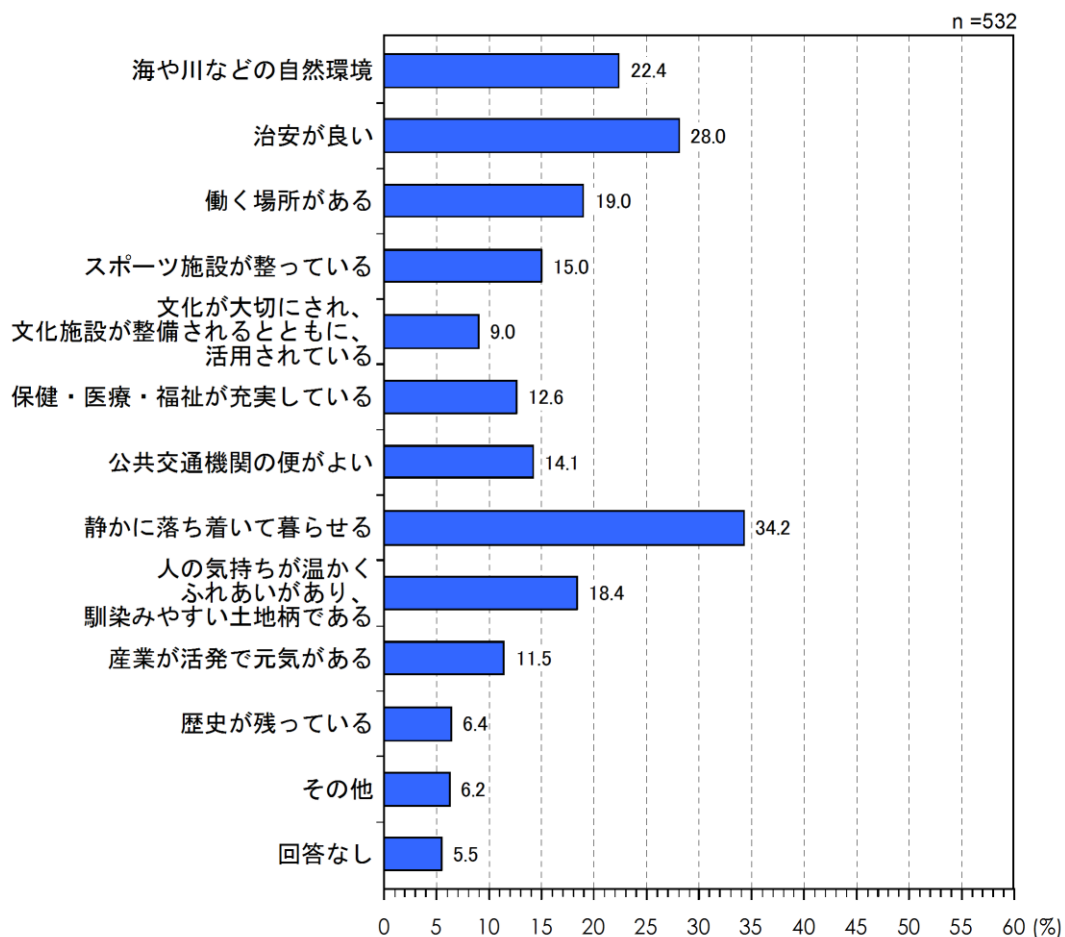


図 2-1 碧南市の良さ

(2) 碧南市の欠点

問 5 あなたは、碧南市の欠点はどのような所にあると思いますか。あなたのお考えに近いものを3つまで選んで、番号に○印をつけてください。

◆多くの生徒が「中心市街地に若者が集い楽しめる施設が少ないこと」、「公共交通機関の便が悪いこと」を碧南市の欠点と感じています。

○碧南市の欠点は、「中心市街地に若者が集い楽しめる施設が少ない」が 55.6%と半数以上の生徒が感じています。次いで「公共交通機関の便が悪い」が 42.3%、「スポーツ施設が少ない」が 26.7%、「治安が悪くなってきた」が 23.1%、「街なかに緑や水辺などの自然が少ない」が 17.3%となっています。

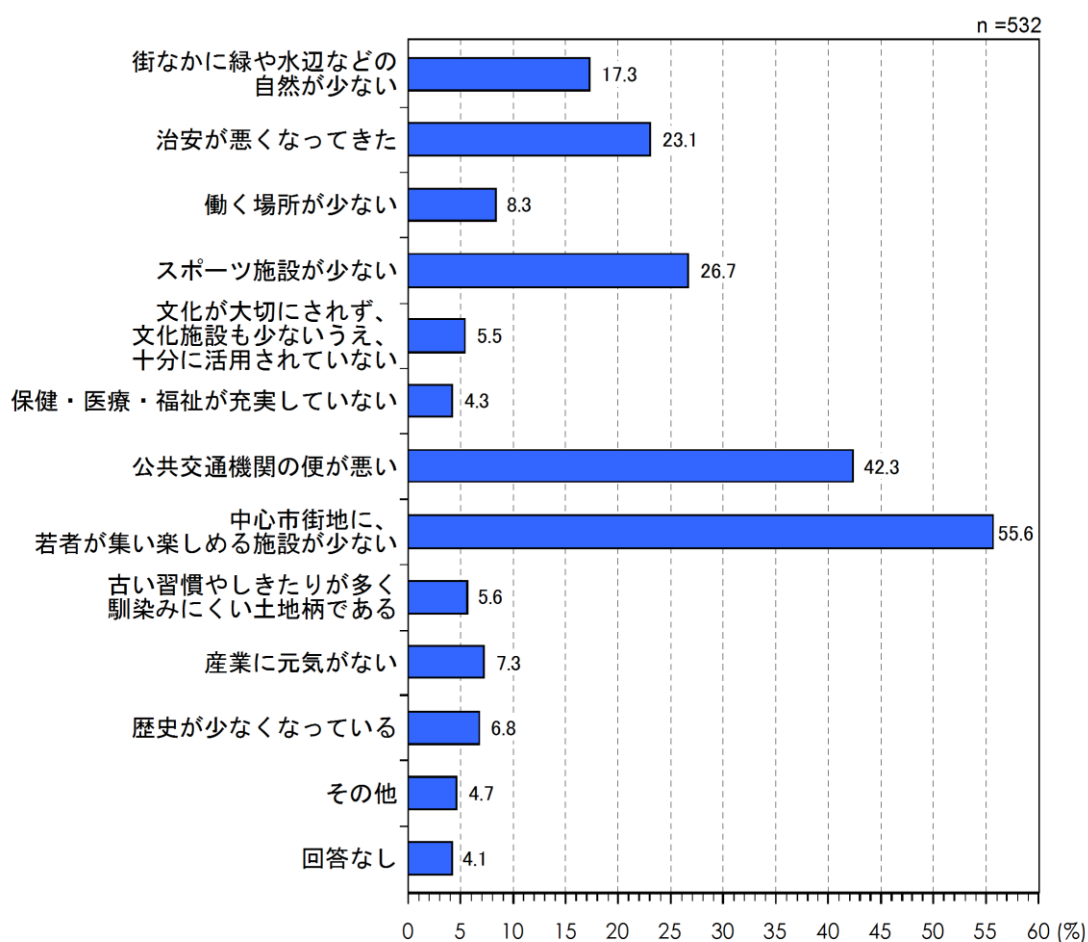


図 2-2 碧南市の欠点

（３）碧南市への愛着や親しみ

問６ あなたは、碧南市に愛着や親しみを感じていますか。

◆約半数が碧南市への愛着や親しみを感じています。

○碧南市への愛着や親しみについては、「とても感じている」が12.2%、「ある程度感じている」が35.2%で、あわせて47.4%を占めています。

○また、「あまり感じていない」が14.8%、「全く感じていない」が15.6%で、あわせて30.4%を占めています。

○なお、「どちらとも言えない」が21.8%を占めています。

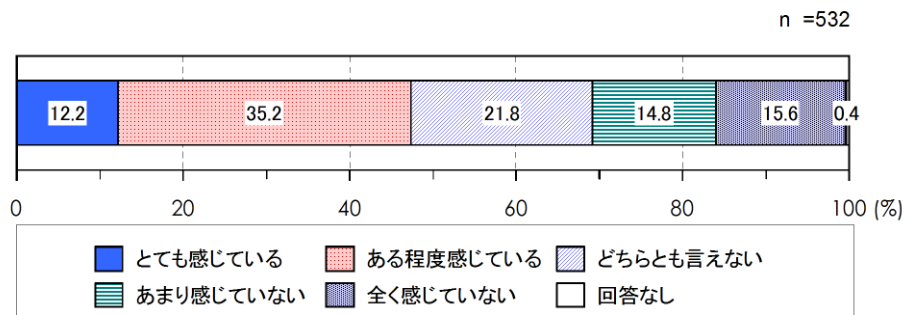


図 2-3 碧南市への愛着や親しみ

(4) 碧南市への将来の居留意向

問7 あなたは、将来碧南市に住みたい(碧南市内に居住の方)、あるいは住んでみたい(碧南市外に居住の方)と思いますか。

◆約3割が碧南市内に住みたい(住んでみたい)、どちらかといえば住みたい(どちらかといえば住んでみたい)と考えています。

○碧南市への将来の居留意向については、「住みたい(住んでみたい)」が6.0%、「どちらかといえば住みたい(どちらかといえば住んでみたい)」が25.5%で、あわせて31.2%を占めています。

○また、「どちらかといえば住みたくない(どちらかといえば住みたいとは思わない)」が17.1%、「住みたくない(住みたいとは思わない)」が19.7%で、あわせて26.8%を占めています。

○なお、「わからない」が31.2%で最も割合が高くなっています。

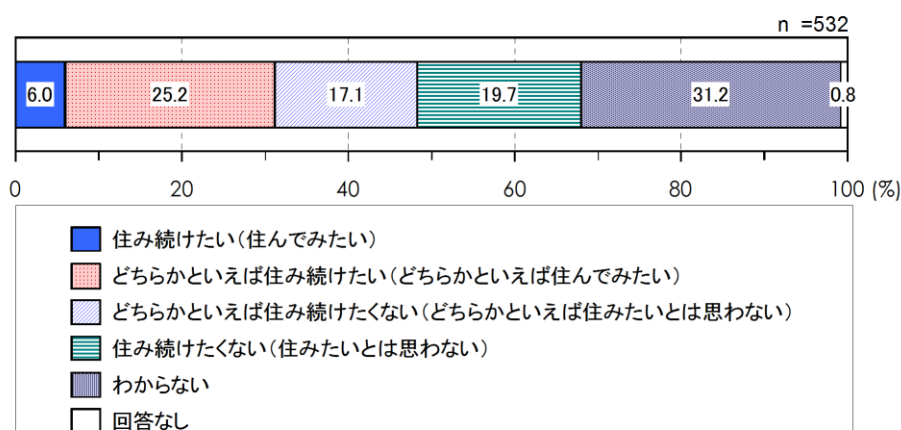


図 2-4 碧南市への将来の居留意向

(5) 碧南市に住みたくない理由（碧南市外に住みたい 196 名を対象）

〈問 7-1〉 問7で「3. どちらかといえば住み続けたくない（どちらかといえば住みたいとは思わない）」「4. 住み続けたくない（住みたいとは思わない）」と回答された方におたずねします。

あなたが住み続けたくない（住みたいとは思わない）と思う理由は何ですか。あなたの考えに近いものを3つまで選んで、番号に○印をつけてください。

◆碧南市に住みたくない理由については、「買い物や娯楽の場が少ないこと」が理由になっています。

○問7で「3. どちらかといえば住み続けたくない（どちらかといえば住みたいとは思わない）」「4. 住み続けたくない（住みたいとは思わない）」に回答した 196 名の生徒の碧南市に居住したくない理由については、「買い物や娯楽の場が少ないから」が 66.8%で最も割合が高くなっています。

○次いで、「通勤・通学が不便だから」が 29.1%、「碧南市に愛着がないから」が 24.0%、「公共交通機関の便が悪いから」が 23.5%と続いています。

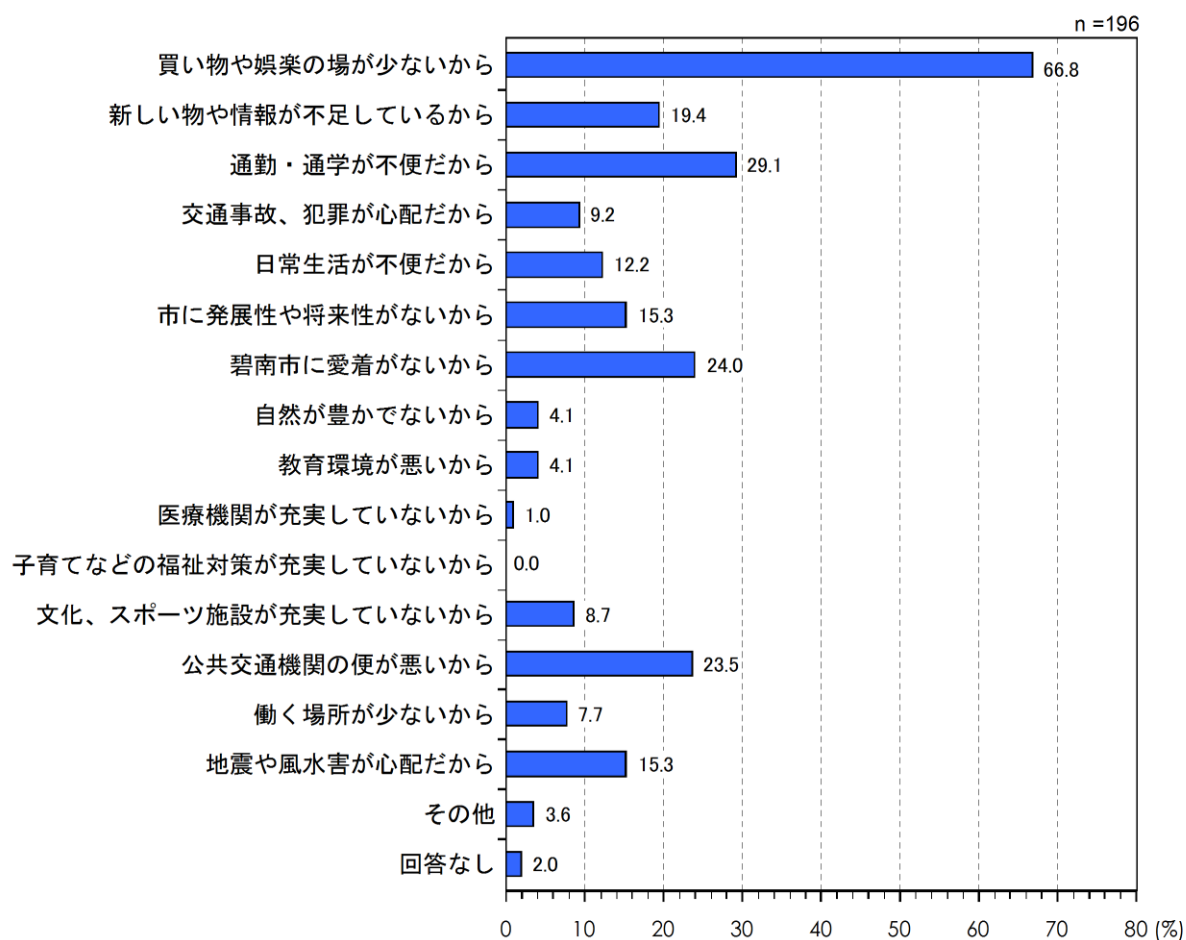


図 2-5 碧南市に居住したい理由

(6) 碧南市外で住みたいまちとその理由（碧南市外に住みたい 196 名を対象）

〈問 7-2〉 問7で「3. どちらかといえば住み続けたくない（どちらかといえば住みたいとは思わない）」、「4. 住み続けたくない（住みたいとは思わない）」と回答された方におたずねします。

あなたが住みたいまちと、その理由をお聞かせください。

◆住みたいまちとしては、刈谷市、名古屋市、西尾市が多く、その理由として「交通の便が良い」、「都会だから」、「お店が充実しているから」などとなっています。

○問7で「3. どちらかといえば住み続けたくない（どちらかといえば住みたいとは思わない）」「4. 住み続けたくない（住みたいとは思わない）」に回答した 196 名の生徒の住みたいまちについては、愛知県内が 103 人で、そのうち刈谷市が 26 人、名古屋市が 25 人、西尾市が 17 人などとなっています。

○住みたい理由については、「交通の便が良い」、「都会だから」、「お店が充実しているから」などの回答が多くなっています。

表 2-1 住みたいまちとその理由

	住みたいまち	理由	居住地
愛知県内(103 人)			
刈谷市(26 人)	刈谷市	交通の便がいい	碧南市
	刈谷市	交通の便がいいから	碧南市
	刈谷市	碧南市よりも交通の便がよいから	碧南市
	刈谷市	都会への便が良いから	碧南市
	刈谷市	都会だから	碧南市
	刈谷市	名古屋まで電車一本で行けるから。名古屋ほど都市ではないから、人がとても多くて大変なこともあまりなさそうだから	碧南市
	刈谷市	楽しめる場所が多くて活気があるから	碧南市
	刈谷市	交通が不便で施設が豊富だから	碧南市
	刈谷市	交通の便がよいから	刈谷市
	刈谷市	交通の便がよい	刈谷市
	刈谷市	交通の便がよい	刈谷市
	刈谷市	乗換えしないで名古屋に行ける	刈谷市
	刈谷市	交通の便が良い。地元の祭りがすき	刈谷市
	刈谷市	公共交通機関の便がよく、遊ぶ施設が多い	刈谷市
	刈谷市	今住んでいるし、交通の便がよい。都心ほど悪い人もいないから	刈谷市
	刈谷市	今住んでいて、あまり不便に思わないから	刈谷市
	刈谷市	実際に住んでいるけど、いろいろと便利だし、困ったことがないから。そして住みやすい	刈谷市
	刈谷市	住みやすい	刈谷市
	刈谷市	きれい	刈谷市
	刈谷市	JR や名古屋の駅があって便利だから	高浜市
	刈谷市	碧南市より娯楽の場が多く、公共交通機関の便が多いから	西尾市
	刈谷市	娯楽の場、買物の所がたくさんある	西尾市
	刈谷市	遊べるから	その他

	住みたいまち	理由	居住地
	刈谷市	名古屋まで電車で乗換えなしで行けて、働く場所もたくさんあるから	高浜市
	刈谷市	大企業が多いから	その他
	刈谷市	サービスが充実しているから	高浜市
名古屋市(25人)	名古屋市	碧南と違い娯楽の場が多く、交通の便がいいから	碧南市
	名古屋市	どこでも行きやすいから	碧南市
	名古屋市周辺	交通の便がいい、お店が多い	碧南市
	名古屋市	店とか交通の便が充実している	碧南市
	名古屋市	必要なものがそろっている	碧南市
	名古屋市	栄えているから	碧南市
	名古屋市	ある程度都会だから	碧南市
	名古屋市	都会だから	碧南市
	名古屋市	碧南より発展しているから	碧南市
	名古屋市	いろいろな面で便利だから	碧南市
	名古屋市	都会へ出たい	高浜市
	名古屋市	都会だから	刈谷市
	名古屋市	発展している。都会	高浜市
	名古屋市	都会だから	西尾市
	名古屋市	発展しているから	高浜市
	名古屋市	さまざまな施設が整っているし、交通も便利だから	高浜市
	名古屋市	カラオケ、映画館、地下鉄などがあって退屈しない。いつも名古屋へ行くから金がなくなる	高浜市
	名古屋市	交通機関も発展していて、娯楽もあるから	刈谷市
	名古屋市	色々な店があり、交通機関も多いから	安城市
	名古屋市	交通の便がとてもいい。遊ぶ場所やデパートなどが沢山ある	知立市
	名古屋市	買物や娯楽の場が多く、すぐ新しい情報が手に入るから。店員の接客がとてもよい。住んだら安心できる	西尾市
	名古屋市	便利だから	西尾市
	名古屋市	いろいろなお店がたくさんあって、ほしい物がすぐにそろえるから	西尾市
	名古屋市	すべてが揃っているから	刈谷市
	名古屋市	交通の便がいい。働く場所が豊富	その他
西尾市(17人)	西尾市	楽しめる場所が多くて活気があるから	碧南市
	西尾市	住みなれているから	西尾市
	西尾市	地元だから	西尾市
	西尾市	地元だから	西尾市
	西尾市	地元だから	西尾市
	西尾市	愛着があるから	西尾市
	西尾市	今住んでいるから	西尾市
	西尾市	今住んでいて満足している	西尾市
	西尾市	慣れているから	西尾市
	西尾市	娯楽の場、買物の所がたくさんある	西尾市
	西尾市	買い物が便利	西尾市
	西尾市	買物や娯楽の場があるから	西尾市
	西尾市	まあまあ買い物や娯楽の場があるから	西尾市
	西尾市	碧南市より、娯楽の場が多く公共交通機関の便が多いから	西尾市
	西尾市	西尾に住んでいてスポーツがよくできるから	西尾市
	西尾市	カラオケが多い	安城市

	住みたいまち	理由	居住地
	西尾市	碧南にはショッピングなど遊ぶ場所がない。カラオケがない	知立市
安城市(11人)	安城市	交通が不便で施設が豊富だから	碧南市
	安城市	行事やお店がたくさんあるから	碧南市
	安城市	便利な店や施設が多い	碧南市
	安城市	遊ぶ所があるから	安城市
	安城市	JR	安城市
	安城市	ちょうどよく発展している	安城市
	安城市	ここより住みやすい	安城市
	安城市	いろいろ便利	安城市
	安城市	お店がたくさんあって遊べる	高浜市
	安城市	娯楽の場、買物の所がたくさんある	西尾市
	安城市	駅前が充実しているから	-
岡崎市(10人)	岡崎市	もともと住んでいた所だから	碧南市
	岡崎市	住みやすそうだから	碧南市
	岡崎市	碧南よりも設備が整っているから	碧南市
	岡崎市	イオン	碧南市
	岡崎市	発展しているけど治安がいい	高浜市
	岡崎市	適度に都会だから	西尾市
	岡崎市	商業施設、公共施設がとて多いから。バスなどの交通機関がしっかりしている	安城市
	岡崎市	娯楽の場、買物の所がたくさんある	西尾市
	岡崎市	娯楽施設がある程度ある	西尾市
	岡崎市	碧南市より、娯楽の場が多く公共交通機関の便が多いから	西尾市
豊田市(4人)	豊田市	楽しめる場所が多くて活気があるから	碧南市
	豊田市	お店などが多い	碧南市
	豊田市	自然が多い	碧南市
	豊田市	自然もあり、交通の便がいいから	高浜市
高浜市(4人)	高浜市	交通事故や火事などが少なく、自然がある程度存在し、地域行事にも参加しやすいため	高浜市
	高浜市	地元が好きだし、正直、碧南市より高浜市の方がいろんな面で便利で祭りも楽しい	高浜市
	高浜市	今住んでいるから	高浜市
	高浜市	親の近くに住みたい	高浜市
知立市(2人)	知立市	今住んでいるから	知立市
	知立市	駅が大きく、名古屋、豊橋や豊川稲荷など行きやすい	知立市
半田市(2人)	半田市	いろいろ店があってすたびれていない	高浜市
	半田市	生まれたときから住んでいるから	その他
東浦町(1人)	東浦町	イオンがある。名古屋が電車で近い	その他
新城市(1人)	新城市	山が好きだから	安城市
県外(41人)			
東京(22人)	東京	自分のやりたい仕事の的に上京したほうがいいから	碧南市
	東京	東京で仕事したいから	刈谷市
	東京に近い県	東京で働きたいから	碧南市
	六本木	都会	安城市
	東京	都会だから	碧南市
	東京	発展しているから	安城市
	東京	交通の便がよい	碧南市
	東京目黒区	新しいもの、娯楽の場がたくさんある	碧南市
	東京	いろいろなお店がたくさんあって、ほしい物がすぐにそろから	安城市
	東京	いろいろ便利だから	碧南市

	住みたいまち	理由	居住地
	東京	いろんな施設が充実していて、不自由なく暮らせるから	高浜市
	東京	いろんなものがある	碧南市
	東京付近	いろんなものが充実していて便利だから	碧南市
	東京	買物や娯楽の場があるから	西尾市
	東京	娯楽施設が多いから	西尾市
	東京中目黒	好きな施設が多い	碧南市
	東京	楽しい	碧南市
	東京	とても流行の物が置いてあるから	碧南市
	東京	ファッションも最先端で刺激的	碧南市
	東京都世田谷区	前に住んでいてとてもすみやすかったから	刈谷市
	東京	キスマイに遭遇したいから	碧南市
	東京	—	高浜市
大阪(5人)	大阪	栄えているから	碧南市
	大阪	栄えているから	高浜市
	大阪	住みたいところがあるから	碧南市
	大阪	楽しそうだから	高浜市
	大阪	ノリがよい	西尾市
京都(2人)	京都	歴史を大切にしているから	碧南市
	京都	—	岡崎市
北海道(2人)	北海道	交通ルールがしっかりしているイメージ	西尾市
	北海道	—	岡崎市
岩手(1人)	岩手県	おいしいものがありそうだから	安城市
秋田(1人)	秋田県	自然が豊かで落ち着いていそうだから	碧南市
沖縄(1人)	沖縄	—	岡崎市
横浜(1人)	横浜	まちがきれいそう	碧南市
鎌倉(1人)	鎌倉	あこがれ	刈谷市
鹿児島(1人)	鹿児島	地元だから	西尾市
海外(3人)			
	海外	交通の便がよい	碧南市
	ドイツ	楽しそう	高浜市
	カリフォルニア州	アメリカに行きたいから	西尾市
特定の地域名なし(41件)			
	刈谷市など(碧南市以外ならどこでも)	交通の便もいいし、遊び場が沢山あるから	碧南市
	碧南市以外	愛着がないから	西尾市
	碧南市以外	碧南市に住みたくないから	高浜市
	県外	都会に住みたい	高浜市
	県外	県外に出たいから	西尾市
	無い	愛知県が嫌い	高浜市
	未定	県外に行く予定なので調べきっていない	碧南市
	田舎だから	アピタとか無いから	安城市
	田舎寄りではなく都会寄り	田舎だと欲しい物が手に入らない	西尾市
	都会(名古屋方面)	就職をしたときにたくさんお客さんが来るところに住みたいから	碧南市
	都市(名古屋、東京)	なりたい職がない。娯楽施設が1つもない	碧南市
	都会に近いまち	さまざまな機関が集中している都会が近くにあれば便利だと思うから	知立市
	栄えている町	買い物するときに便利だから	刈谷市
	治安のよいまち	まえ、コンビニの上裸のおじさんがいたから	碧南市
	治安がよいまち	安全だから	知立市
	交通事故や犯罪が少ないまち	おちついて暮らしたいから	西尾市

	住みたいまち	理由	居住地
	治安が良い、夜でも明るい。災害に強い	安心のあるまちに住みたい	碧南市
	海から遠い	地震の後の津波に備えるため	高浜市
	海に近くないところ	津波が怖いから	高浜市
	駅が近いところ	駅が少ないし、刈谷まで行かないとない	碧南市
	交通が便利で大型の店があるところ	くるくるバスはあるが、時間が1時間ごとだから使いにくい	高浜市
	交通機関の便がよいところに住みたい	行きたいところに行けるから	高浜市
	大型ショッピングセンターがある	今の碧南市には若者が買うような服や遊べる所が少ないから	安城市
	大きなデパートがある	たくさん若い人が集まって活気が出るから	西尾市
	買い物ができる所がある	学校帰りに遊びたいから	高浜市
	買い物の場が多いまち	今は少ないから	高浜市
	買い物やスポーツを気軽に楽しめる場所	快適に住みたいから	高浜市
	もっと娯楽やスポーツ施設があって、活気があるまち	あまりそういうものなどの娯楽がないから	碧南市
	娯楽があるまち	娯楽施設がない	碧南市
	娯楽設備が充実しているまち	遊びに行く人が多くなり、そのまち全体が活発化されるから	高浜市
	アニメやゲームが充実しているまち	オタクだから	その他
	近くに若者が集まれる場所が欲しい	勉強するにも、図書館はしゃべれない。飲食店だと他のお客さんに邪魔になるから。もっと気軽にに行ける場所が欲しい	碧南市
	中心街に若者の遊ぶお店がある	高浜のほうが中心街に集中しているから	高浜市
	市内でもっと買い物ができたり、娯楽施設があるまち	今、そのような施設が少ないから	碧南市
	新しい考え方などできるまち	今の碧南市は考え方が古い	碧南市
	ある一点の産業に頼りすぎず、色々な産業が集合しているまち	日本の経済を安定させるため	刈谷市
	人が温かい。マナーがしっかりしているまち	常に何か起こっていると不安しかない	安城市
	自然豊かなまち	-	高浜市
	便利なところ	便利は大事	高浜市
	よいまち、楽しいまち	良くないから、楽しくないから	高浜市
	きれい	きれいなほうがよい	高浜市
特になし(10人)			
	決まっていない	まだ、考えたことがない	西尾市
	なし	まだ考えていない	碧南市
	特にない	いろんな場所をもっとみて決めたい	安城市
	特にない	-	碧南市
	特にない	特にないから	西尾市
	特になし	-	碧南市
	特になし	特になし	西尾市
	ない	ない	刈谷市
	なし	-	知立市
	わかりません	わからないから	碧南市
無回答(20人)			

(7) 住んでいる市町と比べた碧南市の現状（碧南市外居住者 319 名を対象）

〈問 8-1〉 碧南市外に住んでいる方におたずねします。

あなたがお住まいの市や町に比べ、碧南市の現状についてどのように思いますか。

(1)～(16)の項目ごとに評価してください。

◆全体的に碧南市の評価は低く、特に「祭りの賑やかさ」の評価が悪くなっています。

○全体的に「碧南市の方が悪い」、「碧南市の方がやや悪い」の比率が高く、特に「祭りの賑やかさ」は悪い評価が高くなっています。

○「碧南市の方が良い」と「碧南市の方がやや良い」をあわせた割合が高いのは、「公共交通機関（鉄道、路線バス）の利便性」が 21.3%で最も割合が高く、次いで「スポーツ施設や文化施設などの状況」が 20.7%、「中心的な繁華街の状況」が 20.4%となっています。

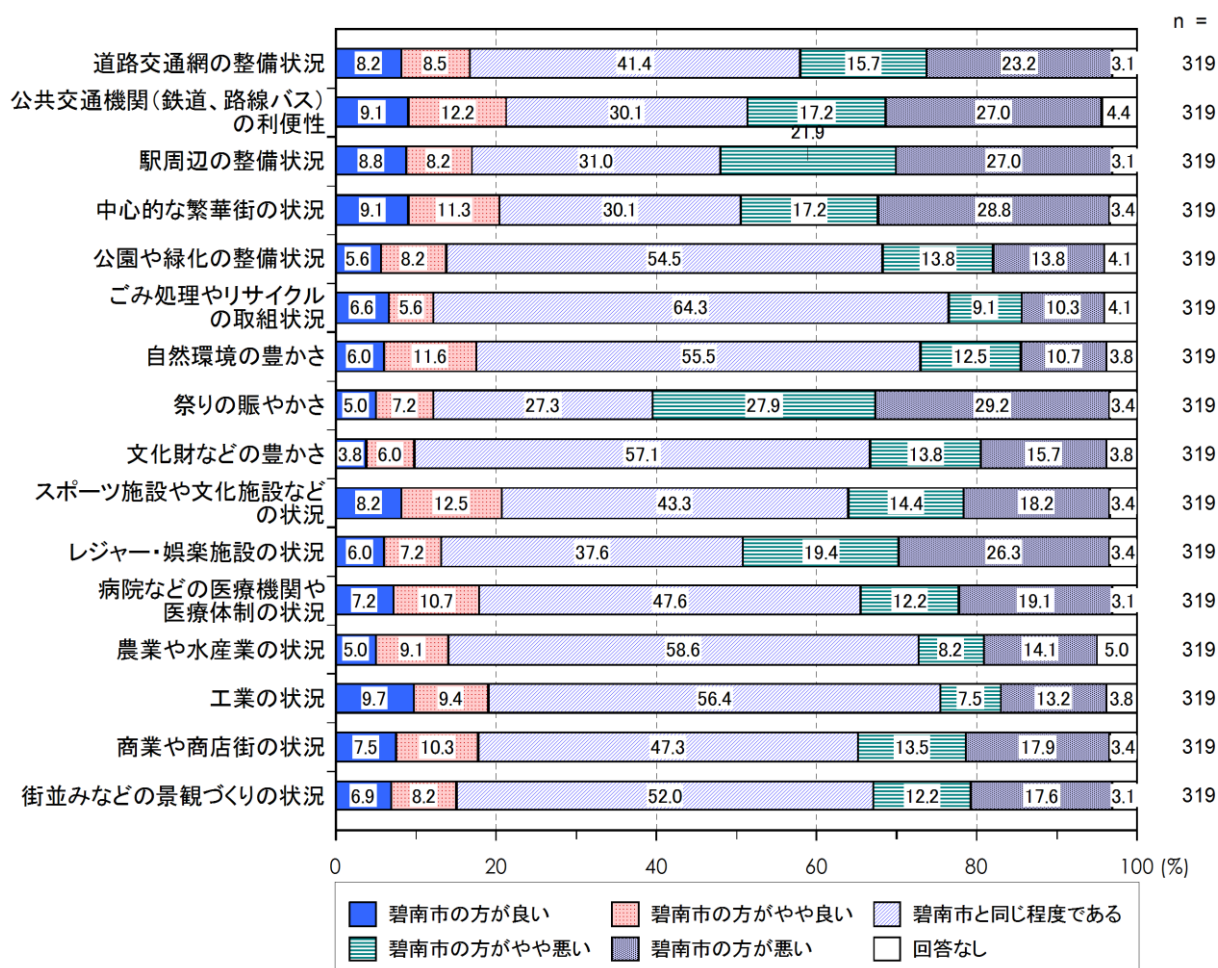


図 2-6-1 住んでいる市町と比べた碧南市の現状（碧南市外居住者対象）

《評点》

◆全ての項目でマイナスであり、住んでいる市町よりも碧南市の評価が低くなっています。

○評点は全てマイナスであり、住んでいる市や町に比べて碧南市の方が悪い評価となっています。

○最も評価が高いのが、「工業の状況」の－0.05 点で、最も評価が低いのが「祭りの賑やかさ」の－0.71 点となっています。

《評点算出方法》

※「碧南市の方が良い」を＋2点、「碧南市の方がやや良い」を＋1点、「碧南市と同じ程度である」を0点、「碧南市の方がやや悪い」を－1点、「碧南市の方が悪い」を－2点の5段階評価で得点を付け、16項目ごとに平均の評点を算出しました。

※なお、「回答なし」は母数から除外しています。

表 2-6-2 住んでいる市町と比べた碧南市の現状評価（碧南市外居住者対象）

評価項目	平均の評点
(1) 道路交通網の整備状況	－0.39
(2) 公共交通機関の利便性	－0.43
(3) 駅周辺の整備状況	－0.52
(4) 中心的な繁華街の状況	－0.47
(5) 公園や緑化の整備状況	－0.23
(6) ごみ処理やリサイクルの取組状況	－0.11
(7) 自然環境の豊かさ	－0.11
(8) 祭りの賑やかさ	－0.71
(9) 文化財などの豊かさ	－0.33
(10) スポーツ施設や文化施設などの状況	－0.23
(11) レジャー・娯楽施設の状況	－0.55
(12) 病院などの医療機関や医療体制の状況	－0.26
(13) 農業や水産業の状況	－0.18
(14) 工業の状況	－0.05
(15) 商業や商店街の状況	－0.25
(16) 街並みなどの景観づくりの状況	－0.26
平均値	－0.32

(8) 碧南市の施策の満足度と重要度 (碧南市内居住者 212 名を対象)

〈問 8-2〉 碧南市内に住んでいる方におたずねします。

碧南市の行政の各分野の取組みについて、日ごろ感じられるあなたの満足度と、今後どれくらい力を入れたら良いと思うかについてお答えください。

項目ごとに該当する番号に○をつけてください。項目ごとに評価してください。

《満足度》

◆「小中学校の教育・施設」、「幼稚園・保育園」、「病院や健康づくり」の満足度が高くなっていますが、逆に「商店街の振興」は満足度が低くなっています。

○「満足」と「ほぼ満足」をあわせた割合は「小中学校の教育・施設」が 42.5%で最も高く、次いで「幼稚園・保育園」が 39.6%、「病院や健康づくり」が 38.2%、「ごみ対策（分別・リサイクル）」が 37.2%となっています。

○「不満」と「やや不満」をあわせた割合が高いのは「商店街の振興」が 29.7%、「道路」が 19.8%、「スポーツ振興・施設」が 19.3%となっています。

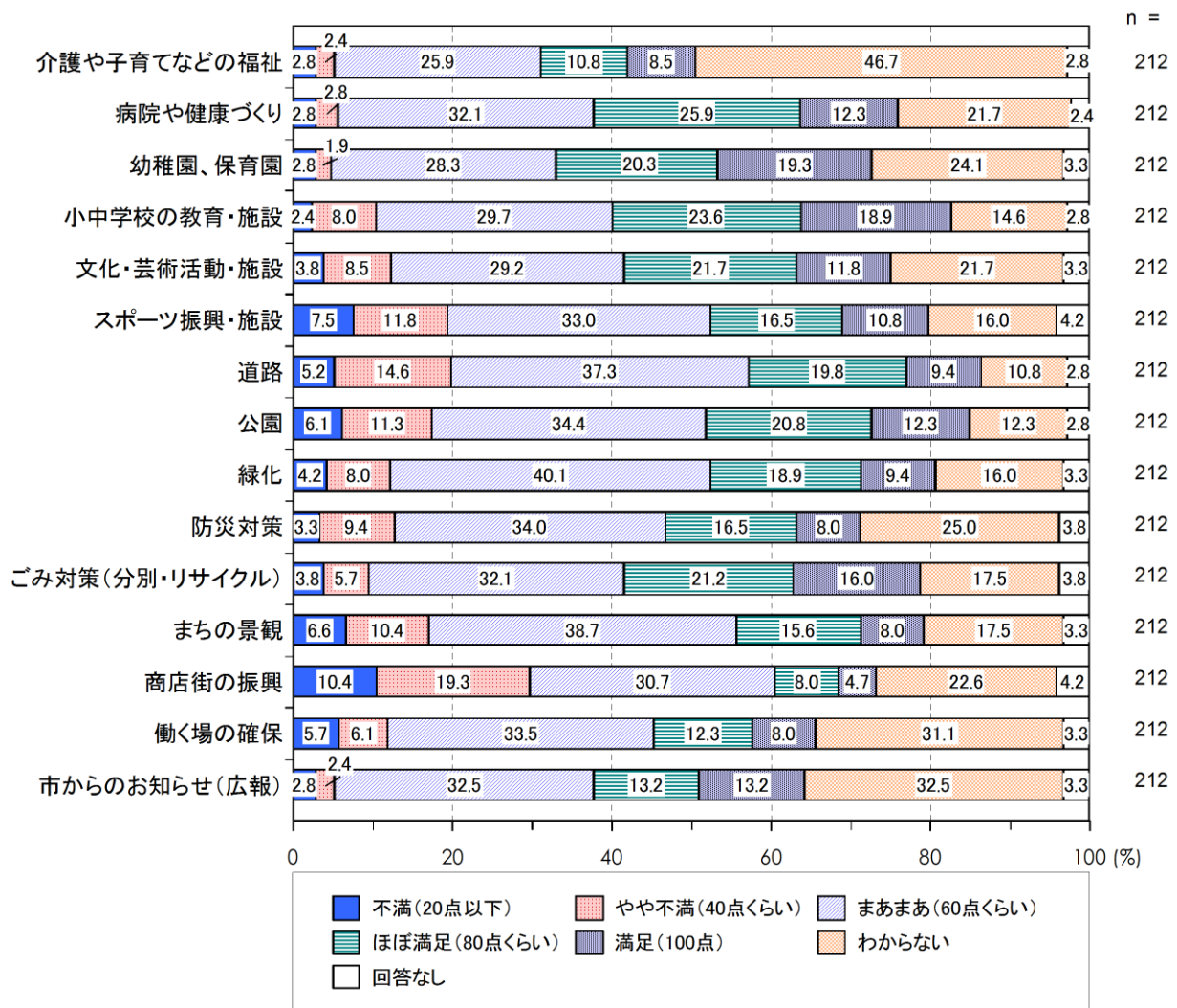


図 2-7-1 碧南市の施策の満足度 (碧南市内居住者対象)

《重要度》

◆「道路整備」や「商店街振興」、「スポーツ振興・施設」、「公園整備」などに力を入れて欲しいと考えています。

○「何より先に力を入れて欲しい」と「かなり力を入れて欲しい」、「もう少し力を入れて欲しい」をあわせた重要度については「道路」が49.4%で最も割合が高くなっています。次いで「商店街の振興」が47.1%、「スポーツ振興・施設」が46.3%、「公園」が41.1%、「防災対策」が40.1%と続いています。

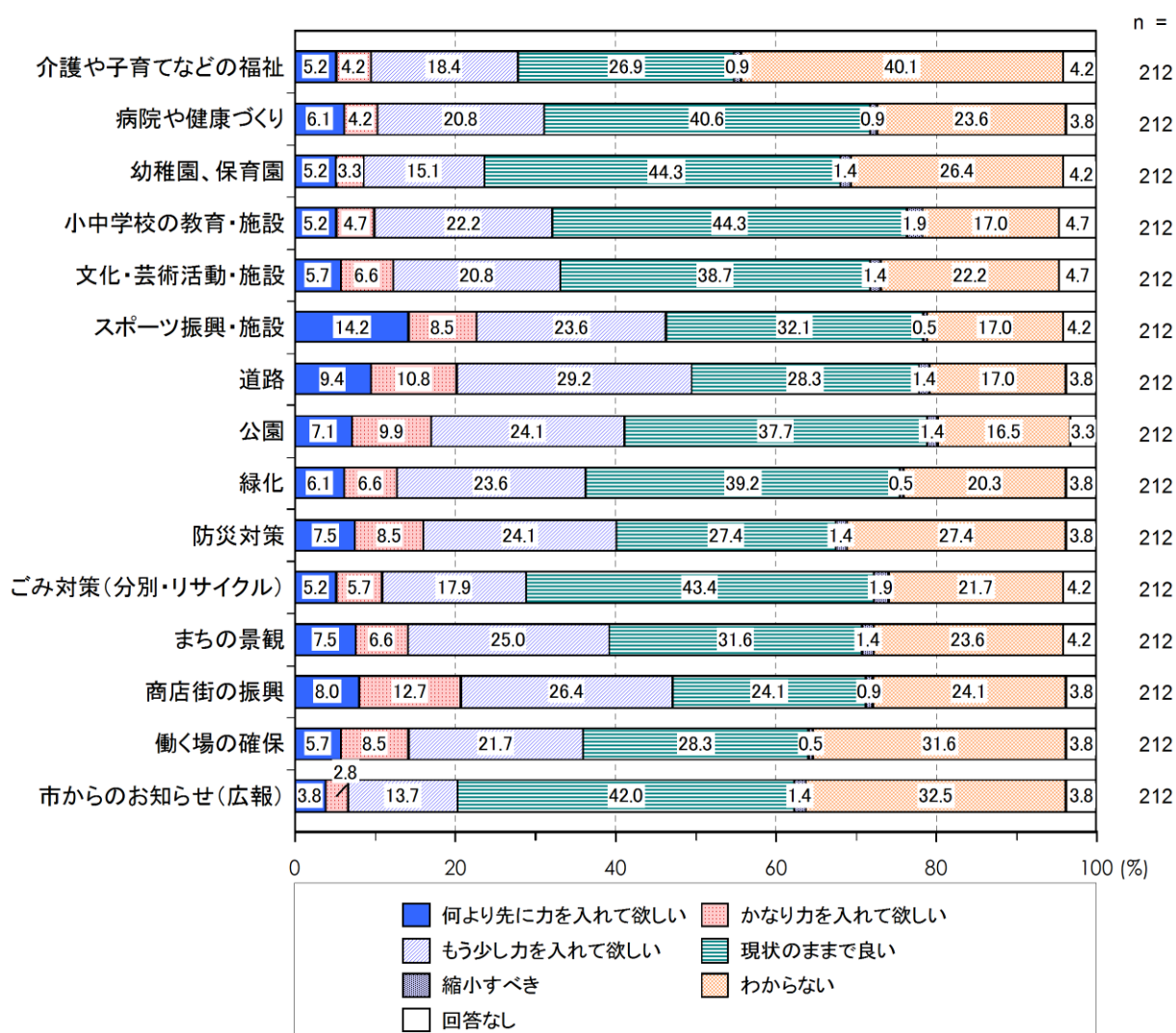


図 2-7-2 碧南市の施策の重要度（碧南市内居住者対象）

《満足度と重要度》

◆「商店街の振興」の満足度が低く、重要度も高い最重要の改善項目となっています。

○横軸を満足度の評点、縦軸を重要度の評点として、15 項目の散布を見ると、満足度の平均値（0.31 点）よりも低く、重要度の平均値（0.76 点）よりも高いものとして、「商店街の振興」が最も重要な改善項目となっています。

○次いで「スポーツ振興・施設」、「道路」「防災対策」、「働く場の確保」、「まちの景観」、「公園」となっています。

《評点算出方法》

※満足度については、「不満」を－2点、「やや不満」を－1点、「まあまあ」を0点、「ほぼ満足」を＋1点、「満足」を＋2点の5段階評価で得点を付け、15 項目ごとに満足度の平均の評点を算出しました。

※重要度については、「何より先に力を入れて欲しい」を＋3点、「かなり力を入れて欲しい」を＋2点、「もう少し力を入れて欲しい」を1点、「現状のままで良い」を0点、「縮小すべき」を－1点の5段階評価で得点を付け、15 項目ごとに重要度の平均の評点を算出しました。

※なお、「わからない」、「回答なし」は母数から除外しています。

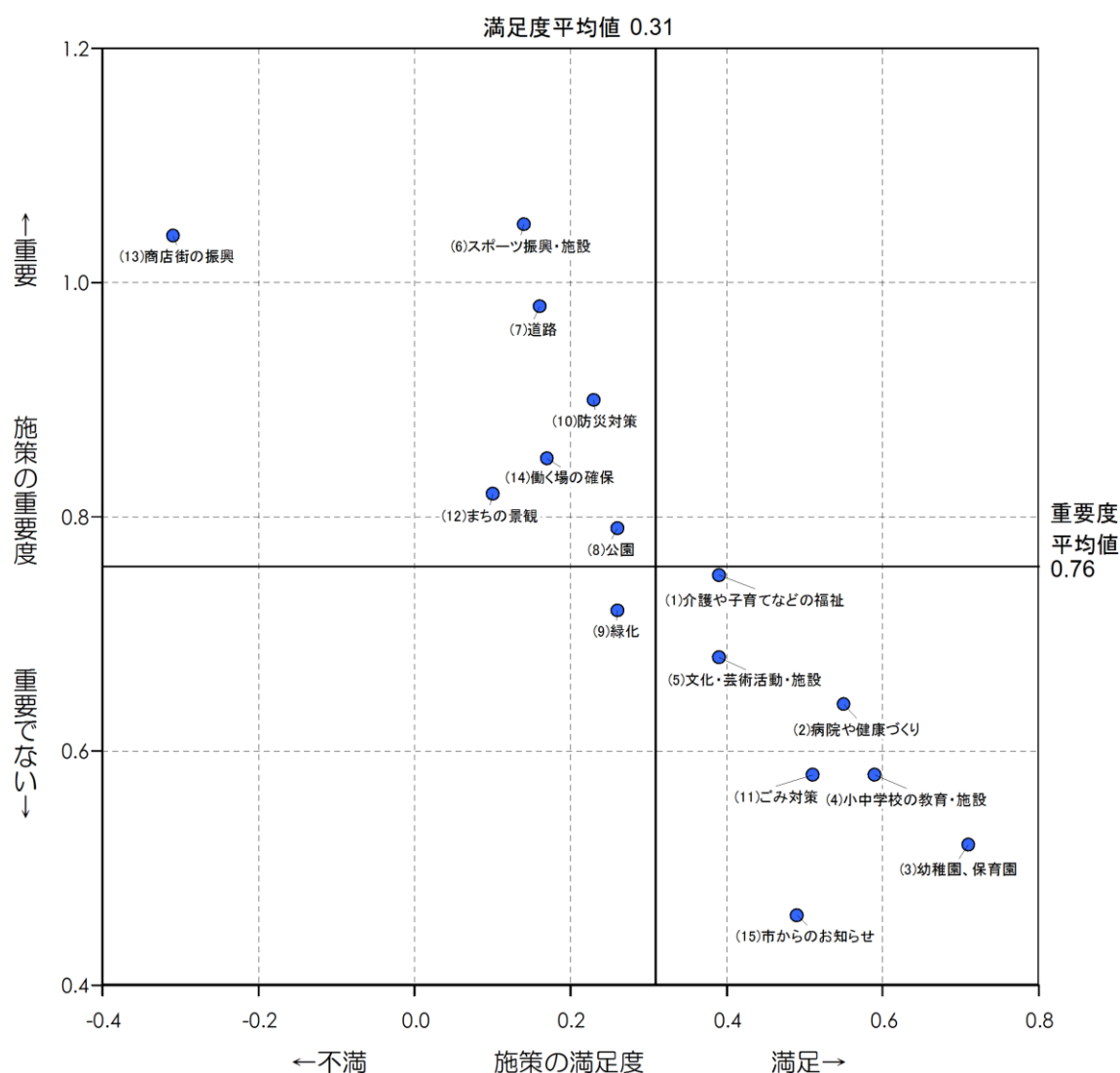


図 2-7-3 碧南市の施策の満足度と重要度（碧南市内居住者対象）

（９）碧南市への移住・定住施策

問 9 あなたは、碧南市へ多くの人が住むようにするためには、どのようなことが必要だと思いますか。あなたのお考えに近いものを3つまで選んで、番号に○印をつけてください。

◆「レジャー・娯楽施設を充実する」などの楽しめる場や機会を作ることや、交通や買い物の利便性を高めることが求められています。

○移住・定住施策としては、「レジャー・娯楽施設を充実する」が 62.6%で最も割合が高くなっています。次いで、「周辺都市への道路や交通機関（鉄道、バス）を充実する」が 39.8%、「買い物をしやすくする」が 35.5%と、利便性を高めることが求められています。また、「楽しめるイベントを充実する」（23.7%）、「自然を活用したスポーツ、レジャー環境を充実する」（14.7%）など、楽しめる場や機会が求められています。

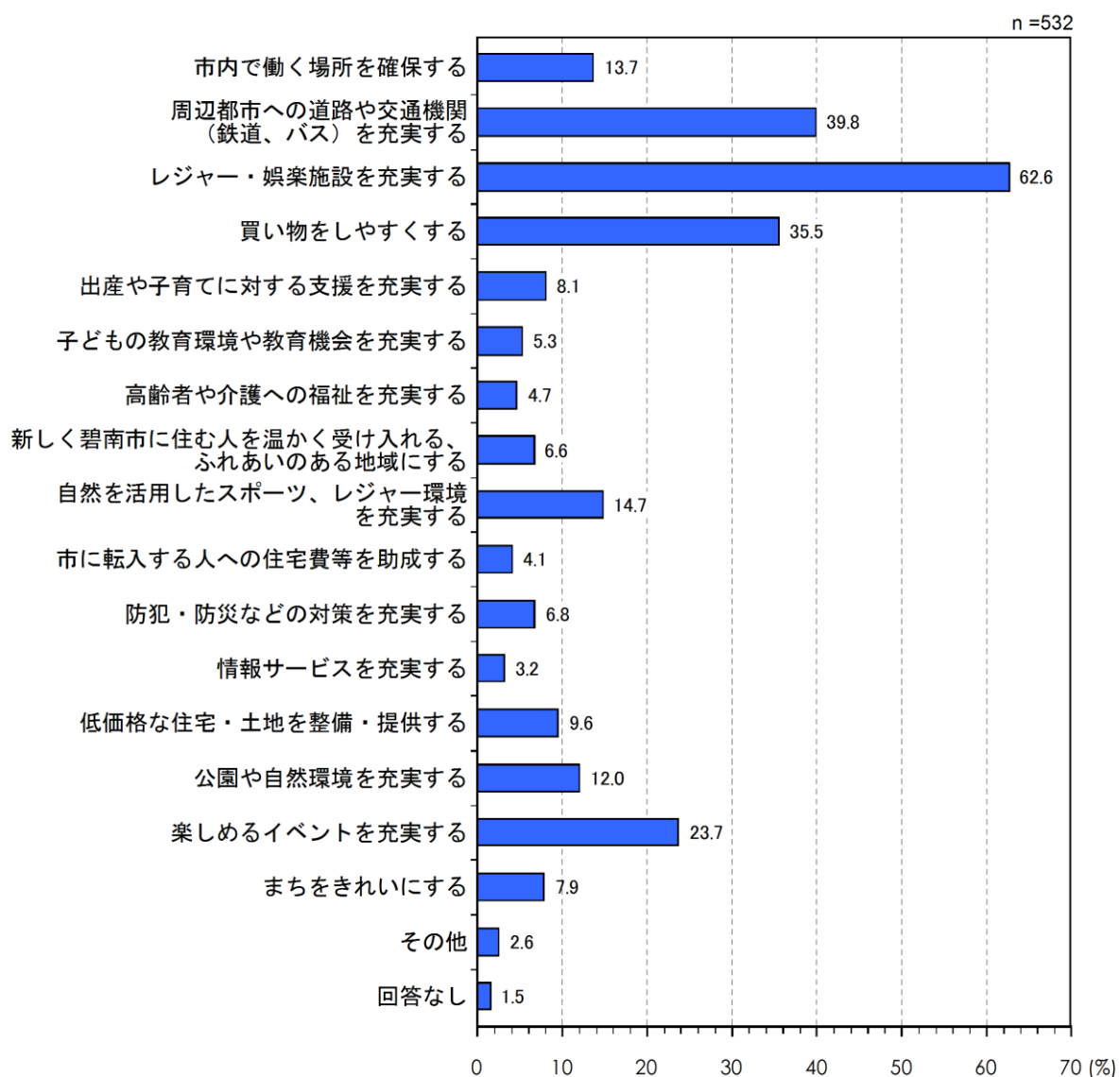


図 2-8 碧南市への移住・定住施策

第3章 碧南市の将来のまちについて

(1) 将来の碧南市がめざすまちのイメージ

問 10 あなたは、碧南市が今後、どのようなイメージのまちをめざすべきだと思いますか。あなたのお考えに近いものを2つまで選んで、番号に○印をつけてください。

◆「趣味やスポーツを楽しめるまち」、「交通利便性の高いまち」、「自然環境が守られているまち」、「安心・安全なまち」が望まれています。

○碧南市がめざすまちのイメージとして、「趣味やスポーツを楽しむことができるまち」が32.5%で最も割合が高くなっています。次いで「道路や鉄道などの交通が整備され、どこでも気軽に行き来ができるまち」(30.1%)、「空気や水がきれいで、豊かな自然環境が守られているまち」(29.7%)、「災害や犯罪がない安心・安全なまち」(21.2%)などとなっています。

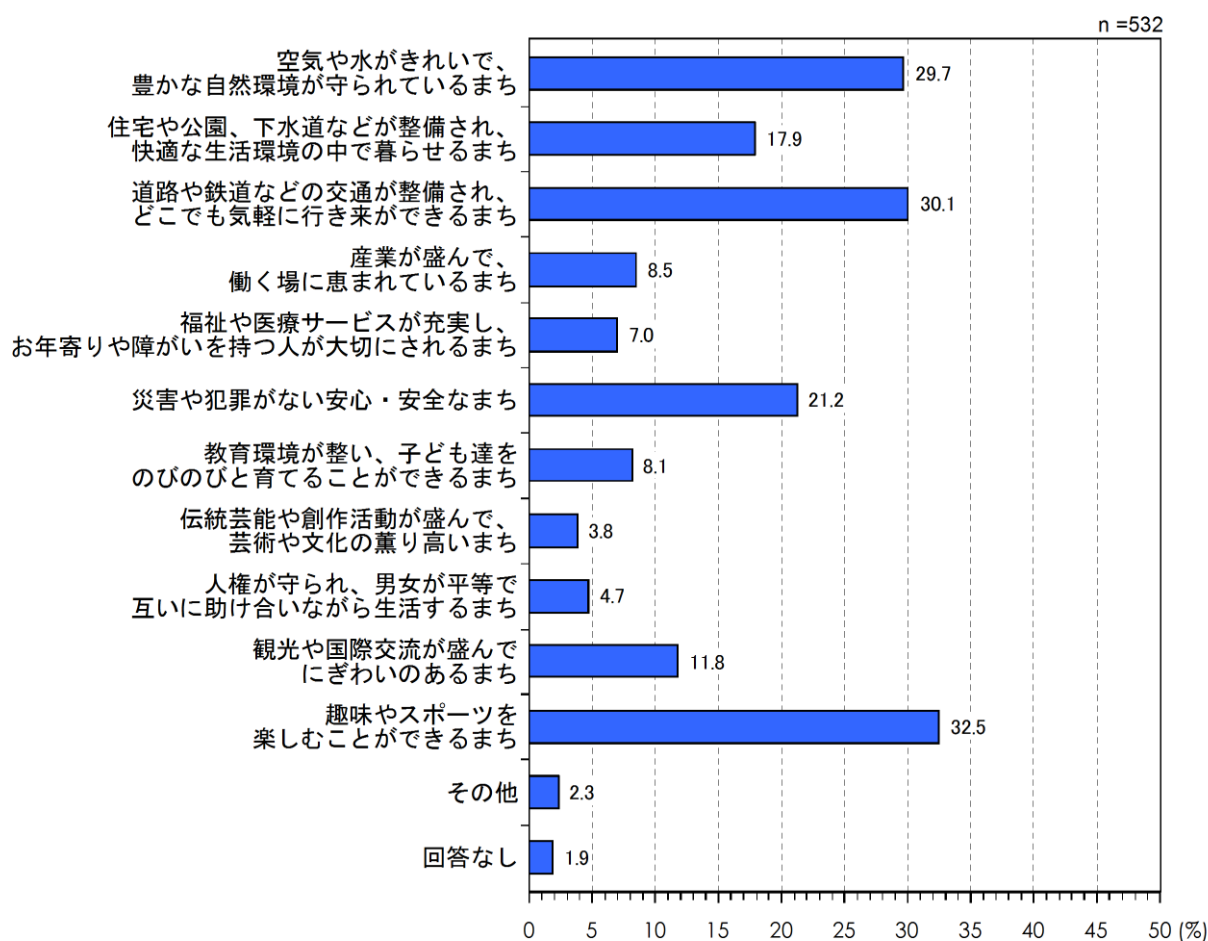


図 3-1 将来の碧南市が目指すまちのイメージ

第4章 まちづくりへの関わりについて

(1) 地域の行事への参加状況

問 11 あなたは、地域の行事（お祭り、イベント、清掃活動など）に参加していますか。

◆地域行事へ参加している生徒は4割弱で、「時間がないこと」、「活動に興味がないこと」、「行事内容を知らないこと」などを理由に6割の生徒が参加していません。

○地域の行事へは「参加している」が36.7%で最も割合が高くなっていますが、何らかの理由で参加していない生徒が合計で60.2%となっています。

○参加していない理由については、「参加したいが、時間が取れないので参加していない」が20.5%で最も割合が高く、次いで「活動に興味がなく、かかわりたくないので、参加していない」(15.2%)、「興味はあるが、どのような地域の行事があるのかを知らないので参加していない」(11.5%)、「参加することが負担なので参加していない」(7.7%)、「参加したいが、きっかけがないので参加していない」(5.3%)となっています。

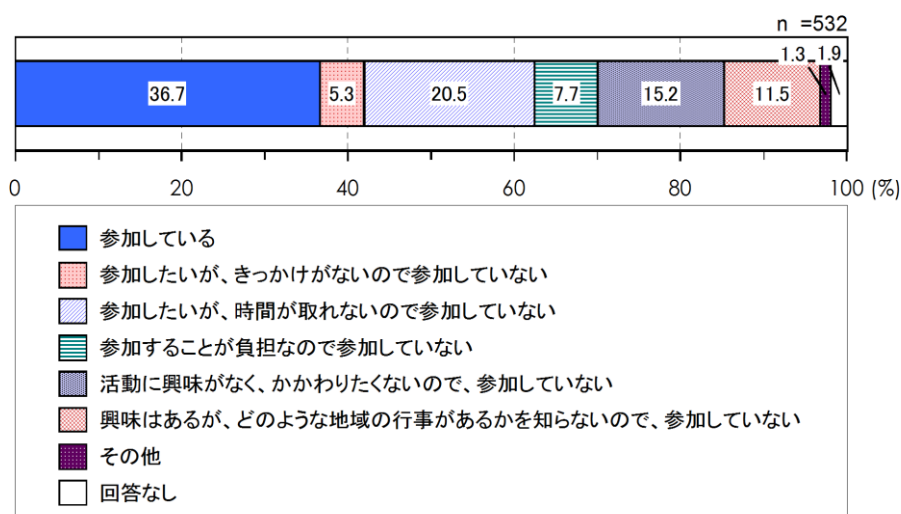


図 4-1 地域の行事への参加状況

（２）今後のまちづくり活動への参加意向

問 12 あなたは、今後、碧南市を良くしていくために、どのような活動であれば参加したいと思いますか（現在参加しているものも含む）。あなたのお考えに近いものすべて選んで、番号に○印をつけてください。

◆参加するつもりがない生徒が約３割を占めていますが、残りの約６割の生徒は、「イベントの企画・運営」、「教育・文化の活動」、「観光交流の活動」、「環境保全の活動」などへの参加意向が強くなっています。

○今後のまちづくり活動への参加意向については、「参加するつもりはない」が 31.2%で最も割合が高くなっています。

○参加したい活動については、「イベントなどの企画・運営の活動」が 26.7%で最も高くなっています。次いで「教育（学習・遊び）・文化（音楽・アート）に関わる活動」が 19.5%、「観光や交流（観光イベント、ガイド、観光情報発信）に関わる活動」が 14.7%、「環境（自然保全、ごみ対策など）に関わる活動」が 12.0%と続いています。

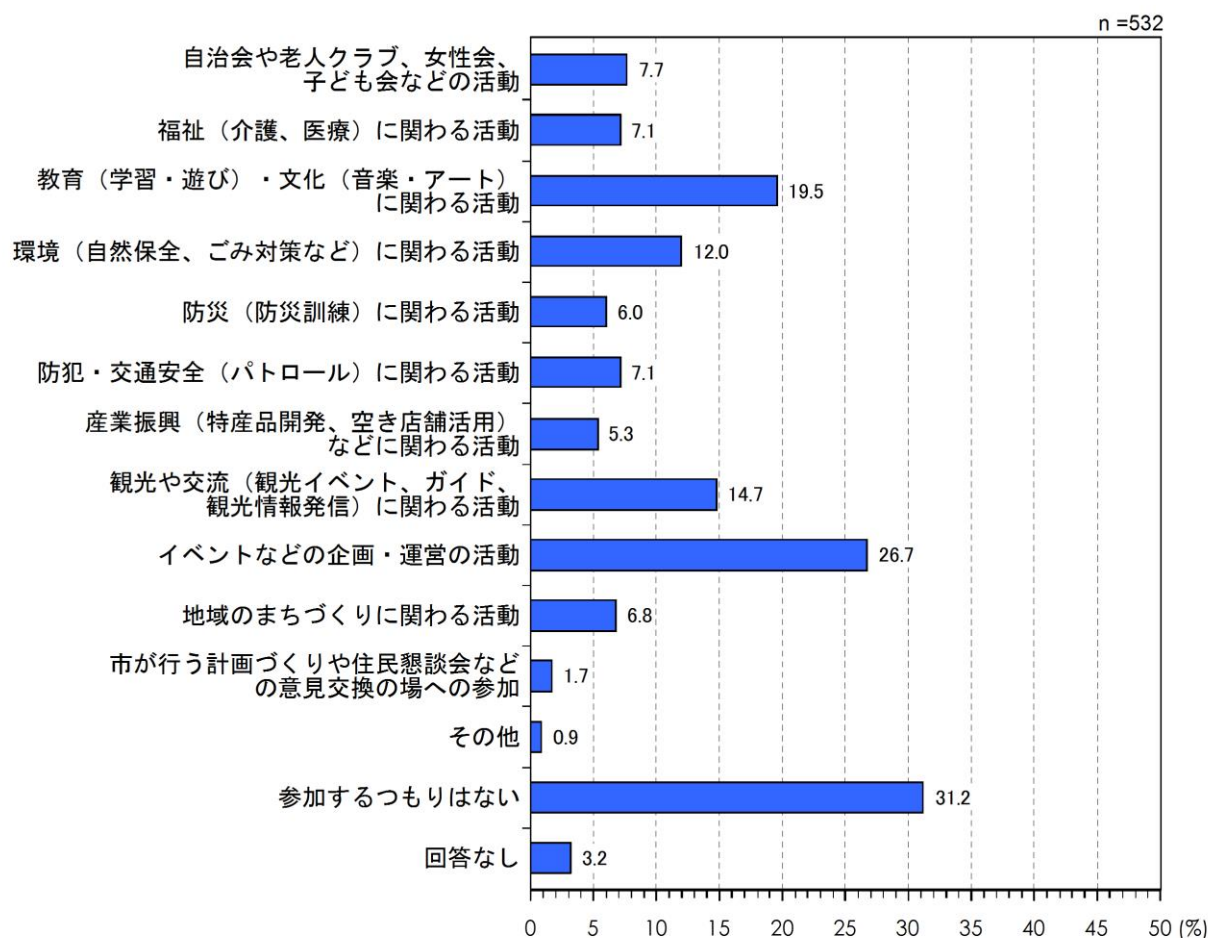


図 4-2 今後のまちづくり活動への参加意向

第5章 就職・職業観について

(1) 就職を希望する仕事内容

問 13 あなたが就職する場合に、希望する仕事内容はどれですか。あなたのお考えに近いものを1つ選んで、番号に○印をつけてください。

◆「製造業」、「サービス業」、「公務員」を希望する生徒が多くなっています。

○生徒が将来就職する際に希望する仕事内容は、「製造業」が 29.1%で最も割合が高くなっています。次いで「サービス業」が 13.3%、「公務員」が 11.3%、「医療・福祉関係」が 8.8%などとなっています。

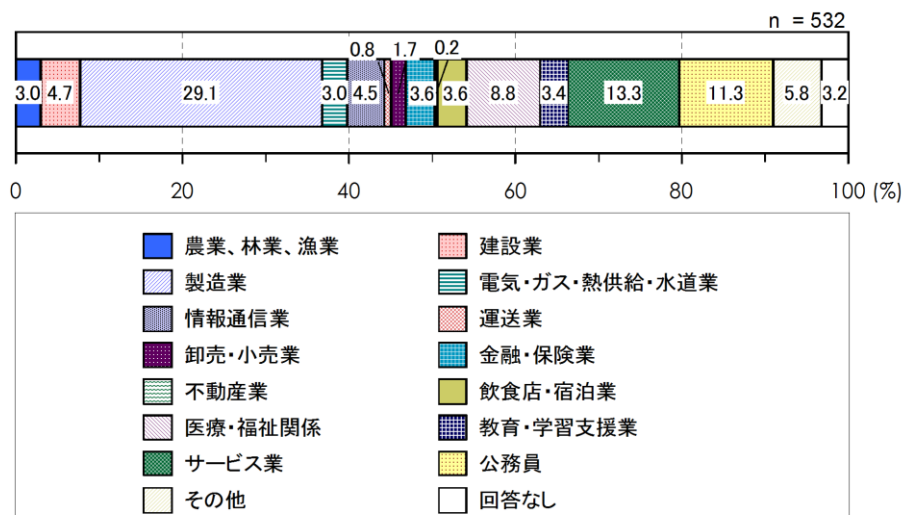


図 5-1 就職する場合に希望する仕事内容

（２）就職先を選ぶ際に重視すること

問 14 あなたが就職先を選ぶ際に重視することは何ですか。あなたのお考えに近いものを3つまで選んで、番号に○印をつけてください。

◆賃金、休日、勤務時間などの労働環境を重視する生徒や、適性、やりがいなどの仕事内容を重視する生徒が多くなっています。

○就職先を選ぶ際に重視することとしては、「賃金」が 67.7%で最も割合が高くなっています。次いで「休日（完全週休２日制など）」が 57.7%、「勤務時間や残業の有無」が 28.9%と、待遇や労働環境を重視する生徒が多くなっています。

○また、「自分に仕事が向いているか」（23.9%）、「やりがいを感じられるか」（21.4%）などの仕事内容を重視する生徒も多くなっています。

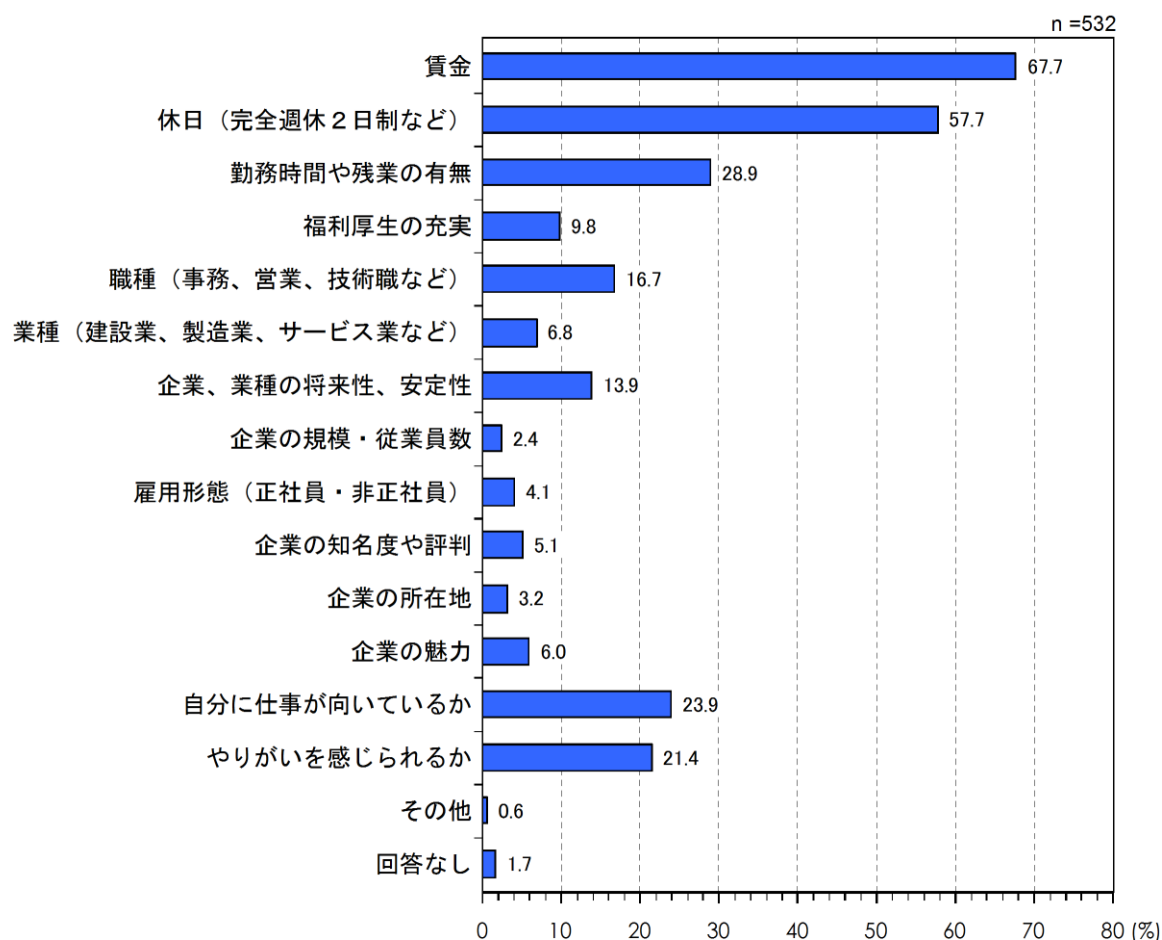


図 5-2 就職先を選ぶ際に重視すること

(3) 碧南市内での就職意向

問 15 あなたは碧南市内で働きたいと思いますか？ あなたのお考えに近いものを1つ選んで、番号に○印をつけてください。

◆碧南市内で働きたい生徒は2割程度となっています。

○「碧南市内で働きたい」は22.4%、「碧南市内で働きたくない」が25.2%、「わからない」が50.2%となっています。

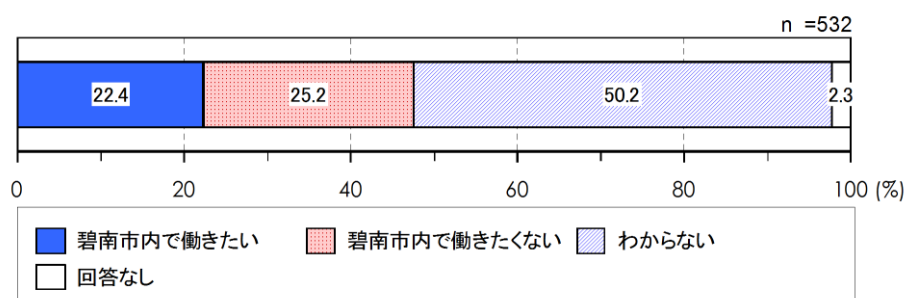


図 5-3 碧南市内での就職意向

(4) 碧南市内で就職したい理由

問 16 問 15 で「1.碧南市内で働きたい」と回答された方におたずねします。

あなたが碧南市内に就職したいと思う理由は何ですか。あなたのお考えに近いものを3つまで選んで、番号に○印をつけてください。

◆「自宅から近い場所で働きたい」、「友人・知人が多いから」、「碧南市に愛着があるから」が碧南市内で働きたい主な理由になっています。

○碧南市内で働きたいと回答した 119 名の生徒が碧南市内で就職したい理由については、「自宅から近い場所で働きたいから」が 46.2%で最も割合が高くなっています。次いで「友人・知人が多いから」が 31.9%、「碧南市に愛着があるから」が 28.6%、「特に理由はない」が 16.8%、「生まれ育った碧南市に貢献したいから」が 16.0%となっています。

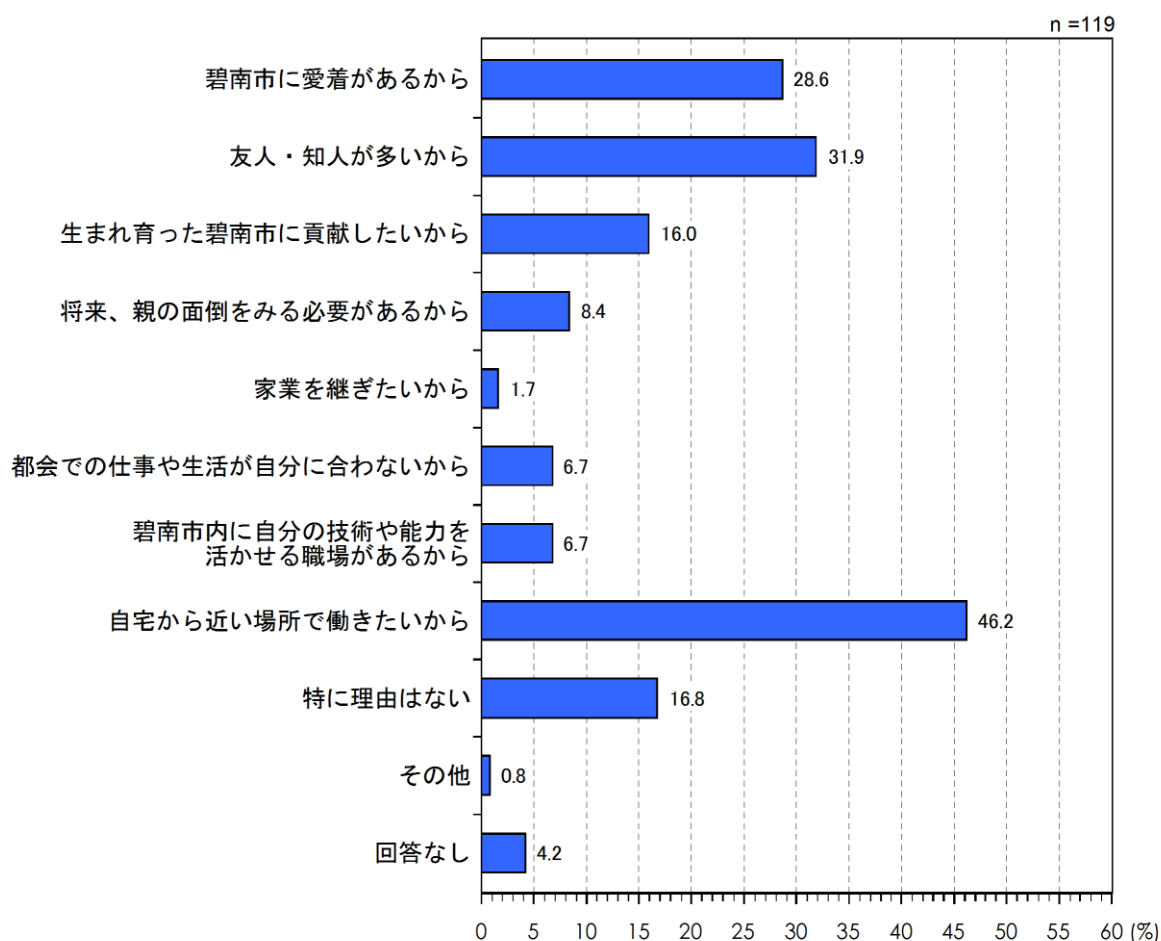


図 5-4 碧南市内で働きたい理由

(5) 碧南市外で就職したい理由

問 17 問 15 で「2. 碧南市内で働きたくない」、「3. わからない」と回答された方におたずねします。

あなたが碧南市外で就職したいと思う理由は何ですか。あなたのお考えに近いものを3つまで選んで、番号に○印をつけてください。

◆「希望する企業や仕事が無い」、「都会で暮らしたい」、「視野を広げたい」などが碧南市内で働きたくない主な理由になっています。

○碧南市内で働きたくない、わからないと回答した 401 名の生徒が碧南市外で就職したい理由については、「希望する企業や仕事が碧南市内に無いから」が 38.7%で最も割合が高くなっています。次いで「特に理由はない」が 33.9%となっています。その他、「都会で暮らしたいから」(20.7%)、「視野を広げたいから」(20.2%)、「賃金などの労働条件が良いから」(14.7%)、「親元を離れて生活したいから」(10.2%) などとなっています。

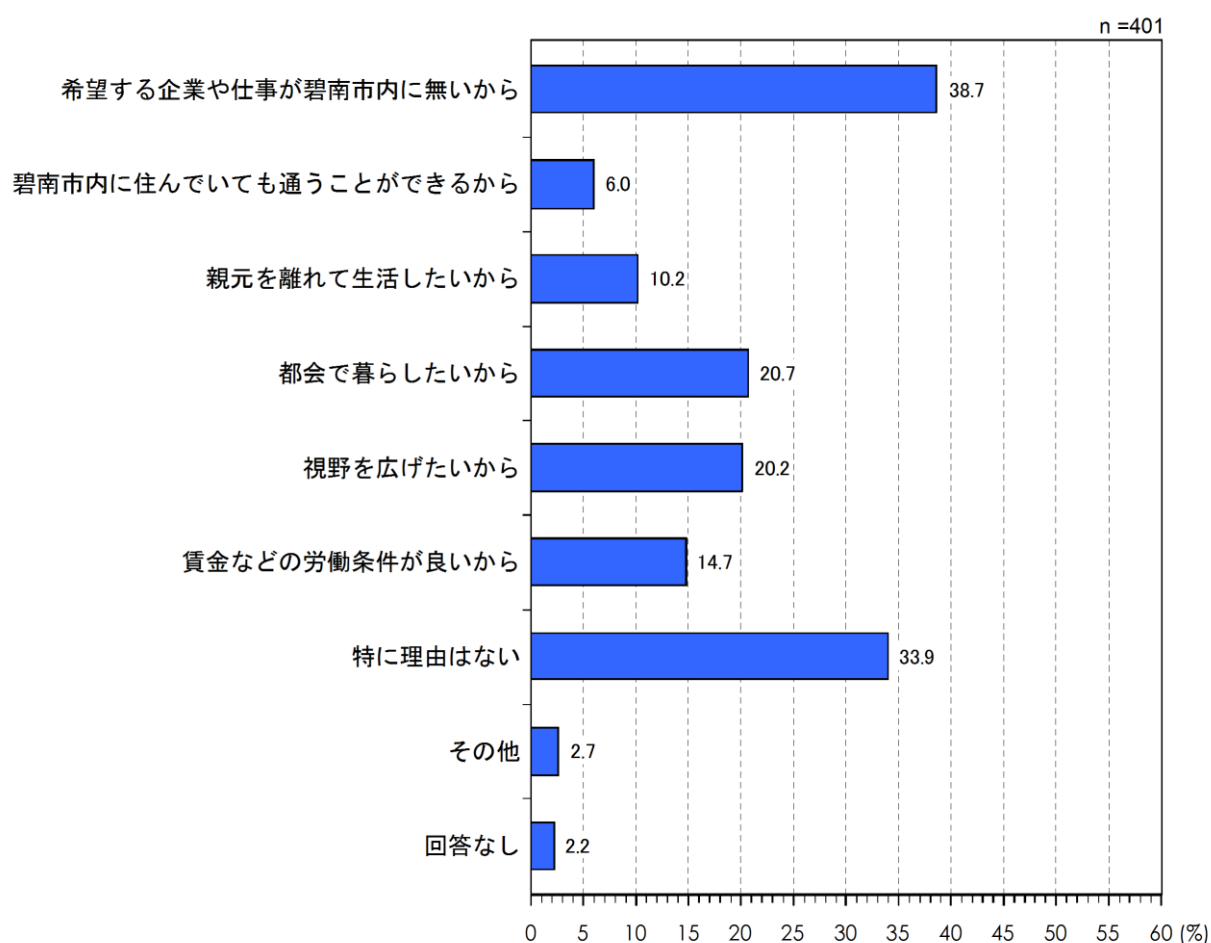


図 5-5 碧南市外で就職したい理由

（６）行政による就職支援策

問 18 あなたが碧南市内に就職しやすいようにするためには、行政等がどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。あなたのお考えに近いものを3つまで選んで、番号に○印をつけてください。

◆「賃金等の労働条件を改善するように働きかけること」、「新しい企業を誘致すること」、「求人を増やすように働きかけること」、「企業や仕事を知る機会を増やすこと」などの行政支援に力を入れることを望んでいます。

○碧南市内に就職しやすいようにするための行政支援として、「賃金等の労働条件がもっと良くなるように市内の企業に働きかけること」が37.8%で最も割合が高くなっています。次いで「新しい企業を誘致し、雇用の場を増やすこと」（36.1%）、「求人を増やすように市内企業に働きかけること」（26.7%）、「職業見学・体験、インターンシップなど、企業や仕事を知る機会を増やすこと」（24.4%）などとなっています。

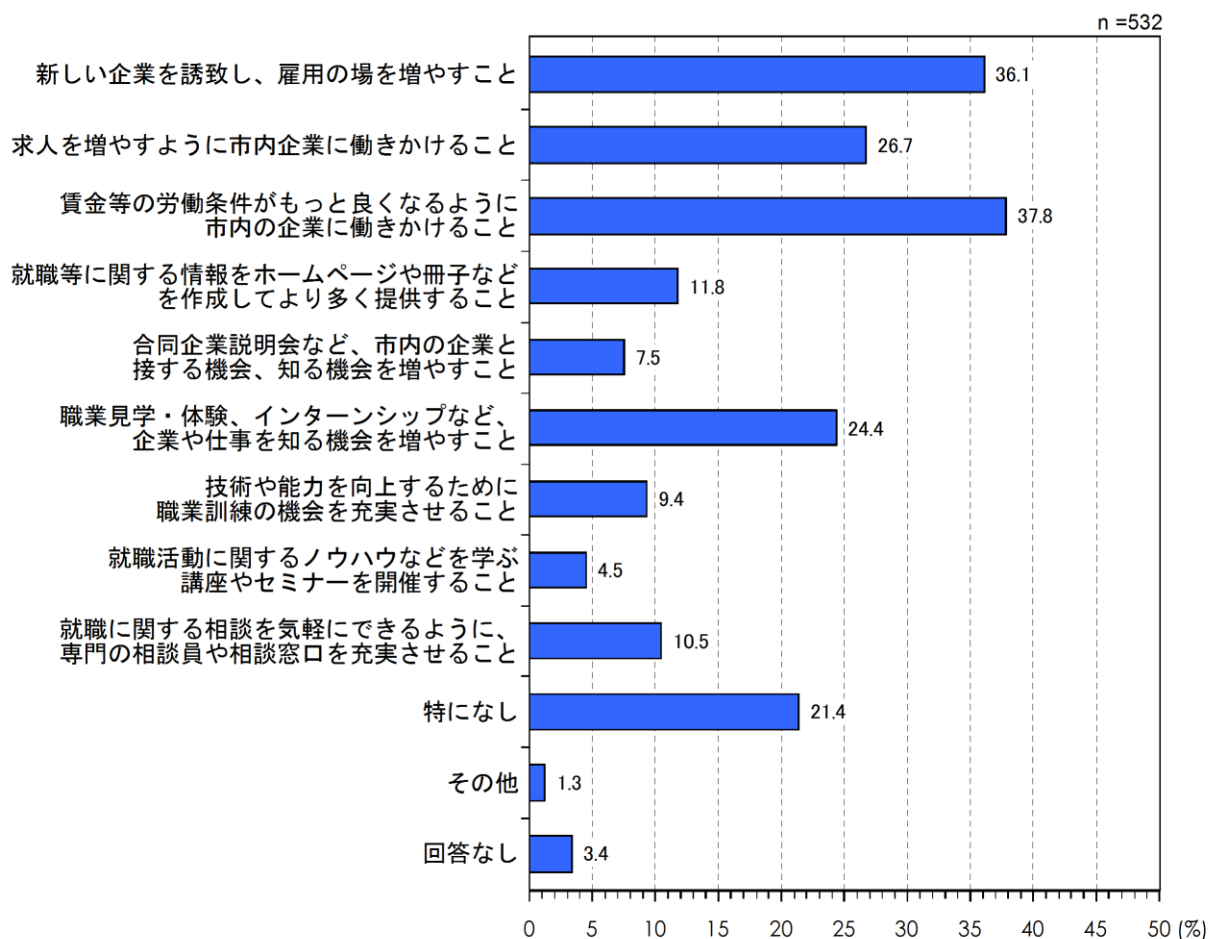


図 5-6 行政による就職支援策

第6章 碧南市に対する意見や提案について

(1) 碧南市に対する意見や提案

問 19 碧南市のまちづくりについて、ご提案などがございましたらご自由にお書きください。

○碧南市のまちづくりについての提案として、67 名から 72 件の意見がありました。これらの意見を現総合計画の施策体系にあわせて分類すると、地域商業の振興や公共交通機関の利便性の向上に対する意見が多くなっています。

表 6-1 碧南市に対する意見や提案（分類）

分 野		件数
市民生活・環境分野		10 件
新たな市民協働のまちづくり		1
	地域コミュニティの活性化	1
環境に配慮したまちづくり		4
	環境にやさしいまちづくり	1
	環境保全と公害の防止	3
快適な生活を営めるまちづくり		1
	緑豊かなまちづくり	1
安全で災害に強いまちづくり		4
	防犯体制の強化	2
	交通安全の推進	2
都市基盤・産業振興分野		46 件
質の高い都市基盤のまちづくり		12
	市道・一般道等生活道路の整備	4
	河川・下水道雨水整備と治水の推進	1
	公共交通機関の利便性の向上	7
バランスのとれた産業振興のまちづくり		34
	地域商業の振興	32
	魅力ある観光地づくりの展開	2
教育分野		2 件
人を育み活かすまちづくり		1
	生きる力を育む義務教育の充実	1
地域文化を守りみんなが誇れるまちづくり		1
	文化財の保護と活用	1
行財政分野		7 件
市民協働型行政のまちづくり		7
	広報・広聴活動の推進	4
	市民に満足されるサービスの提供	1
	信頼される行政運営の推進	2
その他		7 件
その他		7

表 6-2 碧南市に対する意見や提案内容

意見・提案内容	
市民生活・環境分野	
新たな市民協働のまちづくり	
	地域コミュニティの活性化
	親が、碧南は地域のつながりが深いと言っていました。
環境に配慮したまちづくり	
	環境にやさしいまちづくり
	まちをきれいにする。
	環境保全と公害の防止
	川きれいに！
	川をもっときれいにしたらいいと思います。
	浜寺町にある海が汚い気がします。
快適な生活を営めるまちづくり	
	緑豊かなまちづくり
	大きな芝生広場が欲しいです。
安全で災害に強いまちづくり	
	防犯体制の強化
	空き巣が目立つ
	帰り道が暗く、小学生など近くにいるので、外灯をつけてほしいです。
	交通安全の推進
	交通ルール、マナーをしっかりさせる。
	入り組んだ道が多く、急な横道からの車の飛び出しで友だちも自分も何度も事故になりかけている。
都市基盤・産業振興分野	
質の高い都市基盤のまちづくり	
	市道・一般道等生活道路の整備
	道路が悪いので早く良くしてほしいです。
	この前、碧南の歩道を自転車で走っていたら道がガタガタして走りにくいと感じました。改善してほしいです。
	車道と歩道の段差がゴタゴタしていてチャリつらい。中央はきれいスルスル～。
	道路のでこぼこをなおしてほしいです。
	河川・下水道薄い整備と治水の推進
	20mの防波堤。
	公共交通機関の利便性の向上
	くるくるバスの時間をもっと増やしてほしい。とくに部活後の夜7時台や、補習の朝7時台を増やしてほしい。雨の日に駅に行く便も、もう少し増やしてほしい。
	名鉄三河線の知立域を少しでいいので名古屋行にしてほしいのと、急行碧南行きを復活してほしい。
	西尾への交通の便を良くしてほしい。
	西端に駅をつくってほしい。
	電車の本数を増やしてほしい。
	電車の本数を増やしてほしい。
	駅周辺をもっと良くする。
バランスのとれた産業振興のまちづくり	
	地域商業の振興
	図書館と書店を増やしてほしい。ゲームセンターがひとつくらいほしい。
	碧南工業高校の近くにコロナをつくってほしい。
	イオンをつくる。
	イオンとか。
	イオン、ベルサウオーク、ららぽーと、アピタ。

意見・提案内容	
	イオン・アピタ等のショッピングモール。ラウンドワンなどの施設、カラオケなどの娯楽施設。
	イオン、アピタ、ラウンドワン、カラオケボックスなど、娯楽施設を増やしてほしい。
	駅の近くにショッピングモールをつくってください。
	ショッピングセンターをつくってほしい。
	アニメイト、とらのあななどのアニメ関連の店を増やす。
	本屋がほしい。
	碧南市で気軽に遊べる場所（カラオケやショッピングモール）を切実につくってほしい。
	施設を増やし、整える。
	みんなが行きたいと思う大きなデパートがあったほうがよいと思う。
	若者も集まれるようなイオンやららぽーとみたいな施設がほしい。碧南にも最新の服やコスメ、プリクラとかある施設がほしい。絶対ににぎわうと思う。
	ベルサウオークのような大きい建物をつくってもいいと思う。
	駅から碧南高校のあいだにコンビニをつくってほしい。
	ショッピングができる場所がないから市外に行ってしまう。市外からの人たちが興味をもって来たる場所が少ないと思う。学校帰りに楽しめる場所がほしい。
	高浜市民ですが、100円寿司屋が2つあるので、他の飲食店と交換してくれませんか。寿司屋はもういいのです。
	遊ぶ場所が少ない。ゲームセンターをつくってほしい。
	もっと遊べる場所を増やしてほしい。
	娯楽がない。
	明石公園のゴーカートを日本一長いコースにしてほしい。そうしたら碧南市に住みたいと思います。
	もっとレジャーや娯楽施設があったほうが、市がにぎわって、もっと人が増えたりすると思います。
	映画館ほしい！
	とにかく遊べる所がほしいので、ゲーセンとかでもいいのでください。
	遊べるところが少ない。レジャースポットをつくってほしい。
	スポーツ施設や娯楽施設を増してほしいです。大型ショッピングモールをつくってほしいです。
	カラオケつくれ、ボーリングつくれ、映画館つくれ。
	娯楽施設がない。年寄りが集える場所があっても、若者に居場所はない。そのうち過疎化する。
	ゲームセンターが欲しい。
	大きなレジャー施設がほしい。
	魅力ある観光地づくりの展開
	碧南市に住んでいてもどこに何があるかよくわかってないので、なにかマップみたいなものをつくれればよいと思います。
	行事を増やす！
教育分野	
人を育み活かすまちづくり	
	生きる力を育む義務教育の充実
	有名人を呼ばないで、学校の備品の改良をしてほしい。
地域文化を守りみんなが誇れるまちづくり	
	文化財の保護と活用
	碧南の歴史というものは埋もれかけていると思う。まわりで中野四郎を知っている人も少ないだろう。
行財政分野	
市民協働型行政のまちづくり	
	広報・広聴活動の推進
	70周年記念のお祭りなどを、高校生と一緒に考える企画が楽しかったので、他の人たちにも続けてほしい。
	こういったしっかりとしたアンケートは知立市ではとっていないので、とてもやる気がつたわってきます。
	若者が興味をもつ活動が無いと思う。
	市外に住んでいる人に意見を求めないでほしい。

意見・提案内容	
	市民に満足されるサービスの提供
	碧南中央駅付近ばかりに主要な施設が多いと感じました。改善してほしいです。
	信頼される行政運営の推進
	飛島村と合併することで予算が増えると思うので、合併するといいと思います。
	もうそろそろ若い人向けのまちにしたほうがいい。
その他	
	碧南市に興味がない。
	よいまちがつくれるように頑張ってください。
	オマーン国際銀行。
	関係ない。
	BOYS AND MEN を呼んでください。
	お任せします。
	1 人になれる場所が欲しい。

計画策定の方針

(1) 計画策定の趣旨

「第5次碧南市総合計画」の計画期間が終了するため、次の10年(計画期間2021年度から2030年度の10年間)の行政運営の指針となる「第6次碧南市総合計画」を作成

(2) 計画策定の方針

- ①第5次総合計画の実績と課題の検証に基づいて計画を策定
- ②目指す市の将来像を実現するために、行政全体が一体となって取り組むための指針となる計画を策定
- ③将来の社会経済環境変化に伴う新たな課題への対応方針を示す。
- ④限られた経営資源の中で今後の課題に的確に対応するために、重点的な取り組み方針を示す。

計画策定の背景

(1) 我が国の将来動向と計画に求められる視点

- ①人口構造の変化
 - ・超高齢社会の進展
 - ⇒在宅介護、在宅医療へのシフト、総合的な認知症対策
 - ⇒高齢者の就労・社会参加
 - ・生産年齢人口・年少人口の減少
 - ⇒人材不足、若者の定住・女性活躍の促進
- ②インフラ・空間の変化
 - ・インフラの老朽化・維持管理効率の低下
 - ⇒インフラの長寿命化、施設の集約化・複合化、施設の有効活用
 - ・都市の低密度化、スポンジ化
 - ⇒空家・空地対策、公共交通の維持
- ③技術・社会の変化
 - ・ソサエティー5.0
 - ⇒新技術の活用による地域課題解決、スマートシティ
 - ・価値観の変化・多様化、外国人の増加
 - ⇒関係人口の拡大、多文化共生、SDGs

(2) 碧南市の主要課題

- ①産業の持続的発展基盤の充実
 - ・本市の強み：製造業、農業の生産力の高さの維持・強化
- ②定住環境の整備
 - ・仕事、結婚等の理由で周辺都市への転出が多い
 - ・若い世代の定住を促進するための総合的な環境整備
- ③子育てしやすいまちづくり
 - ・若い女性の転出が多く、出生数の減少の要因となっている
 - ・子育てしやすいまちとしての魅力づくりとアピール
- ④多文化共生の推進
 - ・外国人は増加。外国人もコミュニティの一員として共に生きる地域社会の形成
- ⑤健康寿命の延伸
 - ・外出機会の創出や移動手段の確保、介護予防に関する取り組み
 - ・高齢者が安心して生活できる環境づくり

めざす都市の姿

(1) 将来都市像

第6次碧南市総合計画の「新しい都市像」を設定します。第5次碧南市総合計画では「ひとのわで 楽しさつくる みなとまち へきなん」をキャッチフレーズとしています。

(2) まちづくりの基本理念

第5次碧南市総合計画と同様碧南市民憲章の理念を踏まえて設定します。

(3) 将来人口

75,000 人を目標とします。

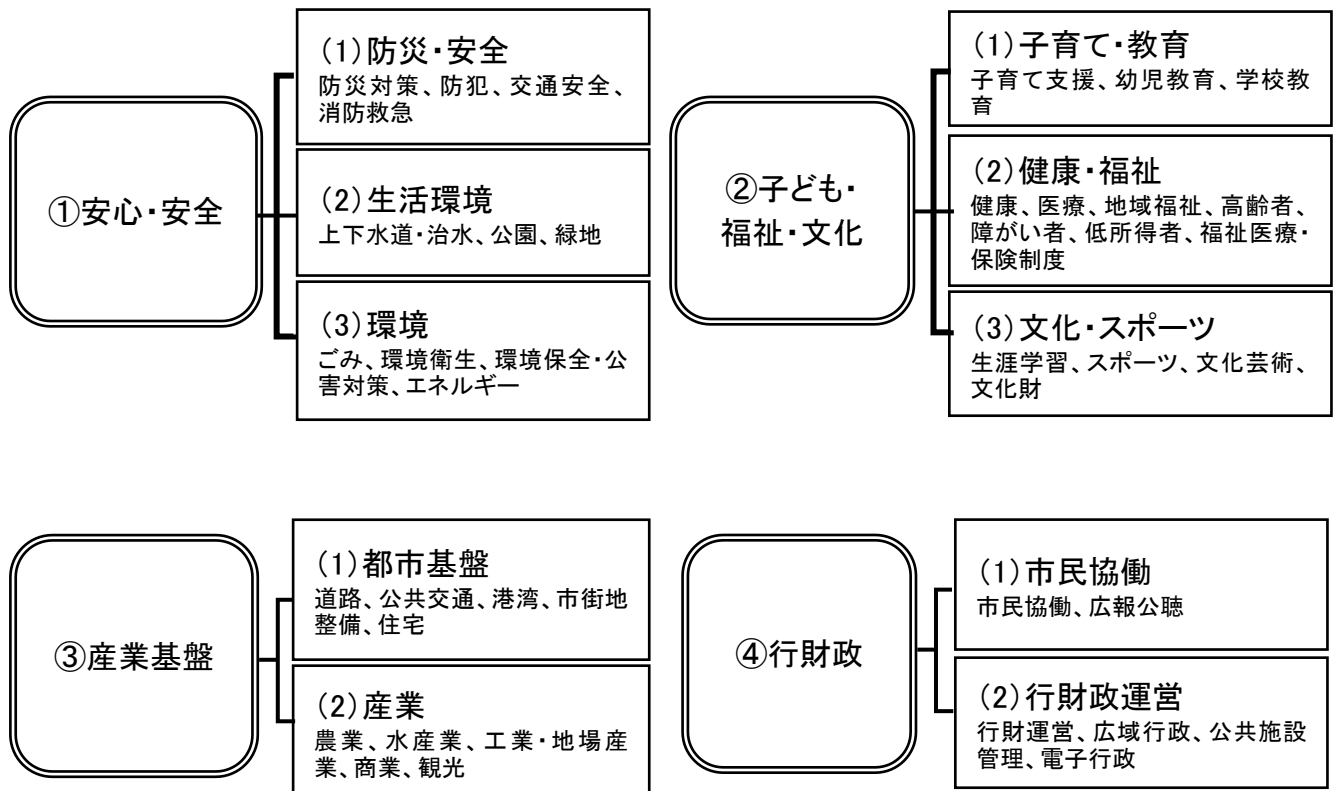
(4) 土地利用方針

現在策定中の都市計画マスタープランの土地利用方針を反映します。

まちづくりの重点戦略

分野を横断的かつ重点的に取り組むテーマを3つ程度設定します。

分野別政策体系（案）のイメージ



第 6 次碧南市総合計画策定に係る 市民アンケート

調査結果報告書

令和元年 5 月

目 次

序 章 調査の概要	1
1. 調査の目的	1
2. 調査方法	1
3. 回収結果	1
4. 本報告書における注意事項	1
第1章 回答者の属性	2
(1) 年齢	2
(2) 性別	3
(3) 居住地域	4
(4) 家族人数	5
(5) 職業	6
(6) 居住年数	7
第2章 碧南市の住みやすさ	9
(1) 住みごころ	9
(2) 定住意向	11
(3) 住み続けたい理由	13
(4) 住み続けたくない理由	16
第3章 まちづくりを進めてきた効果	19
(1) 効果が上がった施策	19
(2) まちづくり施策の評価	20
第4章 日常生活や地域活動等の実態	22
(1) 日常生活や地域活動等の実態	22
第5章 人口の定住を進める方策	24
(1) 子育て支援策の意向	24
(2) 移住定住策の意向	28
(3) 若者への支援策の意向	32
第6章 碧南市のこれからのまちづくり	36
(1) これからのまちづくりの進め方	36
(2) 今後参加したい活動	40
(3) 将来のまちのイメージ	44
(4) 市民としてできること	48

序 章 調査の概要

1. 調査の目的

本調査は第6次碧南市総合計画を策定するにあたり、市民を対象に碧南市の現状や課題などに関する意見や要望を把握し、新たな総合計画に役立てることを目的に実施しました。

2. 調査方法

本調査の概要は以下に示すとおりです。

- (1) 調査対象 : 18歳以上の市民
- (2) 対象者数 : 2,000人
- (3) 調査方法 : 郵送配布、郵送回収
- (4) 調査時期 : 平成31年2月●日～3月15日

3. 回収結果

アンケートの回収結果は以下に示すとおりです。

配布数	2,000票
有効回収数	906票（回収数は909票で、うち白票が3票）
有効回収率	45.3%

4. 本報告書における注意事項

- 図中の構成比(%)は、小数点以下第2位を四捨五入して算出しています。そのため構成比をそのまま合計しても、必ずしも合計が100.0%にならない場合があります。
- 表、グラフ等の見出しおよび文章中の選択肢の表現については、趣旨が変わらない程度に簡略化しているものもあります。
- 回答率の母数は、原則としてその質問の回答者数であり、表、グラフ内では「n=〇〇」と表示しています。

第1章 回答者の属性

(1) 年齢

問1 あなたの年齢はおいくつですか。

◆回答者の年齢は、60歳、70歳以上の高齢者が多くなっています。

- 回答者の年齢は「60歳代」が19.1%で最も割合が高く、次いで「70歳以上」が17.9%、「50歳代」が16.8%、「40歳代」が16.0%、「30歳代」が15.7%、「20歳代」が11.1%、「18・19歳」が2.9%と、年齢層が高いほど、回答者が多くなっています。
- 平成31年1月末の年齢別人口に比べ、「60歳代」の回答割合が高くなっています。

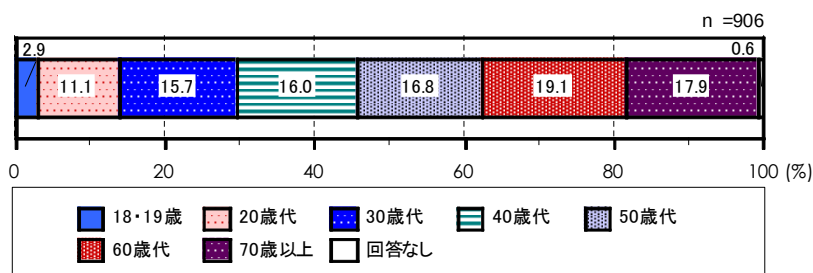


図 1-1-1 回答者の年齢

表 1-1-2 年代別住民基本台帳人口（平成31年1月末人口（日本人＋外国人））

年齢	男性	女性	合計	%
18・19歳	806	816	1,622	2.7%
20歳代	4,943	3,855	8,798	14.5%
30歳代	5,095	4,182	9,277	15.3%
40歳代	5,701	5,024	10,725	17.7%
50歳代	4,763	4,370	9,133	15.1%
60歳代	4,282	4,181	8,463	14.0%
70歳以上	5,328	7,154	12,482	20.6%
合計	30,918	29,582	60,500	100.0%
%	51.1%	48.9%	100.0%	

(2) 性別

問2 あなたの性別はどちらですか。

◆回答者の性別は、女性が多くなっています。

○回答者の性別は、「男性」が 44.8%、「女性」 53.4%と、女性の割合が高くなっています。

○平成 31 年 1 月末の性別人口に比べると、「女性」の回答割合が高くなっています。

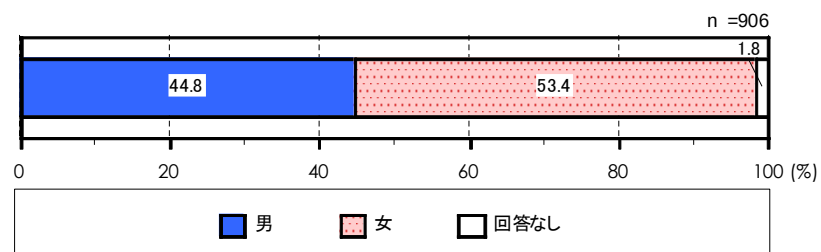


図 1-2 回答者の性別

（３）居住地域

問３ お住まいの地域はどこですか。

◆回答者の住まいは、新川地域、大浜地域が多くなっています。

○回答者の住まいは、「新川地域」が 23.1%で最も割合が高くなっています。次いで「大浜地域」が 19.6%、「中央地域」が 16.0%、「旭地域」が 15.6%、「棚尾地域」が 12.3%、「西端地域」が 11.5%となっています。

○住民基本台帳による 18 歳以上の地域別人口については、「新川地域」が 12,872 人 (21.3%)、「中央地域」が 8,235 人 (13.6%)、「大浜地域」が 14,081 人 (23.3%)、「棚尾地域」が 4,791 人 (7.9%)、「旭地域」が 13,602 人 (22.5%)、「西端地域」が 6,919 人 (11.4%) となっており、実際の地域別人口に比べ「新川地域」、「中央地域」、「棚尾地域」の回答者割合が高くなっています。

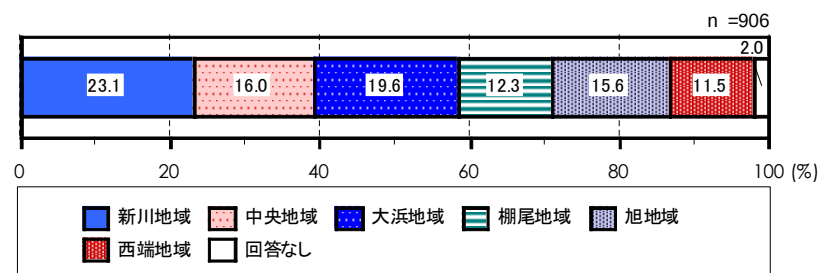


図 1-3-1 回答者の住まい

表 1-3-2 18 歳以上地域別の住民基本台帳人口（平成 31 年 1 月末人口（日本人＋外国人））

地区名	男性	女性	合計	%
新川地域	6,525	6,347	12,872	21.3%
中央地域	4,265	3,970	8,235	13.6%
大浜地域	7,340	6,741	14,081	23.3%
棚尾地域	2,389	2,402	4,791	7.9%
旭地域	6,901	6,701	13,602	22.5%
西端地域	3,498	3,421	6,919	11.4%
計	30,918	29,582	60,500	100.0%

(4) 家族人数

問4 あなたの家族は全員で何人ですか。(あなた本人も含む)

◆回答者の家族人数は2～4人が約7割を占めています。

○回答者の家族人数(本人含む)では、「3人」が23.4%で最も高く、次いで「4人」が23.3%と並んでおり、「2人」が22.3%で、2～4人の家族が約7割を占めています。

○また、「1人」が4.7%となっています。

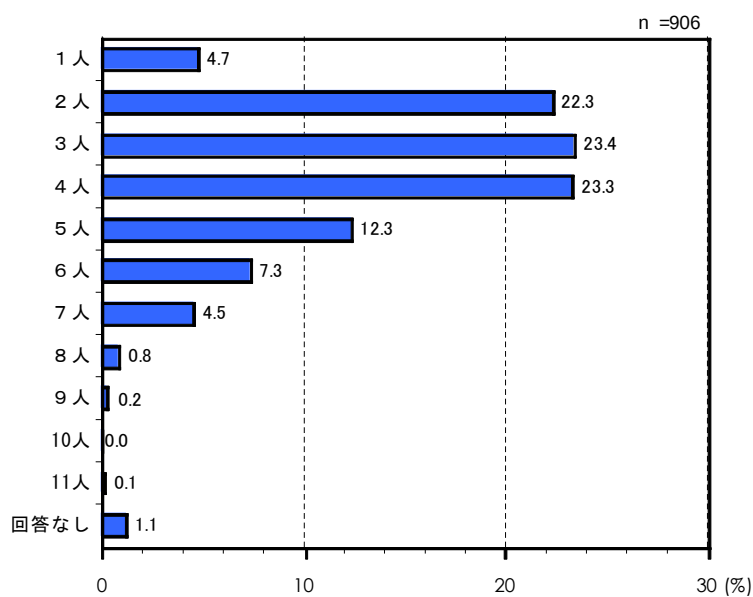


図 1-4 回答者の家族人数

（５）職業

問５ あなたの職業は何ですか。

◆回答者の職業は、おつとめが半数程度を占めています。

○回答者の職業は「おつとめ」が47.7%で最も高くなっています。次いで「主婦」が19.1%、「無職、その他」が18.0%、「自営」が10.4%、「学生」が4.0%となっています。

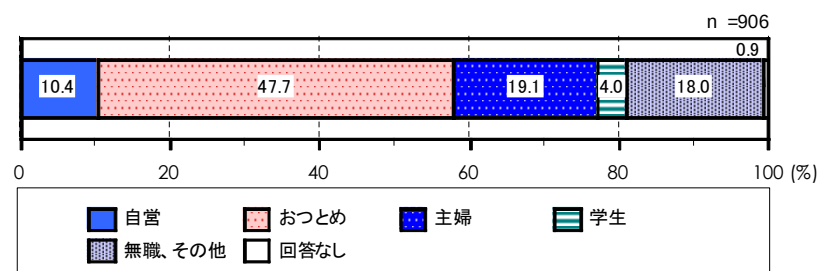


図 1-5 回答者の職業

（６）居住年数

問６ 碧南市に住み始めてから何年になりますか。

◆回答者の居住年数は、30 年以上が多くなっています。

①回答者全体

○回答者の碧南市に住み始めてからの居住年数は、「30 年以上」が 58.5%を占めています。

「20 年以上 30 年未満」が 15.8%、「10 年未満」、「10 年以上 20 年未満」がそれぞれ 12.6%となっています。

○20 年以上が 4 分の 3、20 年未満が 4 分の 1 程度となっています。

②性別

○男性では「30 年以上」が 64.0%と高く、女性では「10 年未満」が男性よりも高くなっています。

③年齢別

○40 歳代以上で年齢が上がるにしたがって「30 年以上」が高くなっており、30 歳代で「10 年未満」が 34.5%で年齢層の中で最も高くなっています。

④居住地域別

○大浜地域と旭地域で「30 年以上」が 60%を超えて高くなっています。

○新川地域で「20 年以上 30 年未満」(19.1%)、西端地域で「10 年以上 20 年未満」(17.3%)が他の地域よりも高くなっています。

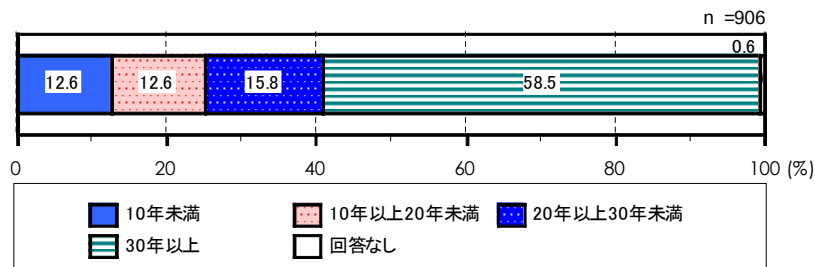


図 1-6-1 回答者の居住年数

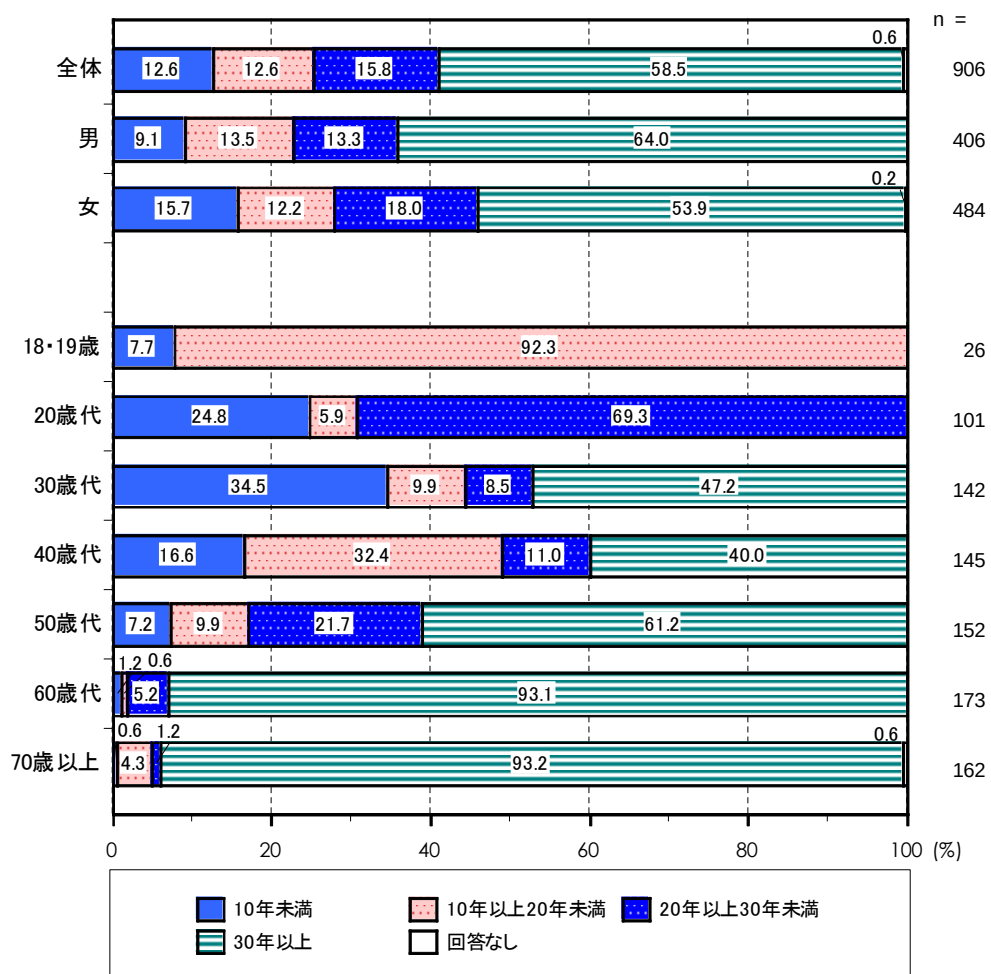


図 1-6-2 回答者の居住年数（性別、年齢別）

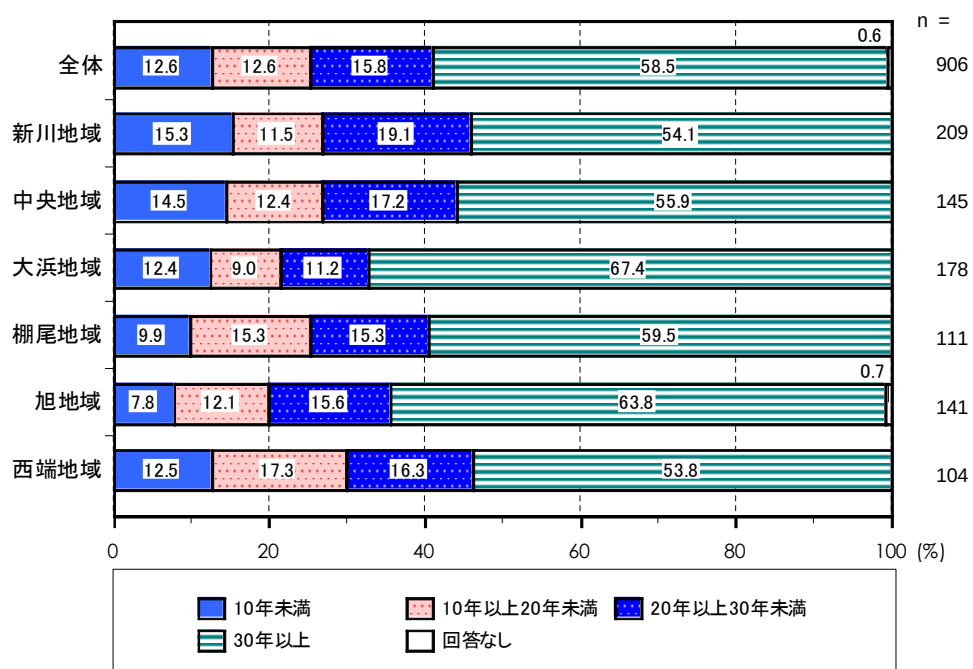


図 1-6-3 回答者の居住年数（居住地域別）

第2章 碧南市の住みやすさ

(1) 住みごこち

問7 碧南市の住みごこちについて、あてはまるものを1つ選んでください。

◆碧南市を住みやすいと感じている方が8割を占めています

①回答者全体

○碧南市の住みごこちは、「住みやすい」が 34.8%、「どちらかといえば住みやすい」が 51.1%、「どちらかといえば住みにくい」が 5.8%、「住みにくい」が 2.5%、「わからない」が 5.1%となっています。

○「住みやすい」と「どちらかといえば住みやすい」をあわせた、『住みやすい』と感じている方が約 86%を占めています。

②性別

○性別では回答にあまり差がありません。

③年齢別

○70 歳以上で『住みやすい』（「住みやすい」＋「どちらかといえば住みやすい」）が 89%と高く、18・19 歳で 81%と低くなっています。

④居住地域別

○大浜地域で『住みやすい』が 89%とやや高く、新川地域で 83%と低くなっています。

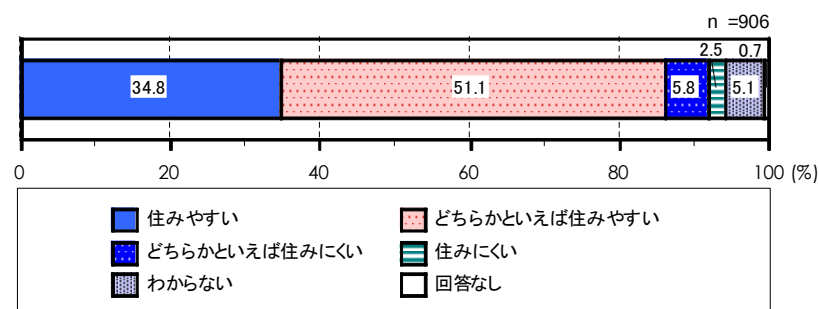


図 2-1-1 碧南市の住みごこち

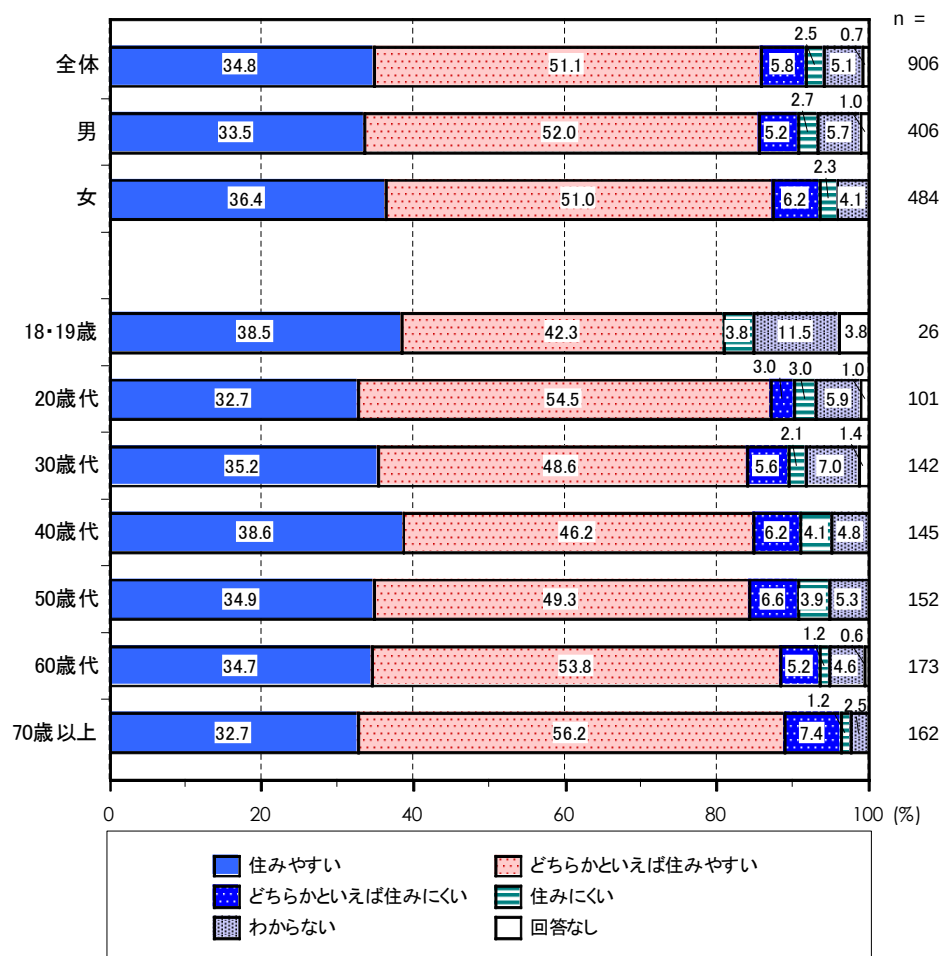


図 2-1-2 碧南市の住みごころ (性別、年齢別)

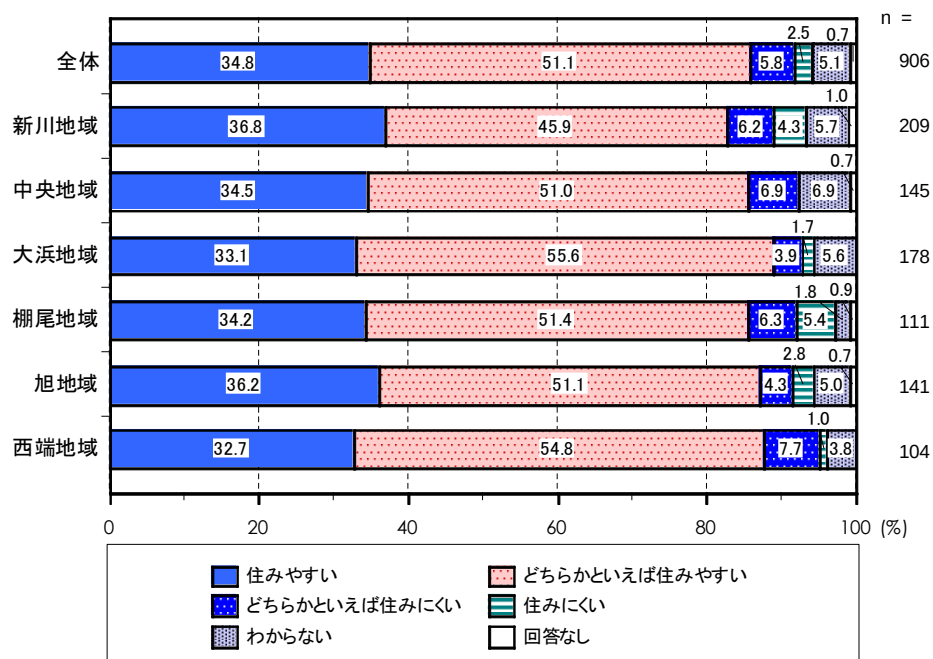


図 2-1-2 碧南市の住みごころ (居住地域別)

(2) 定住意向

問8 あなたは、これからも碧南市に住み続けたいと思いますか。

◆定住意向のある方が約9割弱を占めています。

①回答者全体

○碧南市への定住意向については、「住み続けたい」が 61.4%、「当分住み続けたい」が 26.7%、「いずれは移転したい」が 10.7%、「すぐにでも移転したい」が 0.8%となっており、「住み続けたい」と「当分住み続けたい」をあわせた、定住意向のある方が 88%を占めています。

②性別

○性別では、定住意向にほとんど差がありません。

③年齢別

○定住意向は 20 歳代以下では低く、30 歳代では全体に近い割合となっています。

○40 歳代では定住意向が再び低くなり、そこから年齢が上がるにしたがって高くなり 60 歳以上で 95%程度となっています。

④居住地域別

○定住意向は西端地域と旭地域で 90%を超えて高くなっています。

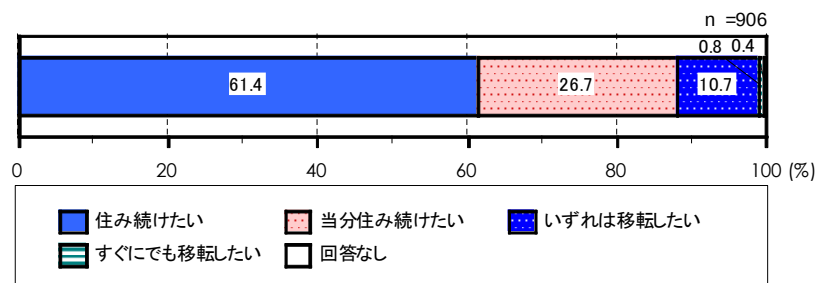


図 2-2-1-1 碧南市への定住意向

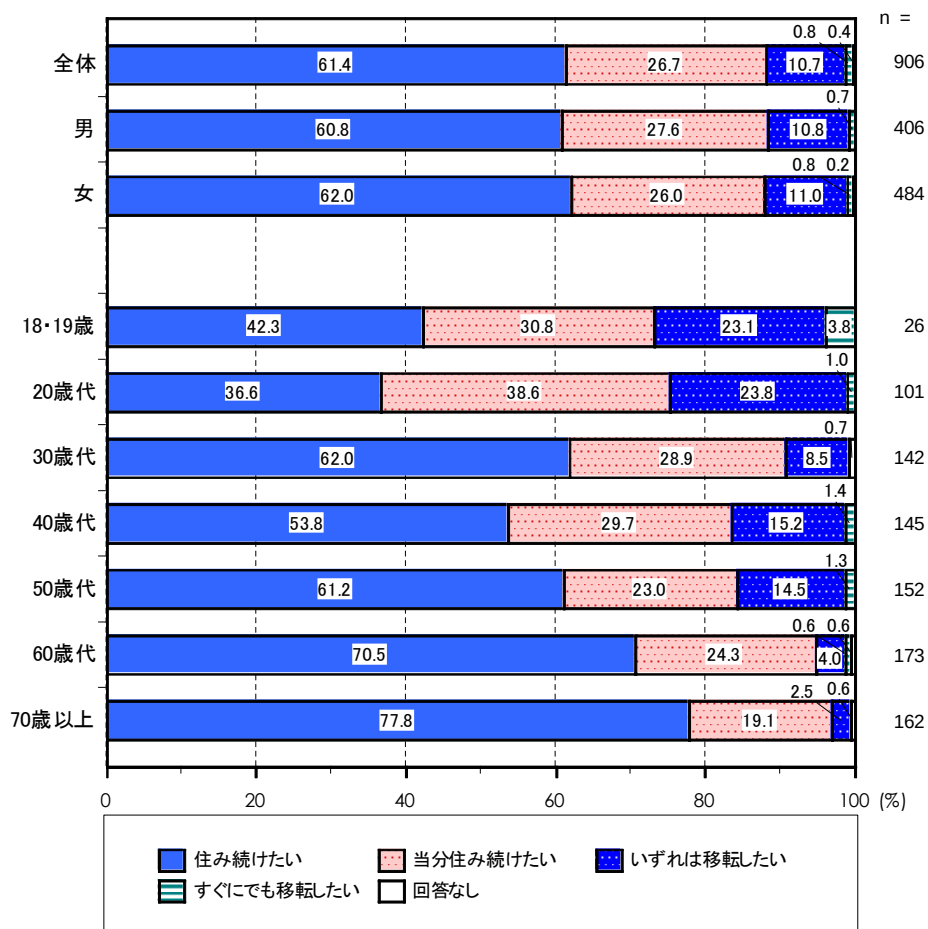


図 2-2-1-2 碧南市への定住意向（性別、年齢別）

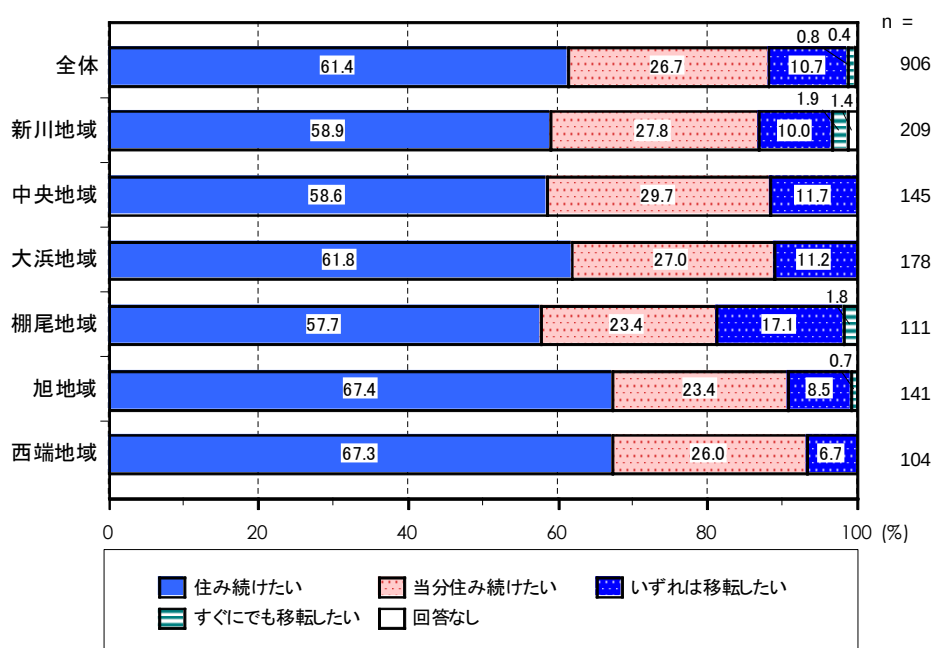


図 2-2-1-3 碧南市への定住意向（居住地域別）

(3) 住みたい理由

問9-1 問8で「1.住みたい」、「2.当分住みたい」と回答された方にお聞きします。
あなたが今後も住みたいと思う理由は何ですか。あなたのお考えに近いものを3つまで選び、○印をつけてください。

◆碧南市に住みたい理由については、「持ち家がある」、「住み慣れて愛着がある」が多くなっています。

①回答者全体

○問8で「1. 住みたい」、「2. 当分住みたい」と回答した 798 名の住みたいと思う理由については、「持ち家がある」(64.0%)と「住み慣れていて愛着がある」(61.3%)に回答が集まっています。

○さらに、「親類が近くにいる」(28.2%)、「買い物に便利」(17.9%)、「自然環境がよい」(16.3%)、「職場が近くにあるなど通勤や仕事に便利」(15.9%)と続いており、持ち家があること、愛着があることをはじめ、買い物や通勤等なの利便性、自然環境の良さなどが理由になっています。

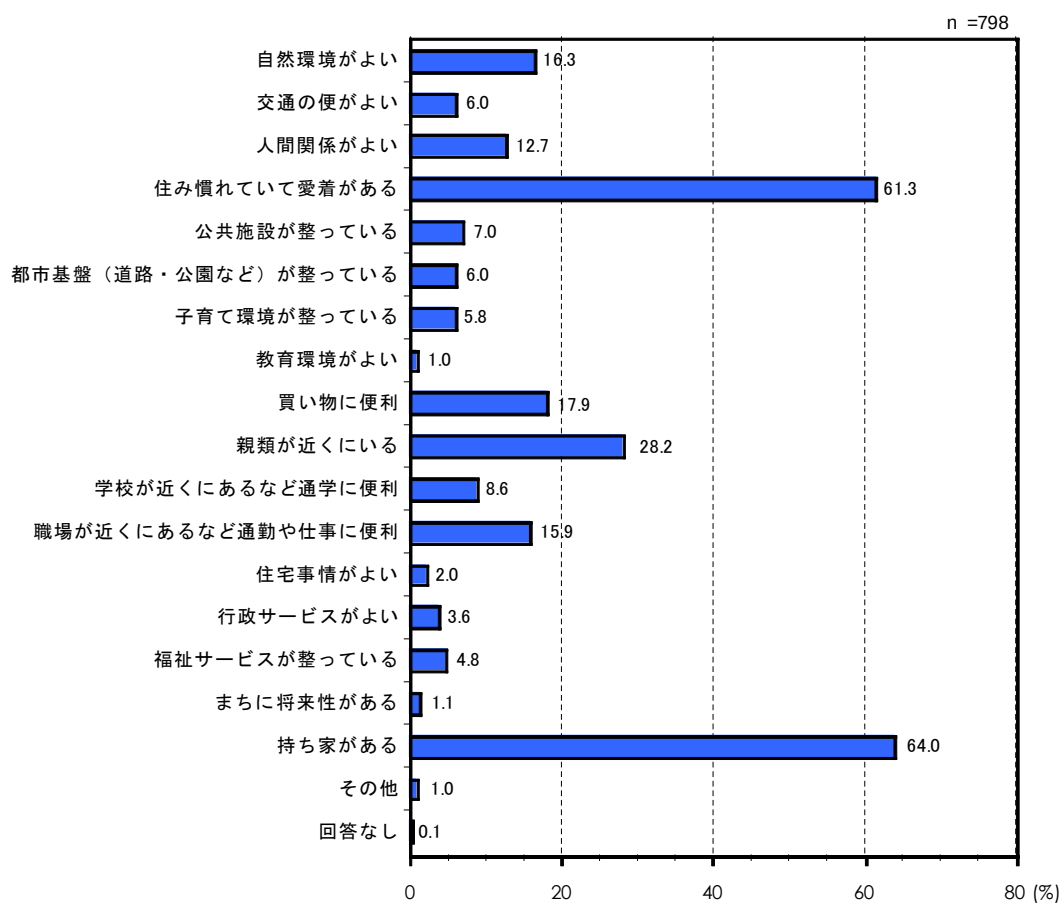


図 2-2-2-1 碧南市に住みたい理由

○なお、その他の理由としては、以下のようなことが述べられています。

【その他の理由】（6名から回答）

- ・お祭りがある
- ・豊田市、西尾市に比べて狭いので市内を行き来しやすい。山がないぶん花粉症の心配がない
- ・交通渋滞がない
- ・災害が少ない。他より安心安全なまちと思える
- ・エレベーターがある
- ・余生、そんなに長くない

②性別

○男性で「住み慣れていて愛着がある」（64.1%）と「職場が近くにあるなど通勤や仕事に便利」（18.1%）が、女性より若干高くなっています。

○女性で「買い物に便利」（20.7%）が、男性より若干高くなっています。

③年齢別

○40歳代以下で「親類が近くにいる」（32%以上）、30歳代から50歳代で「職場が近くにあるなど通勤や仕事に便利」（20%以上）、50歳代以上で「住み慣れていて愛着がある」（66%以上）、「持ち家がある」（69%以上）が他の年齢層よりも高くなっています。

○30歳代で「子育て環境が整っている」が14.0%と、他の年齢層よりも評価が高くなっています。

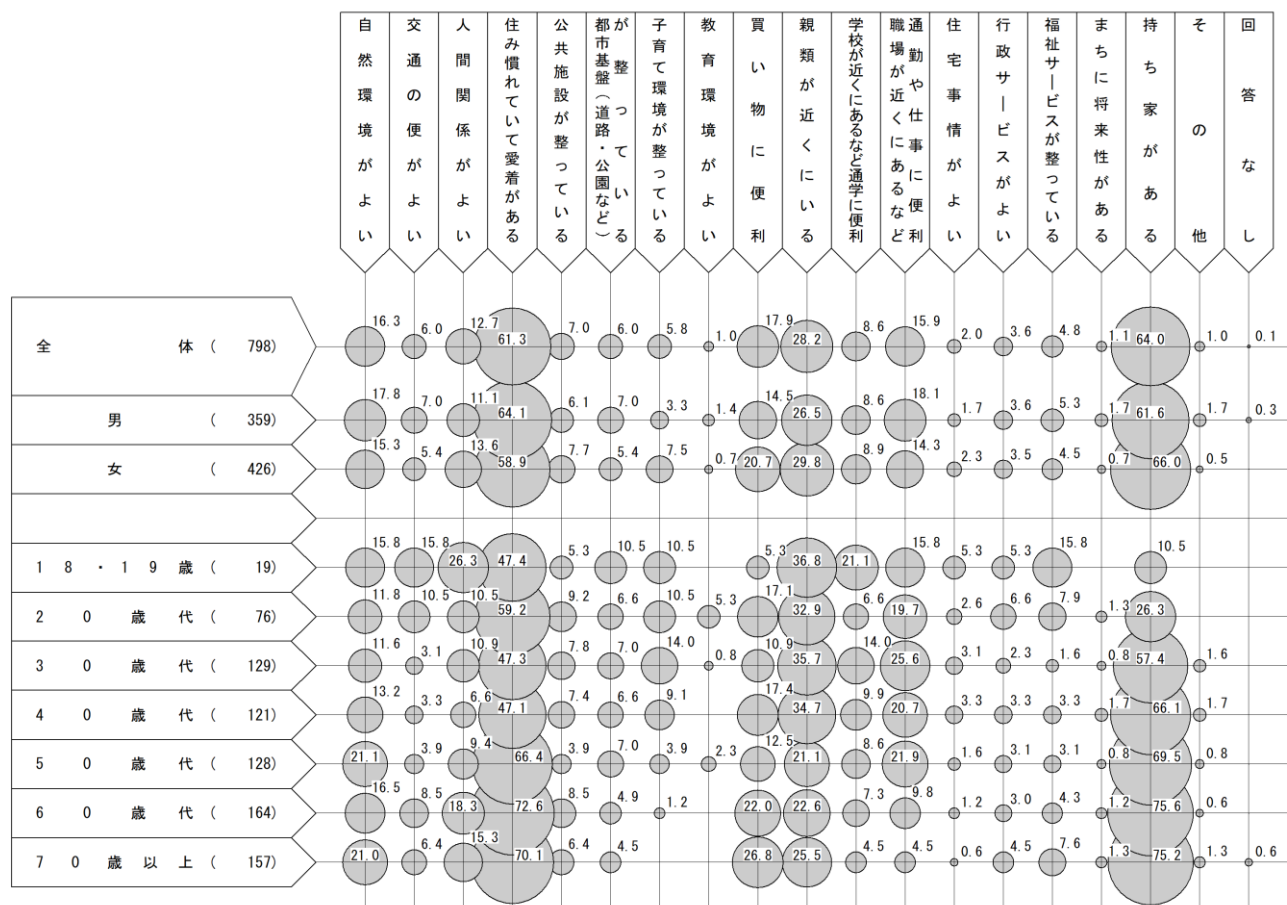


図 2-2-2-2 碧南市に住み続けたい理由（性別、年齢別）

④居住地域別

○大浜地域、旭地域、西端地域で「住み慣れていて愛着がある」(64%以上)、さらに旭地域では「持ち家がある(71.1%)」などの項目が他の地域よりも高くなっています。大浜地域と旭地域では「親類がいる」(31%以上)も高くなっています。

○まとまった市街地が形成されている新川地域と中央地域では「買い物に便利」(23%以上)、「交通の便がよい」(10%以上)、中央地域と棚尾地域では「公共施設が整っている」(10%以上)、棚尾地域では「人間関係がよい」(17.8%)が他の地域よりも高くなっています。

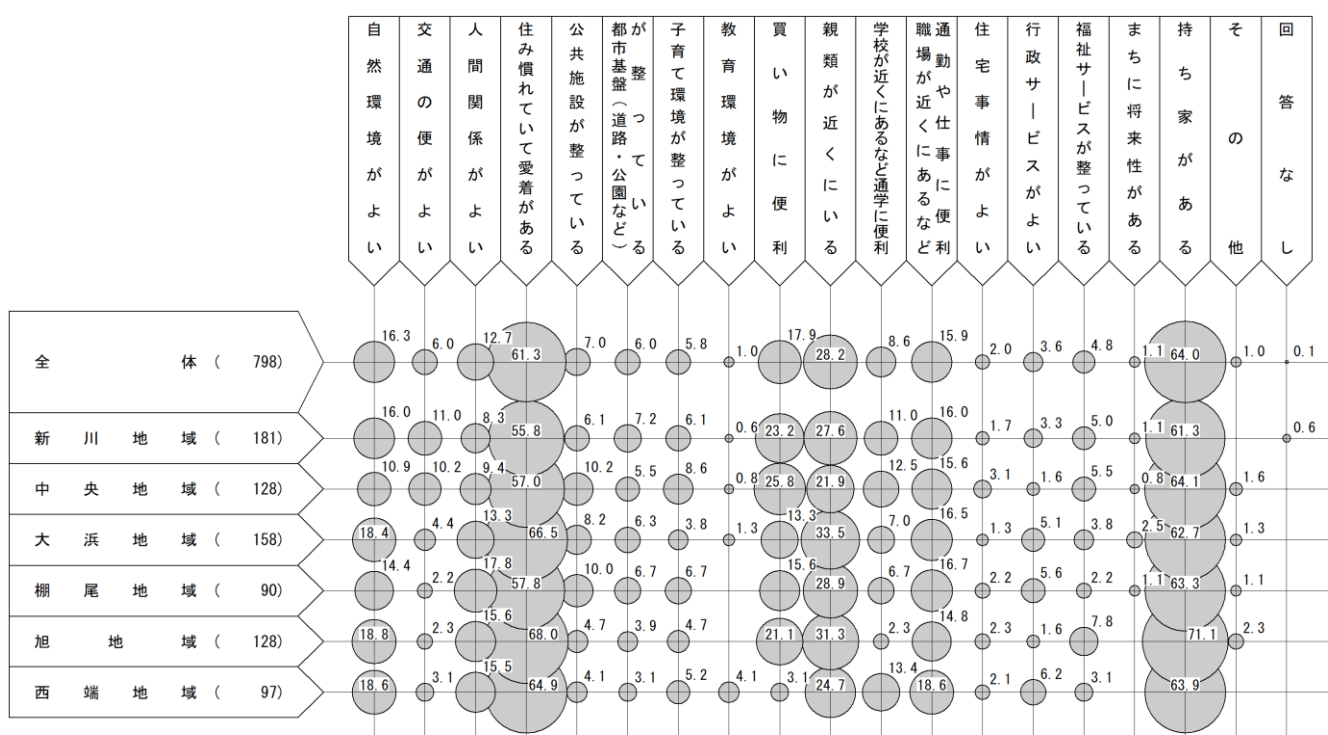


図 2-2-2-3 碧南市に住み続けたい理由（居住地域別）

(4) 住み続けたくない理由

問9-2 問8で「3.いずれは移転したい」、「4.すぐにでも移転したい」と回答された方にお聞きします。あなたが移転をしたいと思う理由は何ですか。あなたのお考えに近いものを3つまで選び、○印をつけてください。

◆移転したい理由については、交通や買い物、通勤の不便さやまちの将来性の無さなどになっています。

①回答者全体

○問8で「3.いずれは移転したい」、「4.すぐにでも移転したい」と回答した104名が移転したいと思う理由については、「交通が不便」が58.7%で最も高く、次いで「買い物に不便」(41.3%)、「まちに将来性がない」(31.7%)、「職場が近くにないなど通勤や仕事に不便」(26.0%)と続いています。交通や買い物、通勤の不便さや将来性の無さなどが理由となっています。

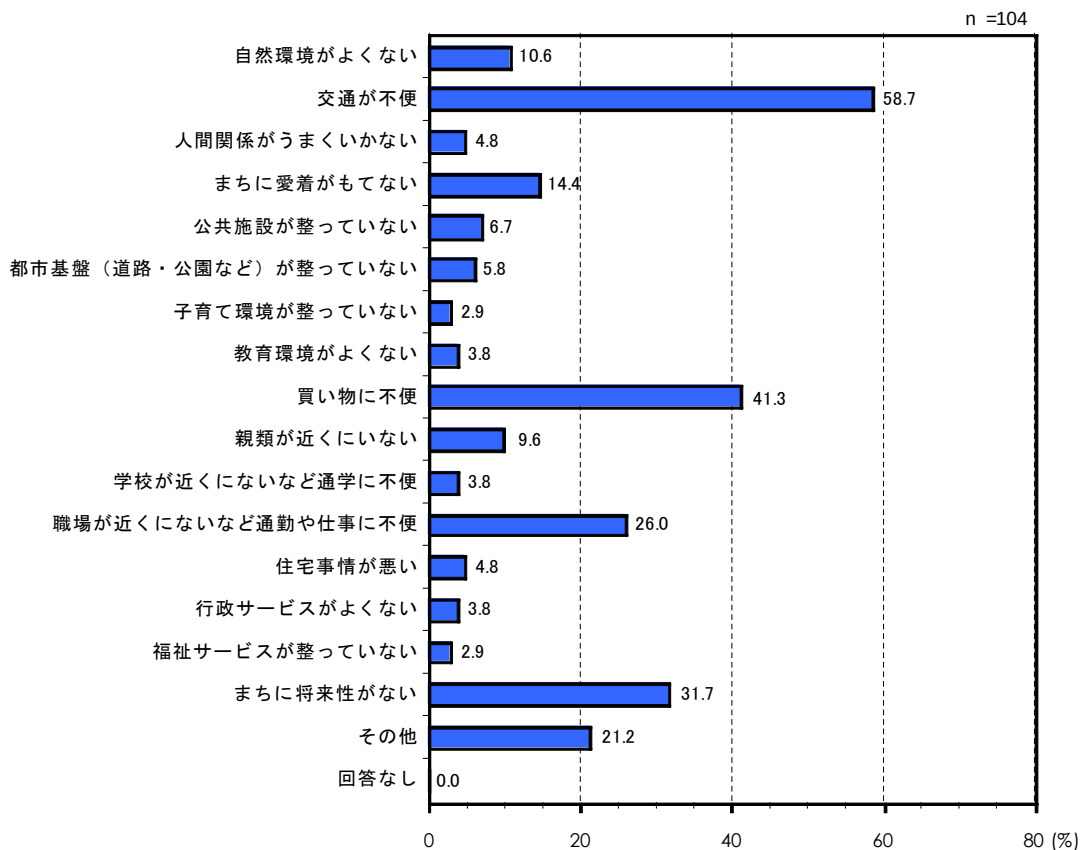


図 2-2-3-1 碧南市に住み続けたくない理由

○なお、その他の理由としては、以下のようなことが述べられています。

【その他の理由】（21 名から回答）

- ・津波が心配
- ・海が近く地震がこわい
- ・地震に対して地盤沈下が不安
- ・地震などの災害が予測されるなか、海が近いことで津波などが心配
- ・地震、津波の心配
- ・災害（津波、洪水）
- ・地盤が弱いため
- ・津波が不安
- ・社業のビジョンによる
- ・仮の住まいと決めている
- ・結婚する際
- ・市外と比較した場合、安価で将来性のある地域が他にあるため、不動産を市外に持つ予定のため
- ・子どもが県外在住
- ・子どもと同居する予定
- ・地域の役員など仕事が多く、家族、仕事に集注できない（子ども会、区の役員 etc.）
- ・水道料金が安い。西風が吹くと臨海工業の方から臭いにおいがする
- ・外食など魅力ある店がない。活気がない
- ・スーパーしかない、遊ぶ場所が少ない
- ・海が活かされていない
- ・海外に出たい
- ・日本が好きじゃない

②性別

○女性で「職場が近くないなど通勤や仕事に不便」(29.8%)が、男性よりも高くなっています。

○男性で「まちに愛着が持てない」(21.3%)、「自然環境がよくない」(14.9%)が、女性よりも高くなっています。

③年齢別

○それぞれの年齢層の回答者数が少なくなっていますが、20歳代で「職場が近くないなど通勤や仕事に不便」(44.0%)、50歳代で「交通が不便」(66.7%)、「買い物に不便」(62.5%)が、他の年齢層よりも高くなっているとうかがえます。

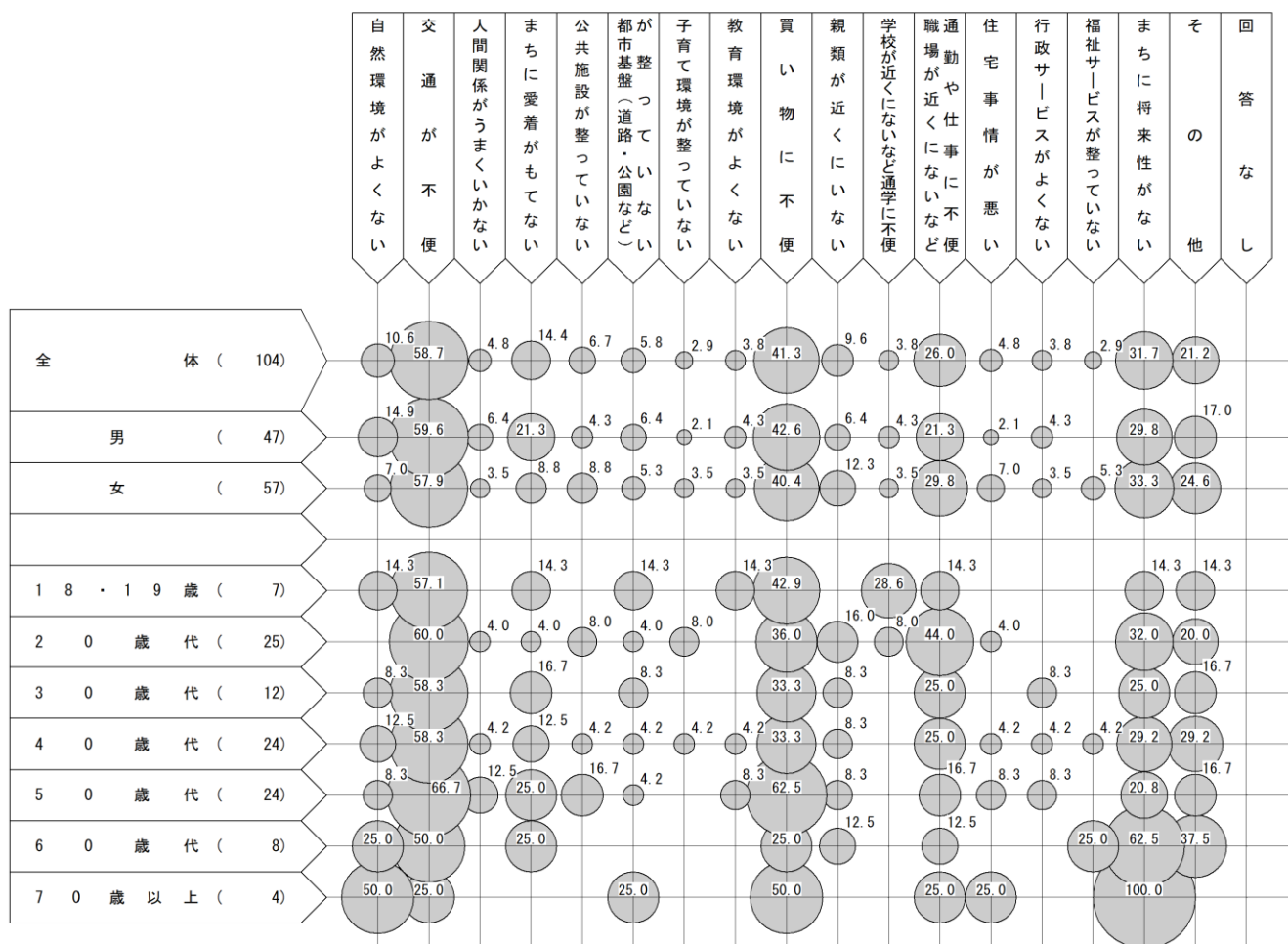


図 2-2-3-2 碧南市に住み続けたくない理由 (性別、年齢別)

第3章 まちづくりを進めてきた効果

(1) 効果が上がった施策

問 10 碧南市では人口の定住やまちの活性化に向けた取組みを重点的に進めてきましたが、この 10 年程度の間に効果が上がってきたとお感じですか。(1)～(10)それぞれについて、あなたのお考えに最も近いものを 1 つずつ選び、記号に○印をつけてください。

◆10 年間で効果の上がった施策は、「(8)油ヶ淵などの水環境や公園などの緑の環境整備」、「(2)碧南市の特産品や商品の知名度向上」で、逆に効果が上がっていない施策は「(3)観光や交流に訪れる人数の増加」、「(9)衣浦港・臨海部を生かしたまちづくり」などとなっています。

○10 年間で効果があがったと感じた施策として、「1. 効果が上がってきた」を回答した割合が最も高かったものは、「(8)油ヶ淵などの水環境や公園などの緑の環境整備」の 11.8%で、次いで「(2)碧南市の特産品や商品の知名度向上」の 10.6%となっています。

○逆に「4. 効果が上がってきていない」を回答した割合が高かったものは、「(3)観光や交流に訪れる人数の増加」の 20.3%で、次いで「(9)衣浦港・臨海部を生かしたまちづくり」の 10.6%、「(7)市民と行政との協働」の 9.3%と続いています。

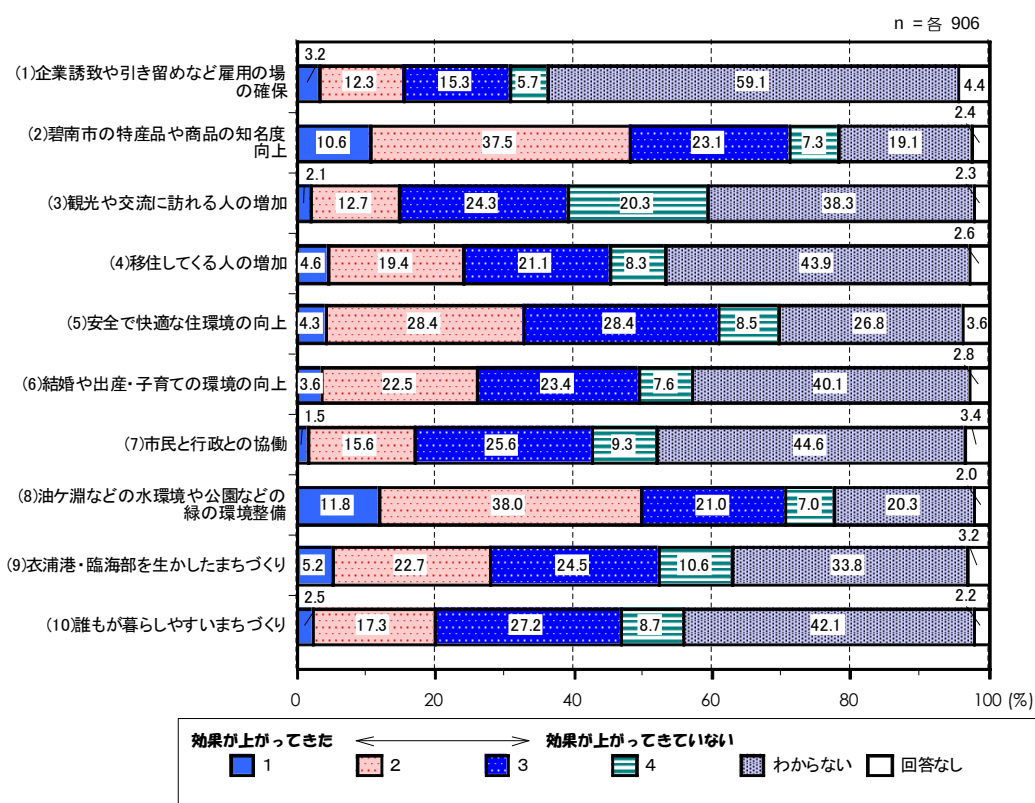


図 3-1 効果が上がった施策

(2) まちづくり施策の評価

問 11 まちづくり施策全体についておたずねします。それぞれの施策は 10 年前に比べて良くなったとお感じですか、悪くなったとお感じですか。(1)～(19)それぞれについて、あなたのお考えに最も近いものを1つずつ選び、記号に○印をつけてください。

◆まちづくり施策のうち、道路や公園、公共下水道、排水路などのインフラ整備の施策への評価が高くなっています。逆に景観や商店街、産業振興、医療などにおいて悪くなったと評価しています。

○まちづくり施策の評価として、「1. 良くなった」と「2. やや良くなった」をあわせた割合で最も高いのは「(8)道路」の 69%となっています。次いで「(11)公園」の 65%、「(10)公共下水道」の 57%、「(9)排水路」の 56%、「(12)緑化」の 53%、「(19)情報提供」の 53%などと続いており、道路や公園、公共下水道、排水路などのインフラ整備に対して評価が高くなっています。

○一方、「4. 悪くなった」と「3. やや悪くなった」をあわせた割合で最も高いのは、「(18)まちづくり（景観・商店街）」の 26%となっています。次いで「(2)保健・医療」と「(13)産業振興（商工業、農漁業）」（16%）などと続いており、景観や商店街、産業振興、医療などにおいて悪くなったと評価しています。

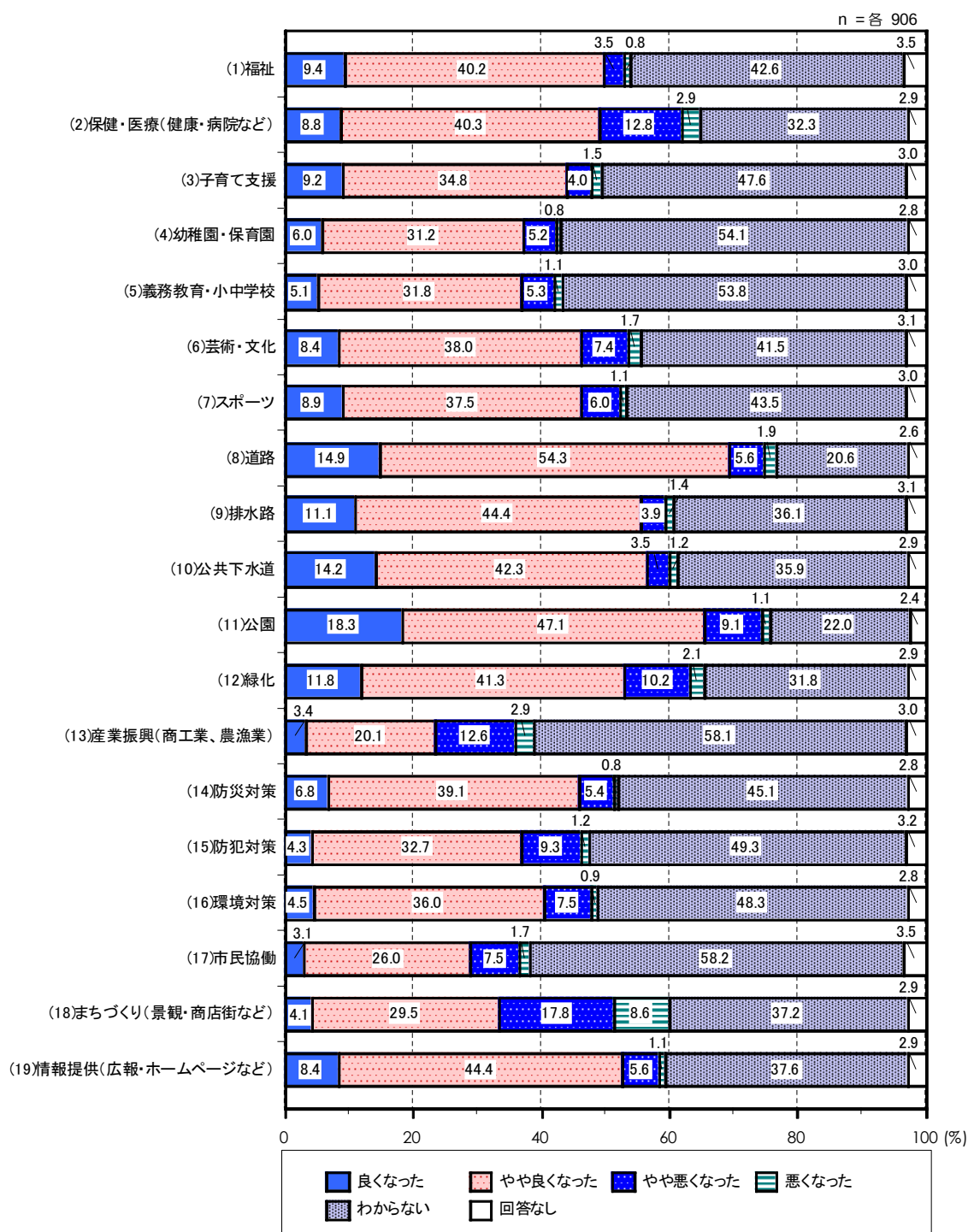


図 3-2 まちづくり施策の評価

第4章 日常生活や地域活動等の実態

(1) 日常生活や地域活動等の実態

問 12 あなたの日常生活や活動等の状況についてお答えください。(1)～(16)それぞれについて、あなたの行動に最も近いものを1つずつ選び、記号に○印をつけてください。

◆市内での積極的な買い物、ごみの減量化・リサイクル、子育て中の人や高齢者への気遣いなど個人的に行える活動については積極的に取り組んでいます。防犯活動、防災活動、清掃活動などのボランティア活動には取り組んでいない人が多くなっています。

○日常生活の状況や地域活動等の参加状況などについて、「1. はい」と回答した割合が高いのは、「(9) 市内で積極的に買い物をしている」の 46.2%で、次いで「(3) ゴミの減量化・リサイクルに取り組んでいる」の 33.4%、「(13) 子育て中の人を気遣い、あたたかく接している」の 23.7%、「(12) 高齢者を気遣い、あたたかく接している」の 22.4%、「(10) 地元の食材を意識した食生活を送っている」の 22.2%、「(11) 日頃から健康増進に取り組んでいる」の 20.5%、「(1) 町内会や自治会活動に参加している」の 20.4%などと続いています。

○逆に「4. いいえ」と回答した割合が高いのは、「(8) 防犯パトロールなどの防犯活動に参加している」の 74.6%で、次いで「(2) ボランティア活動に参加している」の 69.3%、「(7) 地区自主防災会が行う防災訓練に参加している」の 63.2%、「(5) 公園や道路の清掃清掃に参加している」の 60.3%、「(15) 学校行事や登下校時の見守りなどに協力している」の 60.2%、「(16) 生涯学習活動を積極的に行っている」の 59.8%などと続いています。

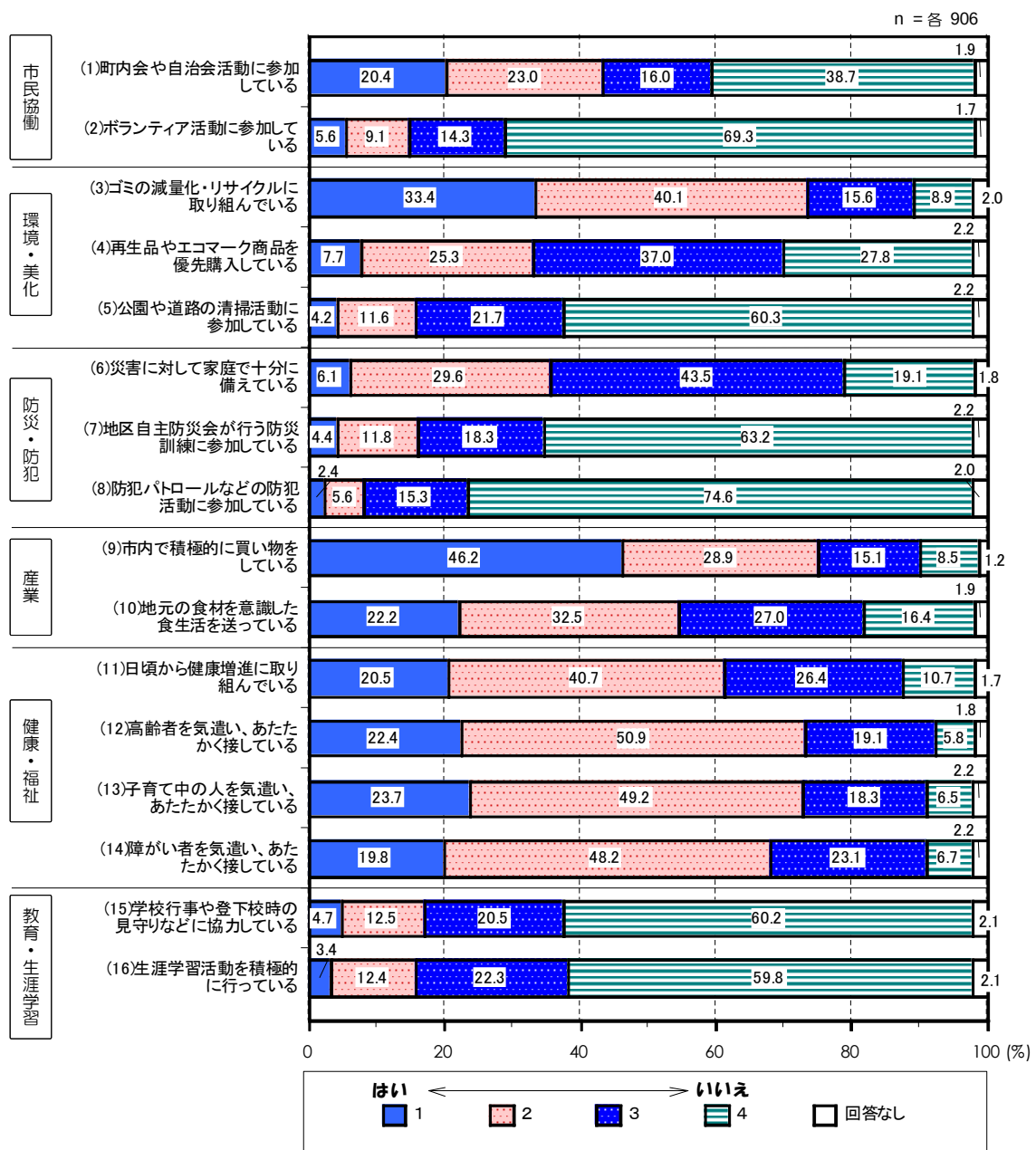


図 4-1 日常生活や地域活動等の実態

第5章 人口の定住を進める方策

(1) 子育て支援策の意向

問 13 あなたは、子どもを産み育てやすい環境を整えるために、碧南市がどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。あなたの考えに近いものを3つまで選んで、番号に○印をつけてください。

◆子育て支援策として、「子どもが犯罪や交通事故などから守られる地域環境の整備」、「安心して妊娠・出産・子育てができる医療体制」、「安心して子どもを遊ばせられる公園・広場」、「多様な保育サービス」などが望まれています。

①回答者全体

○力を入れるべき子育て支援策としては、「子どもが犯罪、交通事故などから守られる地域環境の整備」が31.5%で最も高くなっています。

○次いで「安心して妊娠、出産、子育てができる医療体制」(28.7%)、「安心して子どもを遊ばせることができる広場・公園などの整備」(27.3%)、「乳児保育や一時保育、病児・病後児保育などの多様な保育サービスの充実」(26.4%)が並んで高くなっています。

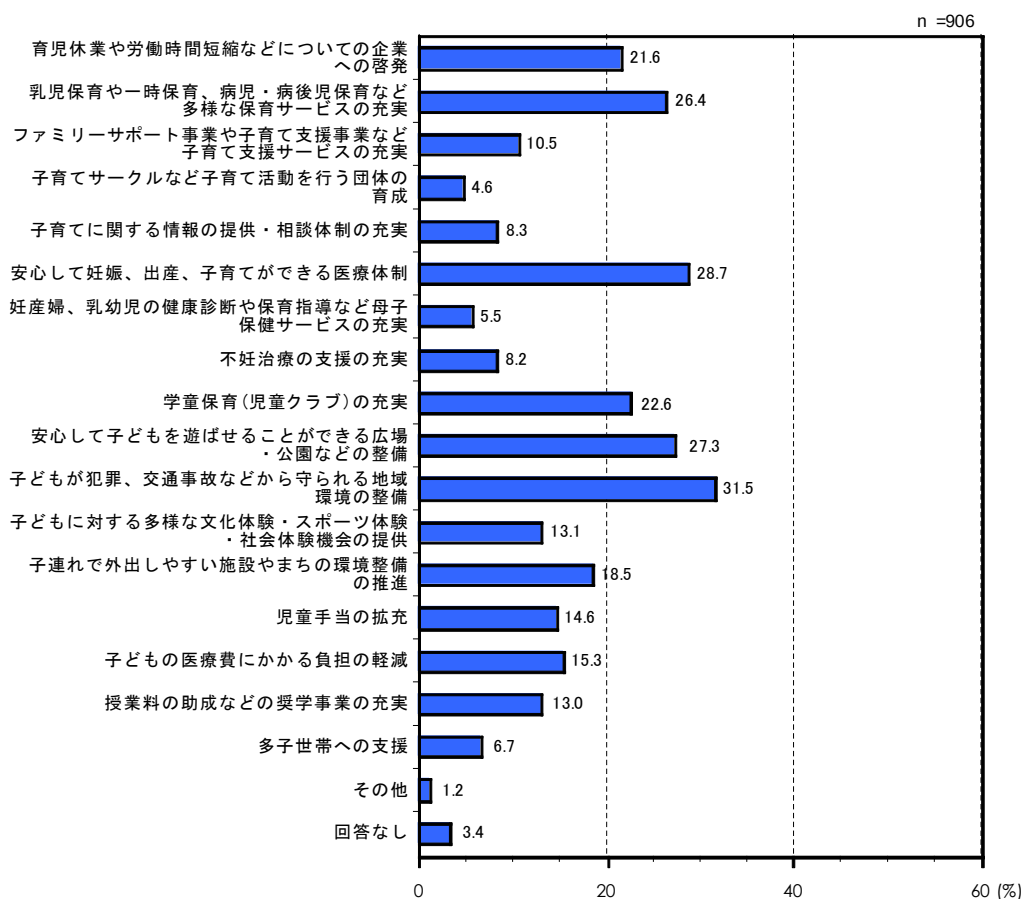


図 5-1-1 子育て支援策の意向

○なお、その他の理由としては、以下のようなことが述べられています。

【その他の理由】（10 名から回答）

- ・小中学校にエアコンの設置
- ・小中学校の教育環境の向上（エアコン設置を含む）
- ・学校教育のレベルをあげる
- ・いじめ、暴力、体罰等への対応について？
- ・出産後、すぐ職場へ復帰できるよう、保育園での預かり人数拡大のための保育士確保と、施設の充実。また、保育士の手当ての充実
- ・企業への託児所設置の啓発
- ・祖父母と一緒に暮らせると、安心感のある子育てができるのでは？
- ・地区ごとに老人から子どもまでが交流できる施設
- ・ひとり親支援
- ・野球ができる公園

②性別

○男性で「子どもの医療費にかかる負担の提言」（19.2％）が女性よりも高く、女性で「子どもが犯罪、交通事故などから守られる地域環境の整備」（33.5％）、「乳児保育や一時保育、病児・病後児保育などの多様な保育サービスの充実」（28.9％）がやや高くなっています。

③年齢別

○30 歳代と 50 歳代で「乳児保育や一時保育、病児・病後児保育などの多様な保育サービスの充実」（32％以上）、30 歳代で「安心して子どもを遊ばせることができる広場・公園などの整備」（31.0％）、30 歳以下で「子連れで外出しやすい施設やまちな環境整備の推進」（21％以上）が他の年齢層よりも高くなっています。

④居住地域別

○西端地域と大浜地域では「子どもが犯罪、交通事故などから守られる地域環境の整備」（34％以上）、西端地域と新川地域では「安心して子どもを遊ばせることができる広場・公園などの整備」（31％以上）、さらに西端地域では「安心して妊娠、出産、子育てができる医療体制」（34.6％）、「育児休業や労働時間短縮などについての企業への啓発」（26.0％）などが他の居住地域と比べて高くなっています。

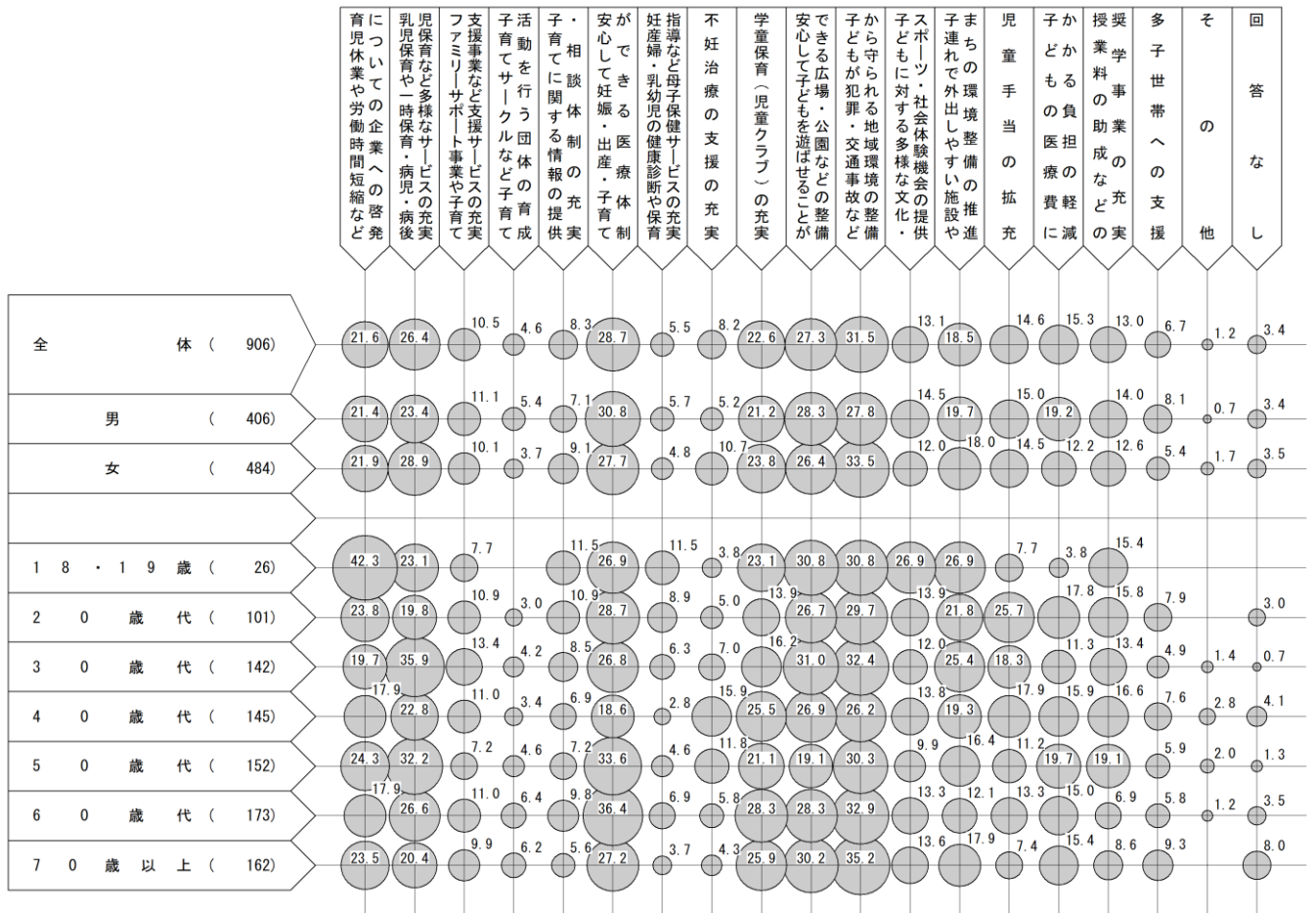


図 5-1-2 子育て支援策の意向（性別、年齢別）

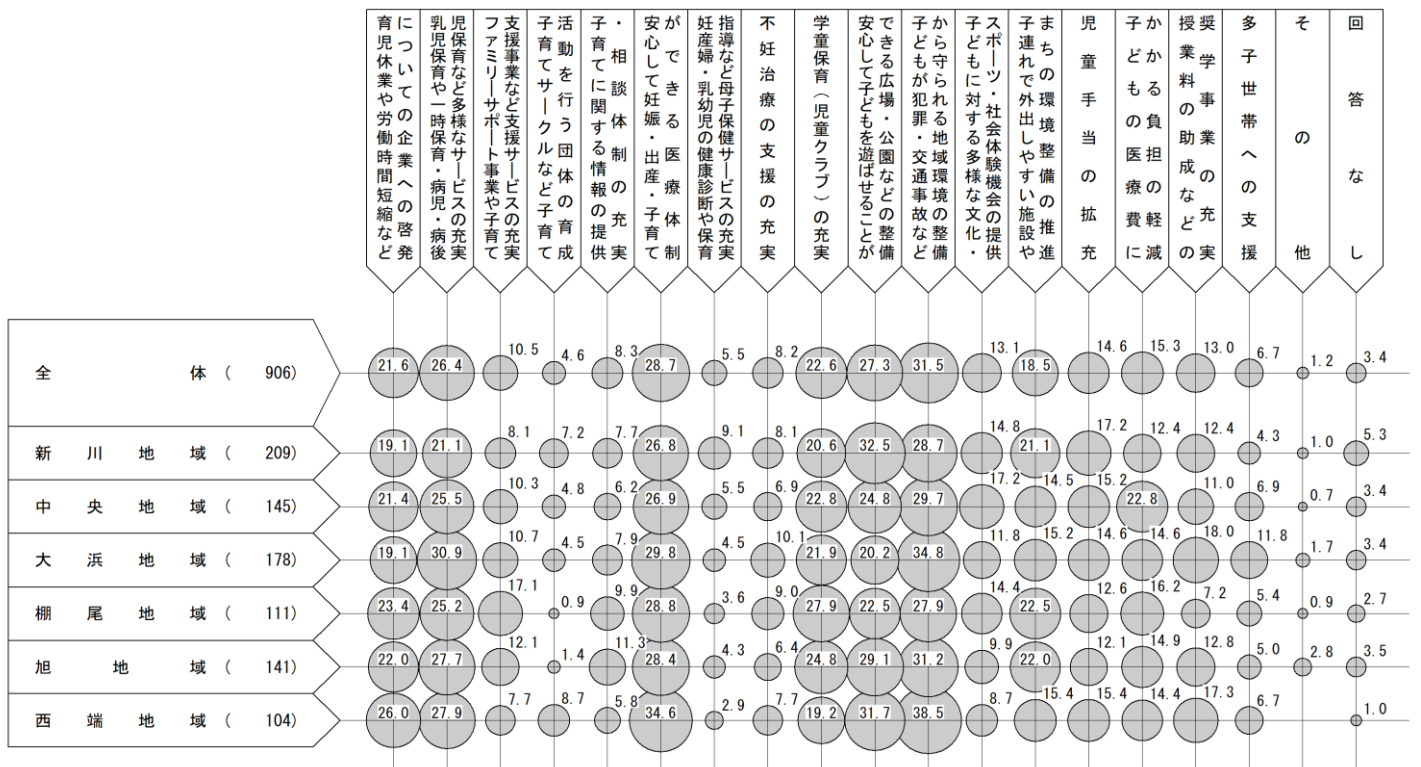


図 5-1-3 子育て支援策の意向（居住地域別）

⑤定住意向別

○住み続けたいという回答者では、子育て支援策の要望について大きな特徴はなく、当分住み続けたい回答者で「安心して子どもを遊ばせることができる広場・公園などの整備」(30.6%)、「ファミリーサポートセンター事業や子育て支援事業など支援サービスの充実」(14.0%)が、他の定住意向の回答者よりも高くなっています。

○いずれは移転したいという回答者では「乳児保育や一時保育、病児・病後児保育などの多様な保育サービスの充実」(33.0%)、「学童保育(児童クラブ)の充実」(27.8%)といった子育て支援サービスなどが、他の年齢層よりも高くなっています。

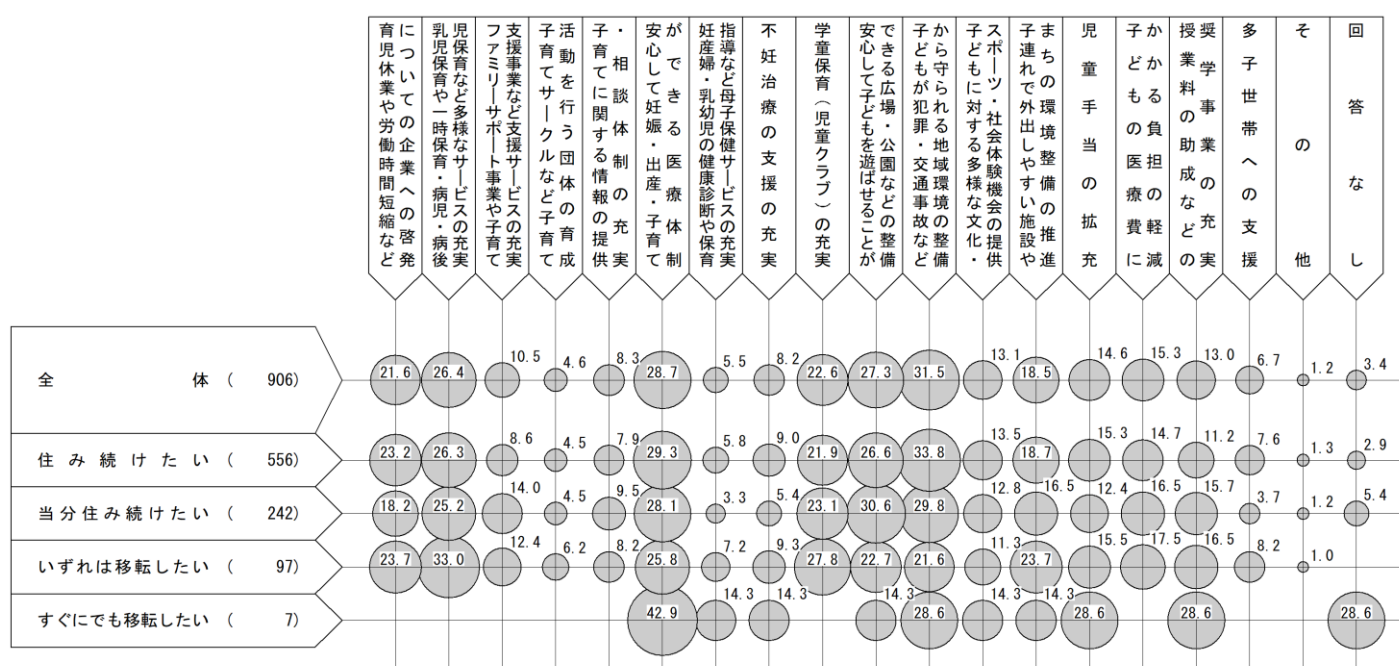


図5-1-4 子育て支援策の意向（定住意向別）

（２）移住定住策の意向

問 14 あなたは、碧南市に多くの人に住むようにするためには、今後どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。あなたの考えに近いものを3つまで選んで、番号に○印をつけてください。

◆力を入れるべき移住定住策としては、「交通網の整備」、「商業施設の誘致」、「雇用の場の確保」、「福祉・介護サービスや子育て支援の充実」、「市民病院の経営安定化」などが望まれています。

①回答者全体

○碧南市に多くの人に住むようにするための施策としては、「道路や公共交通などの交通網の整備」が43.0%で最も高く、「商業施設の誘致」(36.4%)となっています。

○次いで、「雇用機会・雇用の場の創出」(29.9%)、「福祉・介護サービスの充実」(29.6%)、「市民病院の経営の安定化・効率化」(27.7%)、「子育て支援・子育て環境の充実」(26.7%)が概ね並んで高くなっています。

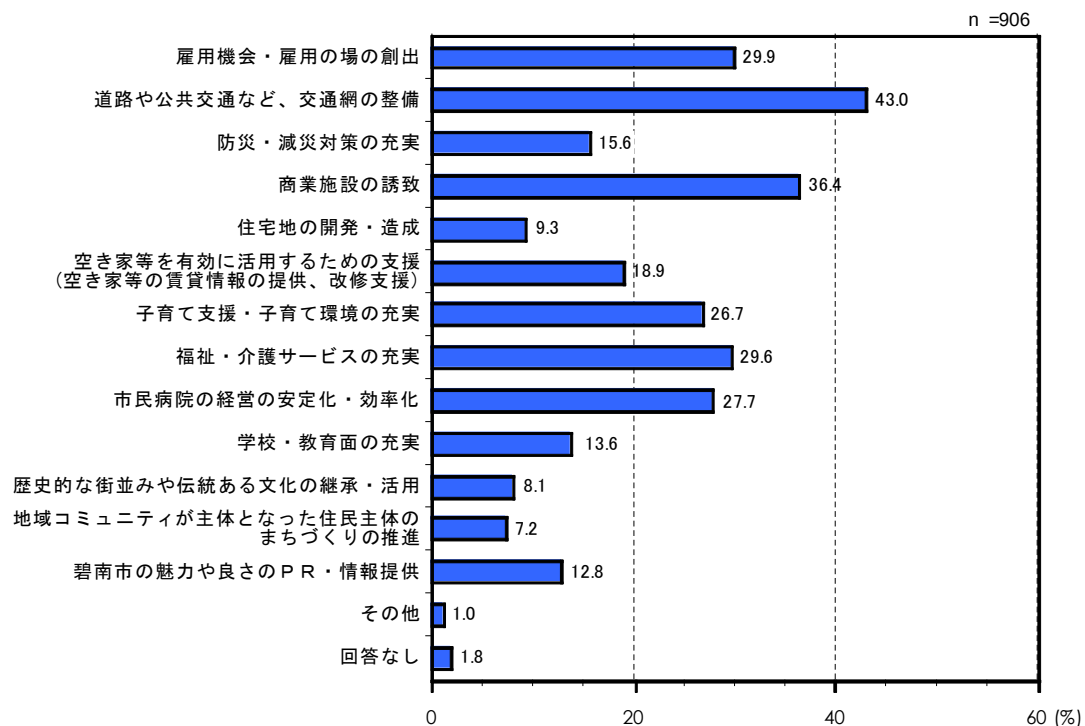


図 5-2-1 移住定住策の意向

○なお、その他の理由としては、以下のようなことが述べられています。

【その他の理由】(7名から回答)

- ・下水道管、ガス管整備
- ・土日でも小児科が受けられるよう病院がほしい
- ・大型のショッピングセンターなど入れると、地元の商店街などつながりがなくなる怖れがあるの

で、屋内プールや屋内スポーツセンター、ゲームセンターなどの、仕事が終わった後など、家族が集まれる場所がほしい。私個人としてはビリヤード場やトランポリンができる所がベスト

- ・ゴミ出し当番の見直し
- ・“碧南”はこうだから”という凝り固まった考えを変え、他の県や市の良い取組みを、心を広く持つて受け入れないと、田舎のまま発展しないと思う
- ・他にない魅力をつくる(自慢できる特徴がない)
- ・人口の増加＝住みやすい、とは思わない

②性別

○男性では「商業施設の誘致」(41.9%)が女性よりも高く、女性では「福祉・介護サービスの充実」(33.3%)、「子育て支援・子育て環境の充実」(29.8%)、「空き家等を有効に活用するための支援」(21.9%)が男性よりも高くなっています。

③年齢別

○30歳代から50歳代と18・19歳では「商業施設の誘致」(40%以上)が、他の年齢層よりも高くなっています。また、20歳以下と40歳代では「道路や公共交通などの交通網の整備」(49%以上)が、特に高くなっています。

○20歳代と30歳代では「子育て支援・子育て環境の充実」(37%以上)、20歳代では「学校・教育面の充実」(23.8%)なども、他の年齢層よりも高くなっています。

○50歳代と60歳代では「雇用機会・雇用の場の創出」(33%以上)、60歳代以上では「福祉・介護サービスの充実」(40%以上)と「市民病院の経営の安定化・効率化」(33%以上)が、他の年齢層よりも高くなっています。

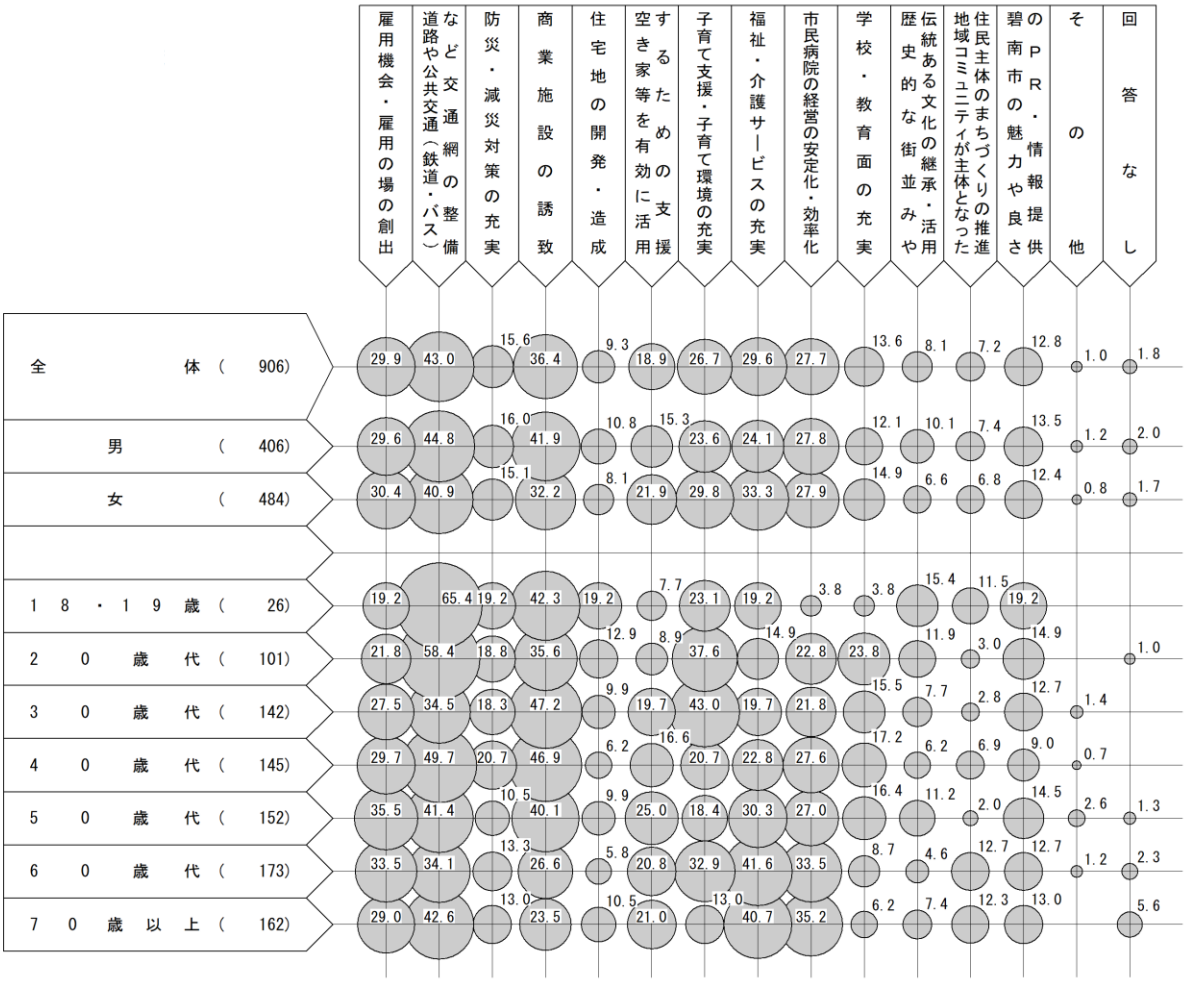


図 5-2-2 移住定住策の意向（性別、年齢別）

④居住地域別

- 大浜地域では「道路や公共交通（鉄道・バス）など、交通網の整備」（47.2%）、棚尾地域では「商業施設の誘致」（40.5%）、「子育て支援・子育て環境の充実」（30.6%）が、他の居住地域よりも高くなっています
- 新川地域では「福祉・介護サービスの充実」（33.5%）、中央地域では「雇用機会・雇用の場の創出」（33.1%）が、他の居住地域よりも高くなっています。
- さら棚尾地域と西端地域では「碧南市の魅力や良さのPR・情報提供」（16%以上）、西端地域では「住宅地の開発・造成」と「学校・教育面の充実」（17.3%）も、他の居住地域よりも高くなっています。

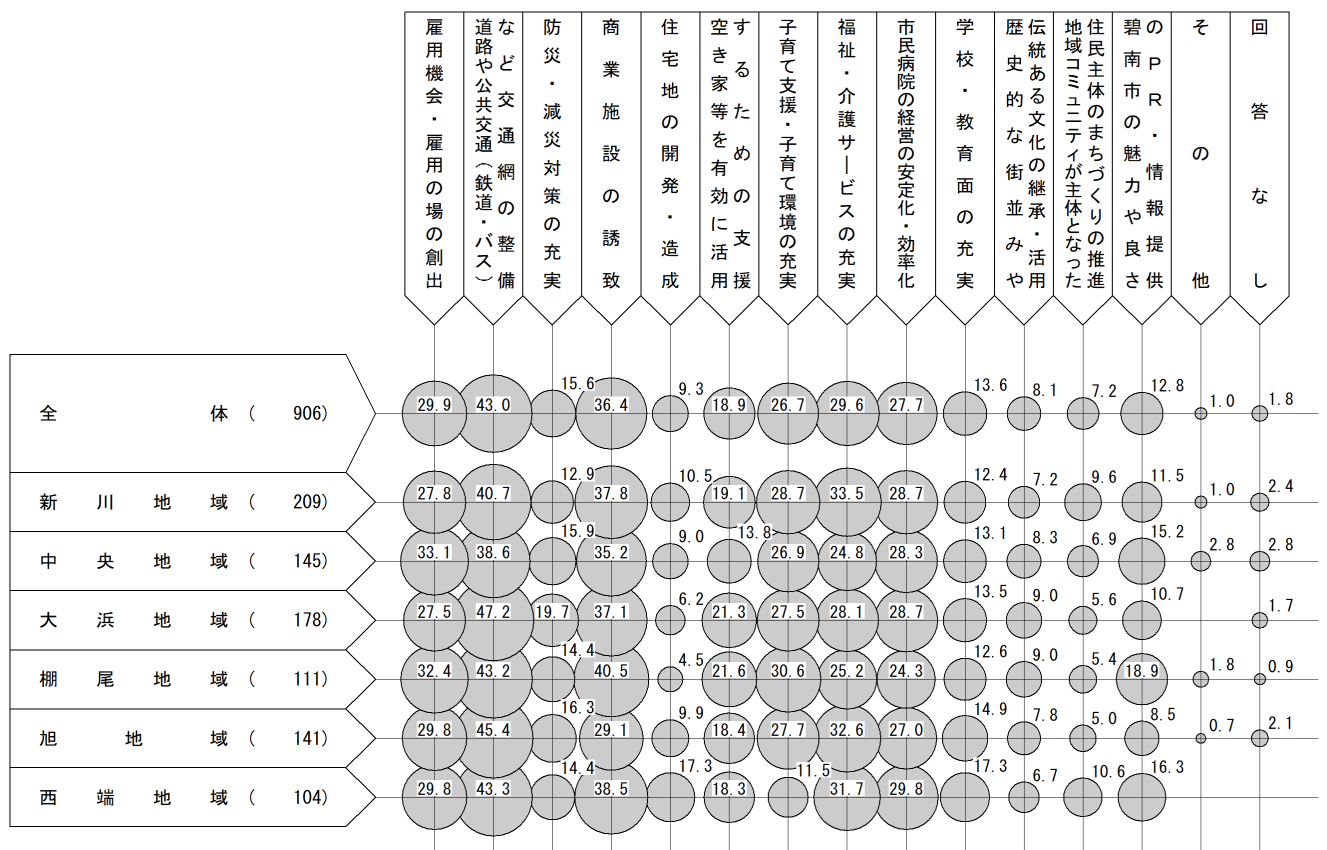


図 5-2-3 移住定住策の意向（居住地域別）

⑤定住意向別

○住み続けたいという回答者では「福祉・介護サービスの充実」(34.5%)、当分済続けたという回答者では「商業施設の誘致」(43.0%)が、他の定住意向の回答者よりも高くなっています。

○いずれは移転したいという回答者でも「商業施設の誘致」(47.4%)、このほか「道路や公共交通(鉄道・バス)など、交通網の整備」(49.5%)が、特に高くなっています。

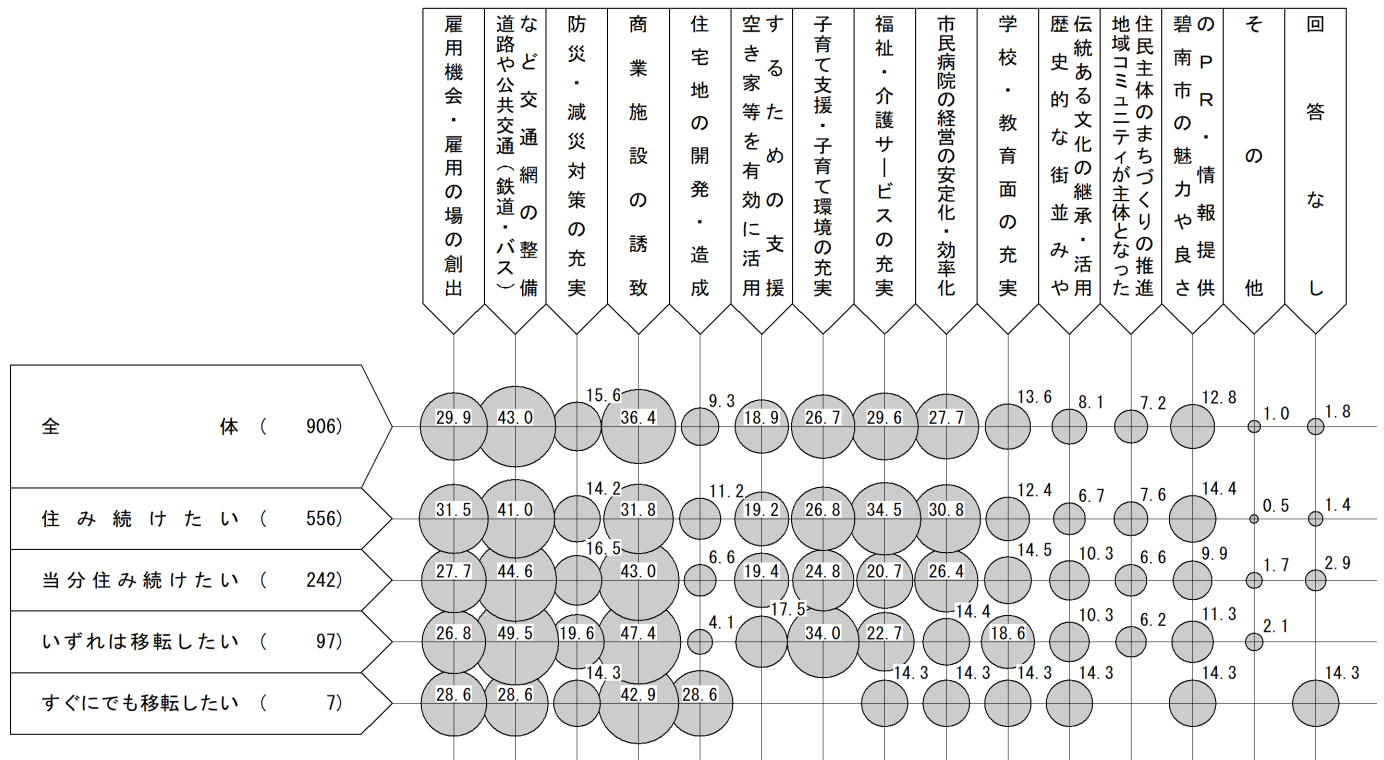


図 5-2-4 移住定住策の意向 (定住意向別)

(3) 若者への支援策の意向

問 15 若者が暮らしやすく、夢が持てるようになるには、どのようなことが必要だと思いますか。あなたの考えに近いものを3つまで選んで、番号に○印をつけてください。

◆力を入れるべき若者支援策としては、「就職支援」、「若者が楽しめる施設やイベントの充実」、「困った時の相談サポート」、「奨学金などの支援」などが望まれています。

①回答者全体

○若者が暮らしやすく、夢が持てるようになるために必要なこととしては、「希望する職業に就職することができること」が38.2%で最も高くなっています。次いで「若者が楽しむことができる施設やイベントがあること」(35.1%)、「困った時に相談に乗ってくれる人がいること」(27.9%)、「進学した時に奨学金などの支援があること」(25.9%)などと続いています。

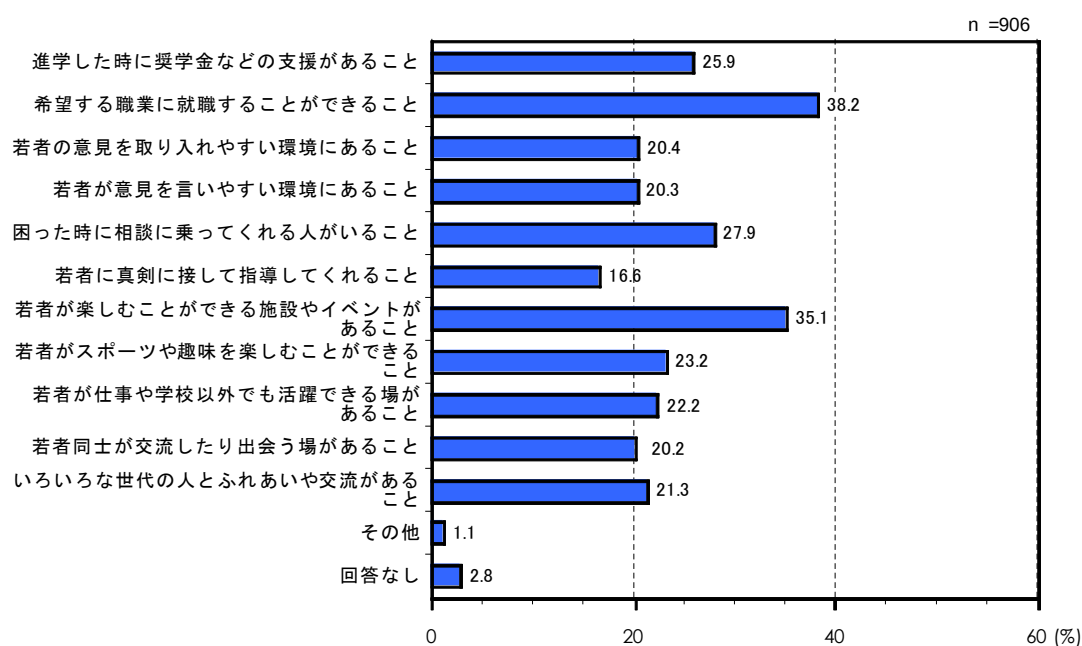


図 5-3-1 若者への支援策の意向

○なお、その他の理由としては、以下のようなことが述べられています。

【その他の理由】（９名から回答）

- ・駅前がショボすぎる。せめて刈谷駅くらいにならないと、魅力もなくお金も落ちない。若者はつまらないと思う
- ・ショッピングセンターをつくる。遊ぶ場所がないので、自転車で西尾に行ったり、電車で大高イオンに行っている
- ・世帯に関係なく、より良い教育が受けられること
- ・中学校、高等学校一貫の学校をつくり、大学へのパイプもつくり、地元企業への就職率を上げられるようにする
- ・住むところで安いところがほしい
- ・暮らしやすい環境にすること。衣食住、自然、まちなみ
- ・生き生きとした大人が近くいること
- ・最低賃金アップ
- ・わからない

②性別

○男性で「若者がスポーツや趣味を楽しむことができること」（27.1％）が、女性よりも高くなっています。女性で「進学した時に奨学金などの支援があること」（30.0％）が男性よりも高くなっています。

③年齢別

○30 歳代以下で「若者が楽しむことができる施設やイベントがあること」（38％以上）、「若者がスポーツや趣味を楽しむことができること」（28％以上）が、他の年齢層よりも高くなっています。さらに 20 歳代で「進学した時に奨学金などの支援があること」（33.7％）、20 歳代と 18・19 歳で「若者の意見を取り入れやすい環境にあること」（26％以上）、30 歳代で「若者が仕事や学校以外でも活躍できる場があること」（25.4％）も、他の年齢層よりも高く、若い年齢層では楽しむことができる環境や活躍の場などを求めています。

○40 歳代では「困った時に相談に乗ってくれる人がいること」（31.7％）、50 歳代では「希望する職業に就職することができること」（48.0％）が他の年齢層よりも高く、若者のための相談や就職が必要であるという意見です。また、50 歳代と 60 歳代では「若者同士が交流したり出会う場があること」（23％以上）、60 歳代以上では「いろいろな世代の人とふれあいや交流があること」（30％）が他の年齢層よりも高く、出会いや多世代との交流が必要であるという意見です。

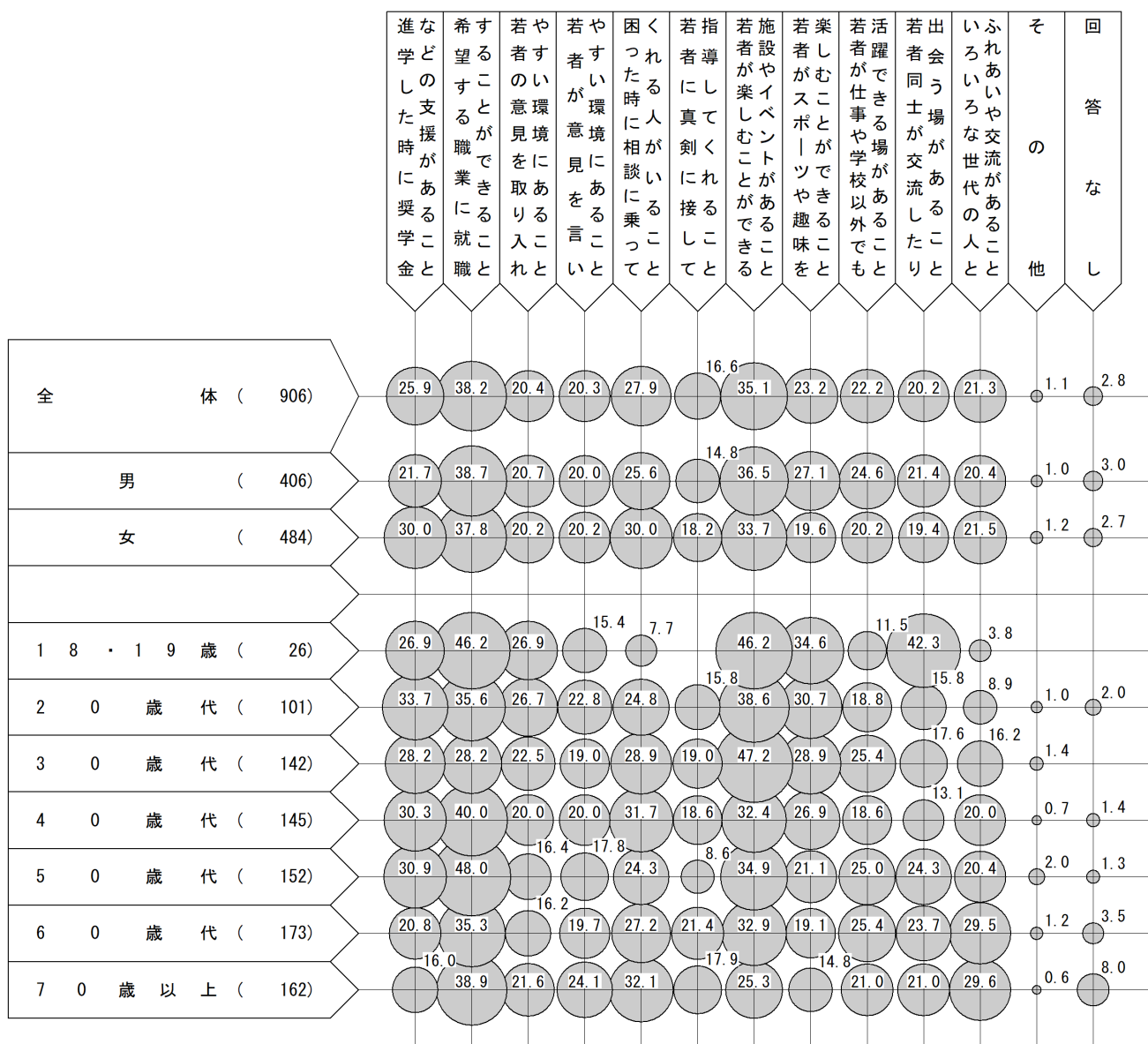


図 5-3-2 若者への支援策の意向（性別、年齢別）

④定住意向別

○住み続けたいという回答者では「いろいろな世代の人とふれあいや交流があること」(24.3%)、「若者に真剣に接して指導してくれること」(20.0%)が、他の居住意向の回答者よりも高くなっています。

○いずれは移転したいという回答者では「若者が楽しむことができる施設やイベントがあること」(44.3%)、「若者がスポーツや趣味を楽しむことができること」(27.8%)という楽しめる環境と、「希望する職業に就職することができること」(42.3%)、「進学した時に奨学金などの支援があること」(30.9%)が、他の定住意向の回答者よりも

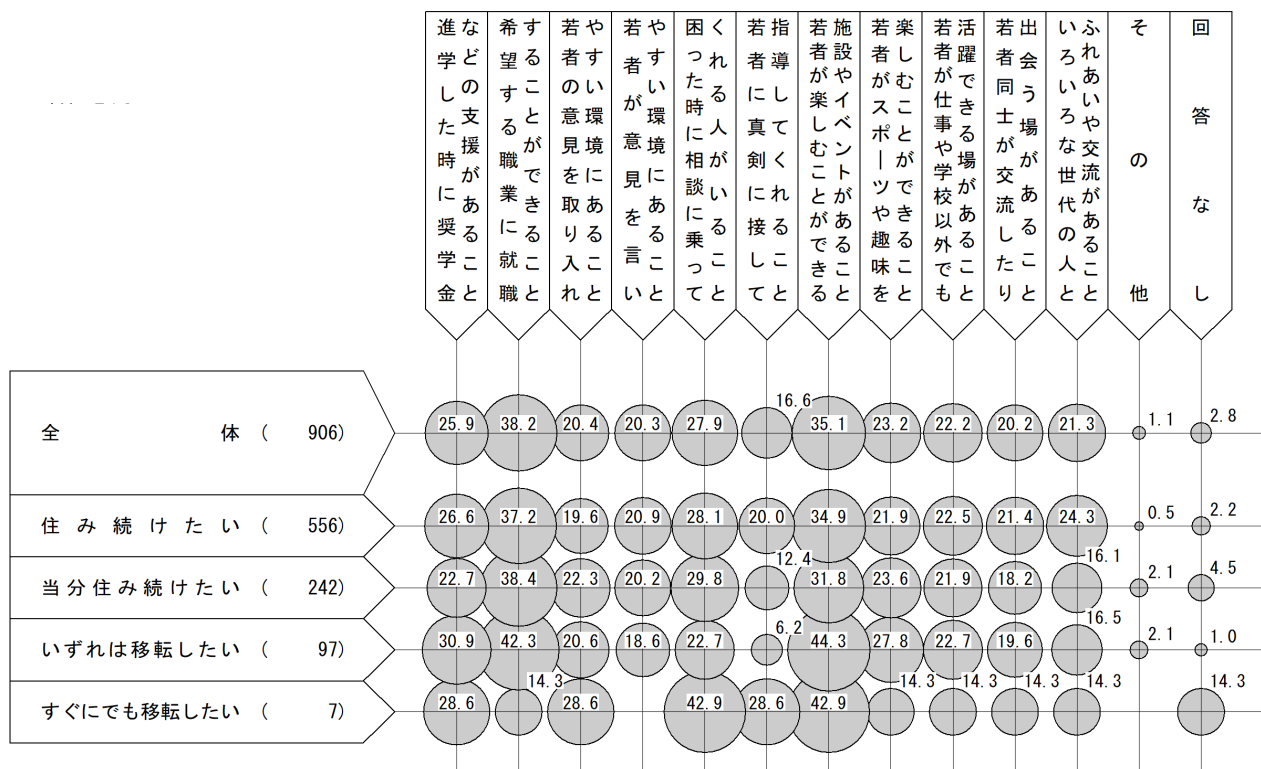


図 5-3-4 若者への支援策の意向 (定住意向別)

第6章 碧南市のこれからのまちづくり

(1) これからのまちづくりの進め方

問 16 あなたが碧南市をより良くするためには、どのようなまちづくりの進め方が望ましいと思いますか。あなたの考えに近いものを1つ選び、番号に○印をつけてください。

◆まちづくりの進め方としては、「住民と行政との協働のまちづくり」、「住民の意向を把握しながら行政主導によるまちづくり」が望まれています。

①回答者全体

○碧南市をより良くするためのまちづくりの進め方としては、「住民と行政が話し合い、役割分担をしながら協働で取り組む」が41.7%で最も高くなっています。次いで「行政が住民の要望を把握しながら、行政が主体となって取り組む」が32.0%となっています。また、「行政が主体となって取り組み、住民は理解し、協力する」が9.4%、「住民が主体となって取り組み、行政はあくまでも側面から支援する」が4.6%となっています。

○『住民主体・協働』（「住民が主体となって取り組み、行政はあくまでも側面から支援する」＋「住民と行政が話し合い、役割分担をしながら協働で取り組む」）が46%、『行政主導』（「行政が主体となって取り組み、住民は理解し、協力する」＋「行政が住民の要望を把握しながら、行政が主体となって取り組む」）が41%で、『住民主体・協働』が5ポイント程度高くなっています。

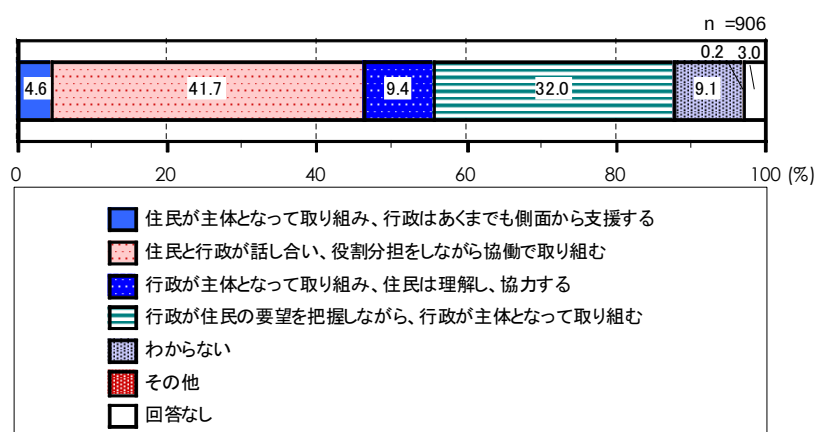


図 6-1-1 これからのまちづくりの進め方

○なお、その他の理由としては、以下のようなことが述べられています。

【その他の理由】（2名から回答）

- ・住民が現在の状況を自覚する活動
- ・より良いまちづくりのために、個々が正しい意見を言うための教育

②性別

○男性で『行政主導』が43%で、女性よりも若干高くなっています。

③年齢別

○50歳代と60歳代で「住民と行政が話し合い、役割分担をしながら協働で取り組む」(46%以上)が高く、20歳代とともに『住民主体・協働』(概ね50%)が『行政主導』よりも高くなっています。

○対照的に30歳代と40歳代では「行政が住民の要望を把握しながら、行政が主体となって取り組む」(35%以上)が他の年齢層よりも高く、『行政主導』(概ね45%)が『住民主体・協働』と並んでいます。

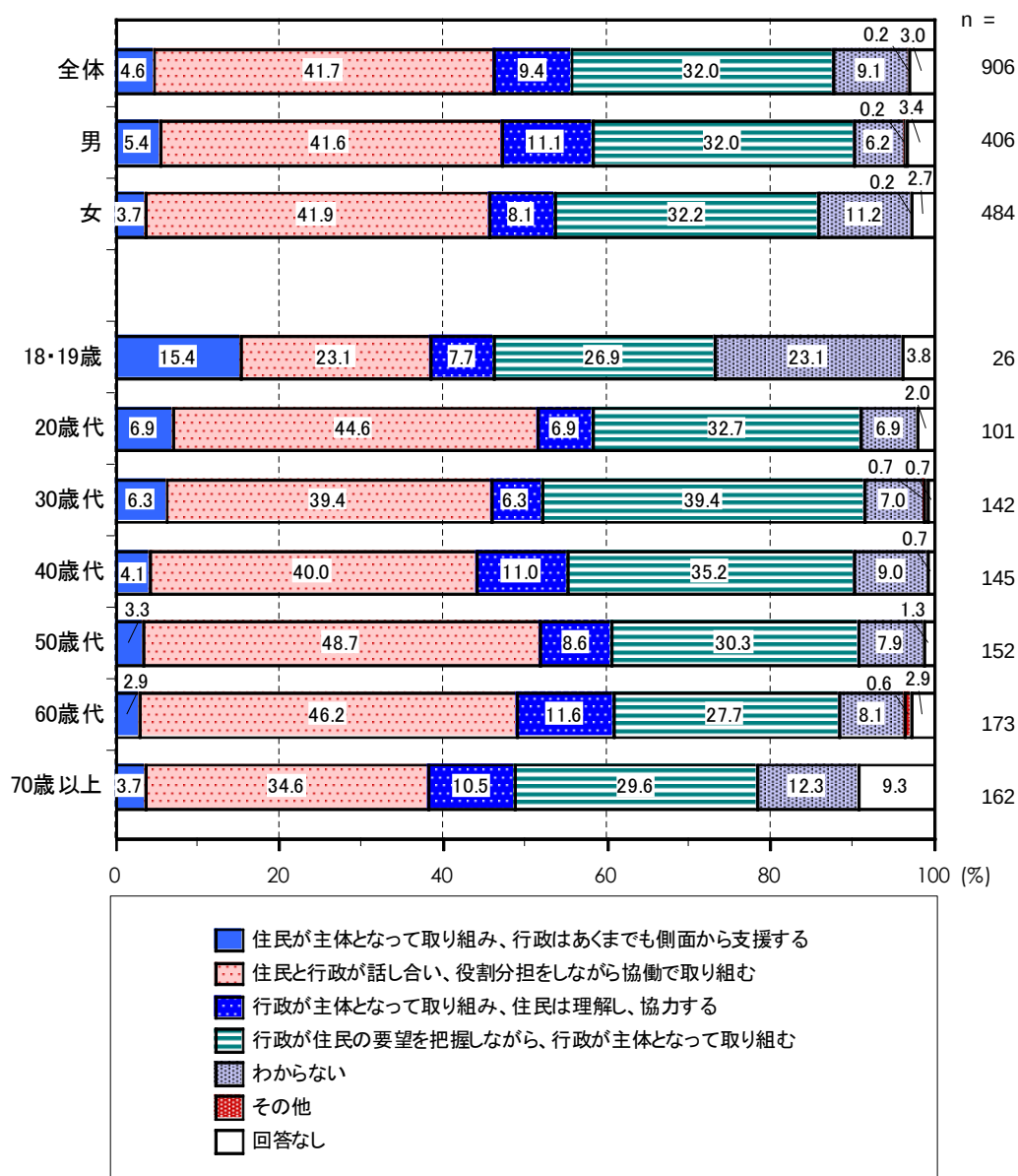


図 6-1-2 これからのまちづくりの進め方（性別、年齢別）

④居住地域別

○西端地域で「行政が主体となって取り組み、住民は理解し、協力する」(7.7%)が他の居住地域よりも高く、『住民主体・行政主導』(51%)も高くなっています。

○ほかの居住地域では、大浜地域で「行政が住民の要望を把握しながら、行政が主体となって取り組む」(36.5%)が他の居住地域と比べて高くなっていますが、どの地域も『住民主体・協働』が『行政主導』を若干上回るか同程度となっています。

⑤定住意向別

○当分住み続けたいという回答者で『住民主体・協働』(48%)が『行政主導』を10ポイント上回っています。

○対照的にいずれは移転したいという回答者では『行政主導』(46%)が『住民主体・協働』を上回っています。

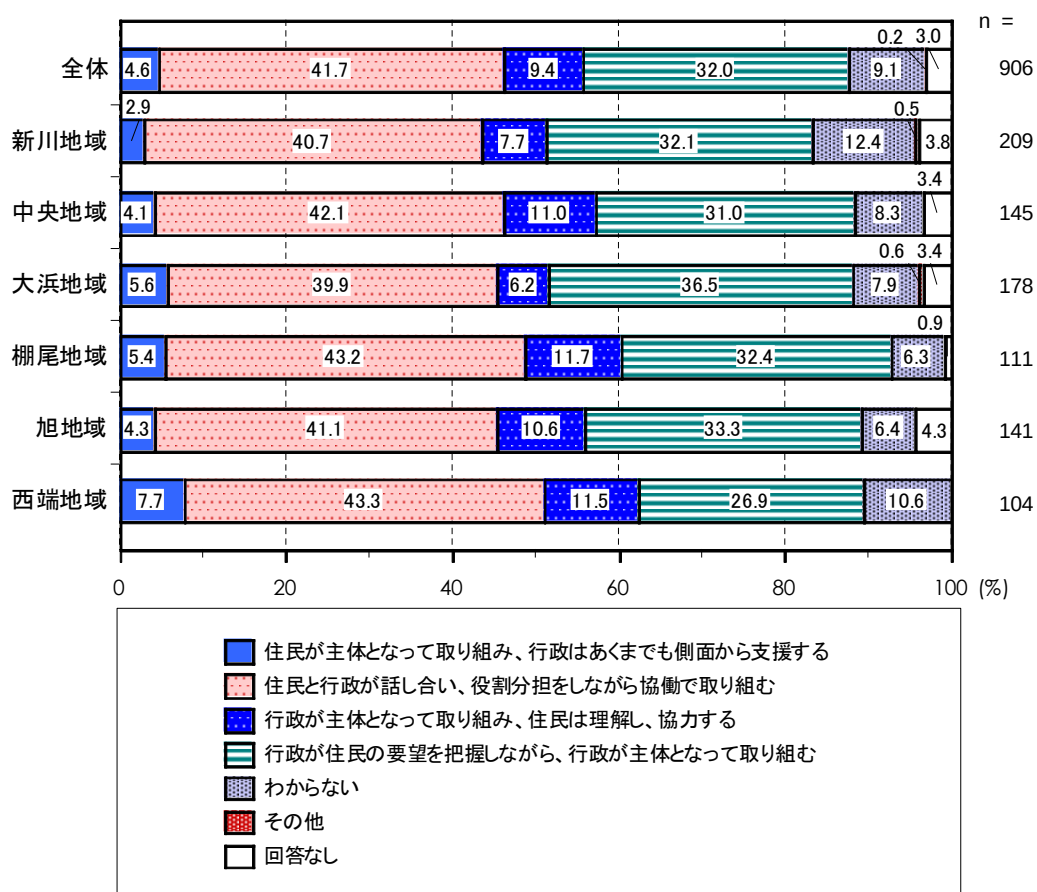


図 6-1-3 これからのまちづくりの進め方（居住地域別）

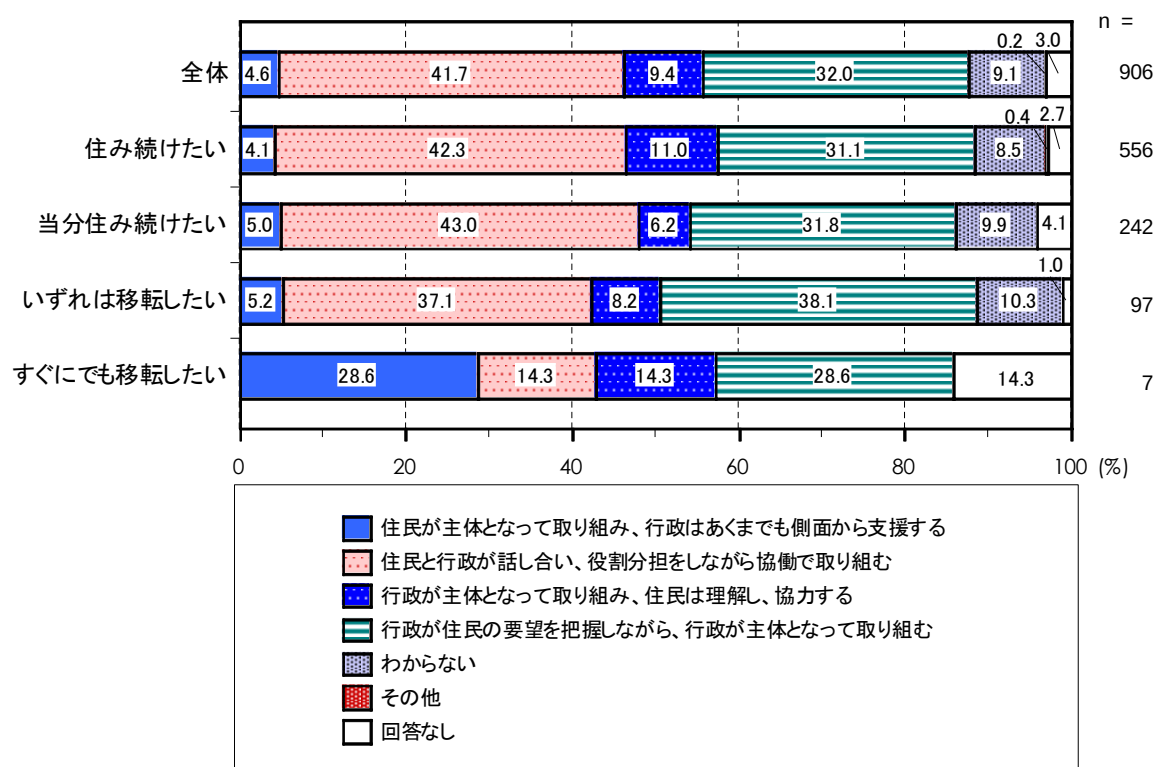


図 6-1-4 これからのまちづくりの進め方（定住意向別）

（２）今後参加したい活動

問 17 あなたは碧南市を良くしていくために、今後、どのような活動であれば参加したいと思いますか。あなたの考えに近いものを3つまで選んで、番号に○印をつけてください。

◆今後参加したいと思う活動は、「福祉に関わる活動」、「防災・防犯・交通安全に関わる活動」、「自治会活動」、「地域のまちづくりに関わる活動全般」などとなっています。

①回答者全体

○今後参加したいと思う活動としては、「福祉（介護、医療）に関わる活動」（29.8%）、「防災・防犯・交通安全に関わる活動」（28.8%）、「町内会や老人クラブ、女性団体、子ども会などの地域の自治会活動」（28.4%）、「地域のまちづくりに関わる活動全般」（28.1%）が並んでいます。次いで、「環境（自然保全、ごみ対策など）に関わる活動」（26.5%）、「教育・文化に関わる活動」（24.2%）が並んでおり、回答が分かれています。

○問 12 で参加している人が少なかった防犯活動や防災活動、登下校時の見守り活動でしたが、今後の参加意向は高くなっています。

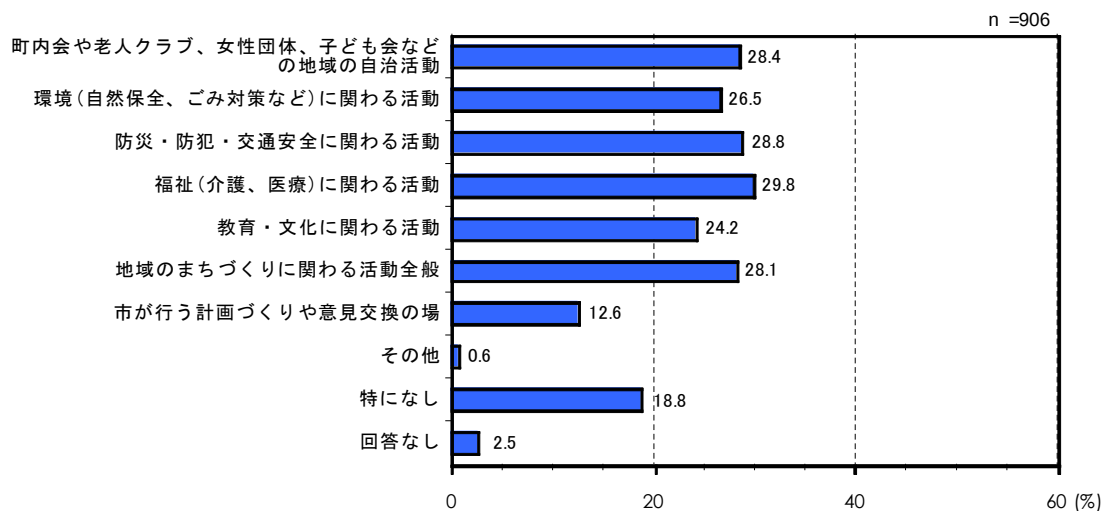


図 6-2-1 今後参加したい活動

○なお、その他の理由としては、以下のようなことが述べられています。

【その他の理由】（2名から回答）

- ・ものづくり
- ・ビーチバレーコートがあるのは他にない特徴なので、そこを活かしたイベント、スクール

②性別

○女性で「福祉（介護、医療）に関わる活動」（36.8%）が、男性を15ポイント程度上回っています。

③年齢別

○30 歳代以下で「教育・文化に関わる活動」（31%以上）が他の年齢層よりも高くなっています。

○50 歳代と 60 歳では「環境（自然保全、ごみ対策など）に関わる活動」、「防災・防犯・交通安全に関わる活動」（30%以上）、30 歳代でも防災・防犯・交通安全が、他の年齢層よりも高くなっています。60 歳代と 70 歳代では「福祉（介護、医療）に関わる活動」（37%以上）、「町内会や老人クラブ、女性団体、子ども会などの地域の自治会活動」（32%以上）、30 歳代でも町内会等の自治活動が、他の年齢層よりも高くなっています。

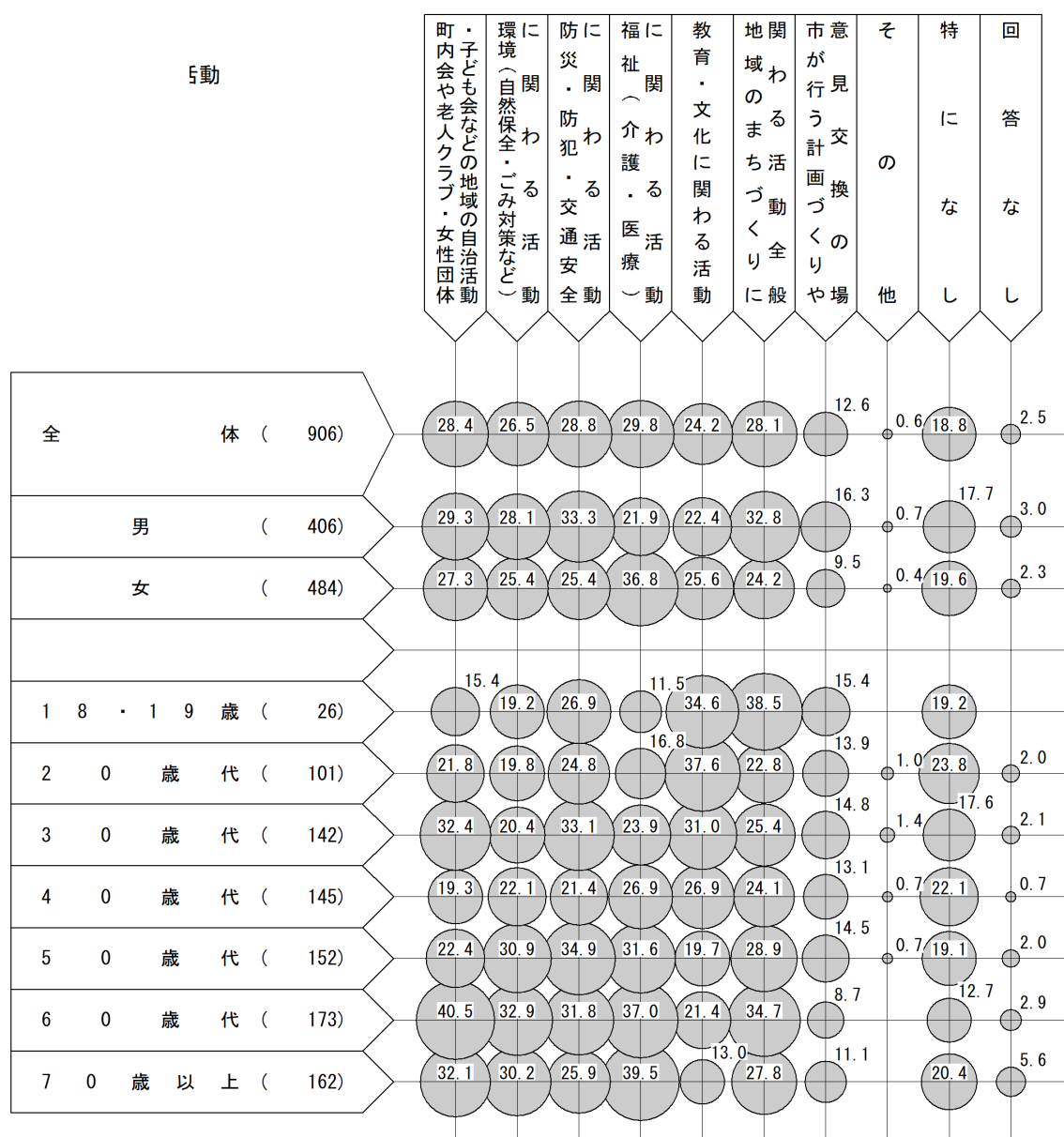


図 6-2-2 今後参加したい活動（性別、年齢別）

④居住地域別

○棚尾地域、西端地域で「環境（自然保全、ごみ対策など）に関わる活動」と「防災・防犯・交通安全に関わる活動」（30%）以上、旭地域でも環境に関わる活動が、他の居住地域よりも高くなっています。

○さらに西端地域では「福祉（介護、医療）に関わる活動」（39.4%）と「教育・文化に関わる活動」（27.9%）も、他の居住地域よりも高くなっています。

⑤居住意向別

○居住意向が低い程「特になし」が高くなる傾向となっています。

○住み続けたい回答者では「福祉（介護、医療）に関わる活動」（34.0%）、「町内会や老人クラブ、女性団体、子ども会などの地域の自治会活動」（32.2%）が、居住意向の低い層よりも高くなっています。

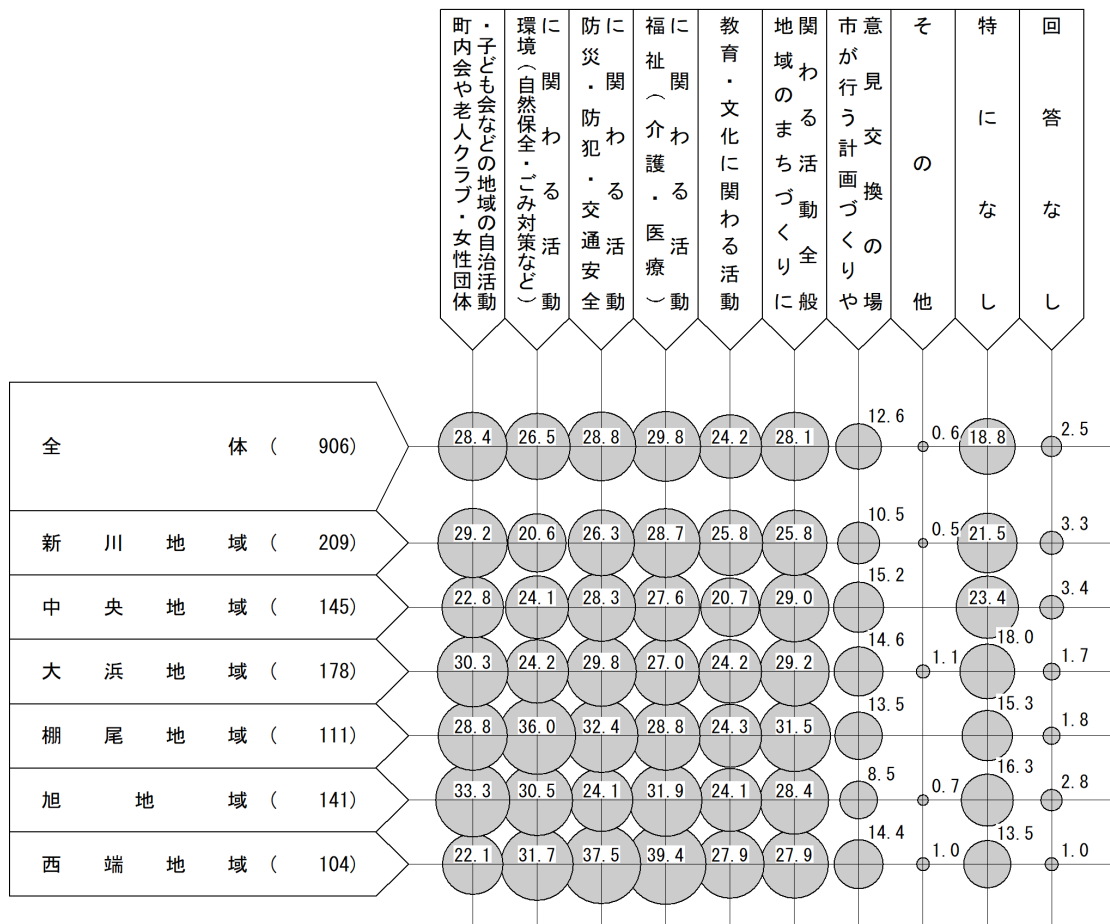


図 6-2-3 今後参加したい活動（居住地域別）

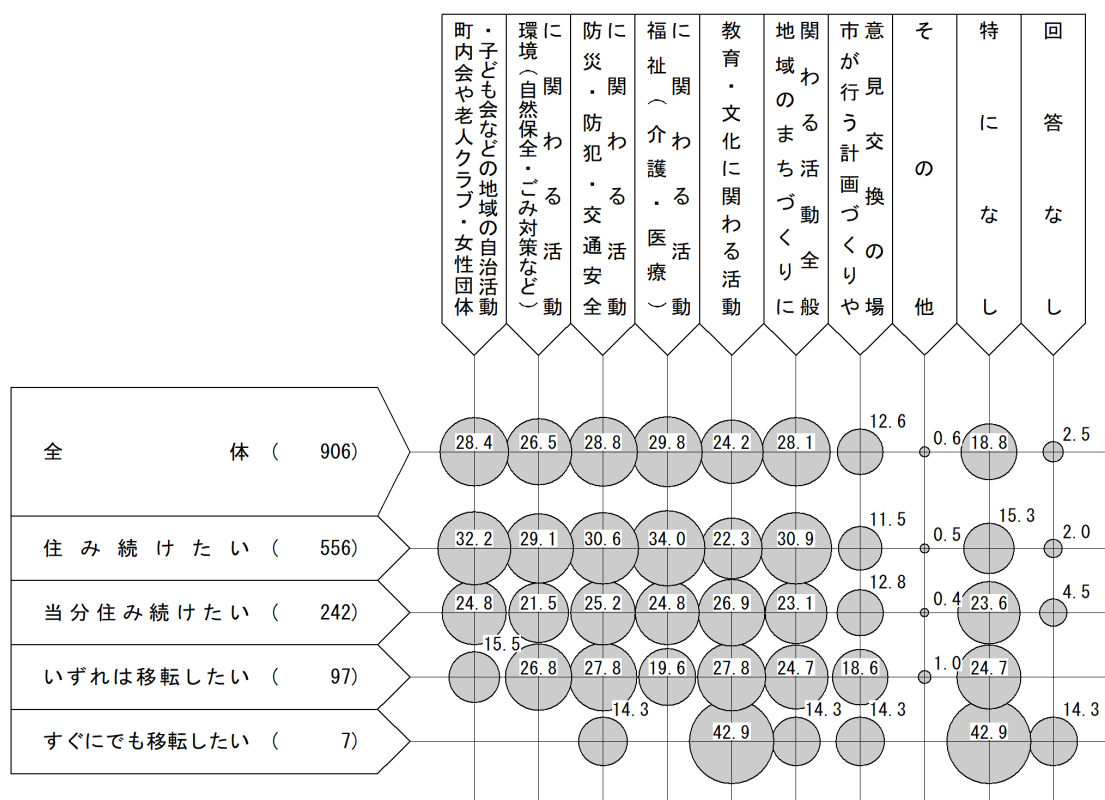


図 6-2-4 今後参加したい活動（定住意向別）

(3) 将来のまちのイメージ

問 18 あなたは、これからの碧南市をどのようなまちにしていきたいと思いますか。あなたの考えに近いものを3つまで選んで、番号に○印をつけてください。

◆碧南市の将来のまちのイメージとしては、「犯罪や交通事故が少ないまち」、「子育てしやすい環境のまち」、「災害に強いまち」などが望まれています。

①回答者全体

○碧南市の将来のまちのイメージとしては、「犯罪や交通事故が少ないまち」(34.9%)と「子育てしやすい環境のまち」(32.5%)、「災害に強いまち」(31.8%)、「健康でいきいきと暮らせるまち」(29.2%)に回答が集まっています。

○次いで、「高齢者や障がい者にやさしいまち」(23.4%)、「産業が盛んで活力あるまち」(19.2%)などと続いています。

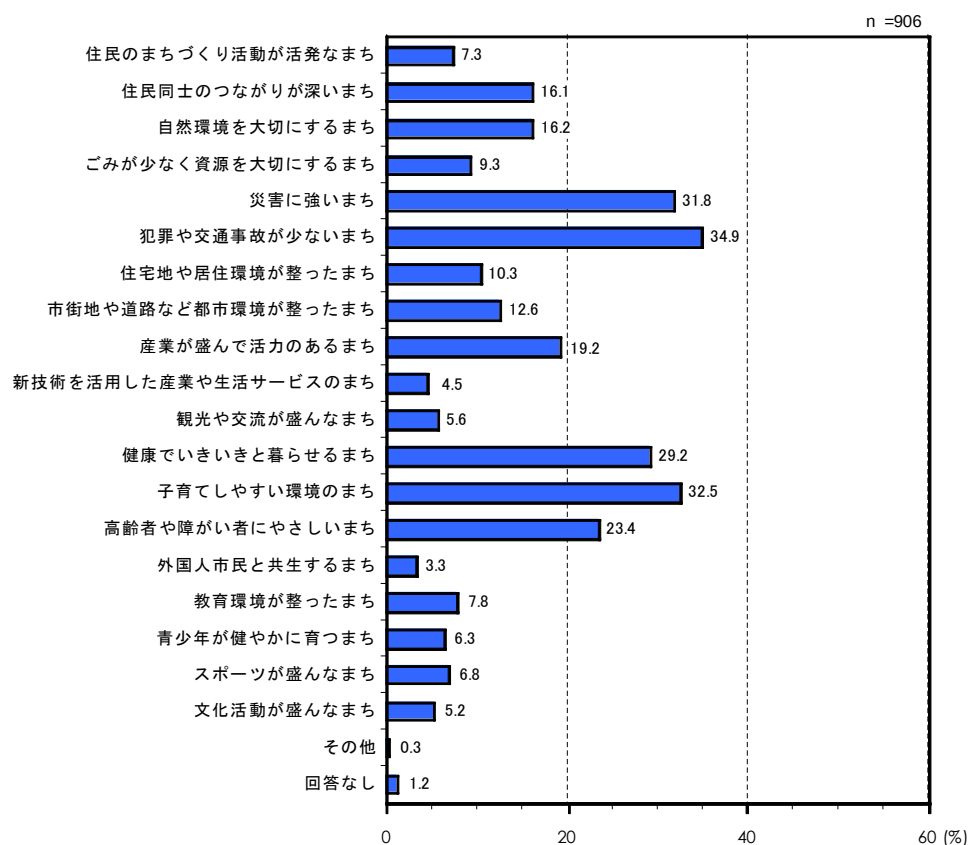


図 6-3-1 将来のまちのイメージ

○なお、その他の理由としては、以下のようなことが述べられています。

【その他の理由】(2名から回答)

- ・人と動物が共生するまち
- ・生まれてから死ぬまで健康面や、さまざまな不安(老後退職後等)金銭面等も含めサポートしてくれるまち

②性別

○女性で「健康でいきいきと暮らせるまち」(34.1%)が女性よりも10ポイント以上高く、男性では「市街地や道路など都市環境が整ったまち」(16.3%)が女性よりも高くなっています。

③年齢別

○20歳代と30歳代では「子育てしやすい環境のまち」(49%以上)が特に高く、30歳代と40歳代、18・19歳では「災害に強いまち」(35%以上)、20歳代以下と40歳代では「市街地や道路など都市環境が整ったまち」(15%以上)、さらに40歳代では「産業が盛んで活力のあるまち」(26.2%)が、他の年齢層よりも高くなっています。

○50歳代以上では「健康でいきいきと暮らせるまち」(34%以上)、「高齢者や障がい者にやさしいまち」(27%以上)、60歳代以上では「住民同士のつながりが深いまち」(22%以上)、50歳代で「犯罪や交通事故が少ないまち」(38.8%)が他の年齢層よりも高くなっています。

○このように若い年齢層では子育て環境や防災、都市環境、産業活力を求めているのに対して、高齢層では健康で暮らせることやふれあいなどを求めています。

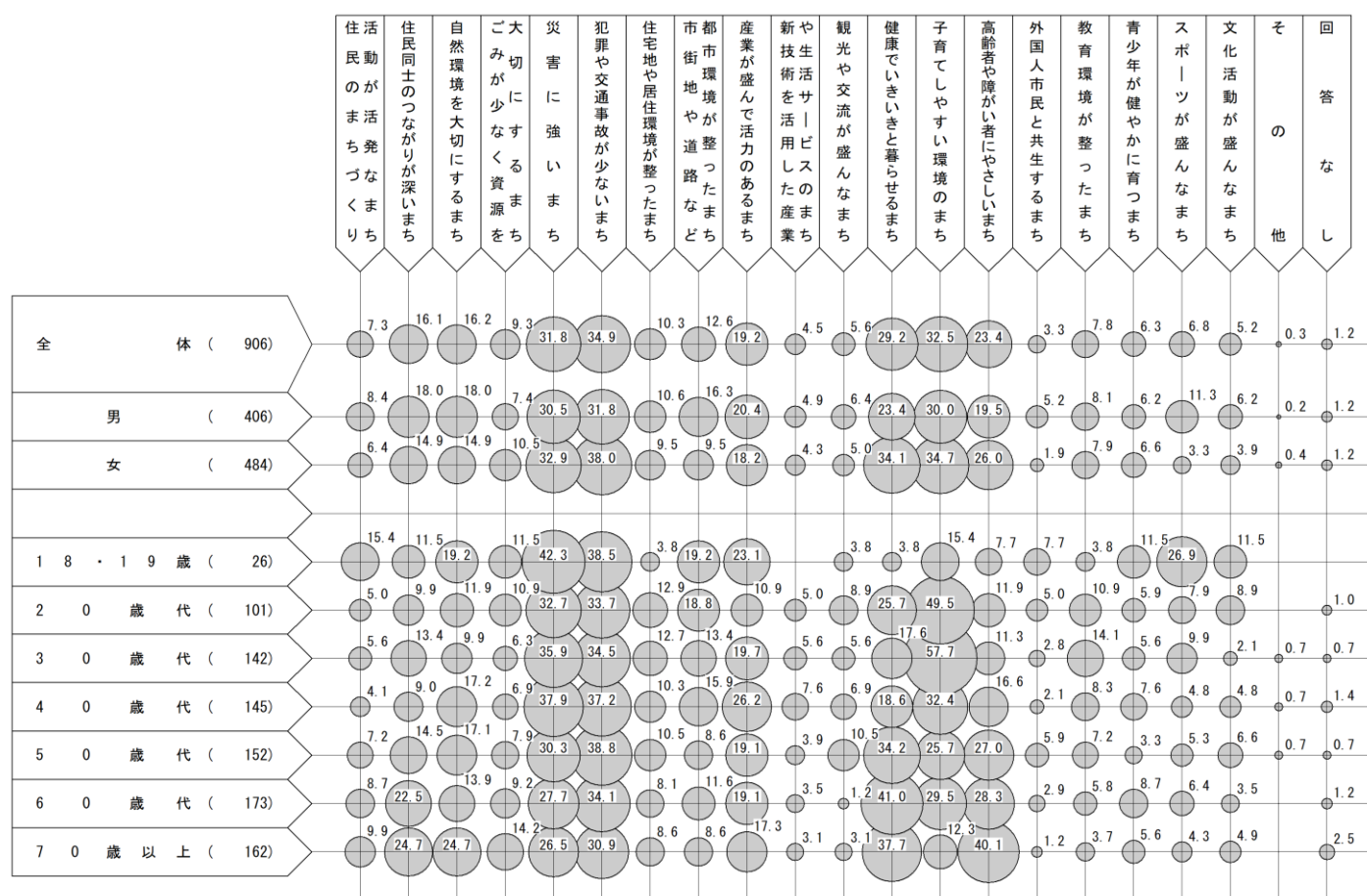


図 6-3-2 将来のまちのイメージ (性別、年齢別)

④居住地域別

- 棚尾地域と旭地域で「子育てしやすい環境のまち」(36%以上)、棚尾地域と西端地域で「自然環境を大切にするまち」(19%以上)が、他の居住地域よりも高くなっています。
- このほかでは、大浜地域で「健康でいきいきお暮らせるまち」(36.5%)、新川地域で「高齢者や障がい者にやさしいまち」(25.4%)、中央地域で「住宅地や居住環境が整ったまち」(14.5%)などが他の居住地域よりも高いという特徴があります。

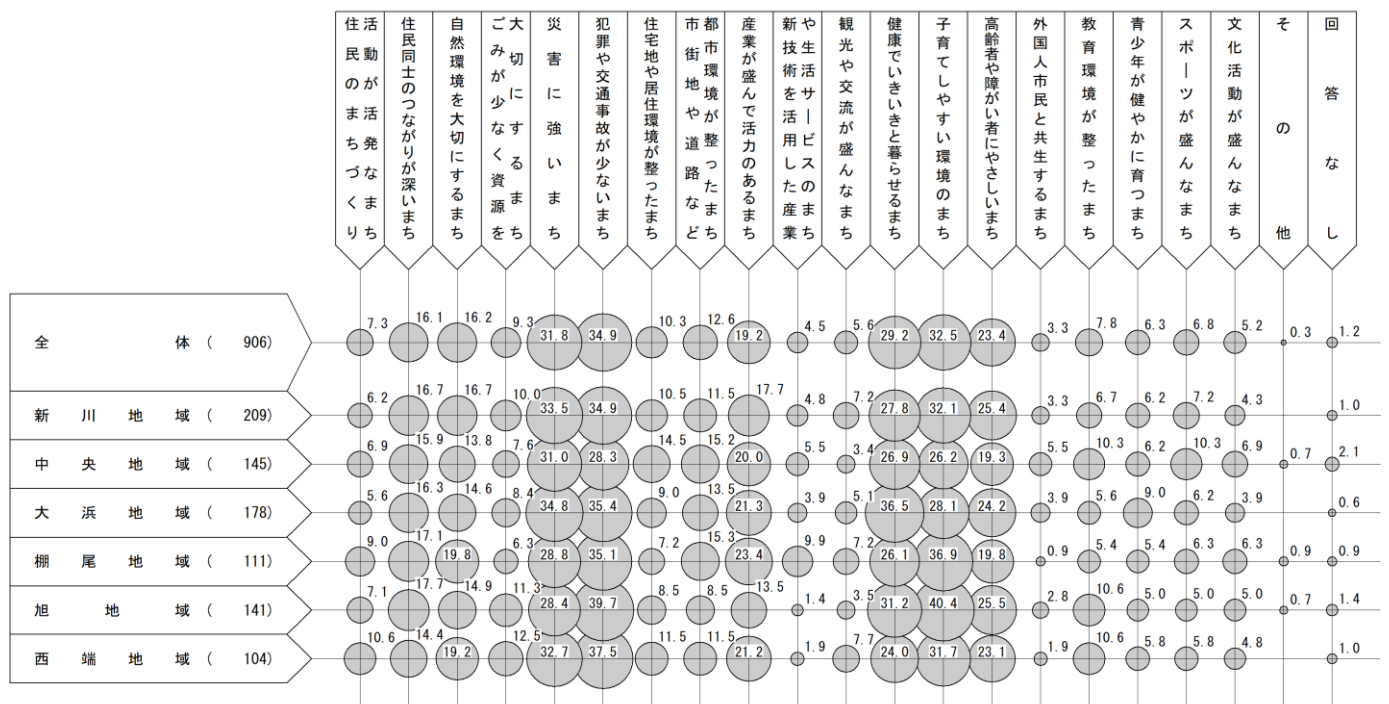


図 6-3-3 将来のまちのイメージ (居住地域別)

⑤居住意向別

○住み続けたいという回答者では「住民同士のつながりが深いまち」(18.5%)が、他の居住意向の回答者よりも高くなっています。当分住み続けたいという回答者が挙げるまちのイメージには大きな特徴がありません。

○いずれは移転したい回答者では「子育てしやすい環境のまち」(36.1%)、「市街地や道路など都市環境が整ったまち」(22.7%)が、他の居住意向の回答者よりも高くなっています。

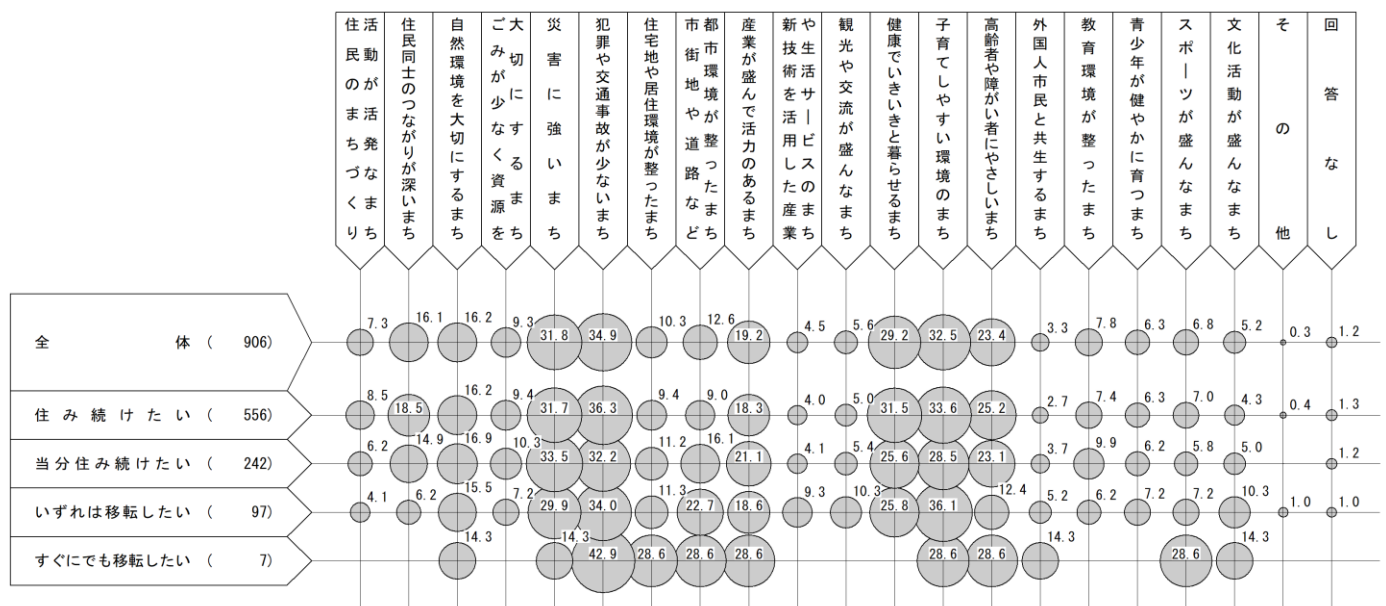


図 6-3-4 将来のまちのイメージ (定住意向別)

(4) 市民としてできること

問 19 あなたは碧南市を良くしていくために、市民としてどのようなことができるとお考えですか。ご自由にお書きください。

○碧南市を良くしていくために、市民としてできることとしてのご意見として、302 名から 442 件の意見がありました。

○市民はボランティアとしてまちづくりに協力すること、イベントなどに協力すること、ごみの減量化などに協力すること、防犯活動をすることなどを考えています。

表 6-4 市民としてできること

分 野		できること	要望、意見	その他	計
市民生活・環境分野					
新たな市民協働のまちづくり		66	21	4	91
	市民協働の推進	12	3	－	15
	地域コミュニティの活性化	54	18	4	76
環境に配慮したまちづくり		17	4	0	21
	環境にやさしいまちづくり	15	3	－	18
	環境保全と公害の防止	2	1	－	3
	新たなエネルギー資源の活用	－	－	－	0
快適な生活を営めるまちづくり		29	23	0	52
	優良な住宅の整備と供給	3	4	－	7
	安定した水道水の提供	－	－	－	0
	水質向上に向けた下水道事業の推進	－	2	－	2
	ごみの減量化と3Rの推進	24	6	－	30
	環境衛生管理の推進	－	－	－	0
	緑豊かなまちづくり	1	9	－	10
	次世代につなぐ景観づくり	1	2	－	3
安全で災害に強いまちづくり		20	17	0	37
	防災対策の推進	2	6	－	8
	消防・救急体制の充実	－	－	－	0
	防犯体制の強化	10	6	－	16
	交通安全の推進	8	5	－	13
計		132	65	4	201
都市基盤・産業振興分野					
質の高い都市基盤のまちづくり		0	34	0	34
	有効な土地利用の誘導と計画的な市街地の整備	－	6	－	6
	国道・県道等幹線道路の整備	－	5	－	5
	市道・一般道等生活動の整備	－	9	－	9
	河川・下水道薄い整備と治水の推進	－	－	－	0
	港湾機能の強化と憩いの空間づくり	－	3	－	3
	衣浦ポートアイランド活用の推進	－	－	－	0
	公共交通機関の利便性の向上	－	11	－	11
	身近な通信・情報化の推進	－	－	－	0
バランスのとれた産業振興のまちづくり		16	49	0	65
	信頼される農業の推進	8	1	－	9
	水産業の振興	－	－	－	0

分 野		できること	要望、意見	その他	計
	工業・地場産業の振興	－	4	－	4
	地域商業の振興	5	31	－	36
	魅力ある観光地づくりの展開	3	13	－	16
計		16	83	0	99
医療保険・福祉分野					
質の高い保険・医療活動を展開するまちづくり		6	8	0	14
	健康を守る体制の充実	6	3	－	9
	質の高い医療の提供	－	4	－	4
	国民健康保険事業の健全な運営	－	1	－	1
	高齢者医療保険制度の円滑な推進	－	－	－	0
	介護保険制度の適正な運営	－	－	－	0
思いやりあふれる福祉のまちづくり		21	14	0	35
	参加と支えあう地域福祉の推進	14	2	－	16
	元気に暮らす高齢者の支援	－	1	－	1
	子育て支援環境の充実	4	7	－	11
	ひとり親家庭支援の充実	－	－	－	0
	障害者（児）福祉の充実	1	3	－	4
	低所得者への支援の充実	－	－	－	0
	勤労者福祉の向上	2	1	－	3
	消費者意識の向上	－	－	－	0
	人権を守る環境づくり	－	－	－	0
	国民年金制度の適正な運営	－	－	－	0
計		27	22	0	49
教育文化分野					
人を育み活かす創造のまちづくり		7	16	0	23
	信頼と安心のある幼児教育の推進	－	1	－	1
	生きる力を育む義務教育の充実	－	5	－	5
	生涯を通じて学び続ける学習環境の充実	1	－	－	1
	多くの市民が参加するスポーツの振興	3	7	－	10
	青少年の健全育成環境の充実	3	3	－	6
地域文化を守りみんなが誇れるまちづくり		4	5	0	9
	芸術文化の振興	2	5	－	7
	文化財の保護と活用	1	－	－	1
	活用される学術資源の充実	1	－	－	1
計		11	21	0	32
行財政分野					
市民協働型行政のまちづくり		14	24	0	38
	広報・広聴活動の推進	14	12	－	26
	市民に満足されるサービスの提供	－	4	－	4
	信頼される行政運営の推進	－	8	－	8
	効果的な広域行政の推進	－	－	－	0
健全な財政を推進するまちづくり		11	8	0	19
	安定的な財政運営の推進	－	5	－	5
	公平・公正な税務の推進	11	3	－	14
計		25	32	0	57
その他					
その他		2	1	1	4
計		2	1	1	4
合 計		213	224	5	442

表 6-5 市民としてできること（内容）

内 容	性別	年齢	地域
市民生活・環境分野			
新たな市民協働のまちづくり			
市民協働の推進			
●できること			
全ての問題点について改善策を考えられるように、日々協力していききたいと考えている。	男	50 歳代	棚尾
すべてがすべて行政に任せるのではなく、市民のこれからの役割、できることを考え実行すること。行政への提案を含む。	男	50 歳代	新川
地域の人々が協力して、一丸となってさまざまな問題に取り組むことができればいいと思う。	男	30 歳代	新川
現在は仕事が忙しいため無理だが、定年後はボランティアとして何か役に立てればよいかと考えている。	女	50 歳代	棚尾
各種ボランティアの参加。	男	70 歳以上	中央
退職後、機会があればボランティアとして頭と体を提供していけると思う。	女	40 歳代	棚尾
ボランティアでできることがあれば、できるだけ参加していききたいと思う。児童、高齢者、障がい者関連やごみ拾い等。	女	18・19 歳	旭
ボランティアへの参加。	男	18・19 歳	棚尾
ごみ拾いやイベントのボランティアスタッフなどの地道なものに積極的に参加して、碧南市民としてさらに活気のいいまちづくりができればいいなと思います。	女	20 歳代	新川
自分のことからコツコツとやっていき、ボランティアやそのような活動を積極的にやっていききたいと思う。	男	30 歳代	中央
自分はちからがないのでボランティア活動や奉仕作業に従事したい。また町内会の活動を通じて行政と一緒に頑張りたい。	男	30 歳代	中央
地域やボランティア活動に積極的に参加する。	男	20 歳代	大浜
●意見・要望			
現在頑張っているボランティア活動をはじめ各種団体の活動を、行政として積極的に応援し、リーダーの育成をお願いしたい。	男	70 歳以上	西端
ボランティア活動に参加しやすい環境をつくるとよいと思う。	男	60 歳代	新川
色々なお試し体験や、ボランティア活動をやっているとは思いますが、よくわかっていない。もし、無料、有料、支給付きの参加型のものがあればやってみたい。例えば、新川中学校の植木や草がのび放題なのを見ると、生徒たちも荒れすさんでいるように思えるので、誰かきれいにしてくれないかなと思ったり、カーブミラーが汚れて見にくく危ないので、きれいにしてくれないかななど。ボランティアを募り、まちを良くしていけたらと思う。	女	40 歳代	新川
地域コミュニティの活性化			
●できること			
その時々々の立場（例えば、町内会役員など）になった時に、協力的に行っていければと思う。	男	60 歳代	棚尾
地域、町内会の活性化。まちづくりのボランティア。	女	60 歳代	新川
きちんと選挙に行くこと。地域の活動に参加すること。	女	18・19 歳	新川
今は子育てに手いっぱいなので他のことを考える余裕はあまりないが、地域の活動に参加していけたらと思う	女	30 歳代	中央
地域の活動に積極的に参加する。	女	20 歳代	西端
目に見えることは何事にも参加することが良いかなと思う。	女	60 歳代	西端
地域の活動に積極的に参加し、活気づける。SNS 等を通して碧南市の良さをアピールする。世界へ情報を発信する。	男	20 歳代	大浜
町内会や地域の行事に、気持ちよく参加するように心がける。	女	60 歳代	旭
市民活動に積極的に参画していきたい。当面まだ仕事をしているので自由になる時間が少なく、全て参画することができないが、退職後はいろいろな活動に参画したい。市役所や区民間に出向く機会を増やし、地区の人との交流を深めていきたい。	男	60 歳代	大浜

内 容	性別	年齢	地域
老人なので、公園の掃除とか老人会でできることはやっている。	男	70 歳以上	中央
自然環境、町内会、無理せず参加できるもの。	女	50 歳代	旭
市、地域の行事、イベントへの参加。	男	60 歳代	中央
町や市で行っているイベントに積極的に参加し、盛り上げていきたい。	女	30 歳代	新川
市イベントに進んで参加していきたい。	男	60 歳代	中央
イベントに参加する。	女	30 歳代	－
地域のイベントに積極的に参加する。	女	60 歳代	西端
いろいろなイベントに参加する。	男	18・19 歳	大浜
市内のイベントに参加する。	女	30 歳代	新川
地域、市のイベントなどには積極的に参加していきたいと思う。	女	60 歳代	大浜
町内会の活動。市のイベント参加。	男	50 歳代	中央
碧南市を良くするため、イベントや地域のプロジェクトなどしっかりと参加して、まず一人ひとりが楽しく真剣に取り組めば、しだいに輪は大きくなり、よりいっそうすばらしい市になると思う。	女	20 歳代	新川
いろんな市の行事に参加。	男	60 歳代	新川
町内会の行事や子ども会のイベントなどに積極的に参加し、碧南市のまちづくりへの興味を抱く。	女	30 歳代	新川
市民としての義務を守ること。関心のある行事には積極的に参加すること。	男	40 歳代	棚尾
碧南市の良いところをもっと見つけ、それを活用し広める。市内の催しものへ積極的に参加する。	女	40 歳代	棚尾
碧南でやっているイベント（音楽系、体験モノ、スポーツ、防災系）に参加する。	女	40 歳代	中央
市の行事に参加。	女	30 歳代	棚尾
地区の催し物にはなるべく参加。	男	40 歳代	中央
イベントや活性化につながる活動に対して、積極的に参加する。	男	40 歳代	旭
子どもたちが健やかに育つイベントへの参加。	男	50 歳代	西端
私個人では何もできないが、他人の迷惑になることはしないとか、近所の人と仲良くするとか、家のまわりのごみは拾うようにしている。これで市が良くなるとは思わないが、一人ひとりができることをしていればいいと思う。	女	50 歳代	旭
可能なかぎりの気づかいを示し合えば、何ごととも良くなっていくと思っている。このような機会を与えてくれたことにも感謝している。皆で頑張りましょう。	男	50 歳代	棚尾
近所の人との関わりを持ち生活する。	女	20 歳代	新川
大きなことはできないが、接する人に対してあたたかく思いやりを持ち、子どもたちに対しても元気に過ごせるようあたたかく見守る姿勢を持ちたいと思っている。	女	40 歳代	大浜
明るいまち。人に穏やかに優しく接する。	男	70 歳以上	棚尾
まずは隣同士の交流が一番大事で、何かあれば声を掛けて手助けできることであればお互いさまで協力し、困った人の力になればと考えている。ここに住んでお互いのプライバシーを守りつつ、程よい距離での付き合いができていることをありがたく思い、親しき仲にも礼儀ありを心がけている。16 年目に入るが、まったくトラブルも無く、優しい人たちに感謝して暮らしている。	女	70 歳以上	西端
人間関係が大切だと思う。まずは家庭内、次に近所づきあい。その次は地区。小さなコミュニティを大事にして、自分も大切だが、他人がどう考えるかも想像し生活する。その積み重ねが碧南市全体を良くすることだと考える。	女	50 歳代	棚尾
地域活動に積極的に参加する。公共機関を利用する場合は、他の利用者のことも考え利用する。	男	20 歳代	棚尾
碧南市で働き、碧南市の皆の役に立てるよう努力する。自分優先ではなく、マナーを守り他人に気を配る。元気ッスやキラキラウォークなどイベントが大好きなので、積極的に参加する。	女	20 歳代	新川
町内会などを通しての地域ネットワーク形成。昔ながらの近隣住民との助け合い。	女	30 歳代	大浜
あいさつを大切にする。碧南は誰にでもあいさつができる、素敵なおとこだなと感じた。	女	20 歳代	旭
大学生活での経験を活かして、市民同士のコミュニケーション向上のための、積極的なあいさつ等の行動は心がけていきたいと思っている。	女	20 歳代	大浜

内 容	性別	年齢	地域
他人に迷惑をかけないこと。	男	70 歳以上	中央
地域交流。	女	30 歳代	棚尾
近所の住民にあいさつから始まるコミュニケーション。	男	60 歳代	新川
自治活動にできるだけ参加しコミュニケーションを深めて、いろいろな人たちと関係を保つこと。	女	60 歳代	新川
市民同士の活動に積極的に参加し、横のつながりを増やす。	女	20 歳代	新川
町内会とか隣近所との交流を少しでも持ち、市民としての自覚を持っていきたいと思う。	男	70 歳以上	新川
若い人の犬の散歩も増えてきたので、こちらからあいさつする。	女	60 歳代	中央
幸せになること、人に優しくすること！	男	30 歳代	西端
大きなことはできないが、市民みんなが人としての根本的なモラルや思いやりを持ち、ちょっとした思いやりを持つことで、争いや事故など減らせるような気がする。自分のできることはそのくらいだ。	女	70 歳以上	旭
決められたことは、きちんとルールを守った行動をしたいと思う。またイベント等、積極的に参加したいと思う。	女	50 歳代	大浜
マナーとモラルを守り、生活していく。	女	30 歳代	中央
外国人市民が多くなってきており、犯罪のない共生するまちに。お互いで住民同士のつながりを大切にしたい。	男	60 歳代	大浜
●意見・要望			
町内会の加入率が低いので、改善するためにはどうしたらよいか、考えていくべきだと思う。	女	30 歳代	中央
町内会活動の健全化に、行政はサポートしてほしい。例えばゴミ袋などは、非町内会員有料化など。	男	60 歳代	旭
個人の力は限られてしまうので、まずは町内の活動からというように、活動の場を広げていけば少しずつできることが増えていくと思う。	女	50 歳代	旭
夫婦共働きでなかなか参加できない。働き方など総合的な観点が必要だと思う。	男	40 歳代	西端
今は子育て真只中なので仕事は復帰しているが、現実問題、共働きで市の活動に参加する時間を確保するのは難しい。幼稚園等の小さな子どもと一緒に参加できる活動があれば参加したいと思う。	女	30 歳代	新川
キラキラウォークなどのさびれたイベントはなくし、元気ッスなどの人が必ず集まるイベントに参加して、碧南市へ金を落とす。	女	50 歳代	大浜
市民参加のまちづくり。イベントを盛んにしてほしい。	男	30 歳代	西端
町内会で小運動会。	男	70 歳以上	新川
自治体の活動、縮小など検討してほしい。多すぎるのでは？子育て世代には厳しすぎる。	男	40 歳代	新川
寺まちウォーク時の出店について、民家の前に出す際に住民の意見を聞いてからの配置にしているのかわからない。	男	20 歳代	大浜
もっとイベントに力を入れて、月 1 回または年に何回も住民の話しを聞く。元気ッス、キラキラウォークは一部のしか知らない。古い考えはなくし、新しい話しを聞き入れる。外からの人を歓迎してほしい。他市からの人の受け入れが悪い。他市の意見を聞いて、良いことは見習うべきだ。年配の意見ばかり聞くではなく、もっといろいろな人の話しを聞くべきだ。	女	50 歳代	新川
市民同士のふれ合いが多くできるまちに。	女	70 歳以上	旭
頑張っている人、地域に貢献している人たちが幸せになれるような地域にしてほしい。地域活動に参加し、皆と交流を持ち情報交換し、良いところは伸ばし、悪いところを改善していけるような地域づくりができればと思う。	女	40 歳代	大浜
町内の色々な所を見てみると、古家から新築へ各土地が有効に活用され、外部から市内に人の移動があると感じる。入居者に不安とか戸惑いがないよう、また早く慣れられる体制づくりが、住みよい市になると思う。	男	40 歳代	西端
外国人の受け入れと碧南市民への同化政策。共存の推進。	女	60 歳代	旭
外国人労働者が増え、生活の考え方などの違いなどを感じる場面が多くなった。コミュニケーションなどとれる時間があればよいと思う。	女	50 歳代	大浜

内 容	性別	年齢	地域
市だけのことでなく、今後、外国人受け入れを政府が率先して行うことになるので、ゆくゆくは治安の悪化、それにともなう住宅の不安や不満による他地域への人の流出が日本全国でありうるのだと思っている。その辺のことについて市はどのように考え行動していくか、今後見ものだと思っている。	男	30 歳代	西端
高齢者、子ども、障がい者が安心して住める碧南市になっていけばうれしく思う。また、労働力として外国人が多く住むようになると思うが、その点でもルールづくりをきちんとして、フォローできるシステムづくりをしてもらいたいと思う。	女	60 歳代	中央
●その他			
今、介護の真っ最中で、週 5 日はディサービスを利用しており大変助かっている。日中みてくれる人がいるので少しでも仕事や子育てができる。こういう状況なので、家から外に出て活動に参加するのは難しい。	女	50 歳代	大浜
碧南市民でありながら、全ての参加をしていないのでわからない。ただ、このまちが住みよいことは確かだ。	女	70 歳以上	中央
私は外から来たのだが、あまりにも碧南市民は閉鎖すぎる。	男	40 歳代	新川
高齢のため参加したくない。足手まといとなる可能性大！	男	70 歳以上	新川
環境に配慮したまちづくり			
環境にやさしいまちづくり			
●できること			
ごみのポイ捨てをしない。	男	20 歳代	棚尾
ごみのポイ捨ては昔も今もなくなる現状だが、少しでもまちをきれいにしなく、家の近くのごみは時間がある時にできるだけ拾うように心がけて、ごみの少ないまちづくりに貢献したい。	男	50 歳代	棚尾
ごみを減らすことは難しくても、ポイ捨てをしないなどごみを増やさないことは誰でも簡単に実践できると思う。そういう意識をしっかりとって生活していきたい。	男	20 歳代	中央
ごみを捨てない。できれば拾う。	男	70 歳以上	棚尾
道路にごみを捨てない。	女	20 歳代	新川
家の前の県道は草、ごみ等で汚れている。タバコのごみ等掃除をしているが…。	女	60 歳代	新川
散歩中のごみ拾いなど、キレイな住みやすいまちづくりの手伝い。	男	30 歳代	—
クリーンビーに参加。	女	60 歳代	新川
ごみを減らしていくためにごみ拾いを行う。	男	18・19 歳	中央
ごみ拾い。	男	18・19 歳	大浜
ごみがない、きれいなまちづくりに協力する。	男	18・19 歳	大浜
路上のごみ拾い。	女	50 歳代	大浜
散歩する時、ごみを拾う。	男	60 歳代	旭
自宅周辺の美化。	女	40 歳代	棚尾
年齢的、体調的に団体に加入しての活動はできないが、個人的には自宅を中心にプラスアルファで各環境に気配りしていきたいと思っている。	男	70 歳以上	新川
●意見・要望			
ごみ、タバコ等のポイ捨てをしないキレイなまち。タバコを吸わないまち。	男	40 歳代	新川
当たり前のことが実行されるように行政してほしい。市民として守る。ごみのポイ捨て禁止行政。犬のフンの後始末の指導または、禁止条例。家または店舗の前の市道の清掃、草取り。	男	70 歳以上	新川
自分の家のまわりに居酒屋やスナックが多いせいかタバコのポイ捨てが多く、家の庭にもタバコの吸い殻がよく捨てられている。一人ひとりがきれいな環境づくりをもっと心掛けて生活するべきだと思う。子どもが小さいので、外で遊ばせることが多い。安心してきれいな環境で遊ばせられるようになればと思う。	女	30 歳代	棚尾
環境保全と公害の防止			
●できること			
自然環境保護。	男	70 歳以上	棚尾
環境を大切にしていこう。	女	18・19 歳	棚尾
●意見・要望			

内 容	性別	年齢	地域
衣浦大橋から衣浦トンネルまでの工業地帯として埋め立てられた海岸沿いを、市民が海や自然環境を意識できるような、自然保全を重視していく方向に切り替えていく必要がある。人間以外の生物、生態系への配慮もすべきだし、経済的利益ばかりを重視する方向はもう古い。海を見渡せてウォーキングを楽しめるような、住民と自然との繋がりを優先すべきである。工場の騒音や廃棄物で海岸の自然を占拠すべきではないだろう。海を埋め立てたことによって得た経済的利潤を、きれいな海の状態にまで戻していけるような試みや、ウォーキング、サイクリング専用道路として海沿いを活性化することに還元すべき時代だ。新しく生まれてくる命が自然の恵みに感謝できるよう、我々が意識的に海や自然を守っていかななくてはいけない。	女	40 歳代	新川
快適な生活を営めるまちづくり			
優良な住宅の整備と供給			
●できること			
碧南市に住み続け、家庭を持つこと。	女	30 歳代	中央
永住し、市内での消費に費やすこと。	男	30 歳代	—
近隣の市町村が就職先なら、碧南市に籍をおいて、少なからず碧南市と関係を持ち続ける。	男	20 歳代	新川
●意見・要望			
人口増加の続くまちづくりが大切だ！人がいるからまちがある。まちがあるためには職場、仕事があるまちにならないといけない。住みやすく、離れにくいまちをめざして、市政を考えていってもらいたい。	女	40 歳代	新川
近隣の市と同じことをするだけではなく、それ以上の違うことをし、差をつけることによって、住民が増えるようにするのが必要と思う。	女	50 歳代	旭
空き家の解体の補助金援助をしてほしい。	男	70 歳以上	大浜
空き家を有効に活用する支援に力を入れて欲しい。また、そうしたい。	女	50 歳代	大浜
水質向上に向けた下水道事業の推進			
●意見・要望			
踏分町の下水道設備を早くお願いしたい。	女	20 歳代	新川
碧南全域に下水道の整備を早急にしてほしい。進行が遅い。	男	30 歳代	中央
ごみの減量化と3Rの推進			
●できること			
なかなかボランティアなどには参加できないので、まずは身のまわりのことから。ごみをなるべく出さないことや、公共の場を使うときは、きれいに大切に使いたいと思う。	女	30 歳代	旭
ごみの減量に協力する。	女	30 歳代	新川
ごみの減少。	男	18・19 歳	中央
ごみを少なくする努力はしている。	女	20 歳代	中央
生まれてからずっと碧南市に住んでいる。とても住みやすいまちだと思う。なるべく地元の食材を使ったり、ごみを少しでも出さないようにベジブロスなどをつくったりしている。	女	50 歳代	大浜
ごみの減量。	男	30 歳代	—
個人で取り組むことのできる環境対策、ごみの減量、リサイクルは誰でも取りかかりやすいのではないと思う。自分の意見を市へ述べることはなかなか勇気のいることなので、個人でコツコツやれることで碧南市の役に立てそうなことをしたい。	女	30 歳代	大浜
自分ができることといったら、ごみをなるべく減らすこと。	女	40 歳代	新川
ごみの減量に努める。	女	30 歳代	旭
ごみをできるだけ減らすこと。	女	50 歳代	旭
ごみの減量化。	男	70 歳以上	西端
ボランティアに参加したり、ごみの減量、リサイクルを意識すること。地産地消を心がける。日々の生活の中で、これらを当たり前にする。	女	40 歳代	大浜
ごみを増やさない。	女	20 歳代	新川
ごみを減らす。	男	18・19 歳	棚尾
ごみの分別のルールなどをしっかり守り、美化に努める。	女	30 歳代	中央

内 容	性別	年齢	地域
ごみの分別など、身近で簡単にできることはやっていきたい。	男	40 歳代	新川
ごみの分別をしっかりと行う。	男	20 歳代	大浜
環境保持のためのごみの分別。	女	30 歳代	大浜
環境を維持し、ごみ等のないまちをキープする。ごみ分別、クリーンセンターへの搬入。	男	60 歳代	棚尾
ごみの分別はしっかりと行う。	男	30 歳代	中央
小さなポリ袋、レジ袋等をそのままごみとして捨てずに、キッチンの生ごみ、フルーツの皮などをそのたびに入れて、市のごみ袋に入れる。1 回ごとにやるため水を含まず、軽くなる。市のごみ袋に入れるときに空気を抜いておく。	女	70 歳以上	旭
ごみのリサイクル活動。	男	50 歳代	中央
ごみの再利用。	女	50 歳代	西端
ごみ出しの時に袋が少し散らかっていたらまとめたり、家のまわりのごみを掃除したり、狭い道では車の通行をゆずりあう等、自分のできる小さなこと、手の届く範囲でできることは日頃から気にかけるようにしている。小さなことでも一人ひとりがちょっと気をつかい合えば、住みやすく、より良いまちになるのかなと思う。	女	20 歳代	大浜
●意見・要望			
碧南市はごみ分別でも一番早くから始め、成果を上げている。これからも大いに色々なことを進めてほしい。	女	70 歳以上	中央
現在不便に思っていることは、ごみ（資源ごみ）の収集日と時間、場所のことだ。朝早いので協力はしていないが、老人が多く、力仕事は難しそう。仕事のある人も参加できないし、ごみも持っていけない。ビンの収集は他に持っていくところがなく困っている。ビンの収集場所をつくってほしい。	女	50 歳代	西端
ごみ出しの時にしっかりとカラス対策を。	女	70 歳以上	大浜
ごみ捨て当番をなくしてほしい。また、プラスチックごみは週に 1 回は回収してほしい。ほとんどの食品に使用されていてすぐにたまってしまう。	女	50 歳代	旭
改善してほしいこと、生ごみの回収。集積場に最大約 8 時間程度放置あり。4 時間程度に短縮できないか。ごみの散乱がひどくなる。近所に迷惑だ。	男	70 歳以上	中央
ごみの立ち当番について。仕事をしている主婦、幼い子どもを持つ親、高齢者などにとっては、本当に大変な日になっている。30 年近く続いていると思うが、はたして今も必要なのだろうか。30 年前は確かにすばらしい改革だったように思うが、うまく回収が進んでいる他市を参考に見直していただきたいと思っている。	女	50 歳代	新川
緑豊かなまちづくり			
●できること			
花や緑を植える。	女	50 歳代	旭
●意見・要望			
2 つの大きな公園、あおいパークは自慢だ。	男	60 歳代	新川
あおいパークにもっと人が来てもらえるように、野菜以外の商品をもっと増やしたらどうか。	女	50 歳代	大浜
水辺公園近くに駐車できると、子ども連れでも散歩できる。	女	70 歳以上	西端
碧南市は魅力のないまちと思われている。油ヶ淵をもっと魅力ある公園としてアピールして、早く工事などして、人々が集められる場所になるとよいと思う。	女	50 歳代	旭
街路樹、高浜のようなハナミズキみたいなのが咲いているのを見るとわあっと思う。	女	70 歳以上	大浜
公園にもっと自然にある植物、栗、野イチゴ、アケビ、グミなどいろいろな植物を植えて、子どもたちが春夏秋冬といろいろなものを食べて自然とかかわってほしい。	男	50 歳代	棚尾
中央地区の公園（末広、東、栄）などは、多くの気が伸び放題で整備されたことがなく、とても気味が悪く、誰も遊んだり腰をかけたりしていない。小山を取り除き見通しのきく広場であれば、サッカーとか自転車の練習、ジョギングとか歩いたりでき、犬の散歩の人もフンをそのままにしないと思う。	女	70 歳以上	中央
せっかくきれいに整備されたレールパークなどにも犬のフンがたくさん落ちていたりする。子どもが小さいので、安心してきれいな環境で遊ばせられるようになればと思う。	女	30 歳代	棚尾

内 容	性別	年齢	地域
公園、緑地が増えても、夕方からペットの公衆便所となる。ペット禁止のすばらしい他市の公園を参考に。	男	70 歳以上	中央
次世代につなぐ景観づくり			
●できること			
各地区で掲げているバナーのデザインをしている。市全体で盛り上がっているように感じ、他地区のものを見るのも好きだ。この先を市が華やかになるようなデザインのバナーを制作し、街並みから碧南市を明るくしていこうと思う。	女	20 歳代	旭
●意見・要望			
街並みがどんどん美しく変わっている。住みやすいまちになっていく楽しみはある。大好きなまちだ。	女	60 歳代	大浜
街並みの整備。中心部の建築制限、美観地区等。	男	70 歳以上	中央
安全で災害に強いまちづくり			
防災対策の推進			
●できること			
今、自分が不安に思うことは災害時の対応だ。避難所に関しても災害弱者に対応できるよう、避難所の運営についてももう少し話し合えるといいと思う。行政に頼るのではなく、市民（住民）が意識して考えていかなくてはいけない問題だと思っているので、自分にできることがあれば活動していきたいと思っている。	女	40 歳代	棚尾
標高の低い地域に住んでいる人は、南海トラフが来た場合甚大な被害が想定される。そんな碧南市は今後人口減少に拍車がかかることが心配される。減災に向けて地域自主防災会に積極的に参加していきたい。市政へは、防災に関する情報の発信をわかりやすくお願いしたい。一般の市民に防災に関することが知られていない。	女	60 歳代	棚尾
●意見・要望			
防災への協力。南海トラフ等のニュースを見るにつけ、先般見開きで1枚の冊子が配られたが、気をつける事項が載っていたが、具体的でない。例えば、市内に5階以上のビルが地区別に具体名でどれだけあり、どの地区の人はどのビルに避難するとか、高齢者、障がい者がどこにどれだけ住んでいて、誰が助けるのかとか、指定されたビルには備蓄があり行政が補助するとか。今日明日起きても路頭に迷う。	女	70 歳以上	新川
津波が来たら終り。対策しているなら、もう少しアピールしてみては？	男	40 歳代	中央
もっと防災対策に取り組むべき。	男	40 歳代	大浜
一番心配なのは津波だ。高いところが少ない、山がないので、どこに逃げたら安全なのだろう。もう少し近くに安心な場所がほしい。	女	60 歳代	大浜
自立＝キャンプ。碧南市民全員がキャンプできれば、市は公共機関をあまり準備しなくてもよい。震災時でも対応できる。愛知こどもの国、碧南の広い田畑、トヨタ工場の屋上、社宅。日常は楽しいキャンプ。非常時は避難場所。自然を愛する市民づくり＝自立市民。	男	40 歳代	大浜
市民としてどのようなことができるとお考えですか、と聞かれると、わかりませんと答えるしかない。自然環境も良く、気候も温暖で住みやすいまちだ。静かだし、田舎にありがちな古い因習に凝り固まっていることもない。だが、碧南って大丈夫なの？と思ってしまう。将来的に大きな地震、南海トラフ等が来る。碧南は津波で埋まってしまうだろうと予報されている。経済的に余裕がある人たちは安全な土地を求めて移転している。昔流行っていたお店など移転して空き家になっている。市政の方は何か対策をとっているのか心配だ。	女	60 歳代	中央
防犯体制の強化			
●できること			
私の家では外灯を夜9時頃までつけておき、道路を少しで明るくしている。	女	70 歳以上	旭
子どもたちの安全管理のため登下校時に子どもたちの見守りをし、様子を観察しながら見守っていく活動などしていきたいと思う。悲惨なニュースが多いので心が痛い。	女	60 歳代	旭
自分が子育て中なので、自分の子だけでなく市内に住む子どもみんなが犯罪や事件、事故に巻き込まれないようにするための声かけ、見守りなどを、地域の親と協力してできたらいいと考える。	女	30 歳代	棚尾

内 容	性別	年齢	地域
子どもたちの見守り活動。犯罪にあわないように、あわせないまちづくり。特に大浜地区（棚尾小）は登下校の見守りがほとんど無い。	女	30 歳代	大浜
小学生、行きと帰り、見守り。	女	40 歳代	中央
登下校時の子どもたちの見守り。	女	50 歳代	大浜
安心、安全に生活できるためのボランティア活動。	男	60 歳代	中央
地域の自治活動や交通安全、防犯に対する活動に参加できるようにしていきたい。行政と協力し、お年寄り、子どもの住みやすい、安心安全なまちづくりができるようにしたい。	男	30 歳代	棚尾
地域活動に参加し、犯罪とか交通事故の減少に努めることに積極的に活動する。	男	60 歳代	旭
町内の見守り。	女	30 歳代	西端
●意見・要望			
街灯を増やす。	女	70 歳以上	大浜
子どもたちが学校から帰る時間帯に、まちの人たちが出来る限り外（道路）に出ているようにすると、子どもたちの事故が少しでもなくなるのではと思う。	女	70 歳以上	大浜
権現町はアパートが多くなり、色々な人がおり、犯罪のないまちにしたい。	男	60 歳代	大浜
地区での部長をやっている際は参加できたが、防犯パトロールなどの案内がない、少ない。	男	40 歳代	中央
メイン道路以外の狭い道路の防犯対策。	男	60 歳代	大浜
碧南工業高校前の道路は草があり大変困っている。県に言ってもっと環境を良くしてほしい。犯罪、事故が減ると思う。	女	60 歳代	新川
交通安全の推進			
●できること			
交通ルールを守り、相手への思いやりの心を持つ。	女	20 歳代	旭
交通ルールを守る。	女	20 歳代	西端
安全、安心、交通安全。	男	60 歳代	旭
碧南市はとても気候もよく、住みやすいまちだ。これからはさらに高齢化が進むので、それぞれが交通ルールを守り、交通事故の少ないまちに貢献できるよう努力したいと思う。	男	70 歳以上	新川
安全運転。	女	40 歳代	中央
交通ルールを守っていきたい。	男	40 歳代	中央
交通マナーを守る。	女	20 歳代	新川
路上駐車をしない。見つけたら通報する。	男	20 歳代	棚尾
●意見・要望			
車は左に、歩行者は右側通行。特に自転車は守っていない。	男	70 歳以上	新川
小さな交差点に信号が多く不便。しかし、交通事故が多発している畑の真ん中にある交差点には無い。	女	40 歳代	中央
信号がやたら多い。ほとんど通る車が無いのに信号がある。意味なく停車させられる。感应式ならよかったが。	男	40 歳代	中央
駐禁を取り締まる。一石三鳥。交通事故の減少、草の生えた土地が整備され、お金が廻る。	男	70 歳以上	中央
庭木を道路まで出さない。自転車のとき顔にあたる。側溝の上は道路だ。花も美しいけど置かない、危険だ。	女	70 歳以上	大浜
都市基盤・産業振興分野			
質の高い都市基盤のまちづくり			
有効な土地利用の誘導と計画的な市街地の整備			
●意見・要望			
碧南市はそれほど大きな市ではないが、町単位が細かすぎているので町内会などの区画が面倒になっているところがある。もう少し区画をまとめてまちをつくると、もっと住みやすいと思うのだが。	女	50 歳代	中央
はっきり言って、都市計画が進んでいないので、色々なものをつくってほしい。そうすれば人の出入りがはげしくなり、景気も良くなる。	女	30 歳代	大浜

内 容	性別	年齢	地域
碧南市はなぜプロパンガスなのか。なぜ都市ガスにならないのか。プロパンガスがどれだけ家計の負担になっているか知らないのか？都市ガスにするだけで、すごく住みやすくなると思わないのか？昔のなごりなのか、生活しやすいとか住みやすいとはあまり思わない。	女	40 歳代	新川
市内全域、都市ガスをひいてほしい。	女	50 歳代	中央
公園などを市内から離れたところへつくっても。交通の便は悪いし、公園自体に行きたいと思う魅力がないので、良くなれば活用していける。	女	50 歳代	大浜
レールパークはすごく良い取り組みだったと感じる。ただそれを良くするのも、悪くするのもわれわれ市民だが。	男	50 歳代	棚尾
国道・県道等幹線道路の整備			
●意見・要望			
通勤、通学時間帯の交通渋滞の解消。特に半田地区へ。計画はされているようだが。VICS の拡大。	男	60 歳代	中央
知多半島で仕事をしているが、朝の通勤時に渋滞がおこり困る。現在、衣浦大橋が追加で建設中だが、半田市側の道、海側が 1 車線のままで渋滞軽減につながるのか心配だ。衣浦トンネルの無償化など噂では流れつつも現実的ではなく、どうにか良い方法はないのだろうか。	女	20 歳代	新川
海底トンネルの無料化を希望する。交通渋滞の緩和だけではなく、半田市などへの交通、行き来が広がり、商業の活性化にもつながると思う。	女	40 歳代	棚尾
愛知の道路コンセッションが運営する衣浦海底トンネルはまだ数十億円の借金があり、メンテ工事にも経費がかかり大変だと思うが、朝・夕の料金所の渋滞はあまりにもひどく、改善されるべき事項と考え、早急なる対策を講じられることを求める。碧南と半田（知多半島）の距離が縮まる可能性もある。	男	50 歳代	大浜
海底トンネルを無料にして、西尾・半田の人たちが碧南に来やすくする。買い物などしに来てくれると活性化する。	男	18・19 歳	新川
市道・一般道等生活道の整備			
●意見・要望			
車椅子の人が言っていた。碧南の道はデコボコがひどい！車椅子で自動車に乗っていると、バウンドしたり響いたりして辛いそうだ。道路の見直しをお願いしたい。	女	60 歳代	大浜
道路の補修。	女	70 歳以上	大浜
自転車くらいしか通れない道を改善したらいいと思う。家が密集しているから難しいとは思うが。	男	60 歳代	大浜
碧海信用金庫碧南支店の前の道はどうにかならないか？歩道があったり、無かったりして歩きにくい。しかも商店街もなく、歩行者には優しいまちには思えない。	女	70 歳以上	大浜
歩道が必要以上に広いこと。車道がそんなに広くもないのに。道路をつくる時、行き止まりをつくらずできないのか。もっと考えて誰でも考えつく道はいらない。	女	70 歳以上	大浜
油ヶ淵のまわりの道路を整備し、ちゃんと安全に歩けるよう環境整備に努めてもらいたい。	女	70 歳以上	新川
歩道の整備。家が多く建ってきており、見通しが悪い。	男	30 歳代	旭
自転車を通れる歩道をつくってほしい。	女	60 歳代	中央
油ヶ淵から新川、碧海、矢作川（鷲塚）までのサイクリング道があると走りやすい。30km 整備してほしい。	男	50 歳代	旭
港湾機能の強化と憩いの空間づくり			
●意見・要望			
碧南市のまちづくりは文化福祉を充実し、ものづくりに大切な感性を豊かにし、若者の住みやすい魅力あるまちづくりを目指す。油ヶ淵のウォーターフロントは若者が集まる施設づくりも検討。マラソン、ビーチバレーとスポーツも充実してきて、これからもっと魅力ある都市づくりを期待する。	男	70 歳以上	中央
臨海に碧海競馬場の開設。	男	50 歳代	旭
若者や男性が過ごしやすくなるためには、競艇場やルーレットができる場所が必要。	男	30 歳代	中央
公共交通機関の利便性の向上			
●意見・要望			

内 容	性別	年齢	地域
名鉄駅前に駐車場がなく、知立まで普通各駅停車しかないことも不便。	男	50 歳代	大浜
現在、公共交通は名鉄のみで、料金が高く時間もかかり JR の乗り継ぎも悪いため、高齢者がいつまでも車の移動を余儀なくされている。『歩いて暮らせるまちづくり』も年 1 回の寺町ウォーキングに化けてしまい、何ひとつ実現していない。実現可能な施策を提案し、確実に実行できるようにもっと声を聞けるようにしてほしい。臨海鉄道は上手く利用できないかなあ。	女	70 歳以上	中央
産業が活発である基盤があるので、住民が住みたくなる要素はたくさんあると思う。それを生かす住環境と、名古屋や刈谷など都市部への鉄道アクセス、名鉄の特急など公共交通機関の充実があるとさらに住みやすいまちになると思う。	男	30 歳代	棚尾
近くて遠い近隣。西尾市など車がないと出かけることができない。交通の便を考えてほしい。	女	70 歳以上	旭
刈谷、名古屋、安城、西尾などへの公共交通を充実させてほしい。名鉄三河線だけでは充実しているとは思えない。	男	40 歳代	西端
近くて遠い西尾市。何とかできないか。	女	70 歳以上	中央
市民として、今住んでいるところは周りの環境はいいと思う。高齢になって運転ができなくなった場合、買物、その他いろいろと不便になると思う。その時が心配だ。	女	70 歳以上	大浜
くるくるバスだが、市の南部の大浜下地区を細かく回りすぎ。	男	60 歳代	新川
くるくるバス、100 円くらいはもらってもいいのでは？そのお金でもっと病院、福祉にまわせれば。	女	60 歳代	旭
くるくるバスの有料化。バス停の増設。	男	50 歳代	旭
くるくるバスの本数充実。	女	40 歳代	西端
バランスのとれた産業振興のまちづくり			
信頼される農業の推進			
●できること			
碧南市が生産した農産物等をなるべく使ったりして、市の活性化に少しでも協力したい。	女	40 歳代	中央
地域活性の手助けになるかわからないが、地元の食材を積極的に購入したり、公共施設のイベントにも参加することができると思う。	女	30 歳代	大浜
地元の食材を積極的に買う。	女	30 歳代	—
地産地消を心がける。	男	18・19 歳	大浜
市内のスーパーで買い物をして、市内の野菜などを買う。	女	30 歳代	西端
地産地消。	男	18・19 歳	中央
碧南にんじん等、碧南市でつくられているものを買ったりする。	女	40 歳代	新川
地産地消。	男	40 歳代	中央
●意見・要望			
研修施設、農業体験施設等。	女	70 歳以上	新川
工業・地場産業の振興			
●意見・要望			
積極的な企業誘致などにより、税収増になることを考えてほしい。	—	—	—
企業誘致。	女	60 歳代	旭
港湾産業道路を活用した産業力の拡大。	男	70 歳以上	大浜
行政と市民の考えを融合。地元中小企業の産業を活性化し、黒字企業を増し、納税し、そこからのまちづくりと思う。	男	40 歳代	棚尾
地域商業の振興			
●できること			
買物はできるだけ市内で買い、市の税収には貢献したいと思う。	男	30 歳代	西端
基本、衣食住に関しては 100%市内にて協力。	女	70 歳以上	大浜
買物は市内です。	男	60 歳代	旭
市内での買い物。	女	50 歳代	大浜
なるべく市内で買い物する。	女	30 歳代	旭
●意見・要望			

内 容	性別	年齢	地域
駅周辺をもっと改善し、空き店舗などを活用し、明るくにぎやかなイメージにしたらどうか。	女	50 歳代	大浜
碧南中央駅まわりの再開発。高浜市の方がよほど良い。	女	70 歳以上	中央
碧南市の各駅前を、明るく楽しめる街並みになることを思っている。	男	70 歳以上	大浜
碧南中央駅前の再開発。商業施設を誘致して、活力ある駅前へ。	男	30 歳代	中央
他市県より魅力ある碧南市として、商業の拡大と誘致。	男	70 歳以上	大浜
食品以外の買い物は、ほぼ碧南市でなく市外へ行く。もっと良い商業施設を誘致してほしい。	女	40 歳代	中央
新規飲食店への支援制度。FC を含む。	男	50 歳代	旭
飲食店を増やす。	女	70 歳以上	大浜
おしゃれな飲食店が少しずつ増えてきている。外食、ランチ⇒市外の店となっている。飲食店を少しずつ増やしてほしい。	女	50 歳代	中央
若い人の行く場が少ない。スターバックスは喜んでいるので。	女	50 歳代	新川
商業施設があるとよい。若いとき、遊ぶところはだいたい市外に行かないといけない。	男	30 歳代	大浜
若者が生きいきと遊べる施設をつくってほしい。複合施設をつくれば市も活気づく。	男	20 歳代	大浜
イオンのような大型ショッピングセンターがほしい。	女	20 歳代	—
大型ショッピングセンターの誘致希望。外食産業が少ない。近隣に比べると少なすぎる。	男	40 歳代	新川
イオンやアピタなど大きい施設があると、人口も増えるのではないかなと思う。	女	20 歳代	新川
イオン等大型のショッピングセンターを誘致してほしい。	女	50 歳代	旭
大型商業施設を呼び込み、他市からの人の出入りがあれば、小さな商店にも客が出入りするのではないかな。	男	60 歳代	新川
ショッピングモールがほしい。これといって遊ぶところがない。スーパー、コンビニしかない。	女	20 歳代	—
市内にもっと大手のスーパーが来てほしい。	女	70 歳以上	中央
大型スーパーの誘致。	女	40 歳代	西端
大型商業施設などをつくり、まちを活性化させることにより人が集まり、より良いまちづくりができるのではないかなと思う。	女	40 歳代	新川
女性が過ごしやすくなるためには、イオン等ショッピングセンターやショッピングモールが必要。過去に実施した地域振興券やプレミアム商品券など、碧南市のお金が碧南市に戻る取り組みが全体的に必要。	男	30 歳代	中央
買物は他のまち、高浜、安城、西尾、半田、岡崎などに行くことが多い。全国チェーン店が少ない。条件として、市内を円で描いたとき、半分は海にかかってしまうので出店しないと聞いたことがある。	男	60 歳代	新川
商店街をつくって市民が楽しく買い物飲食できるまちづくり。	男	70 歳以上	中央
商店街に関する活動。	男	40 歳代	新川
スーパーが多すぎて個人店がダメになっている。	男	70 歳以上	新川
小売店の再開発。総合商業施設が 1 つくらいほしいと思う。矛盾するかとは思いますが、やり方は色々あると思う。	男	60 歳代	大浜
商店が少なくなっていて高浜、西尾、安城の方へ買い物に出る人が多い。産業を活発化して、人口が増えて、活気のある市になるとよいと思う。	女	70 歳以上	西端
現在の碧南市は、居住環境、道路、公園などの基盤整備は充実している。今後、全国的に人口が減少していくなかで、人口維持または増加できるよう、商店街の活性化、交流人口の増加。	男	50 歳代	旭
碧南は静かで良いまちと思っている。欲を言えばきりが無いが、税金の使い方に問題があると思っている。ごく一部の市民のために美術館やものづくりセンターをつくるよりも、古くからの商店へ買い物がしやすい環境を整備してほしい。そういった建物の提供。	男	50 歳代	棚尾
年金生活者にとって碧南市は住みにくいと思う。魅力のある店舗が少ないため、買物は、スーパー以外は他地区に行ってしまう。	男	70 歳以上	中央
魅力ある観光地づくりの展開			

内 容	性別	年齢	地域
●できること			
市外の友だちに美術館や公園に「遊びに来て」と良さを宣伝する。	女	60 歳代	中央
他の地域の人に“碧南”にあるもの、イベントなどを SNS 等で伝える、アピールする。私が今やっていることとしてインスタグラムで、#へキスタグラム#碧南#碧南市などのハッシュタグをつけアピールしている（どなたか知らないが碧南市内の人が始め、賛同し、一緒にアピールさせていただいている）。また、市内である行事にはできるだけ参加している。	男	40 歳代	中央
碧南市の名品等をたくさんアピールして、とても良いところ、住んでみたいところだと認識してもらえるように発信していく。SNS でも、口頭でもシェアしていきたい。	女	40 歳代	大浜
●意見・要望			
碧南駅が終点なので、旧電車を置いて展示したらどうか。色々な種類の鉄道ファンは多いので。	男	50 歳代	旭
火が使えるキャンプ場やバーベキュー場をつくってほしい。管理費などをとってもらいたいと思います。	女	20 歳代	大浜
レジャー、観光など充実してほしい。美術館とかよりも商いを中心に。明石公園にも入浴施設をつくるなど。	男	40 歳代	新川
人を呼べる場所が少ない。釣りが好きなので、ビーチバレー場のまわりの護岸の修繕および、整備を希望。	男	40 歳代	新川
昔の碧南市のように色々な魅力がある場所、行事などを再開発してもらいたい。そうすれば市外に行かなくても碧南市内で食事や自然な遊びができるようになり、市全体が活発になると思う。昔の碧南市を知っている一人として、近隣の市の発達より劣っているのを住んでいて実感する。色々な行事に参加して、協力して、まちの活性化を頑張ります。	男	40 歳代	新川
市外の人に碧南市はどこ？何があるの？とよく聞かれる。魅力あるイベントを最低月 1 回どこかで行う。大浜地区は大浜港の魚。新川地区は窯をつくり陶芸、モニュメントを作成し公園などに設置。中央地区は個性ある店舗を全国から応募。	男	60 歳代	新川
名物を増やして活力にする。	女	30 歳代	大浜
目玉商品をつくって、皆が来るようにしてほしい。	女	70 歳以上	中央
もっと碧南市の特産品を PR して、他の市からお客さんをお呼び込むと良いと思う。	女	60 歳代	西端
おいしい食べ物をアピールする。	男	18・19 歳	新川
地元商品の P R。展示会、イベント。市外、県外への出展。	男	30 歳代	中央
観光地となるオシャレなまちや若者が楽しめるイベントなどを行う。碧南市をアピールできる行事を広く宣伝する。	女	50 歳代	西端
観光地として観光客誘致は難しいまちだと思う。周辺の市町と協力し合って、体験、癒し、食文化を SNS 等で宣伝し、周遊コースができるといい。	男	50 歳代	大浜
医療保険・福祉分野			
質の高い保険・医療活動を展開するまちづくり			
健康を守る体制の充実			
●できること			
部長や健康推進委員など、話がまわってくれば積極的に受けようと思う。	女	30 歳代	中央
健康でいることだと思う。	女	40 歳代	—
活気、元気。可能な限り働く。	男	70 歳以上	棚尾
自分自身に健康に気をつける。	女	40 歳代	旭
健康でいること。	女	60 歳代	旭
高齢者であるため、健康で生き生きと生活できるように努め、他の人の負担にならないように努めたいと思う。	男	60 歳代	棚尾
●意見・要望			
あおいパーク、筋トレルームの企画は、高齢者にとって、とても良いと思う。	女	70 歳以上	大浜
自身が高齢者。身近な場所で運動、コミュニケーションできる場所、情報がほしい。	女	70 歳以上	西端

内 容	性別	年齢	地域
60 歳定年から 65 歳定年となる、あるいは再雇用となり他市で 1 日の大半を過ごしていると、市内のことがわからない。生涯現役でいるためには、健康が一番。誰でも参加しやすいスポーツ、あるいはウォーキング道路などを新川地区にも整備してあれば、人々が外に出やすいと思う。	男	60 歳代	新川
質の高い医療の提供			
●意見・要望			
市民病院の充実。刈総、安厚に行ってしまう。	男	60 歳代	中央
元気ッスなど、一部の市民だけが楽しむ財政の使い方ではなく、例えば医療だと、市外からも来院する市民が誇れる碧南市民病院を充実する使い方を希望する。藤田衛生大病院や豊田刈谷総合、安城厚生病院のような。これから高齢者が増えるので、医療に力を！	男	40 歳代	大浜
市民病院は民間病院と同様に、医者一人ひとりが経営者としての認識を持たなければ赤字となる。経費節減は小さなことから始める。中央の庭の池はいらない。電気代の節約。テラスにしてボランティアが管理する。	男	70 歳以上	中央
市民病院、小児科、消化器科の医者の充実。	女	40 歳代	西端
国民健康保険事業の健全な運営			
●意見・要望			
医療費削減のため、処方箋薬はすべてジェネリック医薬品とする。	男	30 歳代	棚尾
思いやりあふれる福祉のまちづくり			
参加と支えあう地域福祉の推進			
●できること			
私個人としては、近くに住んでいる高齢者の手助けできるような行動がとれる人間でありたいと思う。	男	30 歳代	西端
まずは自分の住んでいる地域を良くしていくことが大切だと思う。近くに住んでいる人が困っていたら、できるだけ協力して助け合って生活していけると良いと思う。	女	30 歳代	新川
核家族による高齢者の一人または二人暮らし等が多くなっていく状況で、個人のプライバシーが尊重されたうえでの高齢者との関わり方が重要となってくる。	女	70 歳以上	新川
小さい子ども、お年より、障がいを持った人など、困っていたりしたら自ら声を掛けるなど。	女	20 歳代	旭
障がいのある人や高齢の人たちを気づかい、あたたかく接すること。	女	50 歳代	旭
隣近所と声を掛けあって、子育てのことや、子どもたちの見守り、町内のことなどをよく話し合っている。	女	50 歳代	大浜
自分一人ではできることは小さいが、まわりの人に迷惑にならないように気をつけたい。思いやりを持って過ごしていきたいなと思っている。例えば車の運転、当たり前のようにだが、お年寄りや子どもがいたら細心の注意をして運転するとか、思いやりの輪が広がればいいなというのが個人的な思い。	女	50 歳代	棚尾
自分たちの住んでいるまちが明るく助け合えるように、働きかけ、横のつながりを大切に、老人会の仲間と共に仲よく助けたり助けられたりできるまちにしたいと思いながら、微力ながら友だちを増やしていこうと思っている。	女	70 歳以上	棚尾
病気で毎月いろんな病院に通っている。年金はギリギリで、医療費で消える。お金を使うことはできないが、病院で自分より高齢の人たちに話しかけたり、困っている人の手伝いができたらよいと思っている。今まで話しかけて、話しをした人の中には「あなたに出会えてよかった」と言った人もいる。高齢の人たちが楽しく人生を送ることも、碧南市のこれからにとって非常に大切だと思う。孤独で自殺を考えている人たちもいる。	女	60 歳代	棚尾
まわりの人を大切に、困ったことがあったら相談にのってあげられる環境づくり。おしゃべり等が気軽にできるコミュニケーションの場をつくりたい。テレビなどで起きている事件や事柄を無くしていきたい。	女	60 歳代	中央

内 容	性別	年齢	地域
市民という大きい集団の中で自分ができることは想像しにくいので、家族、隣人、町内といった小さな集団の中で自分が他人様のためにどのようなことができるか、ということ具体的を考えることから始めたい。そういった小さな助け合いの集団が多く集まることで、市全体として一人ひとりが住みやすく、活躍できる環境が整う一助となればよいと思う。	男	20 歳代	新川
老後も安心して楽しく充実して生活できること。家族と一緒に住み、明るい家庭であること。近くに仲間がいること。	男	70 歳以上	棚尾
他人のことを思いやる人間をめざしたい。	女	70 歳以上	大浜
人と人との思いやり。	女	20 歳代	新川
●意見・要望			
認知症や障がいのある方の見守りや捜索、登下校の付き添いなど、広報やホームページなどで広く公募して、ハンディキャップを特別視しない碧南市になってほしい。	女	50 歳代	中央
少子高齢化が進む時代でも、市民が穏やかに過ごせる、安心できる碧南！市民一人ひとりが自分の生活以外に少し助け合えられるボランティア活動が活発にできるまちなになったらよいと思う。	女	40 歳代	中央
元気に暮らす高齢者の支援			
●意見・要望			
要介護に認定されていない高齢者に、シャンプーとか足の爪切り、入浴等、低費用でしてもらえる公的施設がほしい。	女	70 歳以上	大浜
子育て支援環境の充実			
●できること			
世代を超えたつながりの場が少ないように思う。これからどんどん高齢化が進んでいく。例えば老人会と子ども会が一緒に楽しみながら参加できるような行事があれば良いと思う。子どもが参加すれば若い親世代も関心を持つ。あらゆる世代が元気な碧南市になるよう、身近なところから考えていきたい。ラジオ体操を行う地域が少なくなっている。参加してできるところから盛り上げていきたい。	男	50 歳代	棚尾
今あるサービス、子育て支援、母子保健サービスなどを利用する。	女	30 歳代	—
健全な子育て。	女	20 歳代	新川
元気な子どもを育てていく。	女	40 歳代	旭
●意見・要望			
子育てがしやすく、広場や施設をつくってほしい。	女	20 歳代	新川
子どもが参加できる行事を増やしてほしい。	女	30 歳代	新川
赤ちゃんからお年寄りまで様々な層の市民が住みたいと思えるまちなにしてほしいので、子育てや介護の情報共有の方法を。市全体の人々に知ってもらえるようにすること。自宅訪問で、子育ての悩みや相談、ただ話を聞くだけでも良い。	女	30 歳代	旭
パートでどんどん働きたいのに収入枠で働けない。乳児をもつ母親も、1日4.5時間子どもを預かってくれる場があればパートとして働けると思う。乳児を持つ母親のための自転車の貸出しは、とても良い案だと思った。	女	50 歳代	西端
転勤族でいろいろな県に住んだが、碧南は小ぢんまりしたまちに市役所、図書館などまとまっていて住みやすく気に入っている。実家の近くに住みたくて、へきなん福祉センターでの結婚相談所を利用し42歳の時に結婚することができた。このように市で行われている福祉を利用し、今でも碧南に住むことができ、人口増加に協力できていると思う。今は不妊治療中だが、碧南には不妊治療専門の病院がないため、働きながら岡崎まで通っている。私のような高齢の不妊治療が今大変増えているので、助成金の面など碧南市にメリットがあれば碧南に住みたいと思う人が増えるのではないだろうか。	女	40 歳代	新川
碧南市から進学校の高校や、大学への電車の定期代がとて高くなるので、碧南市に支援してほしい。特に大学は1時間以上かかるところが当たり前なので、その分定期代がかさむ。碧南出身の若者がもっと勉強しやすい環境にしてほしい。	男	18・19 歳	棚尾
進学に対する援助が充実するとありがたいと思っている。	女	20 歳代	大浜
障害者（児）福祉の充実			
●できること			

内 容	性別	年齢	地域
福祉の仕事をしているので、仕事やボランティアを通じて、また交流を通して、障がい等があっても暮らしやすいまちをつくらせたい。精神障がいをもつ人、そうでない人、いろんな「人」に寄り沿いたいと考えている。	女	20 歳代	旭
●意見・要望			
高齢者への市の予算の使い道が多いように感じる。子どもや障がい児サービスが他市よりとても遅れている部分が気になる。情報を得られない家族ほど困っていたりする現状があるようだ。	女	40 歳代	棚尾
碧南市は精神障がい3級の人は医療費がかかるので生活が大変だ。岡崎市のように0割負担にしてほしい。	男	50 歳代	旭
車椅子生活だった母親を介護している時にいろいろな店や施設のトイレを利用したが、公共施設は障がい者に優しいと思ったけれど、飲食店やコンビニなど店舗でそれだけのスペースを確保できているのはほとんどなかった。スロープなども障がい者を想定していないつくりだった。	女	40 歳代	棚尾
勤労者福祉の向上			
●できること			
高齢者のスキルを今、人手不足の企業（中小企業）に。行政が間に入り生涯現役と言えるようなまちづくりに貢献したいなあと思う。そうして介護、医療の負担が少しでも良くなればなあと思う。	男	50 歳代	中央
ひきこもり、ニートなど、働くことに踏み出したい若者たちを支援、サポートする“若者サポートステーション”が碧南市にできたら、私にできることがあれば協力したいと思う。	女	40 歳代	旭
●意見・要望			
ハローワークでの支援制度。生活支援者の削減。	男	50 歳代	旭
教育文化分野			
人を育み活かす創造のまちづくり			
信頼と安心のある幼児教育の推進			
●意見・要望			
教育関係の仕事をしている。市民一人ひとりが碧南市のために行動を起こす、意見を言うには正しい知識が必要だと思う。自分の利益だけではなく、みんなのために行動しようと思える人間に育てることも大事だと思う。現在は3歳になったらほとんどの子どもが保育園、幼稚園またはインターナショナルスクール等に通うと思うが、そこで人としてどのように生きるべきか、人として生まれたからにはどのような人生を送るべきか等を教える場があるとよいと思う。これは子どもだけではなく、その保護者にも伝えるべきと思う。“園がやってくれるから”という考えは違う。幼児期にすでに集団生活からはみ出してしまう子の将来はどういうものになるのか。今一度、将来の碧南を担う子どもたちをかかえる保護者支援を強制的にでも行う必要性があると強く感じる。	女	30 歳代	新川
生きる力を育む義務教育の充実			
●意見・要望			
小中学生の教育レベルを上げるために、授業後に市の予算で習いごとをする。例えば、小学生ならそろばん、習字、くもんや、高学年や中学生なら英会話、塾など、家庭の収入に関係なく通うことができるようにすると転入してくる家族が増えると思う。高齢者のことを充実させても住民は増えないと思う。それと同時にスポーツも同じようにしてほしい。	女	50 歳代	旭
学校行事が、親、先生の立場や都合で、学校に行く機会や参加する行事がすごく減ってきている。忙しさを理由に子育ての環境が、昔の良かったものまで無くなっている気がする。人と人が会う機会が少ない。	女	40 歳代	中央
他の市にくらべると学校給食開始が遅い。共働きの時代であり、他の市と違うのは苛立ちを感じる。どういう基準で決められているのかわからない。もっと働きやすい地域であってほしい。女性活躍社会であり、もう少し寄り添ってもらいたいと感じる。	女	40 歳代	新川
保育園、小中学校の環境を良くしてほしい。校舎建て替え、エアコン整備。	男	30 歳代	中央

内 容	性別	年齢	地域
小・中・高、入学時の費用の補助（制服、体操服等）。	女	50 歳代	大浜
生涯を通じて学び続ける学習環境の充実			
●できること			
外国の人も多く居住してきているので、言語でコミュニケーションが取りづらい。日常会話ぐらいできるアイテム（スマホで会話、行政の塾、外国の塾）に対して行政が支援してくれるなら参加したい。	男	50 歳代	棚尾
多くの市民が参加するスポーツの振興			
●できること			
トヨタ自動車ビーチバレー部やコートもあるので、市民参加できるサークルやスクールがあれば参加してみたいと思っているが、そんな情報を手に入れるすべがない。せっかくの大きなメリットだと思うので、ここを長所としたらと思っている。	男	40 歳代	大浜
スポーツイベントに参加して盛り上げる。	男	40 歳代	新川
以前、臨海体育館でフィットネス系のインストラクターを行っていたが、機会があればやってみたいと思う。	男	50 歳代	中央
●意見・要望			
サッカーコートやビーチバレーコートを市外の人にもアピールして使ってもらう。	男	18・19 歳	新川
疑問を感じていること。臨海公園の周囲に粉じんが多い集積物が多くあり、環境が非常に悪い所になぜビーチバレー施設をつくったか？	男	70 歳以上	中央
もっと良い碧南になるように改善してほしい。子どものための大きい温水プールをつくってほしい。2 号地、サッカー場整備。デコボコで草が多い。照明を改善。ベンチ屋根。夏は暑い、冬は寒い、風が強い。	男	50 歳代	中央
前のプール跡の芝山の利用は感心できない。プールのほうが良かった。家族で楽しめる場所にしてほしい。	女	70 歳以上	中央
碧南川口町一周（旧堤防）が約 6 km なので、ここの周回フルマラソン大会がやりやすいのではないかな。	男	50 歳代	旭
主な施設のリフォーム。市民会館、臨海体育館、球場など。大きなイベント、プロ、高校野球が開催できること。今現在においては他市県に劣る！	男	70 歳以上	大浜
市のスポーツ教室など 5 回コースとか 10 回コースでの練習をして少しは上手になっても、その後の行き場所がない。	女	70 歳以上	中央
青少年の健全育成環境の充実			
●できること			
地域の活動、青少年の育成のための魅力的な活動があれば応援したいし、サポートしたいと思う。	女	40 歳代	中央
まじめに働き、趣味を楽しんでいる姿を若い人達に見せる。自分が碧南のことを知り、好きになったことを発信する。	男	40 歳代	新川
まずは自分とかかわりのある人物、場所を大切にすること。特に子どもたち。自分の子ども、地域の子どもが健全に育ってくれるよう関心を持つこと。	女	40 歳代	旭
●意見・要望			
昔あったキャッチコピー、「よその子も叱れるまち」。	男	40 歳代	新川
若者の育成と地域の貢献を目的とした、青少年団体、青年団の設立。碧南青年団。	男	30 歳代	新川
今の若い人たちに夢のあるまちにしたい。	女	60 歳代	棚尾
地域文化を守りみんなが誇れるまちづくり			
芸術文化の振興			
●できること			
お祭り、伝統芸能を大切にする。	女	20 歳代	新川
市の文化活動にできるだけ参加する。	男	60 歳代	棚尾
●意見・要望			
数年前に猿投に行った時、在住の女性が、子どもの頃に碧南や高浜の人が土雛を作って売りに来てくれたのが楽しかったと言っていた。碧南の特産品は色々あるが、土雛ももっと有名になってもよいのではと思う。公民館などの文化教室で、作品づくりができればよいのではと思う。	女	60 歳代	大浜

内 容	性別	年齢	地域
他市から多く集まる達吉美術館を活かす方法をもっとあるように思う。	男	70 歳以上	中央
文化活動、スポーツ活動を幅広く向上。	男	70 歳以上	中央
私は棚尾小学校出身だが、地域上では大浜となる。若者にはどうしてこういう区分けかがわからない。各地区には色々な特色があり良いと思うが、相互で支え合えると思う。例えば、私の住む中区は秋の祭礼は運営が難しいと聞く。もっと大きなとらえで、各地区で協力して、市全体が一体となるようなことがあるといいと思う。	女	20 歳代	大浜
文化芸術思想の紹介。市外での碧南市についての広報協力。	男	40 歳代	新川
文化財の保護と活用			
●できること			
郷土史を学び、古きものから新しいことを学ぶ。	男	60 歳代	新川
活用される学術資源の充実			
●できること			
子どもと積極的に公園や水族館で遊んで、子どもも地元碧南市が好きと思えるように関わっていく。	女	30 歳代	旭
行財政分野			
市民協働型行政のまちづくり			
広報・広聴活動の推進			
●できること			
自分の体験、知識、経験を元にした内容についての情報提供。	女	30 歳代	旭
声を届ける。	女	20 歳代	大浜
意見の発信。	男	30 歳代	大浜
積極的に意見を出していく。	男	40 歳代	西端
こうしたら住みやすくなるだろうなという意見を述べていくことが、市民としてできることだと思う。このようなアンケートをたまにではなく多くの人にして、意見を集めてほしい。	女	50 歳代	西端
今回のようなアンケートはしっかり答える。この質問に関しては行政が考えるべきであると思う。何でもかんでも市民にお任せするのは良くない。	男	40 歳代	新川
正直このようなことをしていることすらよく知らず、アンケートの回答にはずいぶん困った。今までより興味、関心を持ち、じっくりと見届けることが必要だと考える。	女	50 歳代	西端
アンケートには積極的に協力する。素直な意見を書く。	女	30 歳代	旭
選挙権の行使。財務諸表で市の財源、支出把握。公共サービスの活用。	女	30 歳代	新川
市からの情報提供をしっかりと受け取り、その情報をうまく活用していきたい。	男	60 歳代	大浜
市の行政に、市民が関心を持つことが大切だと思う。	男	50 歳代	中央
碧南市を良くするためには碧南市民がもっと市政に関心を持ち、批判しなければならない。	男	60 歳代	新川
行政の取り組みに関心を持つこと。	女	30 歳代	大浜
“市”に興味を持つこと。他人事だと無関心にならないこと。意見を積極的に伝えていくこと。	女	20 歳代	棚尾
●意見・要望			
役人と住民が集まって、住民の生活状況をお互いが理解する場があるとよいと思う。	男	50 歳代	新川
多方面の住民の意見交換のできる機会を行政が企画し、お役所仕事にならないよう心遣いをしっかりすること。	女	70 歳以上	棚尾
各地区で問題になっている少子化や核家族になっていることによる空き家の問題等を、必ずしも行政に生かしている、または関心を持っている行政になっていない。市が発展していくためには、これらの問題に積極的に先回りした、計画的な行政でなければならない。住民との対話を更に進めていく必要がある。そうした意味でこのようなアンケートは有効であると思うし、さらに具体的な問題提起がされることが望ましい。	男	70 歳以上	大浜
誰でも意見を言えるものをつくってほしい。	女	30 歳代	大浜

内 容	性別	年齢	地域
住民として意見が言える、相談できることが大切。	男	40 歳代	西端
市への改善、提案、要望等々、個人の考え意見を書面に書いて投稿できる箱を市役所内に設置してほしい。そして、市民の細かい意見を市町が直接見て参考にできるようにするとよい。	男	70 歳以上	大浜
問 7～18 まで、市として過去やってきたことの成果、課題、今後の取り組みをどうしたいのか等が理解できないと、しっかりした回答が出せない。こんな複雑でかつ難解なアンケートに回答が出せない。全く意味、意義を感じない。問 18 の 1～19 まで各々“市としてどうしたいのか？”を書いて、その意見を聞き取りする、ということなら少しわかる。皆のやることをまとめ、1 つずつしっかり市政に反映する。これしかない！	男	70 歳以上	新川
こんなアンケートでは全くよくならないと思う。ポジティブな人々に引っ張ってもらわなくては、目安箱でも置いて。	女	20 歳代	大浜
自分は 1 月に 20 歳になったとこなので、このアンケートは難しい。	男	20 歳代	大浜
十年後、二十年後、三十年後のビジョンが提示できること。将来の計画と希望が持てる提案がほしい。	男	70 歳以上	大浜
碧南市のアプリを開発して、災害情報や祭りの案内、お店の情報、選挙の情報などを流す。こういったアンケートもアプリ上で行えば、より沢山の人の意見が聞けるし、資源の無駄遣いを減らせる。意見交換の場の様子も撮影し、アプリ上でも観られるようにする。	女	20 歳代	棚尾
一市民として、行政が必要とする情報や要望を提供する。	女	30 歳代	中央
市民に満足されるサービスの提供			
●意見・要望			
市役所の人、態度が上から目線の人が多い。わからなくて聞いているのに、ハア一みたく。役所の人、専門でわかって当たり前だ。	女	50 歳代	新川
市役所での対応時間が少し長いと感じた。平日の仕事の合間しか行けないため、個々の対応スキルを高めていただき、スムーズな手続きを期待したい。	男	20 歳代	新川
去年 10 月に自動車関連の仕事で引っ越してきた。他にも同じような会社が沢山あり、碧南市に住んでいる人も多くいると思う。そこで感じたのが、住民票や住所変更手続きなど役所関連の作業が平日のみなのでできなく不便と思った。他の市町村は土曜日も開庁しているところもあるので。	男	40 歳代	大浜
公共施設に地域差がある。大浜新川地区により充実したものがある。偏在の解消に努めてもらいたい。	男	60 歳代	旭
信頼される行政運営の推進			
●意見・要望			
企業の利益優先に考える政治家より、暮らしている人の目に立った政治家を選んで投票していきたい。特に活気あるまちとしてイベントを考えるより、碧南らしさを大切にしたいまちをつくっていくことに協力したい。	女	60 歳代	中央
碧南市は財政的に豊かで、私も税金や福祉等恩恵を受けている身であるが、いつまでもこんな状態が続くとは思われない。輸送関連業種の失速や地震、津波等の被害。イベント等の縮小や主催者の自己負担を大きくするなど、市の身の丈に合った分相応の市政をお願いしたい。	男	60 歳代	西端
長期的なまちづくりを作成するべき。碧南はバラバラのまち。	男	70 歳以上	旭
知恵を感じる行政を望む。	女	70 歳以上	大浜
市民の住みやすいまちづくり。	男	60 歳代	新川
多くの職員（若者、中年、ベテラン）が市を良くする沢山の企画を提案できる体制の構築が第一。そして練った魅力ある具体化された多くの候補企画を、市民に提示することが前提だと思う。	男	70 歳以上	旭
人材育成は将来の市を担う人材となる。	男	70 歳以上	中央
市役所の中に行くと、机の前に座っている人、裏でお茶している人などが見受けられる。会社ではありえないことだ。少し職員が過多ではないかと思う。彫刻、建築物、必要以上につくることはないと思う。	女	70 歳以上	中央
健全な財政を推進するまちづくり			

内 容	性別	年齢	地域
安定的な財政運営の推進			
●意見・要望			
ふるさと納税、6億円とニュースで見たが、有効に使われているのだろうか、心配だ。	女	60歳代	中央
税金を有効活用してほしい。	男	50歳代	中央
市の無駄な経費の削減！市民病院、美術館、水族館など、人口7万の市税に見合わない。ハコモノの廃止統合。	男	50歳代	棚尾
行政が我々の税金を適切に使っているか監視、けん制する。税金の無駄遣いがひどすぎる。市議会議員の削減、市役所職員の高すぎる給与の是正が必要。	男	40歳代	大浜
公務員の給料減額、イベントに出資。	男	40歳代	中央
公平・公正な税務の推進			
●できること			
住民すべてが市民税をちゃんと納付する。	男	40歳代	新川
税をきちんと納めることくらい。	男	70歳以上	中央
きちんと働き、税金を納めること。	女	40歳代	旭
就職して税を納めることで貢献できると信じている。	男	—	棚尾
納税。行政と関わらずに自立していくこと。	男	60歳代	大浜
税金を払う。	女	30歳代	西端
納税。	男	30歳代	大浜
住民税を納める。	男	40歳代	中央
納税。	女	30歳代	大浜
しっかり働き、納税し、買物をする。子を産み育てる。	女	40歳代	新川
ふるさと納税。今は働いているので、会社を定年したら何かしたいと思う。	女	40歳代	大浜
●意見・要望			
住民税、健康保険税は最近上昇していると思う。	男	70歳以上	中央
市県民税を安くしてほしい。	女	50歳代	西端
住民税が高い。	男	40歳代	中央
その他			
その他			
●できること			
市民として具体的にどう動くのか、どうしたら良いのかわからないけれども、碧南市の良いところを見つける目を持とうと思う。	女	60歳代	旭
何ができるのか考えたことがないので、考えてみたい。	男	50歳代	旭
●意見・要望			
何を良くしたいのかわからない。逆に何を悪いと思っているの？	男	50歳代	棚尾
●その他			
今は碧南市より、自分の状況を良くしたい。	男	50歳代	大浜

第6次碧南市総合計画審議会委員 参加分科会希望調査

氏名_____

参加を希望される分科会をご記入ください。希望多数の場合は第2希望での参加となりますことをご容赦ください。

第1希望…第 分科会 第2希望…第 分科会

第1第2の分科会への参加を希望される方は以下の□にチェックをお願いします。

☐ 第1第2希望の分科会どちらにも参加したい

【参考】

第6次碧南市総合計画分野別政策体系（案）

